

ココマⅡ

LIXIL 湿式腰壁タイプ ガーデンルーム・サイドスルー 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味


警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。


注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号


ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。


補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※タイプによって参照する取付説明書が異なります。下記を参照した後に施工を行なってください。

タイプ	略図	参照取付説明書
サイドスルータイプ		ココマⅡ 湿式腰壁タイプ ガーデンルーム サイドスルー 取付説明書 (E416) 【施工終了】
ガーデンルームタイプ		ココマⅡ 湿式腰壁タイプ ガーデンルーム サイドスルー 取付説明書 (E416) ココマⅡ 側面 開口部 取付説明書 (E418) 【施工終了】

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

＜電気配線工事について＞


警告

- 接地工事は、電気設備の技術基準にしたがって、確実に行なってください。
- 垂木LED照明には、専用のACアダプターまたはトランス電源ユニットと電源ケーブルが必要です。
垂木LED照明は、AC100Vと直接接続しないでください。
- 電線の接続は有資格者が行なってください。

<施工の前に>

⚠ 注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 本製品は、地上階設置用です。2階以上には設置しないでください。
- 屋根材へ接触する部品へシリコンシーリング材を使用する場合は、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがありますので、当社指定の脱アルコール系シーリング材を現場で手配してください。
- 母屋の屋根から雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により、製品が破損するおそれがあります。
- 屋根材は、弊社指定品を使用してください。指定品以外を使用した場合、強風による屋根材の飛散や強度低下の原因になります。
- 寒冷地では凍結破損を防ぐため、竖樋に排水路ヒーター等を取付けるか、排水位置を高い位置に変更してください。
- 入隅の場合は、「φ4.5×63丸木ネジ」を現場で手配してください。
- 本製品は躯体に設置してください。ただし躯体に設置せず独立して施工する場合は「施工補助部材」を使用してください。

シーリング材メーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960

🔑 ポイント

- スプレー式シリコン系潤滑剤は部品箱に同梱のもの、または現場手配してください。またアルコール系シーリング材は、現場で手配してください。
- 必要に応じて、「呼びφ40排水パイプ」、「腰壁ブロック」、「柱固定用カイモノ」は現場で手配してください。
- 垂木LED照明を取付ける場合は、必要に応じて、「防水コンセント」、「連結コネクタ」、「PF管」を現場で手配してください。
- 垂木LED照明を取付ける際に電源スイッチが必要な場合は現場で手配してください。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- ココマIIはタイプ(仕様)によって専用の手順が存在します。

本書では、タイプ(仕様)専用の手順を下記の記号で記載していますので施工を行なう前に必ず確認してください。

《記号の意味》

タイプ		：ガーデンルームタイプ
		：サイドスルータイプ
腰壁		：前面腰壁
		：L字腰壁

土間		：床既設置仕様
		：ベース材仕様（後土間仕上げ）
地域		：一般地域仕様
		：積雪地域仕様

《手順内記載例》

例 1：

タイプ	腰壁	土間	地域
			

※上記は、『ガーデンルームタイプでベース材仕様』専用の施工手順を示しています。それ以外の「腰壁」「土間」については種類を問いません。

例 2：

タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ(仕様)で行なう作業です。			

※上記は、全タイプで施工が必要な場合に記載しています。

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ・ $\phi 4$ ネジ： $2.5\text{N}\cdot\text{m} \pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($25 \pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$) ・ M6ボルト： $5.2\text{N}\cdot\text{m} \pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($52 \pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)
 - ・ $\phi 5$ ネジ： $3.0\text{N}\cdot\text{m} \pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($30 \pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$) ・ M8ボルト： $12.5\text{N}\cdot\text{m} \pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$ ($125 \pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$)

🔑 ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 施工終了後は、パネルの開閉チェックを行ない、不具合がないか確認してください。

<基礎工事についてのご注意>

⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

🔑 ポイント

- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

INDEX

1	施工工程一覧	5	13	腰壁部の施工	70
2	各部の名称	7	1	部材の加工	70
1	前面腰壁	7	2	腰壁ブロック水切り材の取付け	73
2	L字腰壁	8	3	腰壁ベース材の取付け	74
3	施工前の重要確認事項	9	14	フレーム部の施工	76
1	フレーム、腰壁部の施工について	9	1	ガーデンルームプラスタイプの柱の取付け	76
2	開口部の施工について	17	2	柱スリーブの取付け	82
4	梱包明細表	19	3	柱の組立て	82
5	基本寸法	34	4	雨樋の取付け	83
1	ガーデンルームタイプ	34	5	柱の建込み	84
2	サイドスルータイプ	36	6	入隅の場合	85
3	L字腰壁タイプ	38	7	垂木掛けの取付け	86
6	断面納まり図	40	8	桁の取付け	89
1	ガーデンルームタイプ	40	9	妻垂木・垂木の取付け	90
2	サイドスルータイプ	44	10	中骨の取付け	91
7	開口部納まり図	48	11	屋根材の取付け	92
1	前面腰壁 FIXパネル	48	12	垂木カバーの取付け	93
2	上げ下げ窓	48	13	垂木化粧材の取付け	98
8	柱の位置出し	49	14	垂木フタの取付け	103
1	単体仕様	49	15	垂木掛けカバーの取付け	104
2	連棟仕様	49	16	垂木掛けキャップの取付け	105
9	施工前の準備	50	17	妻梁上部FIXの取付け	106
1	水盛遣方・水系張り	50	15	腰壁部の取付け	111
2	配線工事 オプション	51	1	調整縦枠の取付け	111
10	腰壁ブロックの建込み	53	2	前面腰壁の場合	113
1	腰壁ブロックと床仕上面の関係	53	3	L字腰壁の場合	116
2	前面腰壁の場合	54	4	雨樋受け部品の取付け	124
3	L字腰壁の場合	55	5	テラス用上枠フタ、柱カバー、笠木カバーの取付け	125
4	入隅腰壁の場合	56	6	雪下ろし指示シールの貼付け	126
11	位置決め施工	57	7	コンクリートの流し込み	126
1	側面ベース材とベース材束柱の取付け	57	8	腰壁ブロックの表面仕上げ	126
2	躯体方立の取付け	59	16	前面開口の施工	127
3	土間見切り材の取付け	64	1	腰壁FIXパネルの取付け	127
12	部材の組立て	66	2	上げ下げ窓の取付け	131
1	垂木掛けの組立て	66	3	シーリング処理	135
2	桁の組立て	68	4	施工の後に	136

1 施工工程一覧

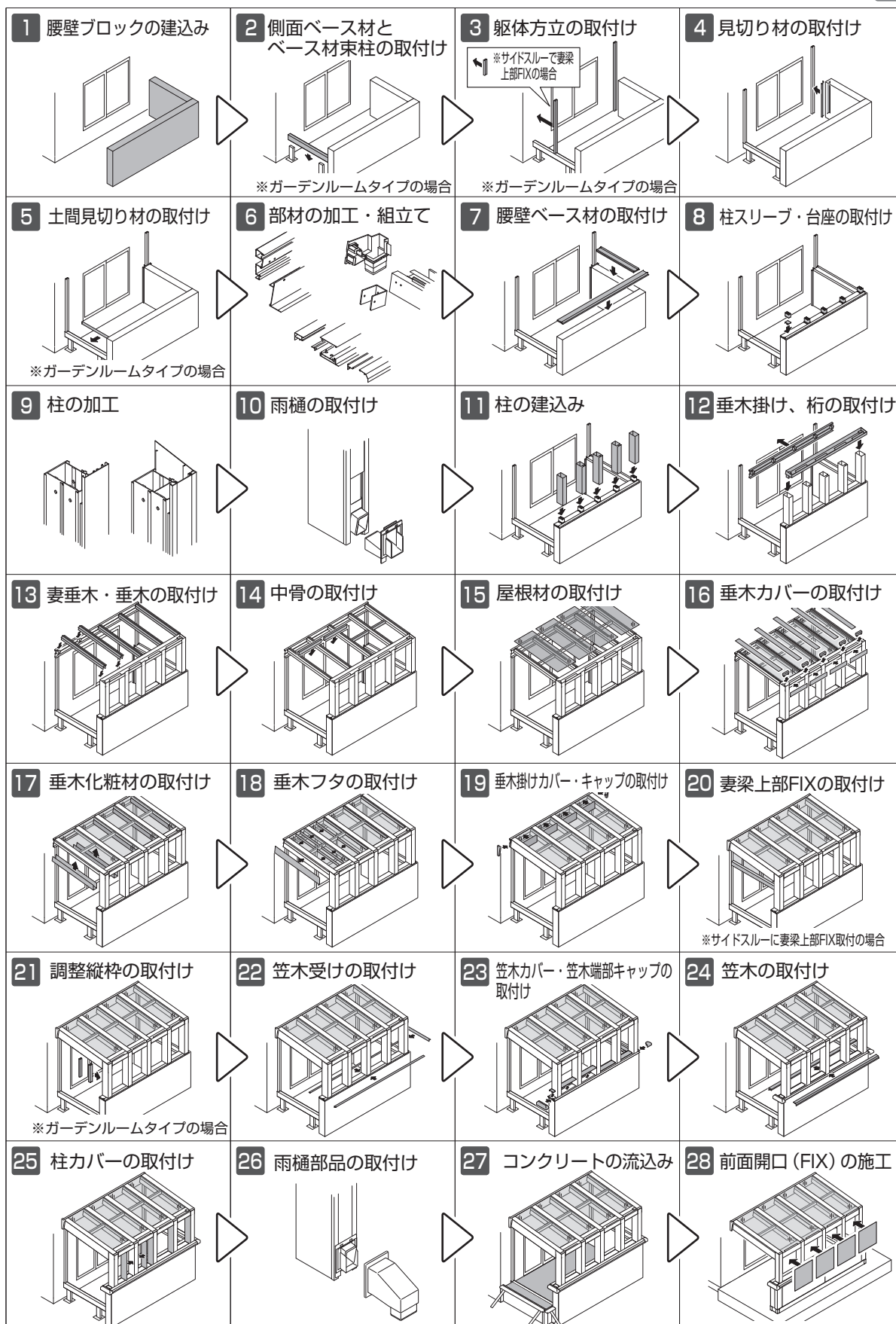
前面腰壁ガーデンルームタイプ、前面腰壁サイドスルータイプ



1 腰壁ブロックの建込み 	2 側面ベース材とベース材束柱の取付け ※ガーデンルームの場合	3 躯体方立の取付け ※サイドスルーで妻梁上部FIXの場合	4 土間見切り材の取付け ※ガーデンルームの場合
5 部材の加工・組立て 	6 腰壁ベース材の取付け 	7 柱スリーブ・台座の取付け 	8 柱の加工
9 雨樋の取付け 	10 柱の建込み 	11 垂木掛け、桁の取付け 	12 妻垂木・垂木の取付け
13 中骨の取付け 	14 屋根材の取付け 	15 垂木カバーの取付け 	16 垂木化粧材の取付け
17 垂木フタの取付け 	18 垂木掛けカバー・キャップの取付け 	19 妻梁上部FIXの取付け ※サイドスルーに妻梁上部FIX取付の場合	20 調整縦枠の取付け ※ガーデンルームの場合
21 笠木受けの取付け 	22 笠木カバー・笠木端部キャップの取付け 	23 笠木の取付け 	24 柱カバーの取付け
25 雨樋部品の取付け 	26 コンクリートの流込み 	27 前面開口 (FIX) の施工 	

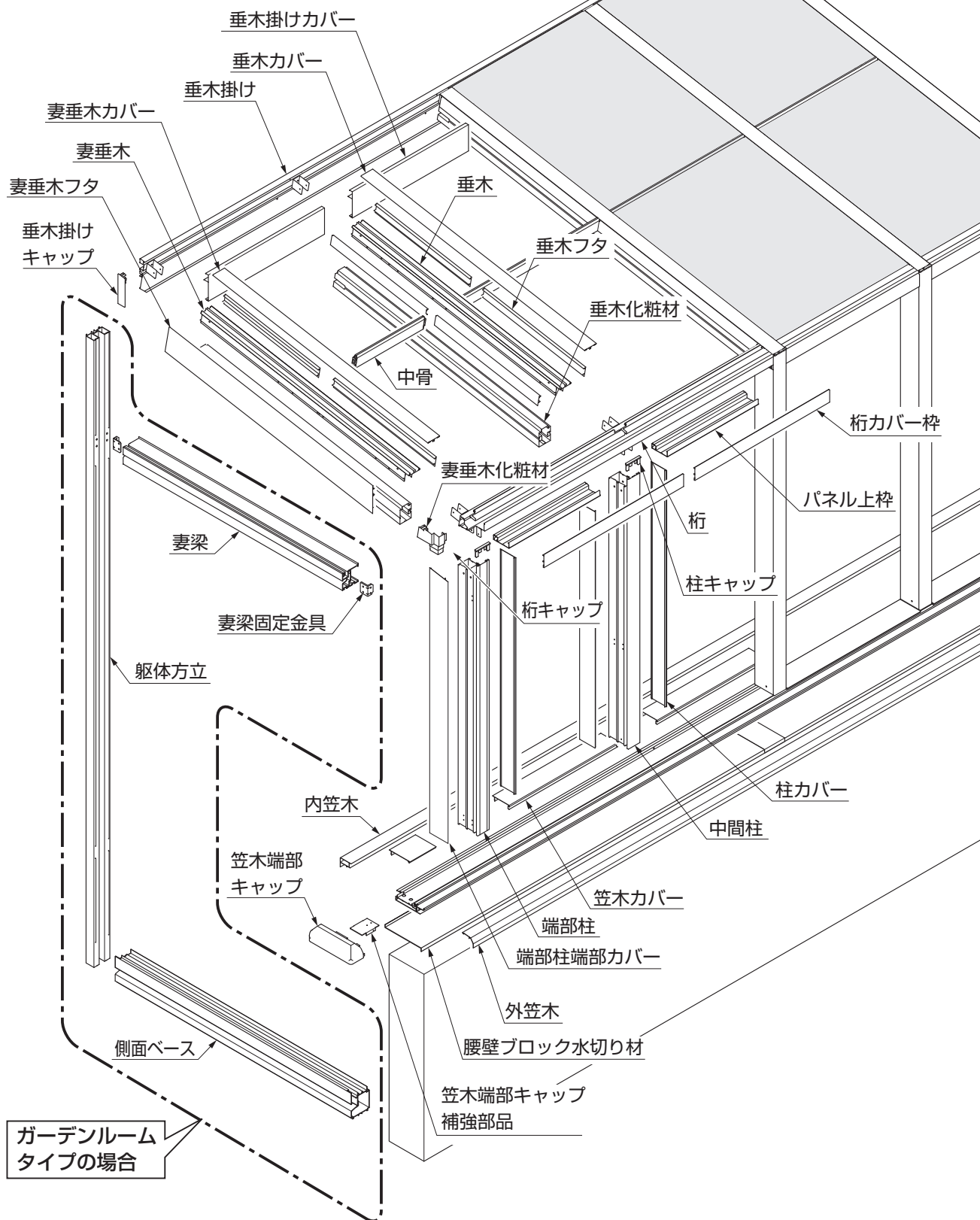


L字腰壁ガーデンルームタイプ、L字腰壁サイドスルータイプ



2 各部の名称

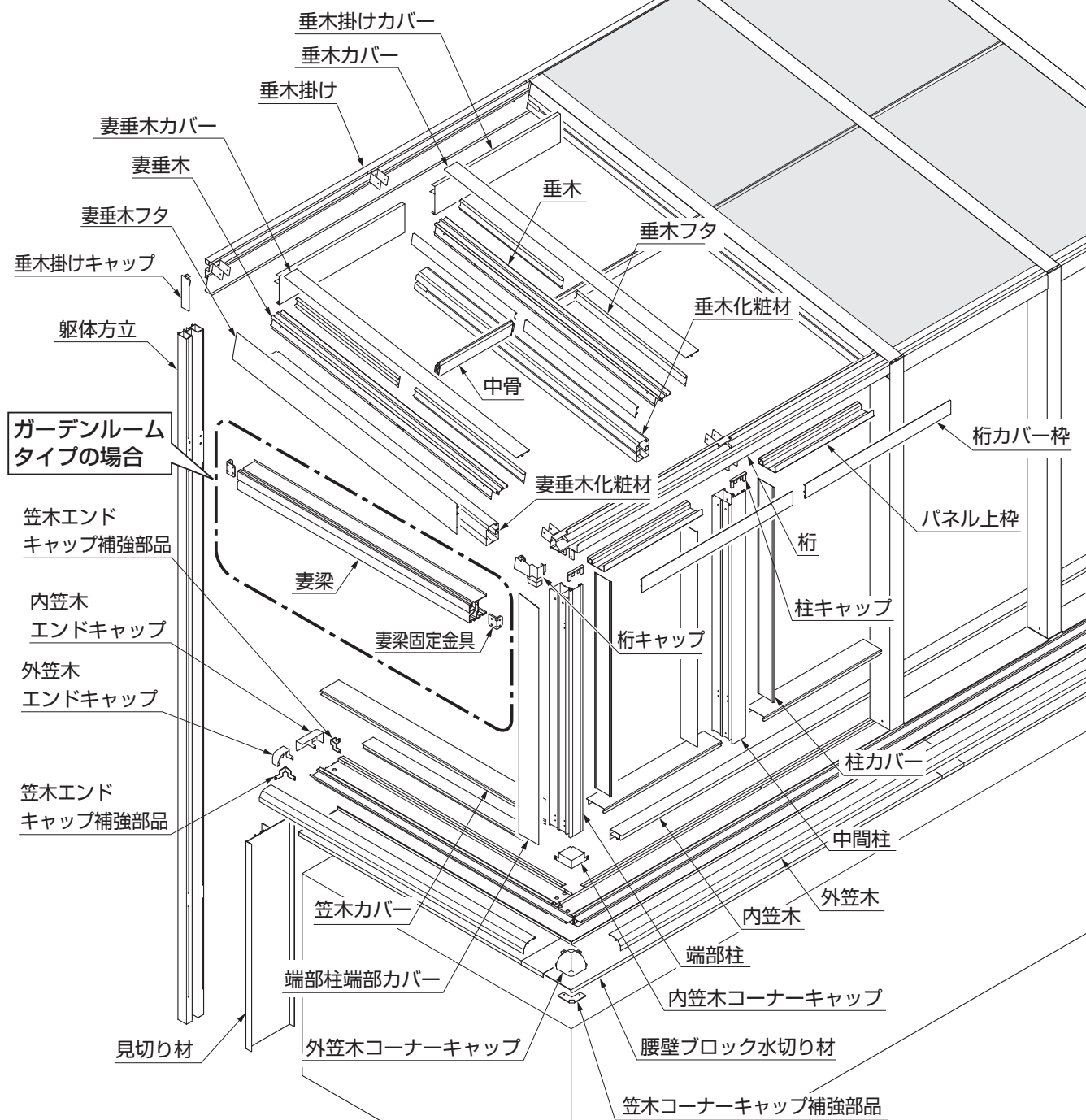
1.前面腰壁



2.L字腰壁

2

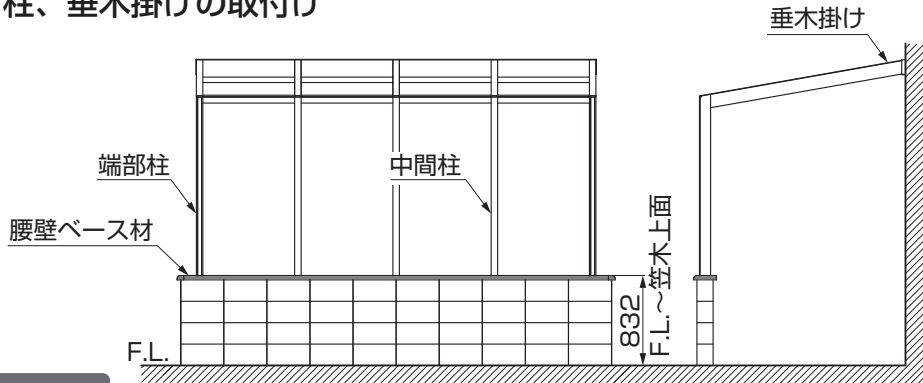
各部の名称



3 施工前の重要確認事項

1. フレーム、腰壁部の施工について ※施工時には下記の事項を厳守してください。

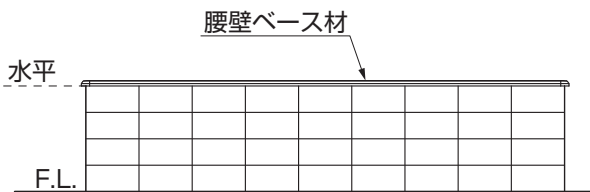
1-1 柱、垂木掛けの取付け



ポイント

- 「5 基本寸法」を参照して柱、垂木掛け等の位置出しを行なってください。
- 連棟の場合は、腰壁ブロックのはね出し寸法は左右で異なります。

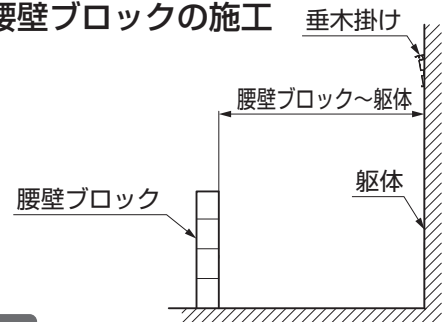
1-2 腰壁ベース材の取付け



ポイント

- 腰壁ベース材は水平になるように取付けてください。

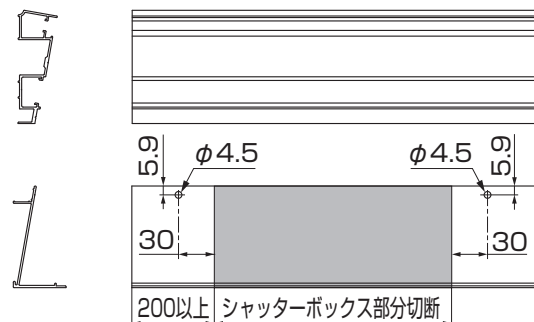
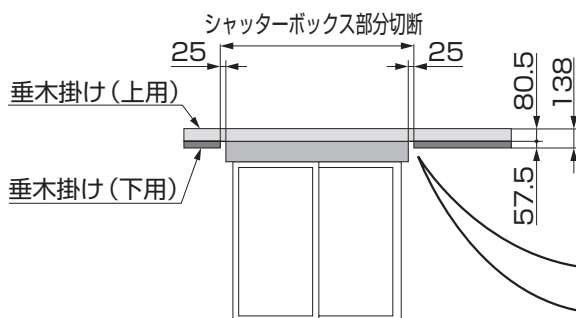
1-3 腰壁ブロックの施工



ポイント

- 腰壁ブロックを施工する場合は「10 腰壁ブロックの建て込み」を参照して柱、垂木掛け等の位置を確認してください。躯体（垂木掛け取付け面）との距離に注意して施工してください。
※腰壁ブロックから躯体までの距離が±5mm程度なら位置調整が可能です。

1-4 垂木掛けの分割利用について ※垂木掛け打付け面の障害物（シャッターボックスなど）を避けて設置する方法です。

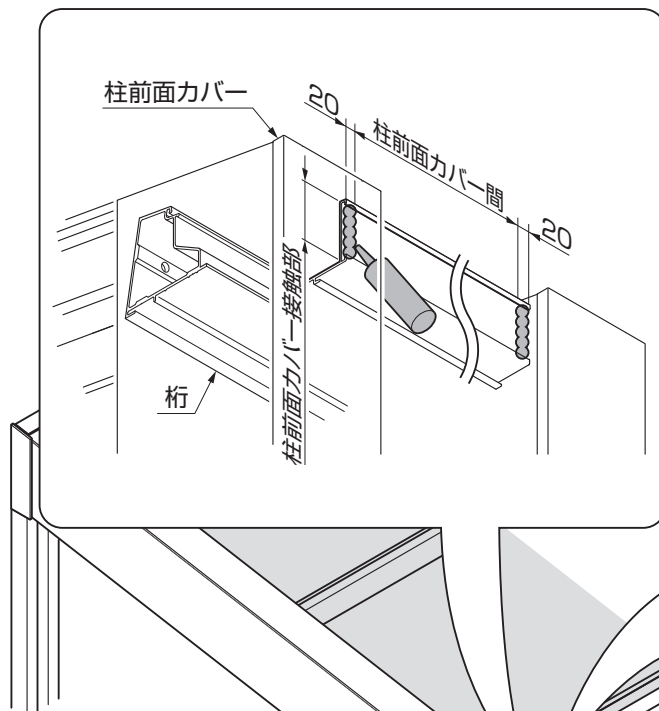


ポイント

- 垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の障害物がある場合は、障害物部分の垂木掛け(下用)は取付け不要です。ただし、両端部には最低200mmの垂木掛け(下用)が必要です。

1. (つづき)

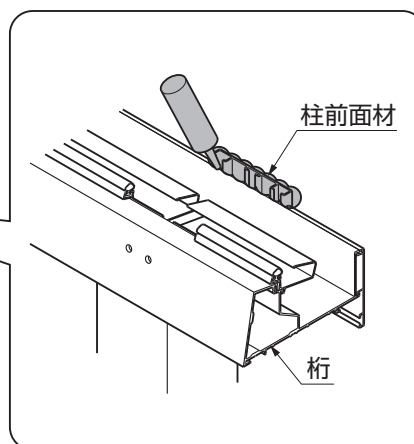
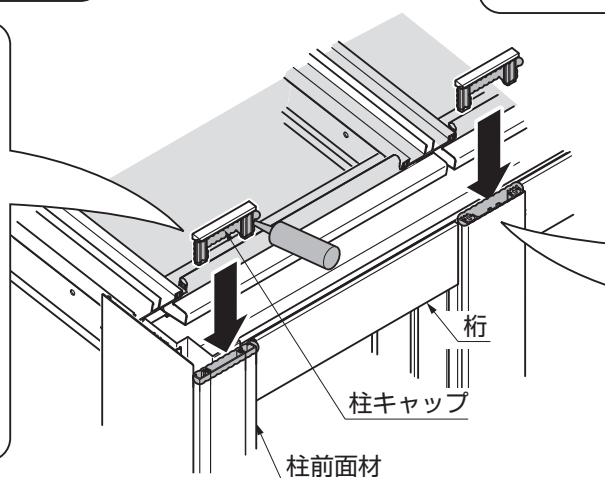
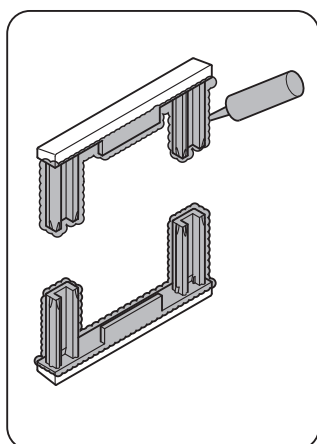
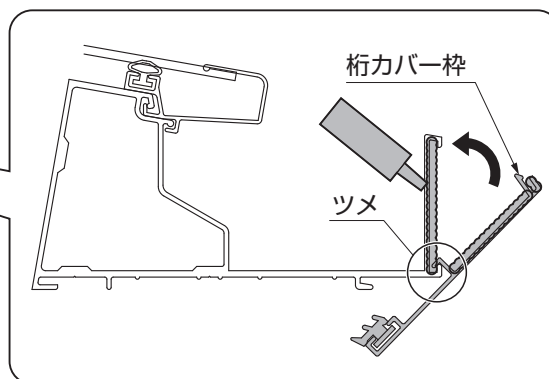
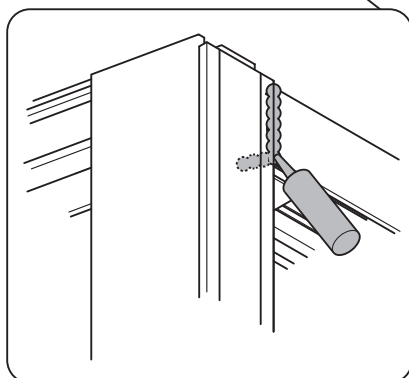
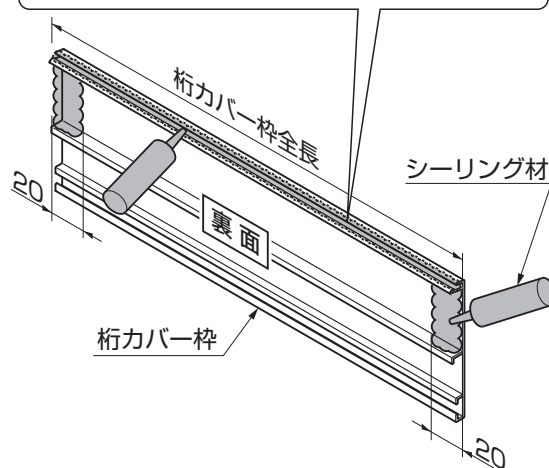
1-5 シーリング処理



【桁カバー枠裏側シーリング箇所】

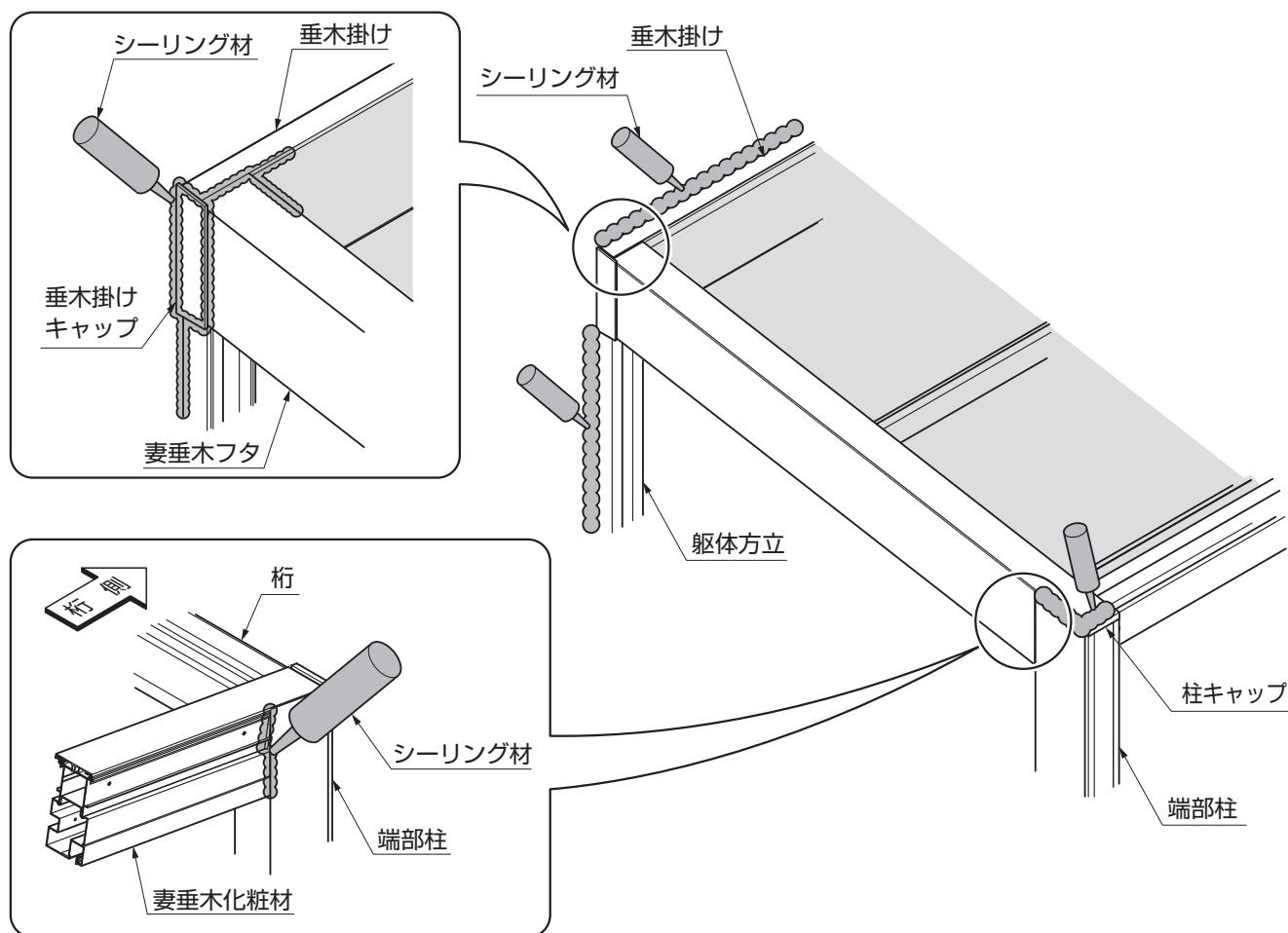
ポイント

- 上図の箇所については桁カバー枠全長にシーリングを行ってください。



ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。



ポイント

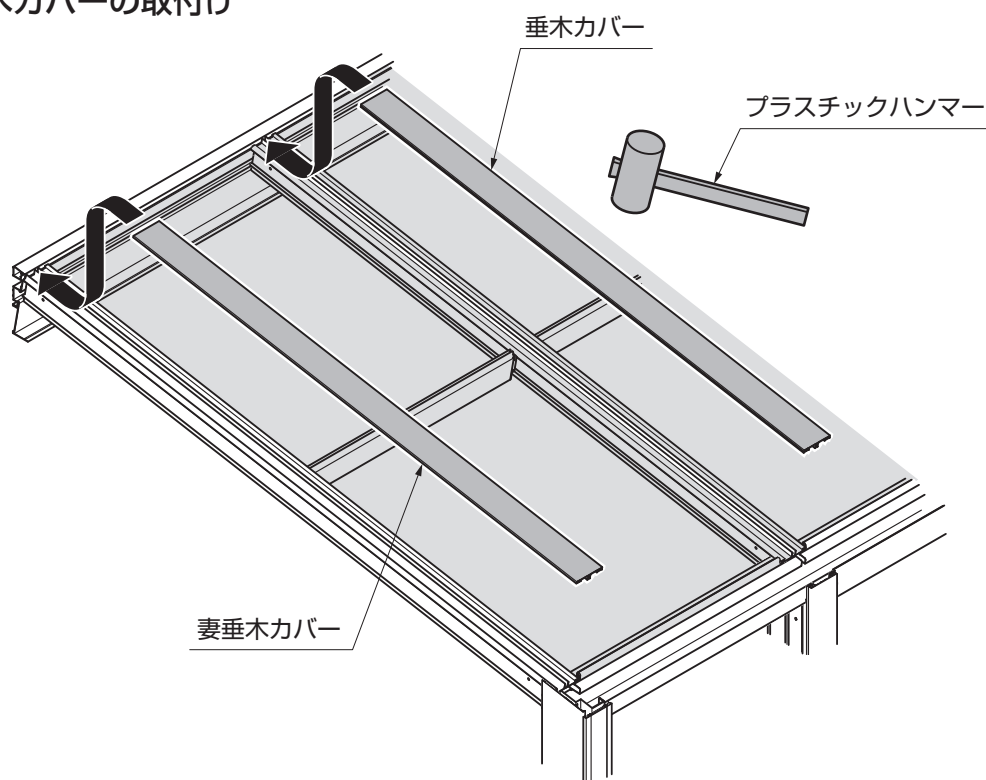
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

1. (つづき)

1-6 その他のシーリング箇所

ページ	タイトル	シーリング箇所
P.60	2.躯体方立の取付け	φ5躯体穴、外壁と躯体方立
P.62・P.63	2.躯体方立の取付け	φ5躯体穴、外壁と躯体方立、見切り材、内面ふさぎ材
P.68	2.桁の組立て	桁キャップ端部
P.69	2-2 連棟の場合 (2)桁の連結	連結用桁キャップ
P.75	2.腰壁ベース材の取付け	腰壁ベース材固定ナット部、腰壁ベース材連結部、腰壁ベース材入隅部
P.82	2.柱スリーブの取付け	腰壁ベース材・腰壁ベース材すき間塞ぎ材部
P.85	6.入隅の場合	外壁と端部柱
P.86	7-1 垂木掛けの取付け	φ5躯体穴、垂木掛け・躯体接触部、パネル飲み込み部
P.88	7-2 連棟、垂木LED照明、入隅の場合 (1)連棟の場合	垂木掛け連結部
P.89	8.桁の取付け	桁キャップの縁
P.97	(3)垂木カバーのシーリング	垂木カバーと垂木掛け、躯体の接触部
P.110	17-4 シーリング処理	妻梁上部FIX部
P.113	2-1 笠木受けの取付け	腰壁ベース材
P.114	2-2 笠木端部キャップの取付け	腰壁ベース材・腰壁間
P.116	3.L字腰壁の場合、3-1 笠木受けの取付け	腰壁ベース材・躯体方立及び端部柱間
P.116	3-1 笠木受けの取付け	腰壁ベース材
P.121	3.L字腰壁の場合、3-3 キャップ類の取付け	腰壁ベース材・腰壁間

1-7 垂木カバーの取付け

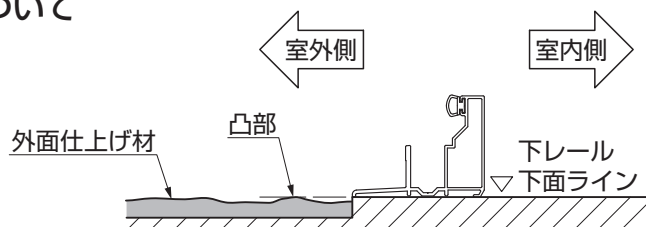


ポイント

- 垂木カバー、妻垂木カバーは部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押込んでください。
- 垂木カバー、妻垂木カバーは垂木掛けに突当てて取付けてください。

1-8 下レールの取付け ※図は折戸用です。引戸、クリアウォール、カスタムウォールの場合も同様です。 ※ガーデンルームタイプの作業です。

(1) 外面仕上げについて



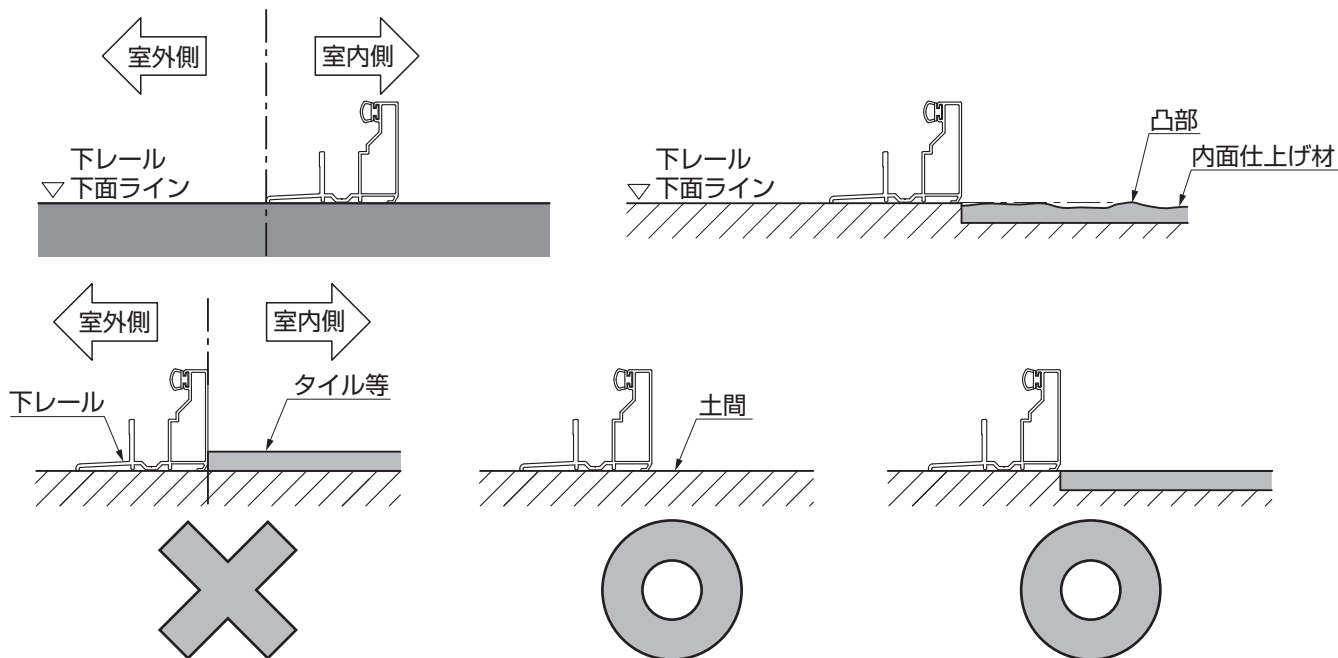
① 室外側の仕上げは、下レール下面と同じか低くなるように仕上げてください。

ポイント

- タイル等は [] の範囲に必ず納めてください。
- 室外側の仕上げを下レール下面より高くしてしまうと、下レールにたまった水やゴミをコーナー部から掃き出せなく場合があります。
- 凸凹の大きなタイルなどで室外側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール下面より高くないように仕上げてください。

(2) フラット施工の内面仕上げについて

[] : 土間 (タイル等含む)
デッキの仕上げ範囲



① 室内側の仕上げは、下レール下面と同じか低くなるように仕上げてください。

ポイント

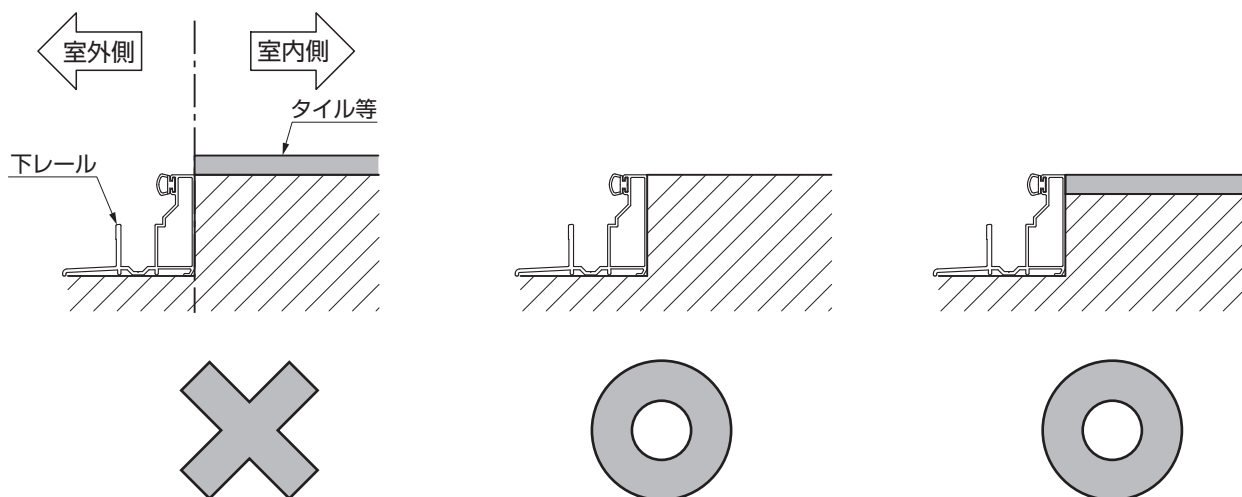
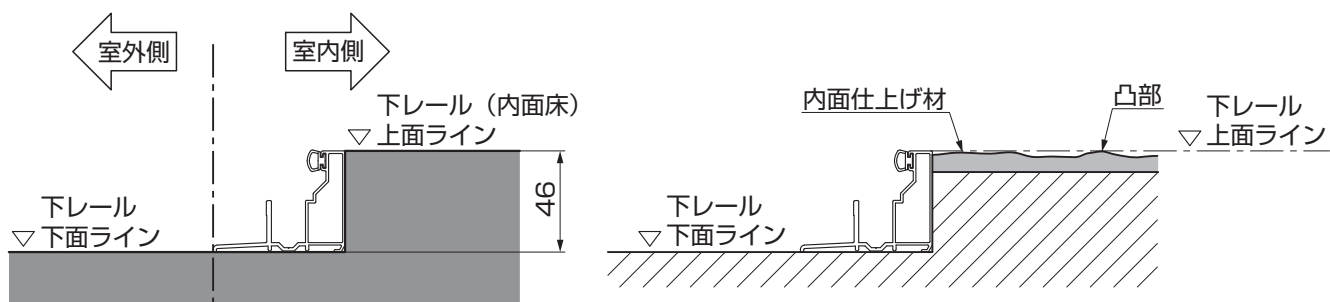
- タイル等は [] の範囲に必ず納めてください。
- 室内側の仕上げを下レール下面より高くしてしまうと、オプションの網戸を取付けた場合、網戸が作動しにくくなったり、破損するおそれがあります。
- 凸凹の大きなタイルなどで室内側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール下面より高くないように仕上げてください。

1. (つづき)

1-8 (つづき)

(3) 内面立上げ施工の内面仕上げについて

■ : 土間 (タイル等含む)
デッキの仕上げ範囲



①室内側を下レール上面と同じか低くなるように仕上げてください。

ポイント

- タイル等は ■ の範囲に必ず納めてください。
- 室内側の仕上げを下レール上面 (内面床高さ) より高くしてしまうと、オプションの網戸を取付けた場合、網戸が作動しにくくなったり、破損するおそれがあります。
- 凸凹の大きなタイルなどで室内側を仕上げた場合、凹部ではなく、凸部が下レール上面より高くならないように仕上げてください。

1-9 土間仕上り寸法 ※ガーデンルームタイプの作業です

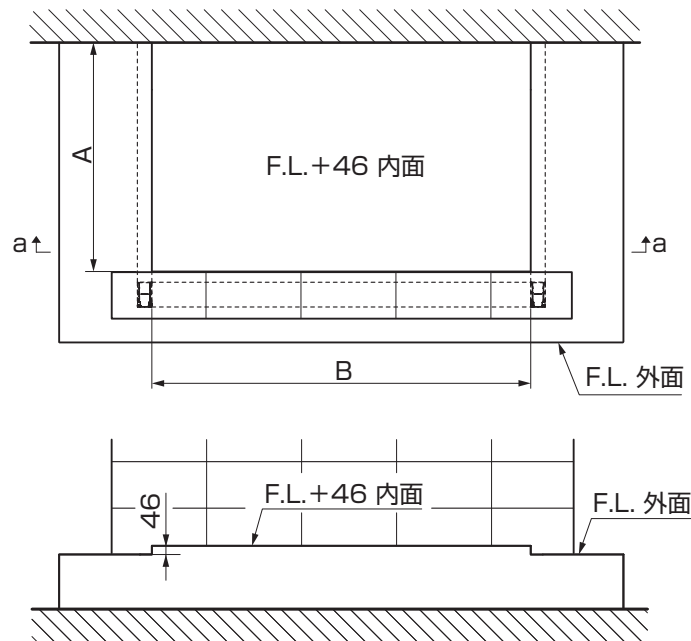


図1-1 引戸の場合

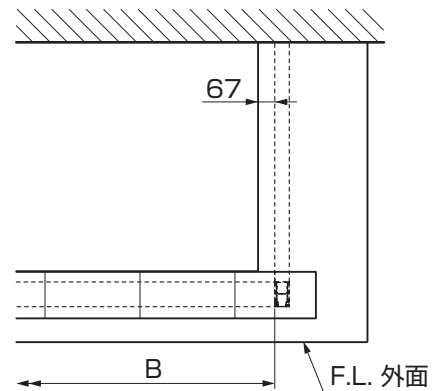


図1-2 L字腰壁の場合

	A
4尺	1181
6尺	1781
8尺	2381
10尺	2981

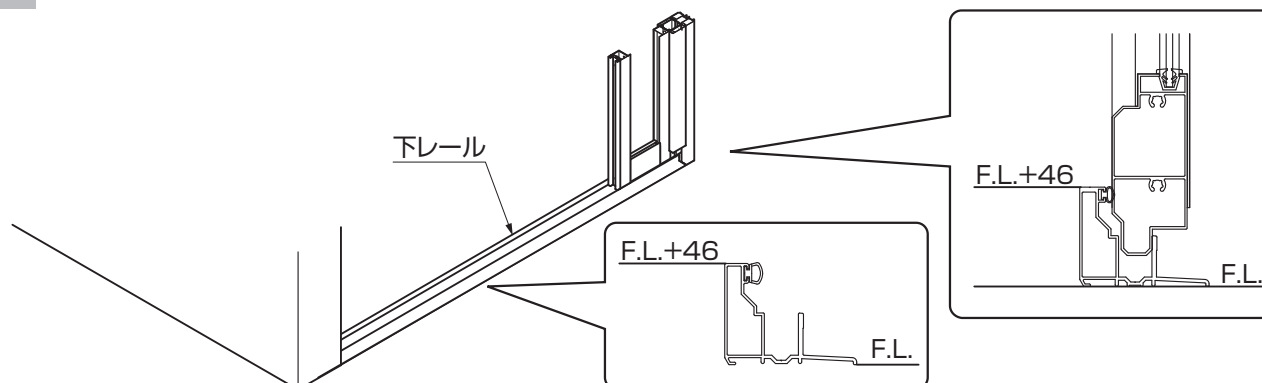
	B		B		B		B
1.0間	1760	2.5間	4490	4.0間	7220	5.5間	9950
1.5間	2670	3.0間	5400	4.5間	8130	6.0間	10860
2.0間	3580	3.5間	6310	5.0間	9040		

	C
4尺	—
6尺	1427
8尺	1777
10尺	1777

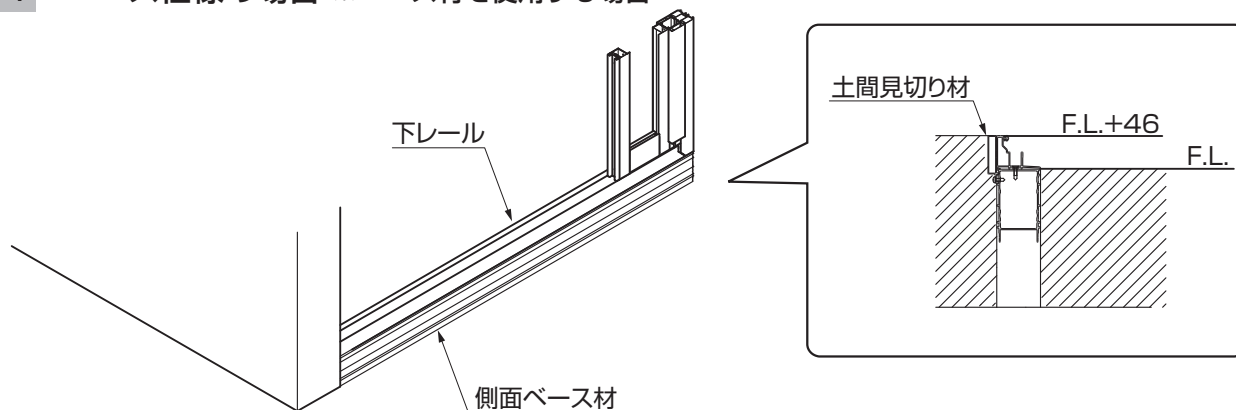
※表のB寸法は折戸の場合（土間見切り材：片側12mmを含む）です。
引戸の場合は片側面あたり31mm、L字腰壁の場合は片側面あたり
67mm 上記B寸法より引いてください。

1. (つづき)

1-10 基本納まりの場合 ※ベース材を使用しない場合



1-11 ベース仕様の場合 ※ベース材を使用する場合



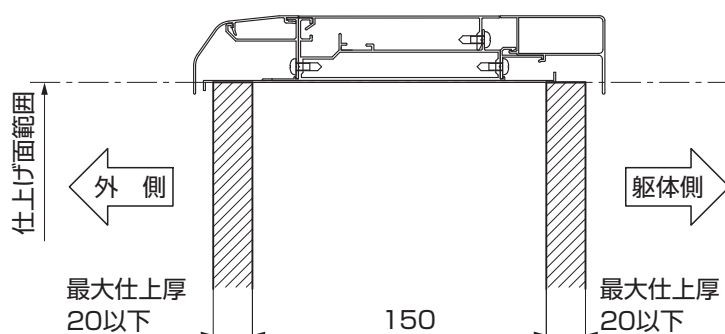
1-12 オプションを取付ける場合

ポイント

- ココマII 本体と合わせてオプション品を取付ける場合、本体のカバー材などを取付ける前にオプション品を取付けた方が良い場合があります。
本取付説明書において、オプション品取付けに影響するページを右表に挙げていますので、該当するオプションの取付説明書も併せて確認し、取付けてください。

対象オプション	本取付説明書内に影響する手順	
	ページ	手 順
E377 ロールスクリーン	P.103	14. 垂木フタの取付け
E376 ローマンシェード		
E269 内部日除け	P.104	15. 垂木掛けカバーの取付け
E378 カウンターテーブル	P.126	8. 腰壁ブロックの表面仕上げ

1-13 腰壁ブロックの表面仕上げ ※本体施工完了後でも仕上げ可能です。



ポイント

- 腰壁は、ブロックのままの仕上げ、塗り仕上げ、タイル仕上げなどの仕上げ方法に関わらず全面に適切な防水処理を行なってください。
- タイル等の仕上げは仕上げ面範囲より上にしないでください。腰壁ブロック天面に水が溜まり、ルーム内に浸水するおそれがあります。
- 表面仕上げについては「湿式腰壁ブロック施工のポイント〈E421〉」も併せて参照ください。

2. 開口部の施工について

2-1 開口部の調整

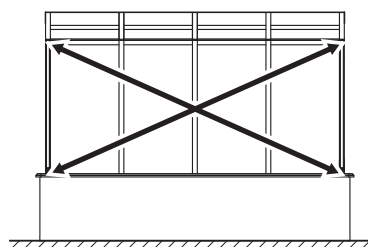


図2-1 対角の調整

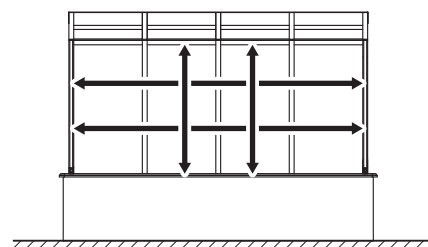


図2-2 W・H寸法の調整

ポイント

- 開口部の対角およびW・H寸法がでていないと開口部材が取付けられなくなるおそれがありますので、調整してください。

2-2 シーリング処理

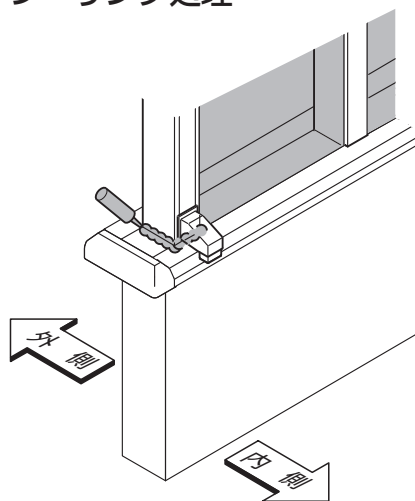


表1-1 シーリング箇所

ページ	タイトル
P.110	妻梁上部FIXパネルの取付け
P.135	腰壁FIXパネルの取付け
P.135	上げ下げ窓の取付け

ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。

2-3 FIXパネルの取付け

ポリカパネル種類		耐候面	取付け向きの指定
前面FIXパネル	クリア	両面耐候	—
	クールマット	両面耐候	マット面を内側
妻梁上部FIXパネル	クリア	片面耐候	ラベル面を外側
	クリアマット	片面耐候	マット面を内側
	熱線吸収	片面耐候	ラベル面を外側
	熱線吸収アクア	片面耐候	ラベル面を外側

ポイント

- 一部FIXパネルには耐候面（裏表）があります。パネル表側のラベルを確認の上、取付け間違いのないように注意してください。
- マット調のパネルはマット面（ザラザラした面）が室内側になるように取付けてください。

2. (つづき)

2-4 ガラスパネルの取扱い

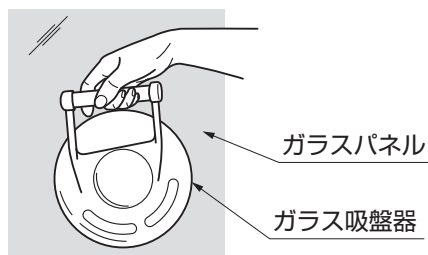


図2-3

ポイント

- 強化ガラス、現場入れガラスを取付けるときには、市販のガラス吸盤器を使用してください。また、ポリカーボネートの前面FIXパネルについても養生シートは、はがさずにガラス吸盤器を使用すると取付けが容易になります。
- 強化ガラス、現場入れガラス取付けの際にガラスの端部とアルミ形材がこすれたり、引っ掛けたりしないように、養生テープでアルミ形材を保護してください。
- ガラスとアルミが直接触れないように、本説明書の指示の通り、同梱のセッティングブロック、セッティングシートは、必ず使用してください。
- 強化ガラス、現場入れガラス等、大判のガラス取付け作業の際は、二人作業を推奨します。
- 強化ガラス、現場入れガラス等は、入れ込み箇所のすぐそばで作業の直前に開梱してください。
- ガラスの角をぶつけると、割れ等の破損のおそれがありますので特に注意してください。

2-5 後付けビード材の取付け

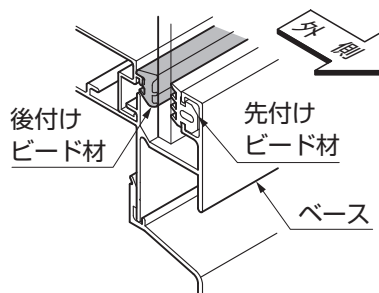


図2-4

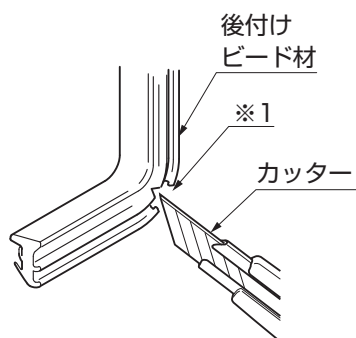


図2-5

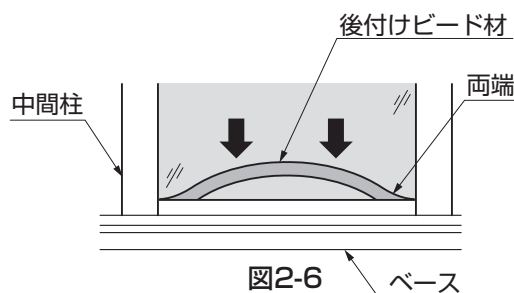


図2-6

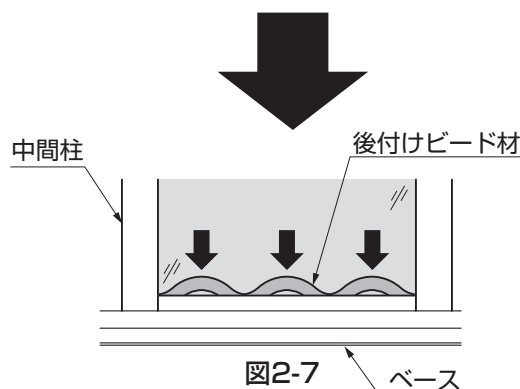


図2-7

ポイント

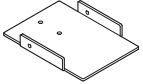
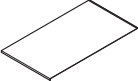
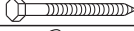
- 後付けビード材には取付ける向きがあります。(図2-4参照)
- 後付けビード材を折曲げる箇所(※1)にカッター等で切欠きを入れてください。(図2-5参照)
- 後付けビード材を取付ける際は、図2-6のように取付ける面の中心部分をたるませた状態で、両端部分および中間の1～2箇所を先に押込み、図2-7のようにたるみ部分の中心から広げるように押込んでいきます。
- 後付けビード材は、薄めた中性洗剤で濡らすとはめ込みやすくなります。

4 梱包明細表

【1】 部品箱セット（湿式腰壁-ガーデンルームタイプ・サイドスルータイプ用）

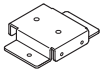
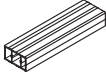
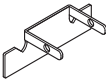
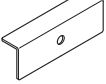
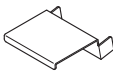
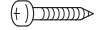
名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
端部柱スリーブ		2	2	2	2	2
中間柱スリーブ		1	2	3	4	5
シリコンスプレー		1	1	1	1	1
接着剤		1	1	1	1	1
セッティングブロック（H10）		8	12	16	20	24
セッティングブロック（H20）		—	2	4	6	8
セッティングブロック（H2）		4	4	4	4	4
桁キャップ右		1	1	1	1	1
桁キャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ右		1	1	1	1	1
垂木掛けキャップ左		1	1	1	1	1
垂木掛け下用キャップ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
垂木取付金具		6	8	10	12	14
柱キャップ		3	4	5	6	7
柱取付金具		4	6	8	0	12
スペーサー（1mm）		5	10	15	20	25

【1】 部品箱セット（湿式腰壁-ガーデンルームタイプ・サイドスルータイプ用）つづき

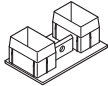
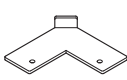
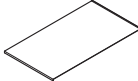
名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
腰壁ベース材隙間ふさぎ材A		4	4	4	4	4
笠木端部キャップ補強部品		2	2	2	2	2
水切り材連結テープ（※）		2	2	2	3	3
MDペンダントライト電気工事説明書<R011>	—	1	1	1	1	1
ココマⅡ取扱説明書<UE091>	—	1	1	1	1	1
シーリング箇所一覧（湿式腰壁）説明書<E392>	—	1	1	1	1	1
シーリング箇所一覧（開口編）説明書<E393>	—	1	1	1	1	1
ココマⅡ湿式腰壁タイプ ガーデンルーム・サイドスルー 取付説明書<E416>	—	1	1	1	1	1
ココマⅡ 側面 開口部 取付説明書<E418>	—	1	1	1	1	1
ココマⅡ 湿式腰壁ブロック施工のポイント<E421>	—	1	1	1	1	1
【1-1】φ4×13ナベドリルネジ		105	146	186	225	264
【1-2】φ4×12トラスタッピンネジ1種		2	2	2	2	2
【1-3】φ6×70六角コーチスクリュー		19	21	23	25	27
【1-4】φ5×8トラスタッピンネジ3種		2	2	2	2	2
【1-5】φ4×12トラスタッピンネジ3種		17	21	26	30	34
【1-6】φ5×12トラスタッピンネジ3種		28	41	55	67	80
【1-7】φ4×12トラスタッピンネジ2種 座金組込PW+樹脂パッキン		59	79	99	118	138
【1-8】M6平座金		20	23	25	27	29
【1-9】φ4×75ナベタッピンネジ1種		6	8	10	12	14
【1-10】M8×50打ち込みアンカー（M8用座付ナット付き）		6	8	10	12	15

※連結部の連結部にも使用のため、単体時の必要数より1枚多い員数になっています。

【1】 部品箱セット（3000用 積雪タイプ-ガーデンルームタイプ・サイドスルータイプ用）

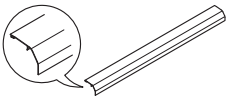
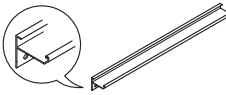
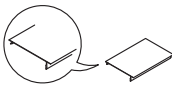
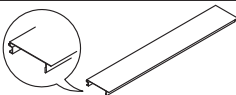
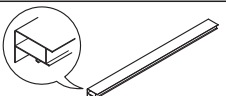
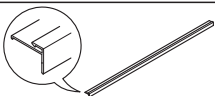
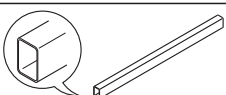
名 称	略 図	員 数					名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間			1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
端部柱スリーブ		2	2	2	2	2	柱スリーブベース金具		3	4	5	6	7
中間柱スリーブ		1	2	3	4	5	【1-1】φ4×13 ナベドリルネジ		52	78	104	132	158
サブ垂木化粧材 端部キャップ		2	3	4	5	6	【1-5】φ4×12 トラスタッピンネジ3種		20	30	40	50	60
垂木カバー端部キャップ		2	3	4	5	6	【1-6】φ5×12 トラスタッピンネジ3種		8	13	17	22	26
垂木取付金具		4	6	8	10	12	【1-7】φ4×12トラスタッピン ネジ2種 座金組込PW+樹脂パッキン		33	49	66	82	99
垂木掛けカバー （サブ垂木化粧材下）		2	3	4	5	6	【1-11】φ4×8 トラスタッピンネジ3種		2	3	4	5	6
							【1-12】φ5×75 ナベタッピンネジ1種		5	7	9	11	13
							【1-13】φ5×50 ナベタッピンネジ1種		6	8	10	12	14

【1】 部品箱セット (L字湿式腰壁タイプ用)

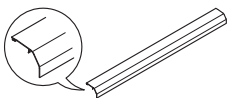
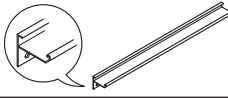
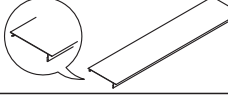
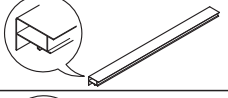
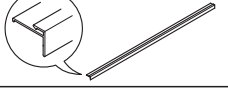
名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
見切り材固定板		2	2	2	2
内面ふさぎ材A		1	1	1	1
躯体方立キャップ		1	1	1	1
笠木コーナーキャップ補強部品		1	1	1	1
笠木エンドキャップ補強部品		2	2	2	2
水切り材連結テープ		2	2	2	3
バックアップ材		1	1	1	1
【1-1】 φ4×13ナベドリルネジ (※)		39 (3)	51 (3)	55 (3)	66 (3)
【1-5】 φ4×12トラスタッピンネジ3種		3	3	3	3
【1-10】 M8×50打ち込みアンカー (M8用座付ナット付き)		3	5	6	8
【1-14】 M6×35六角ボルト 並		2	2	2	2
【1-15】 M6六角ナット2種上		4	4	4	4

※ () 内本数については、シャイングレー：生地色、アイボリーホワイト：ホワイト色

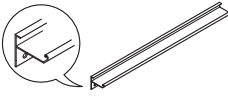
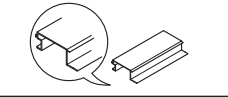
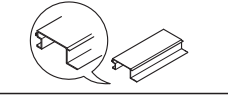
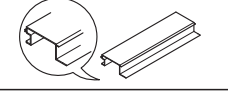
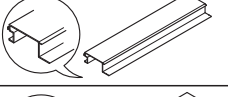
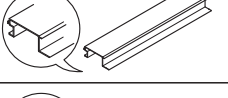
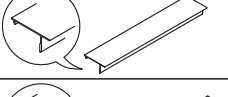
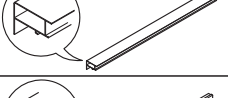
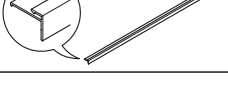
【2】 前面笠木セット (湿式腰壁-サイドスルータイプ・ガーデンルームタイプ用)

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
外笠木		1	1	1	1	1
外笠木受け		1	1	1	1	1
笠木カバー (端部用)		2	2	2	2	2
笠木カバー		2	3	4	5	6
内笠木		1	1	1	1	1
内笠木受け		1	1	1	1	1
角樋		1	1	1	1	1

【3】 前面笠木セット（湿式腰壁-屋根なし腰壁タイプ用）

名 称	略 図	員 数
外笠木		1
外笠木受け		1
笠木カバー		1
内笠木		1
内笠木受け		1

【4】 側面笠木セット（ガーデンルームタイプ用）

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
外笠木		1	1	1	1
外笠木受け		1	1	1	1
側面笠木カバーA L=224		1	1	1	1
側面笠木カバーA L=269		1	2	—	—
側面笠木カバーA L=469		1	—	2	2
側面笠木カバーA L=749		—	1	—	2
側面笠木カバーA L=949		—	—	1	—
側面笠木カバーB		1	1	1	1
内笠木		1	1	1	1
内笠木受け		1	1	1	1

【5】側面笠木セット（サイドスルータイプ用）

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
外笠木		1	1	1	1
外笠木受け		1	1	1	1
笠木カバー		1	1	1	1
内笠木		1	1	1	1
内笠木受け		1	1	1	1

【6】前面ベース材セット（湿式腰壁-サイドスルータイプ・ガーデンルームタイプ用）

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
腰壁ベース		1	1	1	1	1
腰壁ブロック水切り材		2	2	2	3	3

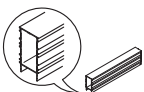
【7】前面ベース材セット（湿式腰壁-屋根なし腰壁タイプ用） 【9】側面ベース材セット（湿式腰壁-サイドスルータイプ用）（右用または左用）

名 称	略 図	員 数	名 称	略 図	員 数			
		1.0間延長			4尺	6尺	8尺	10尺
腰壁ベース材		1	腰壁ベース材		1	1	1	1
腰壁ブロック水切り材		2	腰壁ブロック水切り材		1	1	1	2

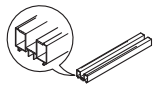
【8】側面ベース材セット（湿式腰壁-ガーデンルームタイプ用）（右用または左用） 【10】躯体方立セット

名 称	略 図	員 数				名 称	略 図	員 数
		4尺	6尺	8尺	10尺			
腰壁ベース材		1	1	1	1	躯体方立		1
腰壁ベーススリーブ 台座（側面）		2	3	3	4	躯体方立キャップ		1
セッティングブロック 10×10×70		12	16	16	20	【10-1】φ4×12トラスタッピンネジ3種		1
腰壁ブロック水切り材		1	1	1	2			

【11】側面デッキベース材セット（基本タイプ用）

名 称	略 図	員 数
側面ベース材		1

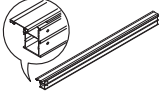
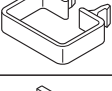
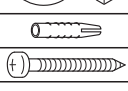
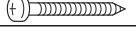
【12】躯体方立セット（延長用）

名 称	略 図	員 数
躯体方立（延長用）		1

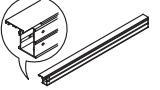
【13】ベース材束柱セット

名 称	略 図	員 数	
		1本入	3本入
ベース材束柱		1	3
束柱固定金具		2	6
【13-1】φ4×16ナベドリルネジ		6	18
【13-2】φ5×35セルフアップアンカー		3	8

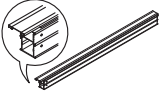
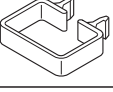
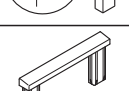
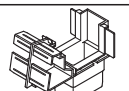
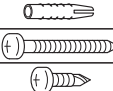
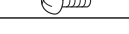
【14】端部柱セット（オープンテラス腰壁 標準・ロング腰壁（H20・22・24））（右用または左用）

名 称	略 図	員 数
端部柱		1
端部柱端部カバー		1
サドル		1
サドル受け		2
雨樋受け取付部品		1
雨樋受け部品（下排水用）		1
角横エルボ		1
角エルボ		1
角樋		1
【14-1】30 フィッシャープラグ S6		1
【14-2】φ4×60ナベタッピンネジ1種		1

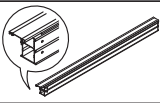
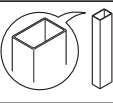
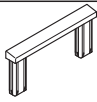
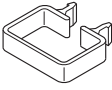
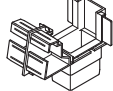
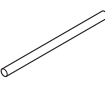
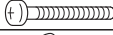
【15】中間柱セット（オープンテラス腰壁 標準・ロング腰壁（H20・22・24））

名 称	略 図	員 数	
		1本入	3本入
中間柱		1	3

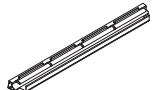
【16】連棟柱セット（腰壁タイプ（H20・22・24）用）

名 称	略 図	員 数
連棟柱		1
サドル		1
サドル受け		2
雨樋受け取付部品		1
雨樋受け部品（下排水用）		1
角横エルボ		1
角エルボ		1
角樋		1
柱キャップ		1
柱取付金具		2
連結用桁キャップ		1
【16-1】30 フィッシャープラグ S6		1
【16-2】φ4×60ナベタッピンネジ1種		1
【16-3】φ4×13ナベドリルネジ		2
【16-4】φ5×12トラスタッピンネジ3種		6
【16-5】φ5×8トラスタッピンネジ3種		2

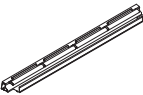
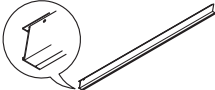
【17】連棟柱セット（腰壁-オープンテラスタイプ（標準・ロング）用）

名 称	略 図	員 数	名 称	略 図	員 数
連棟柱		1	角樋		1
端部柱スリーブ		1	柱キャップ		1
サドル		1	柱取付金具		2
サドル受け		2	連結用桁キャップ		1
雨樋受け取付部品		1	アンカー棒		1
雨樋受け部品（下排水用）		1	【17-1】 30 フィッシャープラグ S6		1
			【17-2】 φ4×60ナベタッピンネジ1種		1
			【17-3】 φ4×13ナベドリルネジ		10
角横エルボ		1	【17-4】 φ4×75ナベタッピンネジ1種		2
			【17-5】 φ5×12トラスタッピンネジ3種		6
			【17-6】 φ5×8トラスタッピンネジ3種		2
角エルボ		1			

【18】桁垂木掛けセット（600・1500タイプ）

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1	1
垂木掛け（下用）		1	1	1	1	1
垂木掛け（上用）		1	1	1	1	1
ネジ隠しフタ		2	3	4	5	6
グレチャン		2	3	4	5	6

【19】 桁垂木掛けセット (3000タイプ)

名 称	略 図	員 数				
		1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
桁		1	1	1	1	1
垂木掛け (下用)		1	1	1	1	1
垂木掛け (上用)		1	1	1	1	1
ネジ隠しフタ		2	3	4	5	6
グレチャン		4	6	8	10	12

【20】 垂木掛けカバーセット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
垂木掛けカバー		2	3

【21】 垂木掛けカバーセット (3000タイプ)

名 称	略 図	員 数	
		4本入	6本入
垂木掛けカバー		4	6

【22】 桁カバー枠セット

名 称	略 図	員 数
桁カバー枠		1

【23】 妻垂木セット

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
妻垂木		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
妻垂木カバー		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
中骨		—	1	1	2
雪下ろし指示シール		1	1	1	1

【24】垂木セット

名 称	略 図	員 数							
		1本入				3本入			
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺	10尺
垂木		1	1	1	1	3	3	3	3
垂木カバー		1	1	1	1	3	3	3	3
中骨		—	1	1	2	—	3	3	6

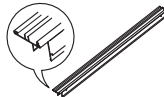
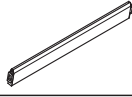
【25】サブ垂木セット

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1
垂木カバー		1	1	1
サブ垂木化粧材		1	1	1
中骨		1	2	3
垂木フタ		4	6	8

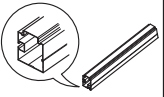
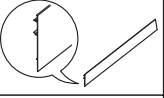
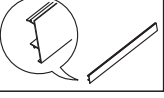
【26】積雪用垂木セット（1500タイプ・3000タイプ）

名 称	略 図	員 数					
		1本入			3本入		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
垂木		1	1	1	3	3	3
垂木カバー		1	1	1	3	3	3
中骨		1	2	3	3	6	9

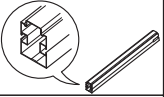
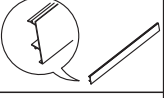
【27】 積雪用妻垂木セット (1500タイプ・3000タイプ)

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
妻垂木		左右各1	左右各1	左右各1
妻垂木カバー		左右各1	左右各1	左右各1
中骨		1	2	3
雪下ろし指示シール		1	1	1

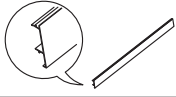
【28】 妻垂木化粧材セット

名 称	略 図	員 数						
		600タイプ				1500・3000タイプ		
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺
妻垂木化粧材		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
妻垂木フタ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
垂木フタ		2	4	4	6	4	6	8

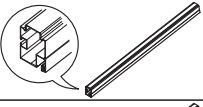
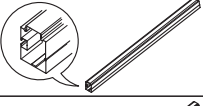
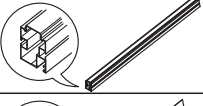
【29】 垂木化粧材セット (600タイプ)

名 称	略 図	員 数							
		1本入				3本入			
		4尺	6尺	8尺	10尺	4尺	6尺	8尺	10尺
垂木化粧材		1	1	1	1	3	3	3	3
垂木フタ		2	4	4	6	6	12	12	18
垂木化粧材キャップ		1	1	1	1	3	3	3	3

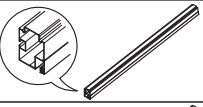
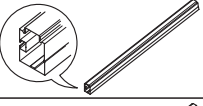
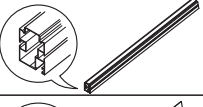
【30】 垂木化粧材セット (1500タイプ・3000タイプ)

名 称	略 図	員 数					
		1本入			3本入		
		4尺	6尺	8尺	4尺	6尺	8尺
垂木化粧材		1	1	1	3	3	3
垂木フタ		4	6	8	12	18	24
垂木化粧材キャップ		1	1	1	3	3	3

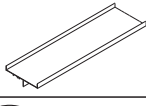
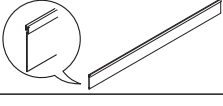
【31】妻垂木化粧材セット（600プラスタイプ用）（右入または左入）

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
妻垂木化粧材		1 右または左	1 右または左	1 右または左	1 右または左
妻垂木化粧材（テラスタイプ用）		1 左または右	1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木化粧材（プラスタイプ用）		1 左または右	1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木フタ		左右各1	左右各1	左右各1	左右各1
垂木フタ		4	8	8	12

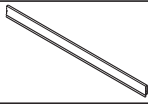
【32】妻垂木化粧材セット（1500・3000-プラスタイプ用）（右入または左入）

名 称	略 図	員 数		
		4尺	6尺	8尺
妻垂木化粧材		1 右または左	1 右または左	1 右または左
妻垂木化粧材（テラスタイプ用）		1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木化粧材（プラスタイプ用）		1 左または右	1 左または右	1 左または右
妻垂木フタ		左右各1	左右各1	左右各1
垂木フタ		8	12	16

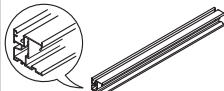
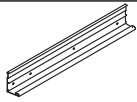
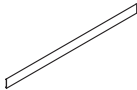
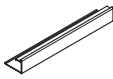
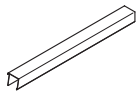
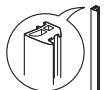
【33】躯体見切り材セット（湿式腰壁タイプ用）

名 称	略 図	員 数
見切り材		1
見切り材カバー		1

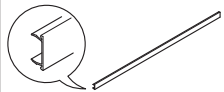
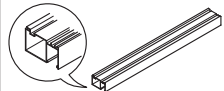
【34】土間見切り材セット

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
土間見切り材		1	1	1	1
【34-1】φ4×16ナベドリルネジ		5	7	9	12

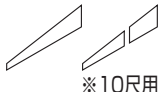
【35】 妻梁セット（右用または左用）

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
妻梁		1	1	1	1
妻梁上部FIX方立		—	—	—	1
妻梁上部FIX枠（躯体側）		1	1	1	1
妻梁上部FIX枠（桁側）		1	1	1	1
妻梁カバー		1	1	1	1
妻梁上部FIX方立カバー		—	—	—	1
妻梁上部FIX枠押縁（躯体側）		1	1	1	1
妻梁上部FIX枠押縁（桁側）		1	1	1	1
後付けビード材		1	1	1	2
妻梁取付金具		2	2	2	2
妻梁上部FIX取付金具		—	—	—	2
セッティングブロック（H10）		4	4	4	4
【35-1】 $\phi 5 \times 12$ トラスタッピンネジ3種		8	8	8	8
【35-2】 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジ		5	6	7	17

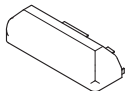
【36】 妻梁フタセット

名 称	略 図	員 数			
		4尺	6尺	8尺	10尺
ネジ隠しフタ		1	1	1	1
妻梁下フタ		1	1	1	1
【36-1】 $\phi 4 \times 16$ ナベドリルネジ		5	6	7	8

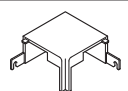
【37】 妻梁上部FIXパネル（右用または左用）

名 称	略 図	員 数
妻梁上部FIXパネル	 ※10尺用	1

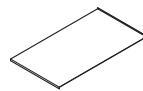
【38】 腰壁前面笠木キャップセット（右用または左用）

名 称	略 図	員 数
笠木端部キャップ		1

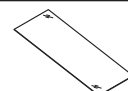
【39】 腰壁側面笠木キャップセット（右用または左用）

名 称	略 図	員 数
外笠木エンドキャップ		1
内笠木エンドキャップ		1
外笠木コーナーキャップ		1
内笠木コーナーキャップ		1

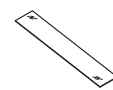
【40】 腰壁延長部品セット（横延長用）

名 称	略 図	員 数
間柱スリーブ		3
水切り材連結テープ		2
【40-1】 M8×50打ち込みアンカー （M8用座付ナット付き）		4
【40-2】 φ4×25ナベタッピンネジ2種 G=5		8
【40-3】 φ4×13ナベドリルネジ		44
【40-4】 30 フィッシャープラグ S6		5
【40-5】 φ4×30ナベタッピンネジ1種		5
【40-6】 φ4×25サドリルネジ		39
【40-7】 φ4×75ナベタッピンネジ1種		6
【40-8】 φ4.1×63丸木ネジ		5
【40-9】 φ4×19ナベドリルネジ		5

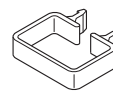
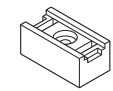
【41】 屋根材セット

名 称	略 図	員 数	
		2枚入	3枚入
屋根材		2	3

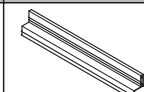
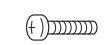
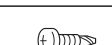
【42】 屋根材セット（3000）

名 称	略 図	員 数	
		4枚入	6枚入
屋根材積雪用		4	6

【43】 角樋セット

名 称	略 図	員 数
サドル		2
サドル受け		2
角エルボ		1
角樋		1

【44】 引戸用土間見切り材セット

名 称	略 図	員 数		
		6尺	8尺	10尺
土間見切り材 引戸用		1	1	1
土間見切り材 柱側（※）		1	1	1
土間見切り材 躯体側		1	1	1
土間見切り材小口キャップ（引戸用）		2	2	2
【44-1】 φ4×25ナベ タッピンネジ2種		5	5	5
【44-2】 φ4×16 ナベドリルネジ		11	14	16

（※）腰壁仕様時は使用しません。

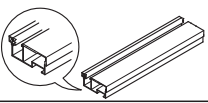
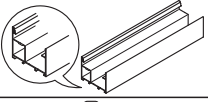
【45】 前面FIXパネル縦枠セット（腰壁用）

名 称	略 図	員 数
柱カバー		2
後付けビード材		1

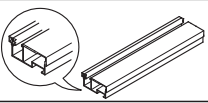
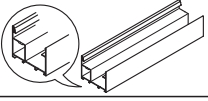
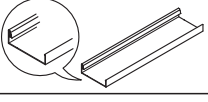
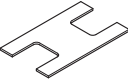
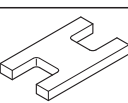
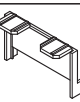
【46】 前面FIXパネル上段セット（ポリカーボネート板）

名 称	略 図	員 数
前面FIXパネル 上段		1

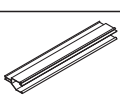
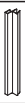
【47】 柱側FIX縦枠セット（L字腰壁）

名 称	略 図	員 数
調整縦枠 腰壁タイプ		1
調整縦枠受けA L字腰壁タイプ		1
【47-1】 φ4×16ナベドリルネジ		6

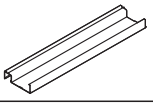
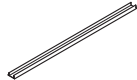
【48】 柱側FIX縦枠セット（腰壁）

名 称	略 図	員 数
調整縦枠 基本タイプ		1
調整縦枠受けA 前面腰壁タイプ		1
調整縦枠受けB 腰壁タイプ		1
調整縦枠スペーサー（1mm）		10
調整縦枠スペーサー（5mm）		2
調整縦枠連結部品		1
【48-1】 30フィッシャープラグ S6		4
【48-2】 φ4.1×45丸木ネジ		4
【48-3】 φ4×16ナベドリルネジ		6
【48-4】 φ4×40ナベドリルネジ		4

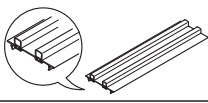
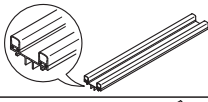
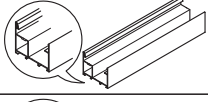
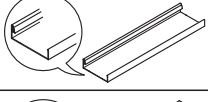
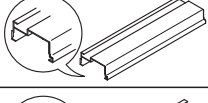
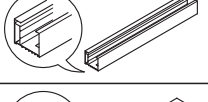
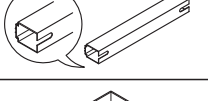
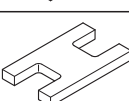
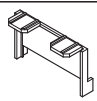
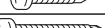
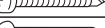
【49】 前面上げ下げ窓セット

名 称	略 図	員 数
上げ下げ窓		1
ネジ隠しフタ		1
上げ下げ窓上枠カバー		1
正面開口受け縦枠		2
【50-1】 φ4×40サラドリルネジ		8
【50-2】 φ4×35ナベドリルネジ		3

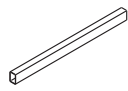
【50】 前面横枠セット（サイドスルータイプ・ガーデンルームタイプ用）

名 称	略 図	員 数
パネル上枠		1
ネジ隠しフタ		1

【51】 折戸用縦枠セット（腰壁用共通）

名 称	略 図	員 数
折戸用縦枠戸当部材		1
調整FIX縦枠戸当部材		1
調整縦枠受けA		1
調整縦枠受けB		1
折戸用縦枠B		1
調整FIX受け		1
調整FIX調整縦枠		1
調整FIX調整材キャップ		2
調整縦枠スペーサー（1mm）		10
調整縦枠スペーサー（5mm）		2
調整縦枠連結部品		1
調整FIX受けキャップ		1
【51-1】 30フィッシャープラグ S6		4
【51-2】 φ4×10サラタッピンネジ1種		1
【51-3】 φ4×16ナベドリルネジ		21
【51-4】 φ4×25ナベドリルネジ		2
【51-5】 φ4×40ナベドリルネジ		4
【51-6】 φ4.1×45丸木ネジ		4

【52】 端部柱セット オープンテラス（標準・ロング）1本入

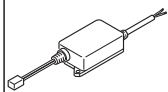
名 称	略 図	員 数
端部柱		1
端部柱端部カバー		1
雨樋受け取付部品		1
雨樋受け部品（下排水用）		1
雨樋受け部品（前排水用）		1
角横エルボ		1
角樋		1

【53】 前面テラス縦枠セット（プラス用）

名 称	略 図	員 数
柱カバー		2

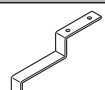
【54】 ACアダプターセット

オプション

名 称	略 図	員 数
ACアダプター		1

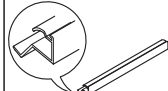
【55】 ACアダプター固定部品セット

オプション

名 称	略 図	員 数
ACアダプター固定部品		1
【55-1】 $\phi 4 \times 12$ トラスタッピングネジ3種		2

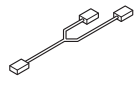
【56】 妻垂木化粧材溝カバーセット

オプション

名 称	略 図	員 数
妻垂木化粧材溝カバー		1

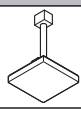
【57】 渡り配線セット

オプション

名 称	略 図	員 数
渡り配線ケーブル		1

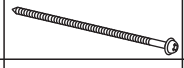
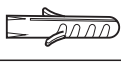
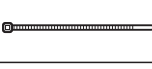
【58】 LEDスクエアライトセット

オプション

名 称	略 図	員 数
LED照明		1

【59】 トランス電源ユニット35W 屋外用

オプション

名 称	略 図	員 数
トランス電源ユニット35W（屋外用）本体		1
【59-1】 $\phi 4 \times 50$ 十字穴付フランジ付タッピングネジ		2（※）
【59-2】 フィッシャープラグ 呼び径30		2（※）
【59-3】 スペーサー		1（※）
【59-4】 結束バンド		2（※）
取付説明書<Z546>	—	1
取扱説明書<UZ278>	—	1

※トランス電源ユニットのカバー内に同梱しています。

4

梱包明細表

5 基本寸法

1. ガーデンルームタイプ

1-1 前面腰壁仕様（単体）

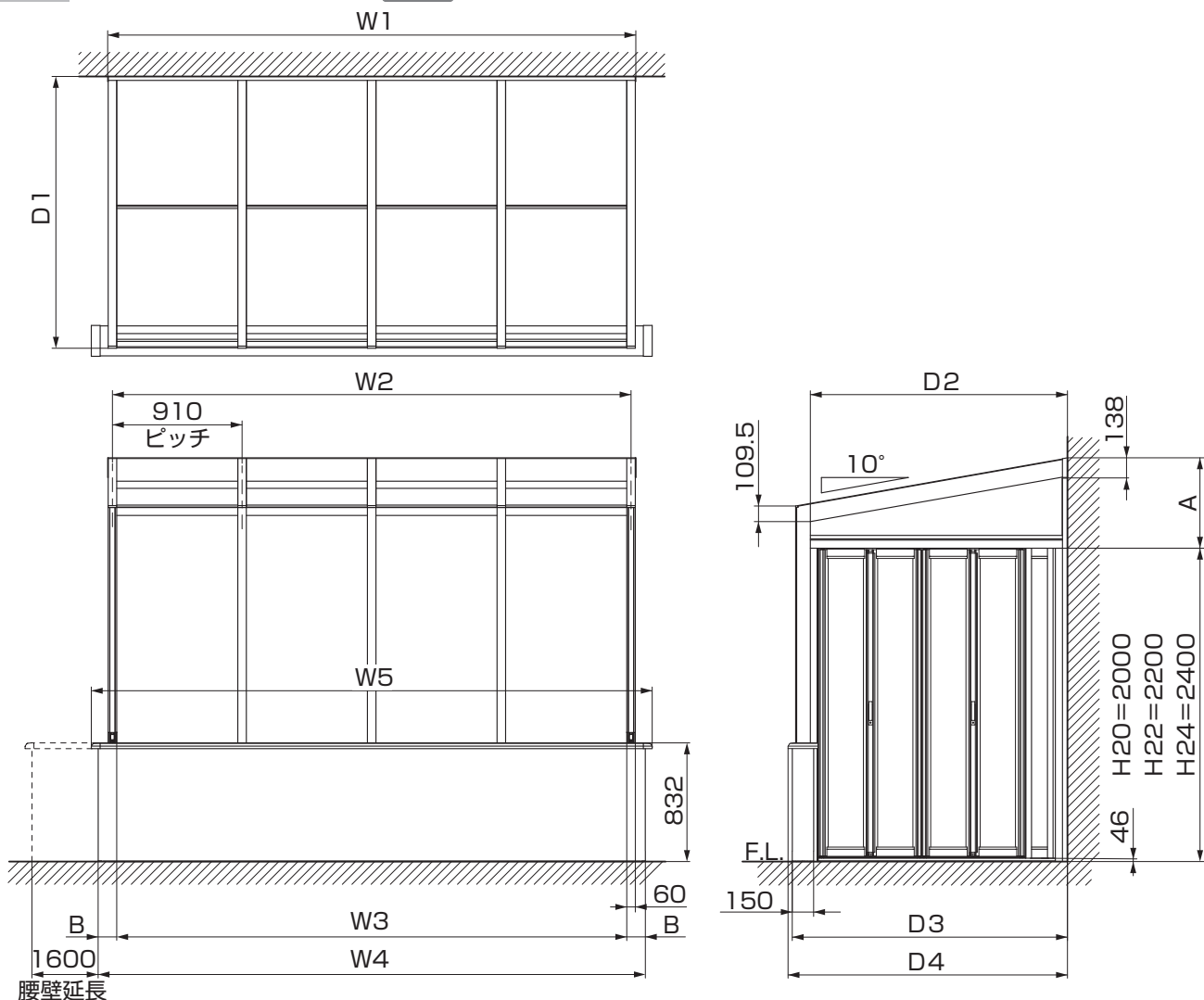


表1-1 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (※)	W5 笠木外寸	B 腰壁ブロック はね出し寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	2400	2457	320	2	
1.5間	2797	2730	2670	3200	3257	265	3	
2.0間	3707	3640	3580	4000	4057	210	4	
2.5間	4617	4550	4490	4800	4857	155	5	
3.0間	5527	5460	5400	6000	6057	300	6	

表1-2 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (※)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	529
6尺	1908	1805	1932	1962	635
8尺	2508	2405	2532	2562	741
10尺	3108	3005	3132	3162	846

※腰壁ブロック+目地仕上げの寸法です。

1-2 前面腰壁仕様（連棟）

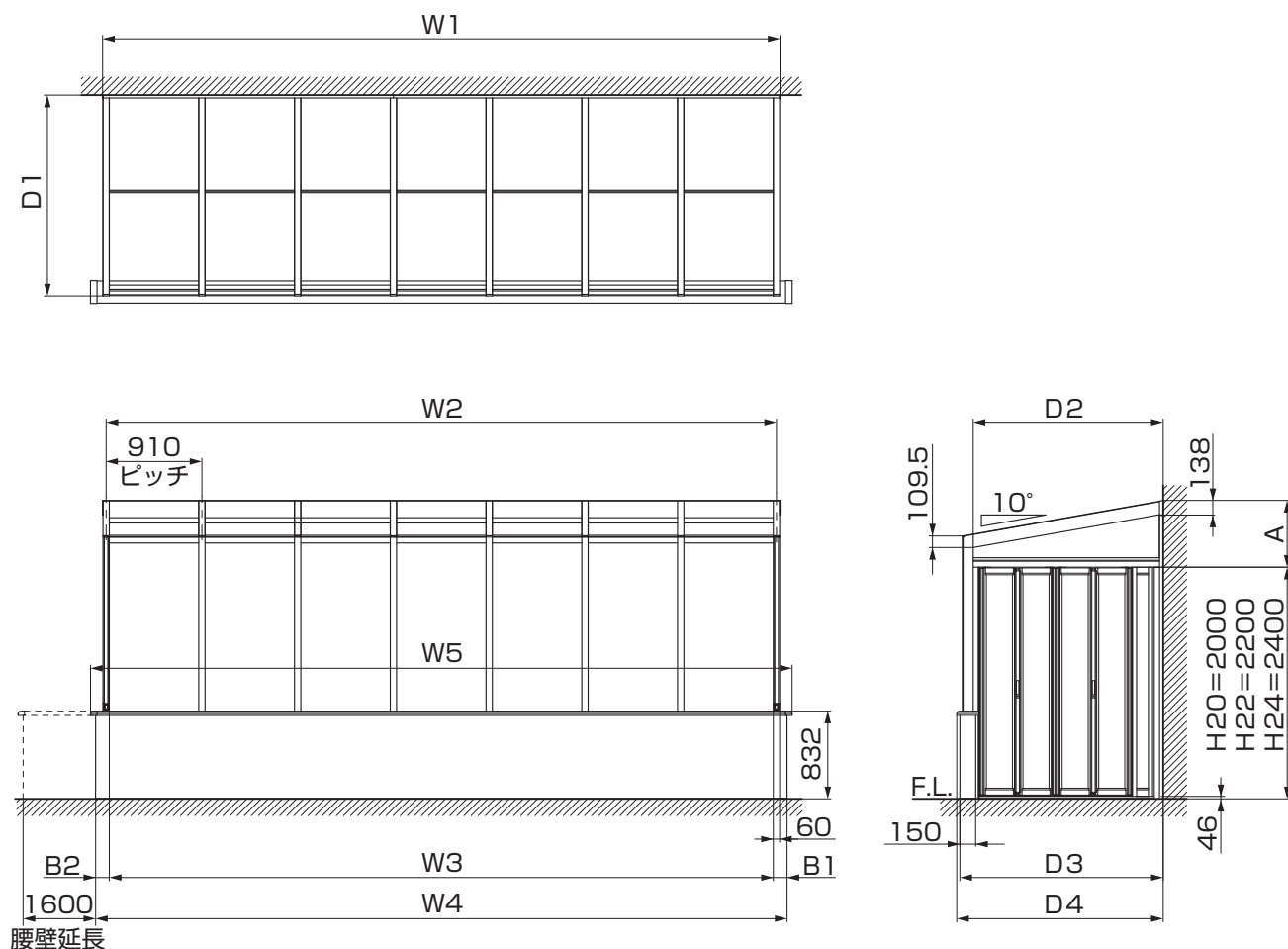


表1-3 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (※)	W5 笠木外寸	B1 腰壁ブロックはね出し寸 (基本側)	B2 腰壁ブロックはね出し寸 (連棟側)	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	6600	6657	145	145	7	
4.0間	7347	7280	7220	7600	7657	155	225	8	
4.5間	8257	8190	8130	8600	8657	300	170	9	
5.0間	9167	9100	9040	9400	9457	210	150	10	
5.5間	10077	10010	9950	10400	10457	300	150	11	
6.0間	10987	10920	10860	11400	11457	300	240	12	

表1-4 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (※)	D4 躯体～笠木外寸	A
4R	1308	1205	1332	1362	529
6R	1908	1805	1932	1962	635
8R	2508	2405	2532	2562	741
10R	3108	3005	3132	3162	846

※腰壁ブロック+目地仕上げの寸法です。

2. サイドスルータイプ

2-1 前面腰壁仕様（単体）

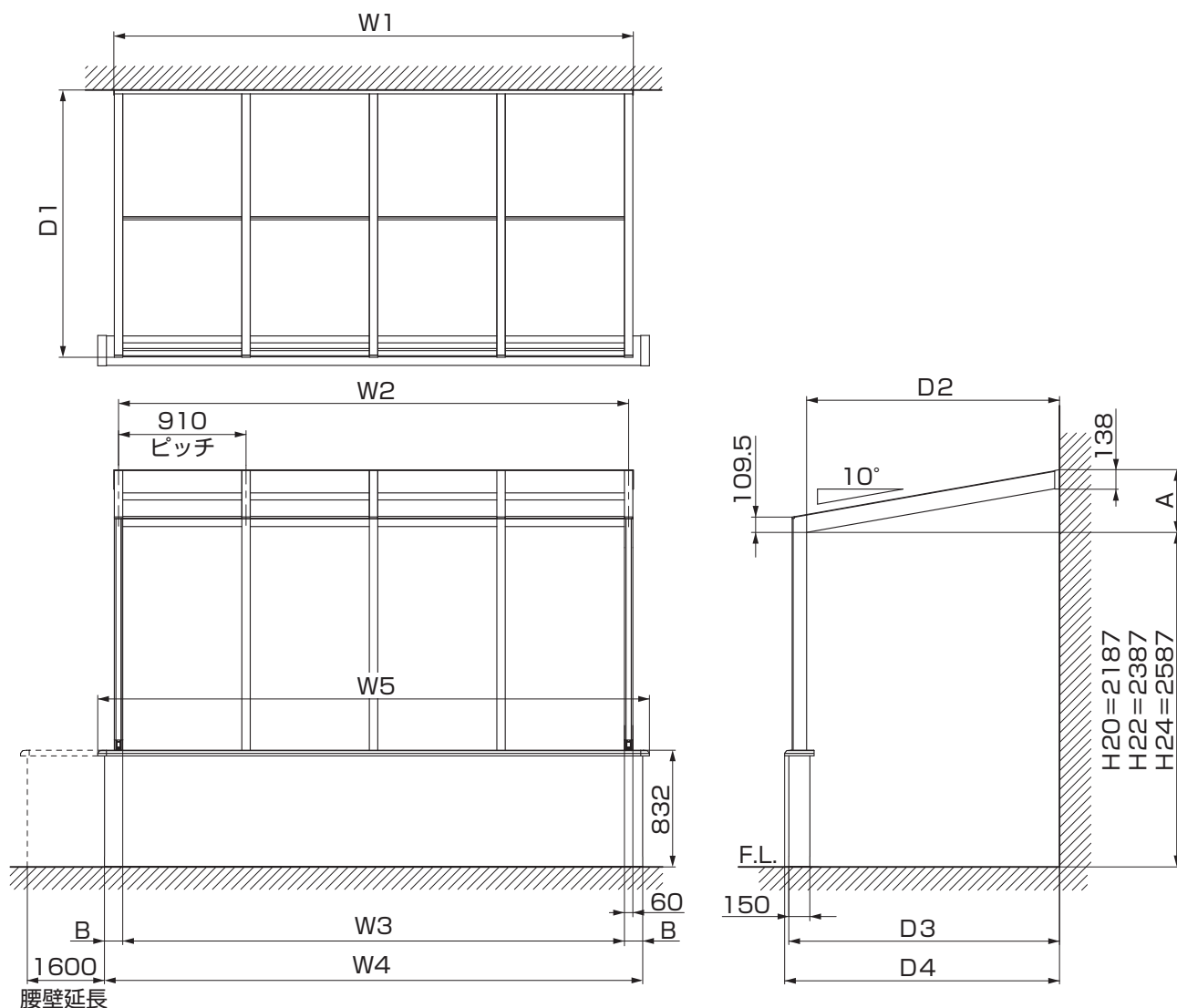


表2-1 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (※)	W5 笠木外寸	B 腰壁ブロック はね出し寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	2400	2457	320	2	
1.5間	2797	2730	2670	3200	3257	265	3	
2.0間	3707	3640	3580	4000	4057	210	4	
2.5間	4617	4550	4490	4800	4857	155	5	
3.0間	5527	5460	5400	6000	6057	300	6	

表2-2 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (※)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	342
6尺	1908	1805	1932	1962	448
8尺	2508	2405	2532	2562	554
10尺	3108	3005	3132	3162	659

※腰壁ブロック+目地仕上げの寸法です。

2-2 前面腰壁仕様（連棟）

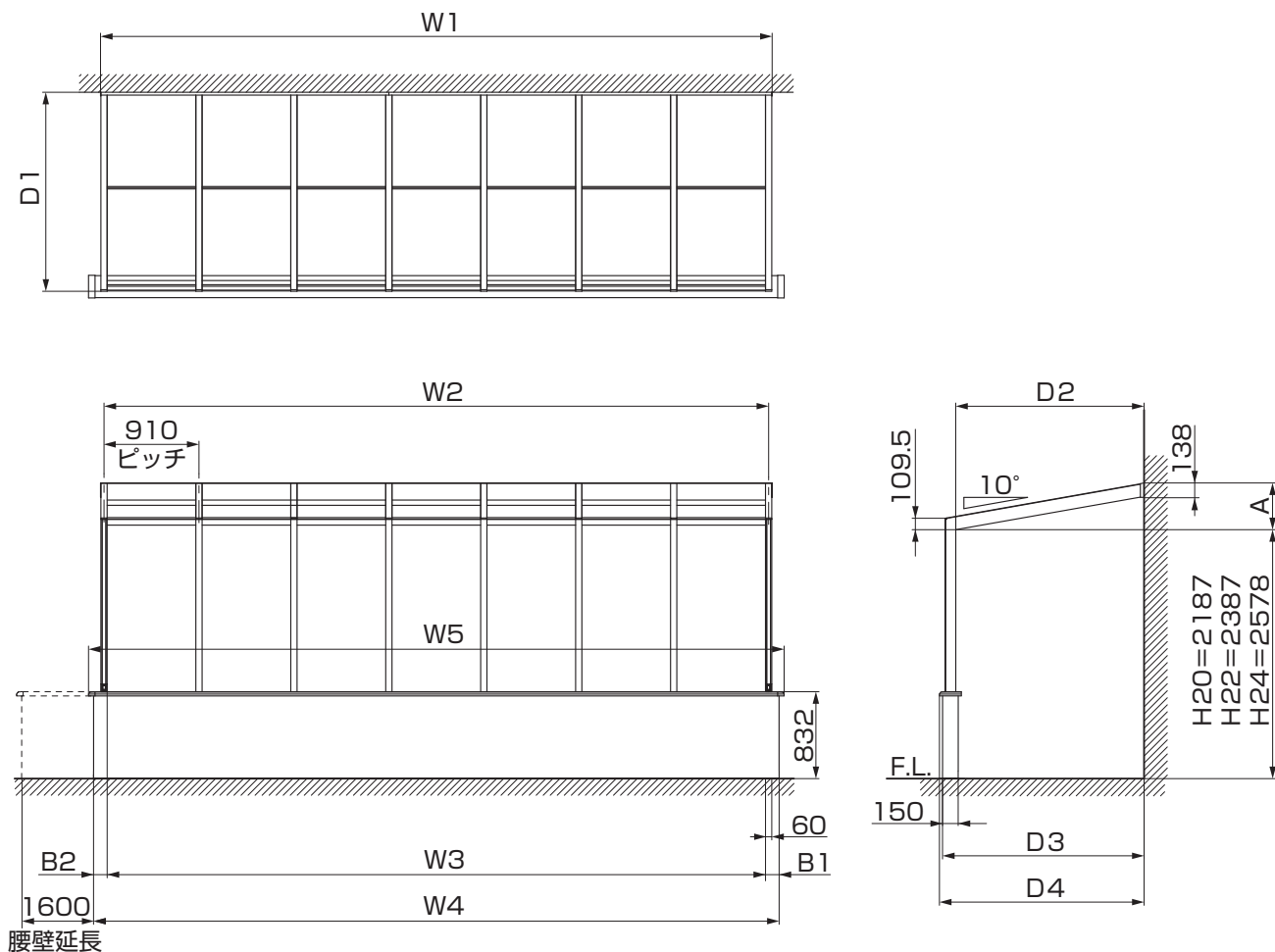


表2-3 間口寸法

間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (※)	W5 笠木外寸	B1 腰壁ブロックはね出し寸 (基本側)	B2 腰壁ブロックはね出し寸 (連棟側)	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	6600	6657	145	145	7	
4.0間	7347	7280	7220	7600	7657	155	225	8	
4.5間	8257	8190	8130	8600	8657	300	170	9	
5.0間	9167	9100	9040	9400	9457	210	150	10	
5.5間	10077	10010	9950	10400	10457	300	150	11	
6.0間	10987	10920	10860	11400	11457	300	240	12	

表2-4 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (※)	D4 躯体～笠木外寸	A
4R	1308	1205	1332	1362	342
6R	1908	1805	1932	1962	448
8R	2508	2405	2532	2562	554
10R	3108	3005	3132	3162	659

※腰壁ブロック+目地仕上げの寸法です。

3. L字腰壁タイプ

3-1 単体仕様

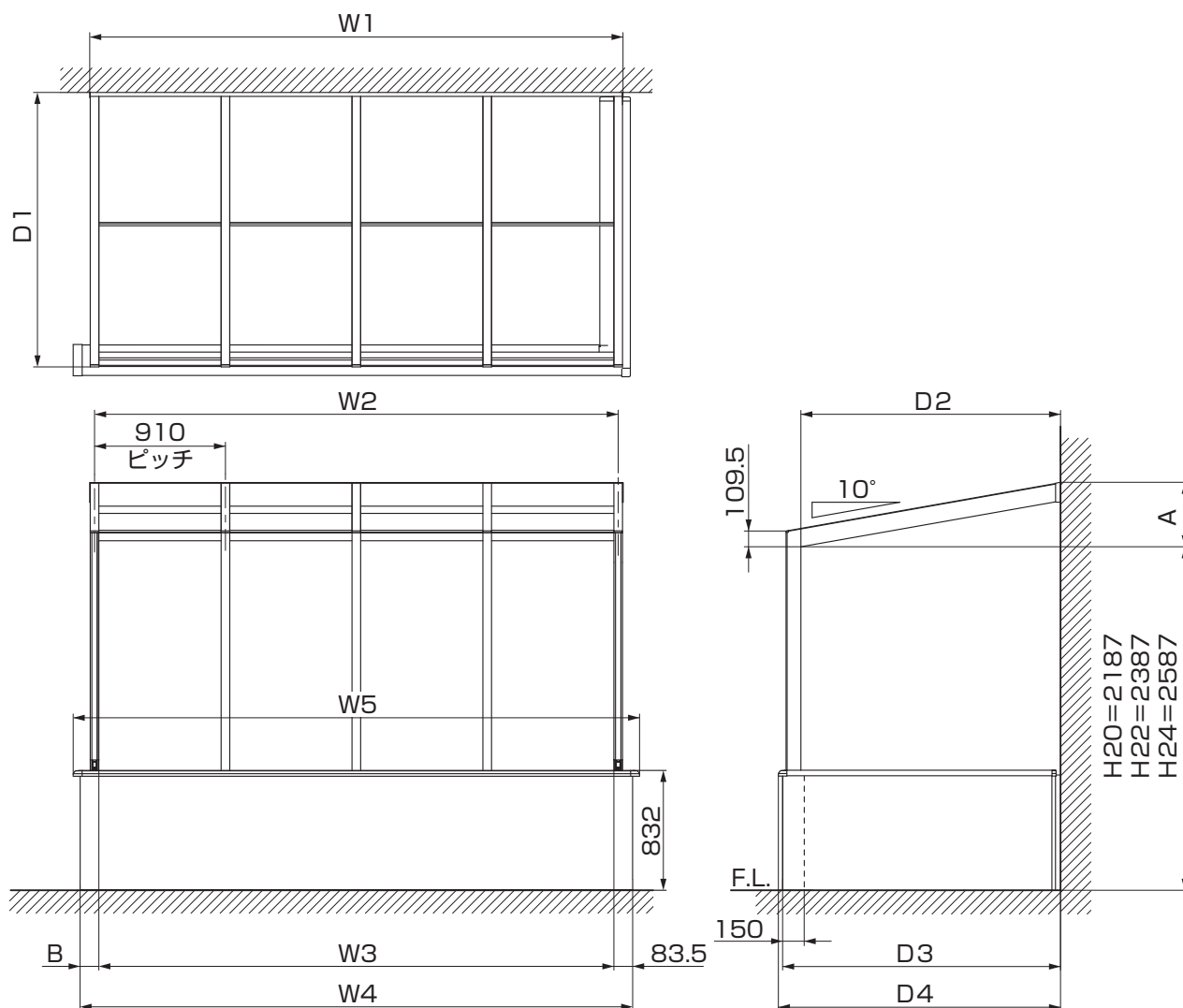


表3-1 間口寸法

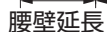
間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (※)	W5 笠木外寸	B 腰壁ブロック はね出し寸	正面部 パネル枚数	屋根材 枚数
1.0間	1887	1820	1760	2000	2059	156	2	
1.5間	2797	2730	2670	3000	3059	246	3	
2.0間	3707	3640	3580	3800	3859	136	4	
2.5間	4617	4550	4490	4700	4759	126	5	
3.0間	5527	5460	5400	5700	5759	216	6	

表3-2 出幅寸法

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (※)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	342
6尺	1908	1805	1932	1962	448
8尺	2508	2405	2532	2562	554
10尺	3108	3005	3132	3162	659

※腰壁ブロック+目地仕上げの寸法です。

5 基本寸法



間口	W1 垂木掛け外寸	W2 端部柱芯々	W3 端部柱内寸	W4 腰壁外寸 (※)	W5 笠木外寸	B 腰壁ブロック はね出し寸	屋根材 枚数
3.5間	6437	6370	6310	6600	6659	206	7
4.0間	7347	7280	7220	7500	7559	196	8
4.5間	8257	8190	8130	8400	8459	186	9
5.0間	9167	9100	9040	9300	9359	176	10
5.5間	10077	10010	9950	10200	10259	166	11
6.0間	10987	10920	10860	11200	11259	256	12

出幅	D1 躯体～柱外寸	D2 躯体～柱内寸	D3 躯体～腰壁外寸 (※)	D4 躯体～笠木外寸	A
4尺	1308	1205	1332	1362	342
6尺	1908	1805	1932	1962	448
8尺	2508	2405	2532	2562	554
10尺	3108	3005	3132	3162	659

E416 201602B

6 断面納まり図

1. ガーデングルームタイプ

1-1 間口断面納まり図

●L字腰壁仕様の場合

●基本仕様の場合

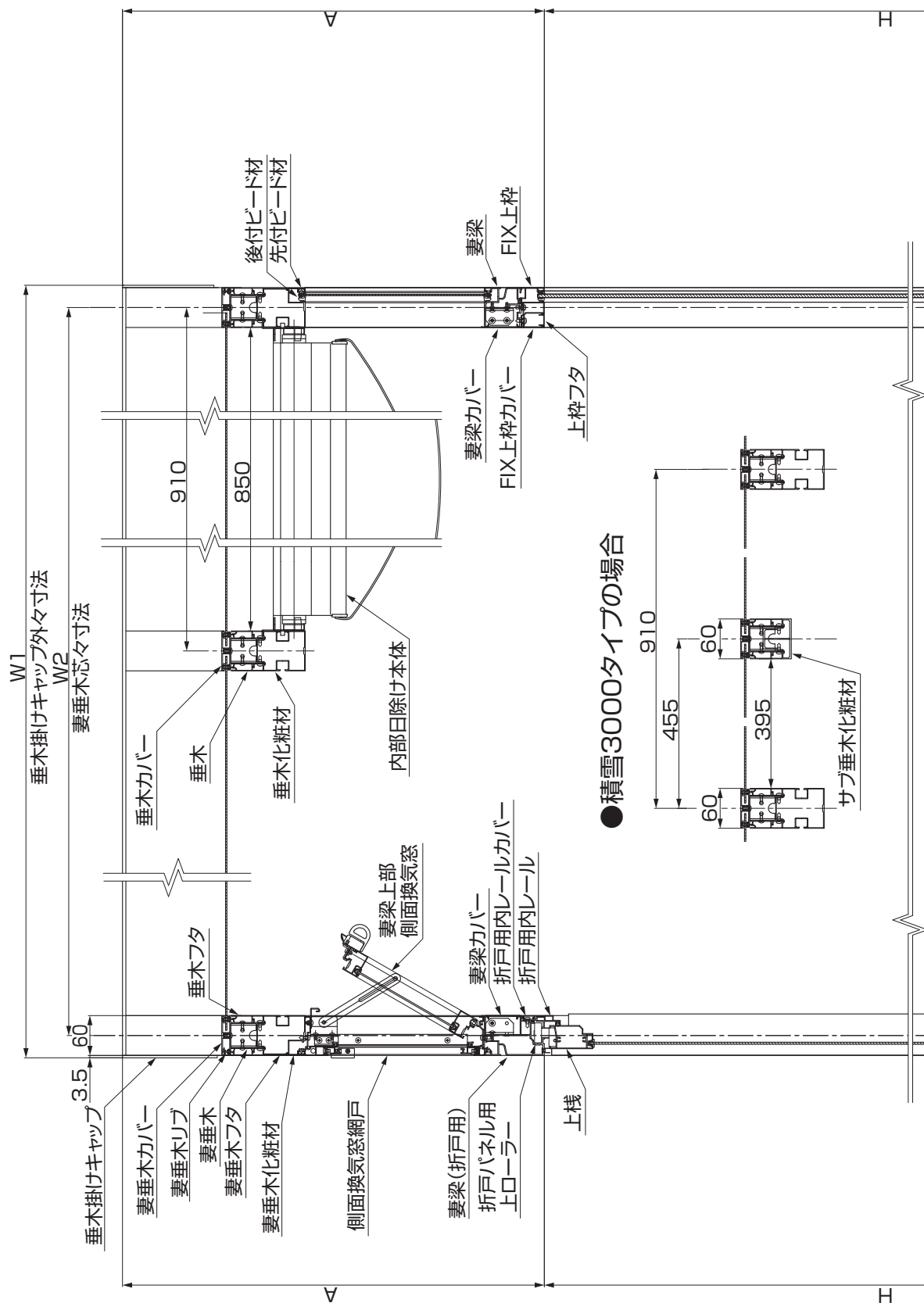




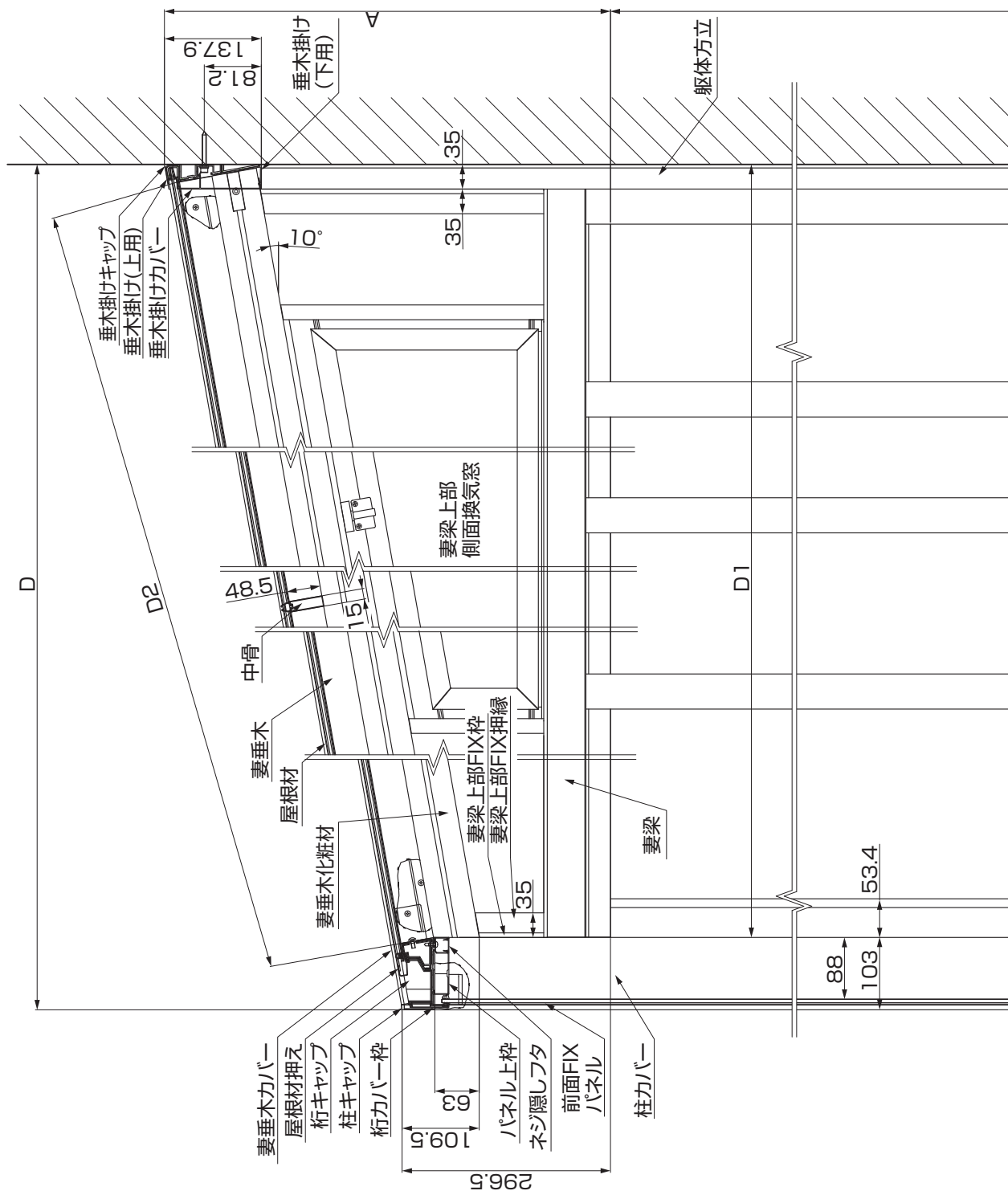
表 1-3

出幅		4尺	6尺	8尺	10尺
高寸法	A	529	635	741	846

1. (つづき)

1-2 出幅断面納まり図

●土間仕様の場合



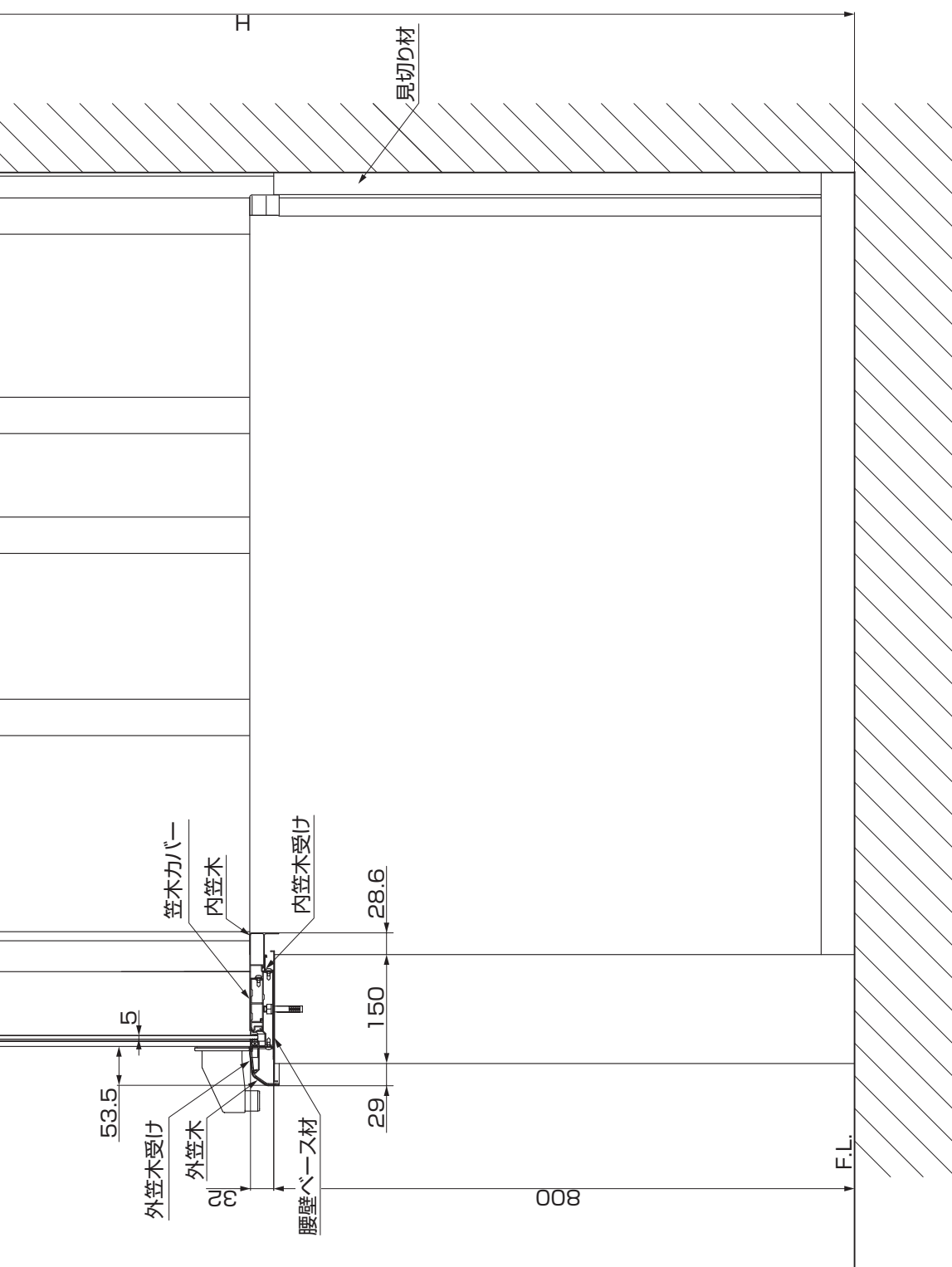


表1-4

高さ呼称	H
H20	2000
H22	2200
H24	2400

表1-5

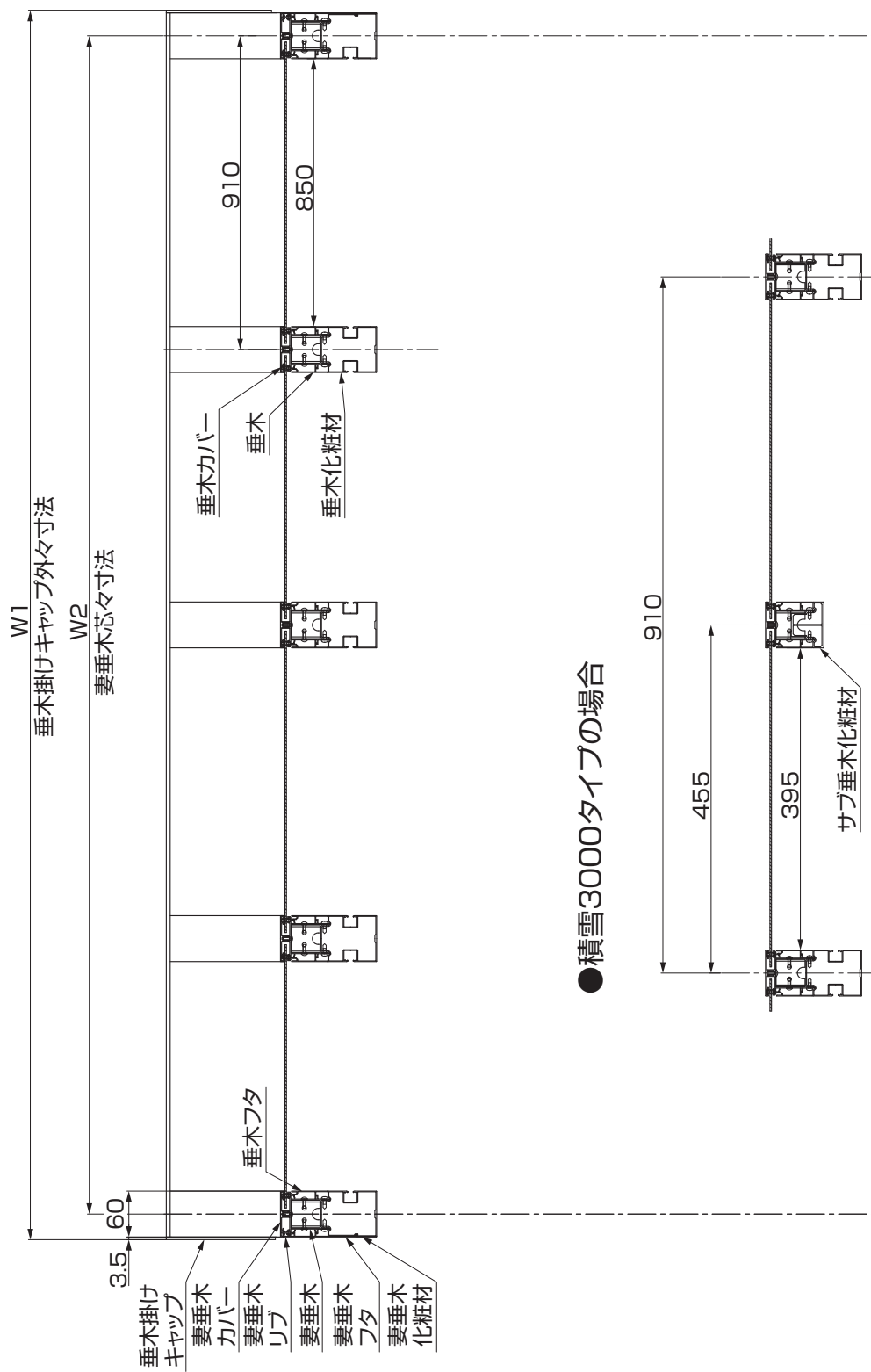
間口	出幅寸法			
	D	D1	D2	
4尺	1308	1205	1207.5	
6尺	1908	1805	1816.5	
8尺	2508	2405	2426	
10尺	3108	3005	3035	

表1-6

高さ寸法	出幅			
	A	4尺	6尺	8尺
10尺	846	741	635	529

2. サイドスルータイプ

2-1 開口断面納まり図



●積雪3000タイプの場合

●L字腰壁仕様の場合

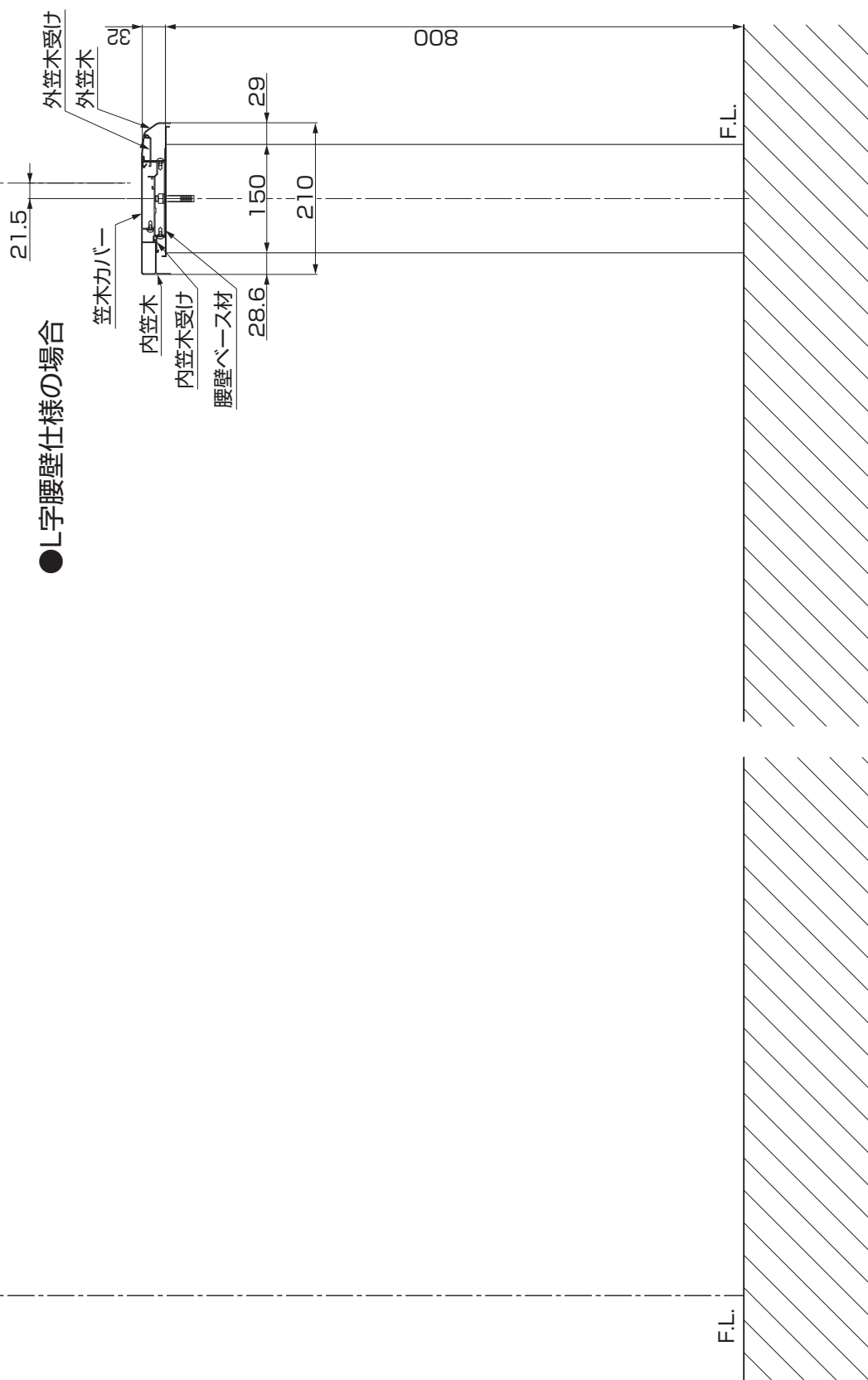


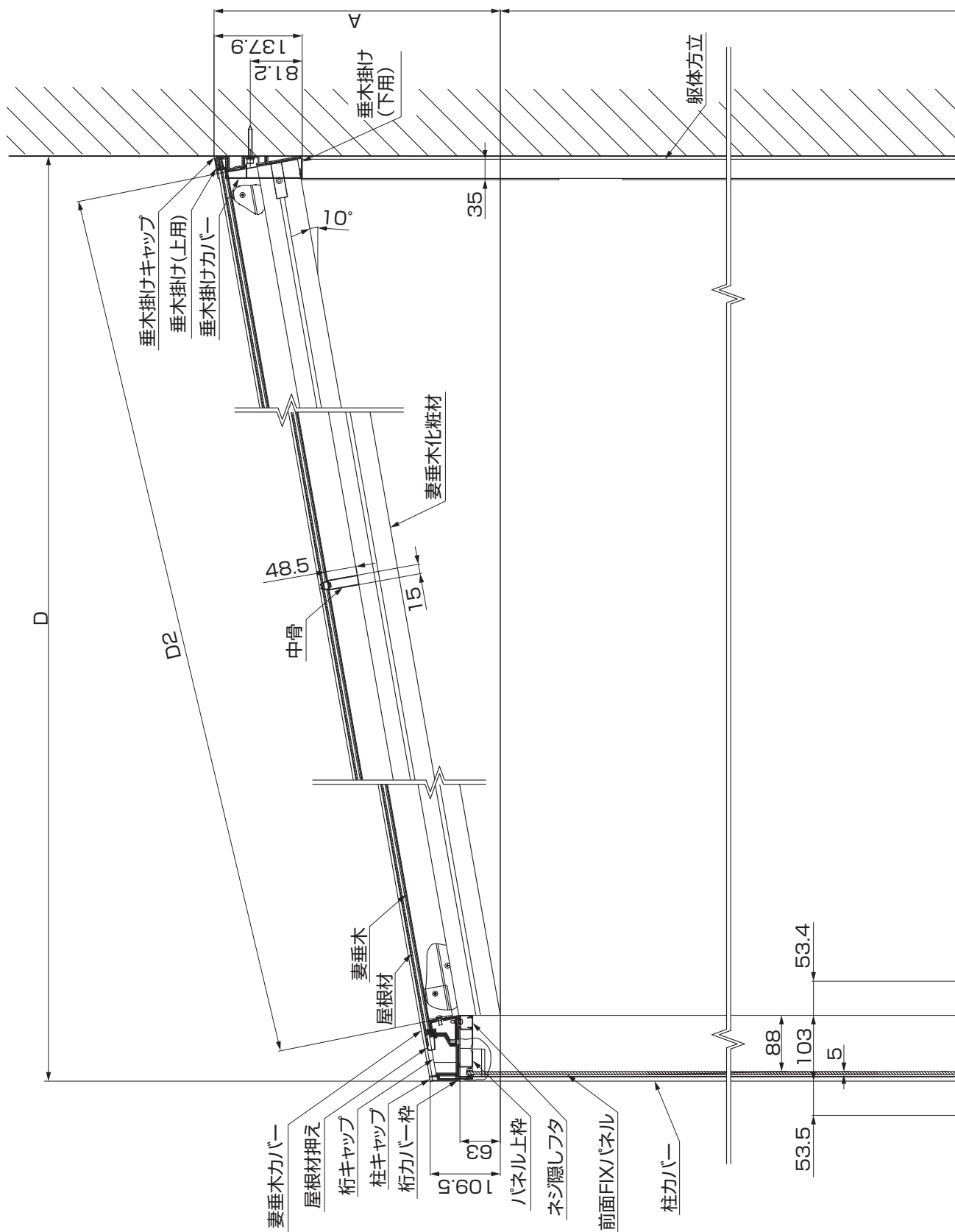
表2-1

間口寸法 間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
	1887	2797	3707	4617	5527
W1	1820	2730	3640	4550	5460
W2					

2. (つづき)

2-2 出幅断面納まり図

●L字腰壁仕様の場合



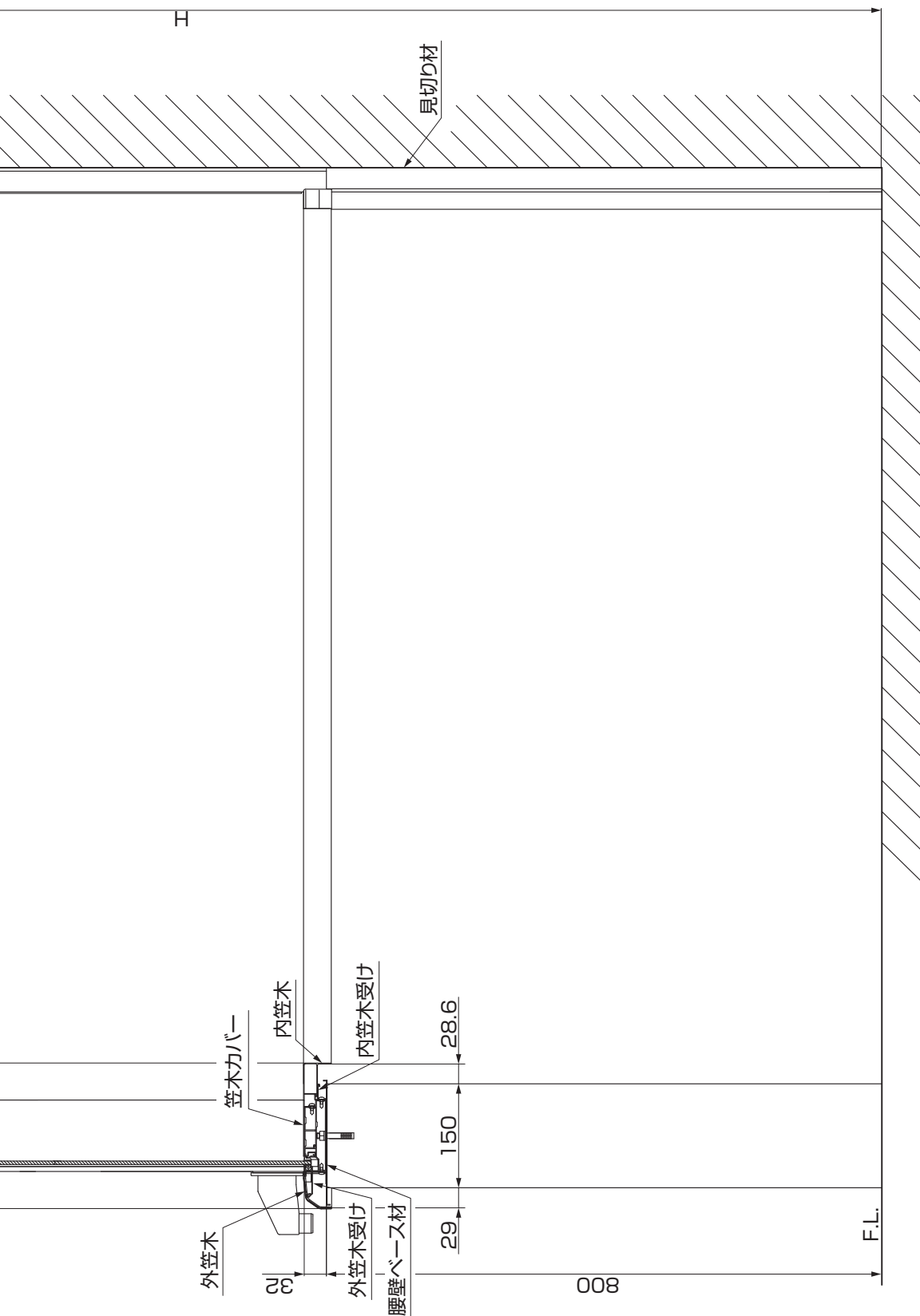


表2-2

高さ呼称	H
H20	2187
H22	2387
H24	2587

表2-3

高さ寸法	出幅			
	A	4尺	6尺	8尺
A	342	448	554	659

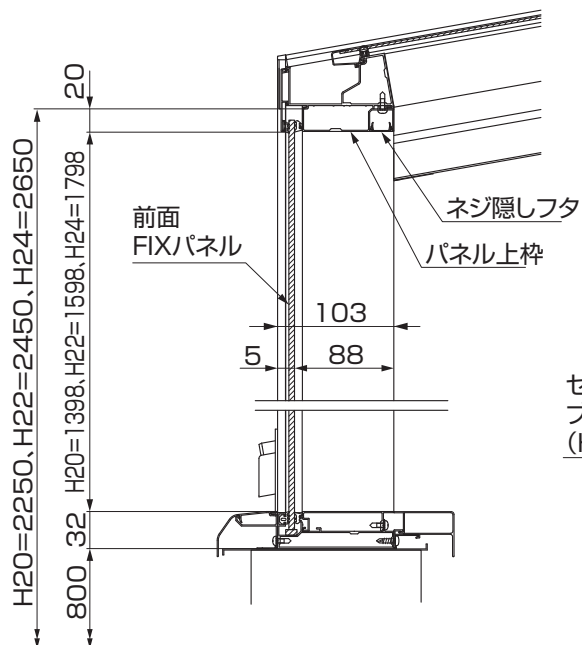
表2-4

出幅寸法	間口				
	D	D1	D2	4尺	6尺
D	1308	1908	2508	3108	3708
D1	1205	1805	2405	3005	3605
D2	1207.5	1816.5	2426	3035	3635

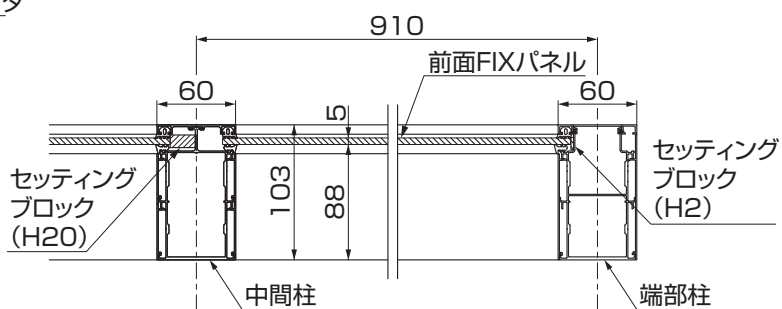
7 開口部納まり図

1. 前面腰壁FIXパネル

1-1 縦断面図

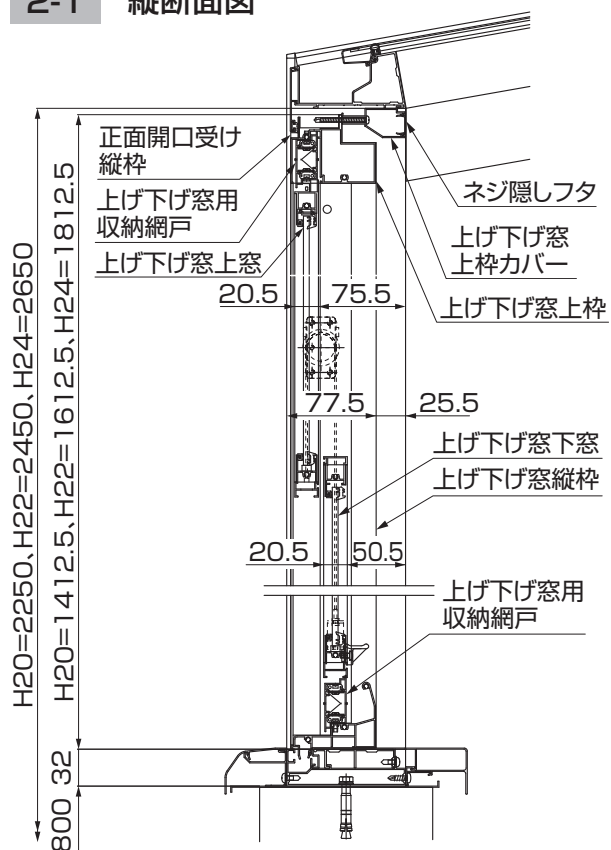


1-2 横断面図

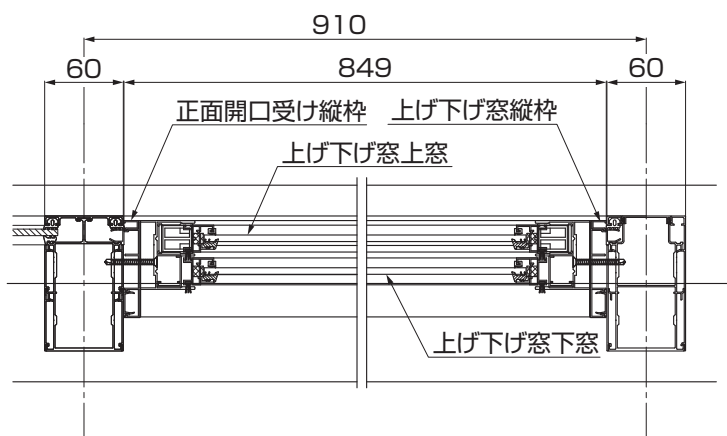


2. 上げ下げ窓

2-1 縦断面図



2-2 横断面図



8 柱の位置出し

1. 単体仕様



図1-1 前面腰壁

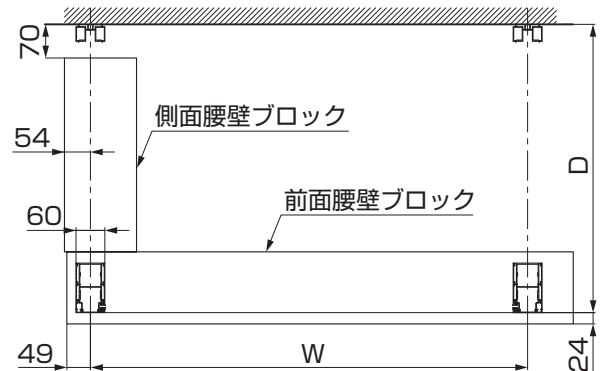


図1-2 L字腰壁

表1-1 出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺	10尺
D	1308	1908	2508	3108

表1-2 間口寸法

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間
W	1820	2730	3640	4550	5460

2. 連棟仕様

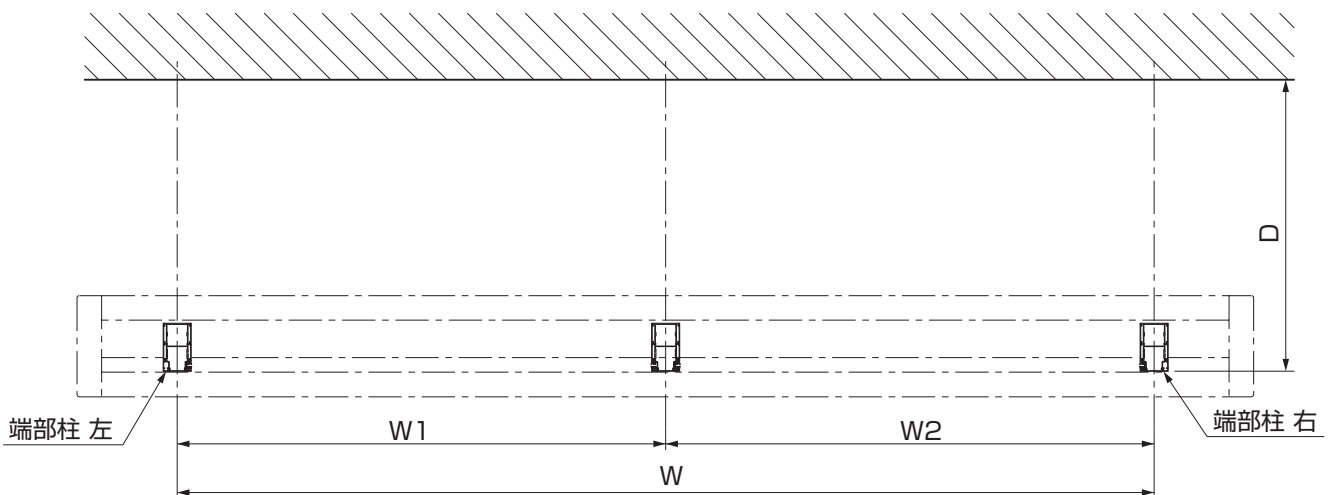


図2-1

表2-1 出幅寸法

出幅	4尺	6尺	8尺	10尺
D	1308	1908	2508	3108

表2-2 間口寸法

間口	1.0間	1.5間	2.0間	2.5間	3.0間	
W1、W2	1820	2730	3640	4550	5460	
間口	3.5間	4.0間	4.5間	5.0間	5.5間	6.0間
W	6370	7280	8190	9100	10010	10920

9 施工前の準備

1. 水盛遣方・水系張り

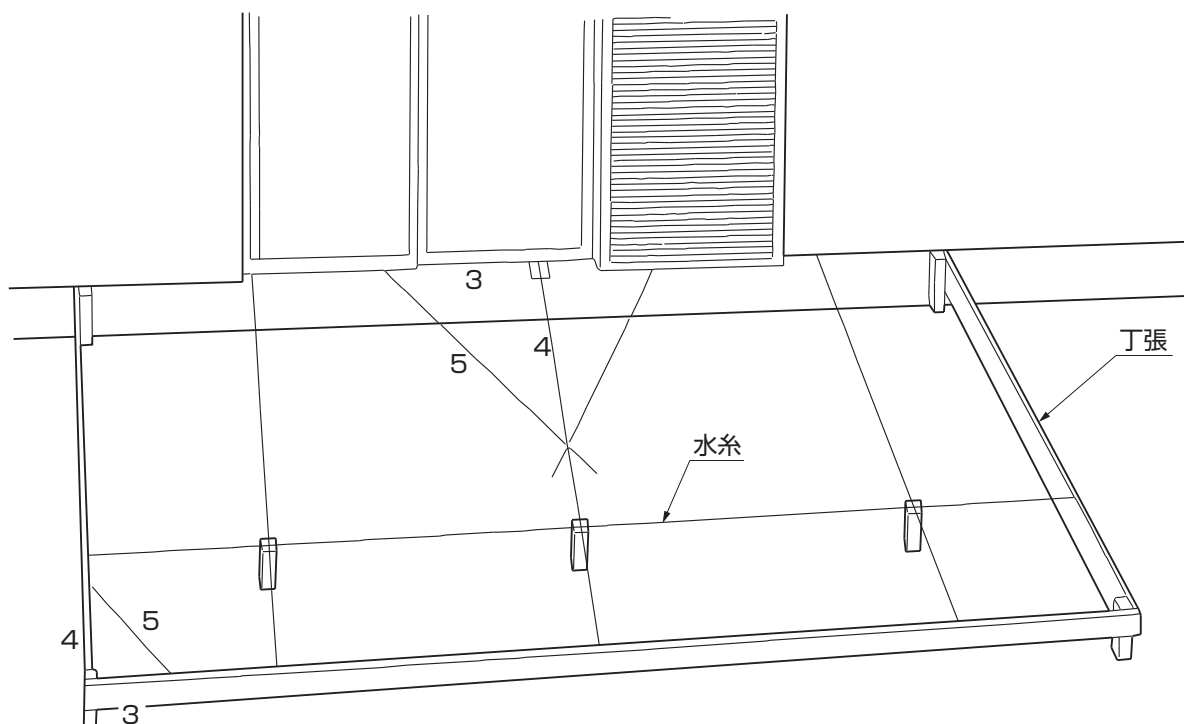


図1-1

【側面デッキベース材束柱位置】

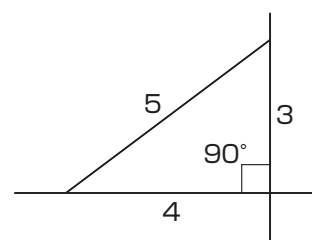
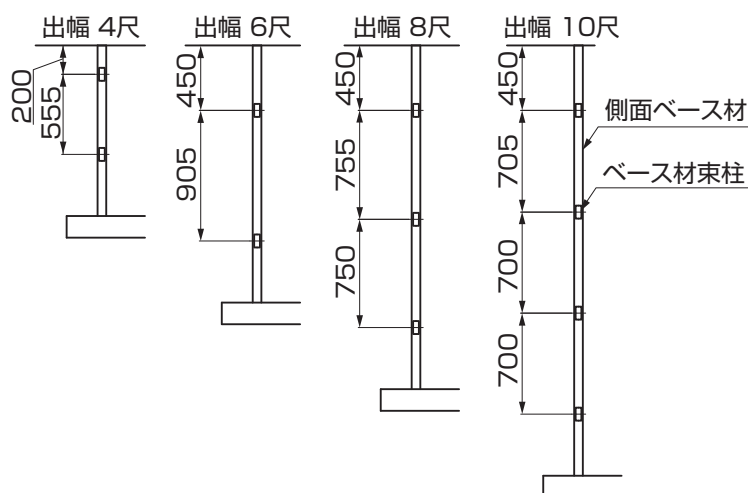


図1-2 直角出し寸法

- ①「5 基本寸法」を参照して本体の取付位置およびフロアの高さを決めてください。
- ②前面・両側面に丁張を組んでください。
- ③躯体に柱寸法の印をつけ、図1-2の方法で直角をだし、ベース材束柱の位置を出してください。
- ④ベース材束柱の位置から、両側の柱位置を決めてください。

ポイント

- ガーデンルームタイプの場合は、下レール取付けレベルの高さを正確に位置出しし、水平に土間を仕上げてください。下レール取付けレベルの高さが正確でないとパネルの開閉に支障が出る場合があります。
- 丁張の位置は本体外寸より前面・両側面ともにやや大きめに決めてください。
- 丁張は水準器等で水平を取ってください。
- 各コーナーの直角を定規、図1-2の方法等で割り出してください。

2. 配線工事 **オプション** ※垂木LED照明を取付ける場合の作業です。

2-1 LED照明配線のとりまわし

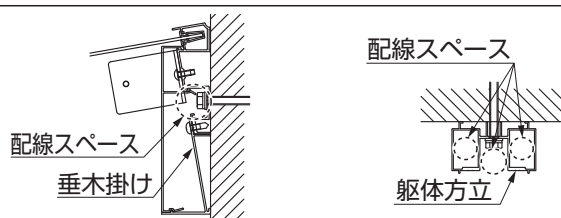
⚠ 注意

- AC100Vの電線の接続には電気工事士の資格が必要です。（コネクタ配線を除く）

🔑 ポイント

【垂木掛けや躯体方立の溝を配線に利用する場合】

- 部材・部品にあけた穴は、止水のためシーリングを塗布してください。
- 外側にあけた穴は、配線保護のためグロメットなどで小口の保護をしてください。



(1) ACアダプターを使用する場合

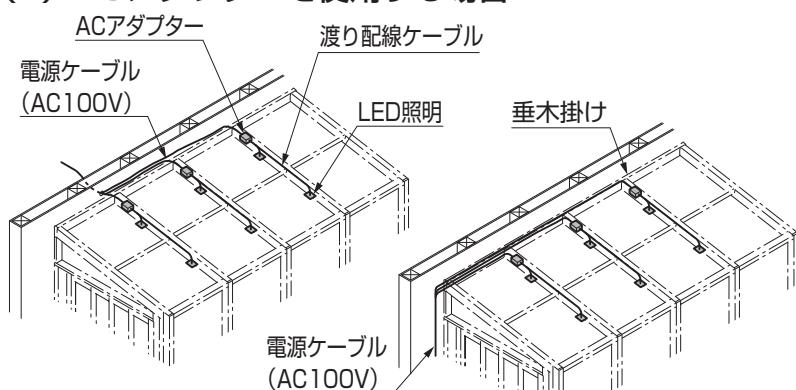


図2-1

躯体に穴をあけて配線する場合

図2-2

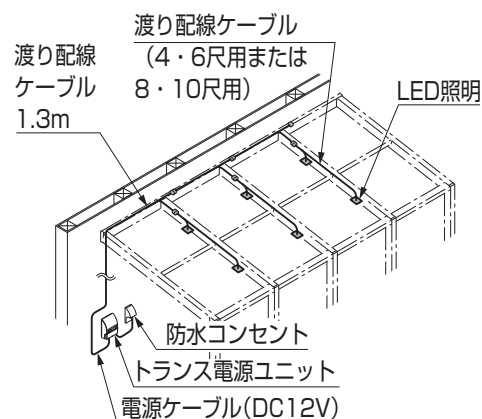
垂木掛けの溝を利用して配線する場合

- ①LED照明の配線をとりまわしてください。

🔑 ポイント

- LED照明は、渡り配線ケーブルを介して2セットまで連続接続が可能です。

(2) トランス電源ユニット 35Wを使用する場合

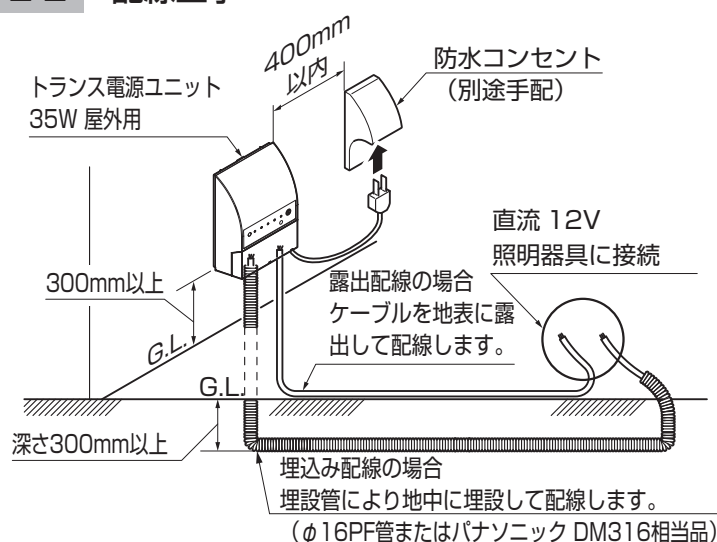


- ①LED照明の配線をとりまわしてください。

🔑 ポイント

- LED照明は、渡り配線ケーブルを介して10セットまで連続接続が可能です。

2-2 配線工事



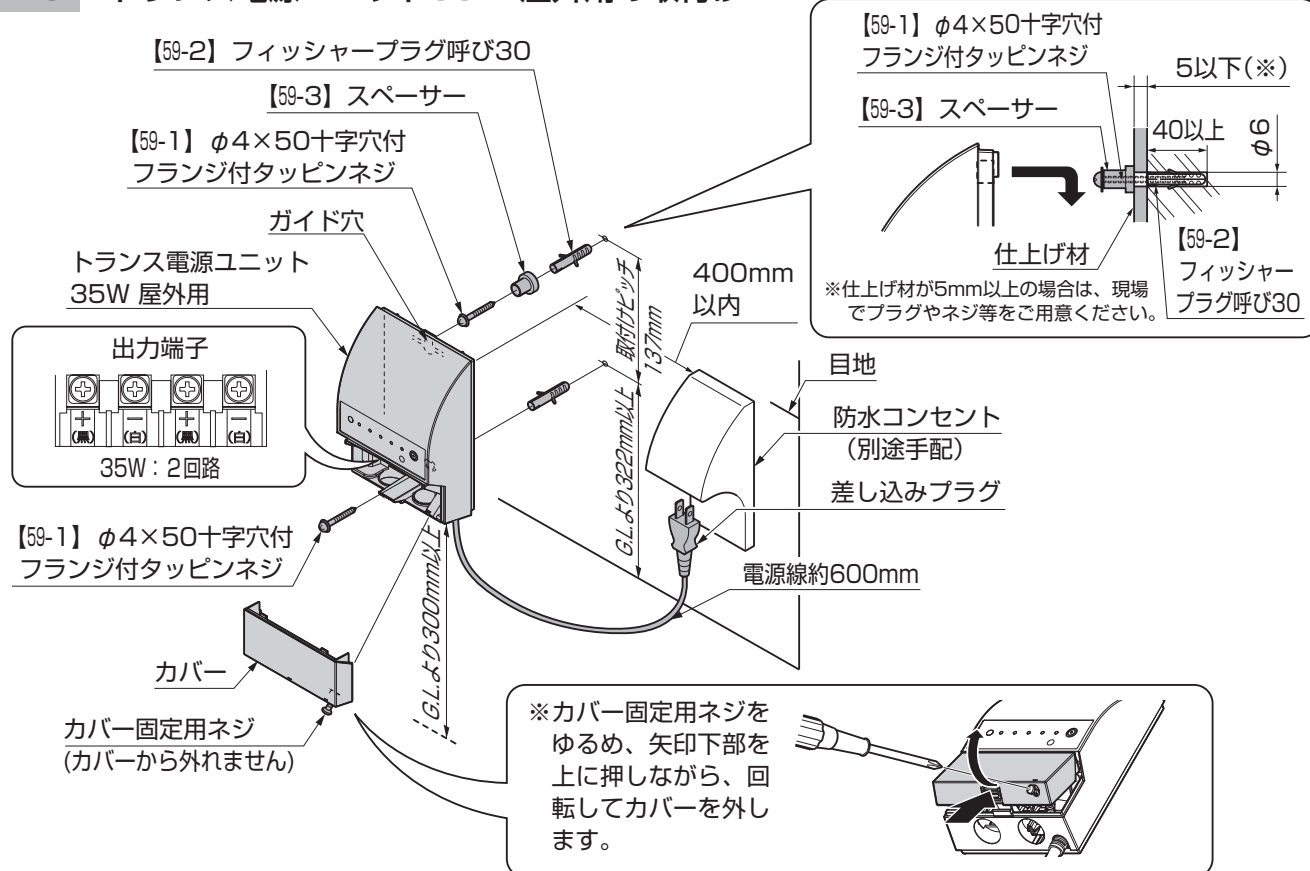
✎ 補足

- 埋込み配線の場合で車両その他の重量物の圧力を受けるおそれのある場所においては深さ600mm以上にしてください。
- トランス電源側の配管は、G.L.より300mm以上必ず立ち上げてください。

🔑 ポイント

- トランス電源ユニットの取付けは「トランス電源ユニット35W/60W 屋外用 取付説明書 (Z546)」を参照してください。
- 防水コンセントは別途手配してください。
- 躯体側から配線配管をする場合は、躯体側に配線を出してください。
- 地下埋設する場合のPF管は、現場で手配してください。
- 電源ケーブルの長さを調整する場合は、トランス電源ユニット側を切詰めてください。

2-3 トランス電源ユニット35W 屋外用の取付け



警告

- トランス電源ユニット35W 屋外用は壁面取付専用です。天井面、据置き、本体より小さい取付面、傾斜面、湿気が多い場所には設置しないでください。火災・感電・落下の原因になります。
- トランス電源ユニット35W 屋外用は地面より300mm以上離れた位置に取付けてください。冠水の時に火災・感電の原因になります。

注意

- 取付けは、安全のため差し込みプラグを抜いた状態で行ってください。通電状態で行なうと感電の原因になります。
- ブロックの目地には固定しないでください。固定強度が弱く、本体が落下してケガをするおそれがあります。

ポイント

- ネジ止めする際は、手回しドライバーをご使用ください。
- 壁に有効深さ40mmの下穴をあける場合は、仕上げ材ではなく壁からの深さとしてください。また、付属のプラグやネジの使用は仕上げ材の厚みが5mm以下(※)の場合としてください。5mmより厚い場合は、現場でプラグやネジ等をご用意ください。
- トランス電源ユニット35W 屋外用と防水コンセントの間は400mm以内にしてください。
- 切り粉は必ず除去してください。

- ①カバー固定用ネジをゆるめ、カバー下部を上へ押しながらカバーを外してください。
- ②トランス電源ユニット35W 屋外用を取付ける位置に合わせて取付け穴をけがき、けがいた位置に穴径φ6、有効深さ40mm以上の下穴をあけてください。
- ③【59-2】を下穴に埋め込んでください。
- ④【59-1】で【59-3】を壁に固定してください。
- ⑤トランス電源ユニット35W 裏面上部のガイド穴に【59-3】をはめ込み、【59-1】で壁に固定してください。

10 腰壁ブロックの建込み

1. 腰壁ブロックと床仕上面の関係 ※図は前面腰壁の場合を示します。

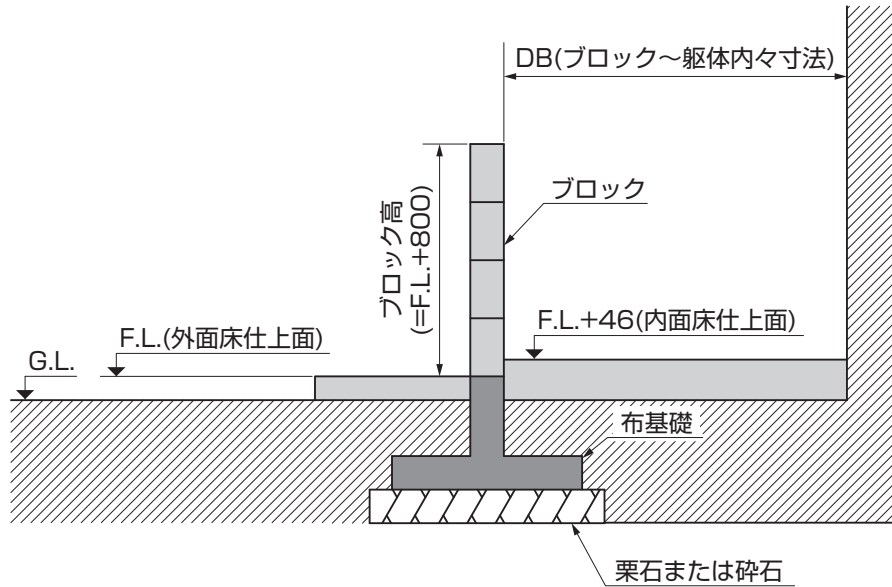


図1-1

①腰壁ブロックと床仕上げ面の関係性を確認してください。

メモ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

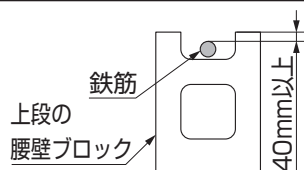
.....

.....

2. 前面腰壁の場合

ポイント

- 上段の腰壁ブロックへ配筋の際は鉄筋が40mm以上の深さになるようにしてください。



- 腰壁ブロック天面は水平で平滑になるように仕上げてください。

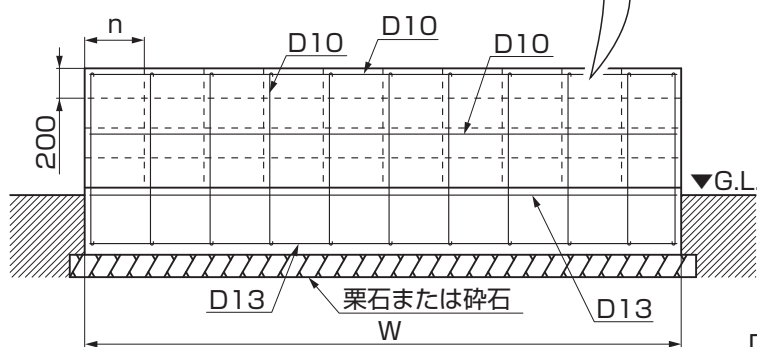


図2-1

表2-1 前面側 腰壁ブロック寸法

間口	n (列)	W (mm)
1.0間	6	2400
1.5間	8	3200
2.0間	10	4000
2.5間	12	4800
3.0間	15	6000
3.5間 (2.0間+1.5間)	16 + $\frac{1}{2}$	6600
4.0間 (2.5間+1.5間)	19	7600
4.5間 (3.0間+1.5間)	21 + $\frac{1}{2}$	8600
5.0間 (2.0間+3.0間)	23 + $\frac{1}{2}$	9400
5.5間 (3.0間+2.5間)	26	10400
6.0間 (3.0間+3.0間)	28 + $\frac{1}{2}$	11400
間口延長 (+1.0間)	+4	+1600

表2-2 腰壁ブロック 奥行き寸法

出幅	DB (mm)
4尺	1182
6尺	1782
8尺	2382
10尺	2982

表2-3 使用材料

コンクリート	普通コンクリート $F_c = 18\text{N/mm}^2$
鉄筋	SD295A JIS規格品
コンクリートブロック	空洞ブロック JIS規格品 A種以上

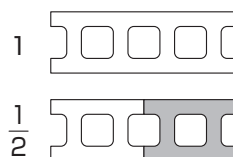


図2-2

ポイント

- 布基礎の天面は、F.L.+0mm (=G.L.+50mm (一例)) が基準です。
※+50mmは現場状況に合わせて変更してください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で施工する場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 腰壁ブロックの建込みは、指定の材料を使用してください。(表2-3参照)
- 腰壁ブロックの縦目地は、すき間のないように埋めてください。
- 腰壁は、ブロックのままの仕上げ、塗り仕上げ、タイル仕上げなどの仕上げ方法に関わらず全面に適切な防水処理を行なってください。
- 「5 基本寸法」を参照して柱、垂木掛け等の位置を確認してください。
※連棟の場合は、腰壁ブロックのはね出し寸法は左右で異なります。

3. L字腰壁の場合

ポイント

- 腰壁ブロック天面は前面側と側面(L字)側に段差がなく、平滑に仕上げてください。
- 上段の腰壁ブロックへ配筋の際は鉄筋が40mm以上の深さになるようにしてください。
- 前面側と側面(L字)側の腰壁ブロックは目地仕上げ面が揃うようにしてください。

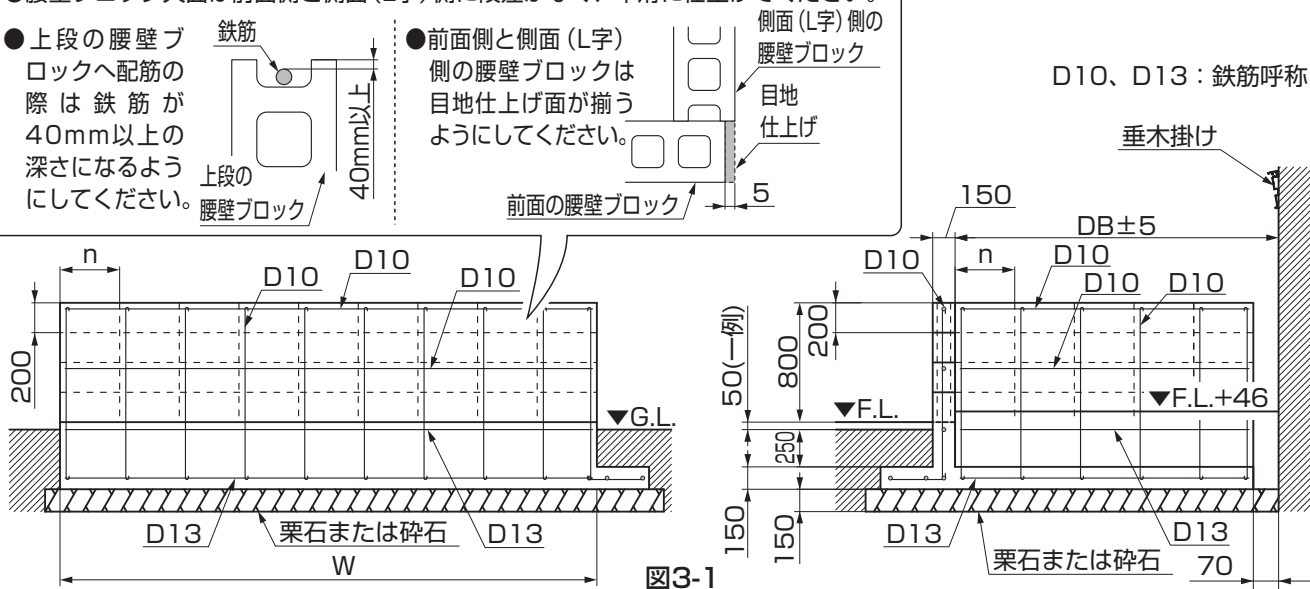


表3-1 前面側 腰壁ブロック寸法

間口	n (列)	W (mm)
1.0間	5	2000
1.5間	$7 + \frac{1}{2}$	3000
2.0間	$9 + \frac{1}{2}$	3800
2.5間	$11 + \frac{3}{4}$	4700
3.0間	$13 + \frac{3}{4} + \frac{1}{2}$	5700
3.5間 (2.0間+1.5間)	$16 + \frac{1}{2}$	6600
4.0間 (2.5間+1.5間)	$18 + \frac{3}{4}$	7500
4.5間 (3.0間+1.5間)	21	8400
5.0間 (2.0間+3.0間)	$22 + \frac{3}{4} + \frac{1}{2}$	9300
5.5間 (3.0間+2.5間)	$25 + \frac{1}{2}$	10200
6.0間 (3.0間+3.0間)	28	11200
間口延長 (+1.0間)	+4	+1600

表3-2 側面(L字)側 腰壁ブロック寸法

出幅	n (列)	DB (mm)
4尺	$2 + \frac{3}{4}$	1182
6尺	$3 + \frac{3}{4} + \frac{1}{2}$	1782
8尺	$5 + \frac{3}{4}$	2382
10尺	$6 + \frac{3}{4} + \frac{1}{2}$	2982

表3-3 使用材料

コンクリート	普通コンクリート $F_c = 18\text{N/mm}^2$
鉄筋	SD295A JIS規格品
コンクリートブロック	空洞ブロック JIS規格品 A種以上

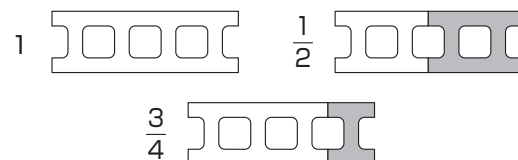


図3-2

ポイント

- 布基礎の天面は、F.L.+0mm (=G.L.+50mm (一例)) が基準です。
※+50mmは現場状況に合わせて変更してください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で施工する場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 腰壁ブロックの建込みは、指定の材料を使用してください。(表3-3参照)
- 腰壁ブロックの縦目地は、すき間のないように埋めてください。
- 腰壁は、ブロックのままの仕上げ、塗り仕上げ、タイル仕上げなどの仕上げ方法に関わらず全面に適切な防水処理を行なってください。
- 「5 基本寸法」を参照して柱、垂木掛け等の位置を確認してください。
※連棟の場合は、腰壁ブロックのはね出し寸法は左右で異なります。

4. 入隅腰壁の場合

ポイント

- 上段の腰壁ブロックへ配筋の際は鉄筋が40mm以上の深さになるようにしてください。

- 腰壁ブロック天面は水平で平滑になるように仕上げてください。

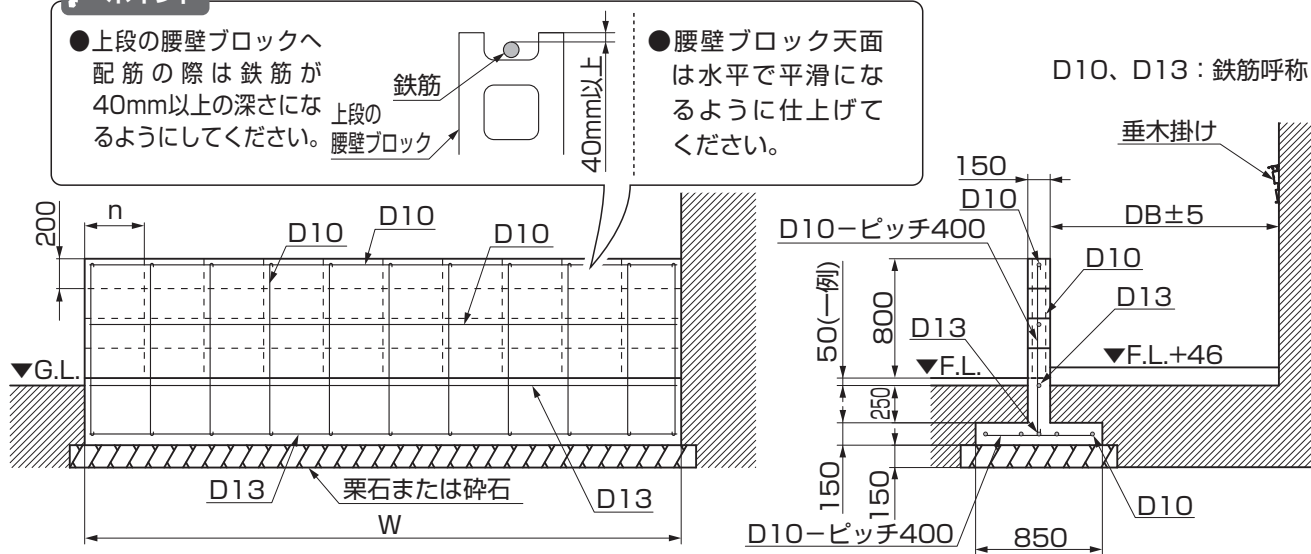


図4-1

表4-1 前面側 腰壁ブロック寸法

間口	n (列)	W (mm)
1.0間	5	2000
1.5間	$7 + \frac{1}{2}$	3000
2.0間	$9 + \frac{1}{2}$	3800
2.5間	$11 + \frac{3}{4}$	4700
3.0間	$13 + \frac{3}{4} + \frac{1}{2}$	5700
3.5間 (2.0間+1.5間)	$16 + \frac{1}{2}$	6600
4.0間 (2.5間+1.5間)	$18 + \frac{3}{4}$	7500
4.5間 (3.0間+1.5間)	21	8400
5.0間 (2.0間+3.0間)	$22 + \frac{3}{4} + \frac{1}{2}$	9300
5.5間 (3.0間+2.5間)	$25 + \frac{1}{2}$	10200
6.0間 (3.0間+3.0間)	28	11200
間口延長 (+1.0間)	+4	+1600

表4-2 腰壁ブロック 奥行き寸法

出幅	DB (mm)
4尺	1182
6尺	1782
8尺	2382
10尺	2982

表4-3 使用材料

コンクリート	普通コンクリート $F_c = 18N/mm^2$
鉄筋	SD295A JIS規格品
コンクリートブロック	空洞ブロック JIS規格品 A種以上

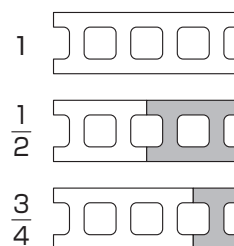


図4-2

ポイント

- 布基礎の天面は、F.L.+0mm (=G.L.+50mm (一例)) が基準です。
※+50mmは現場状況に合わせて変更してください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で施工する場合には、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- 腰壁ブロックの建込みは、指定の材料を使用してください。(表4-3参照)
- 腰壁ブロックの縦目地は、すき間のないように埋めてください。
- 腰壁は、ブロックのままの仕上げ、塗り仕上げ、タイル仕上げなどの仕上げ方法に関わらず全面に適切な防水処理を行なってください。
- 「5 基本寸法」を参照して柱、垂木掛け等の位置を確認してください。
※連棟の場合は、腰壁ブロックのはね出し寸法は左右で異なります。

11 位置決め施工

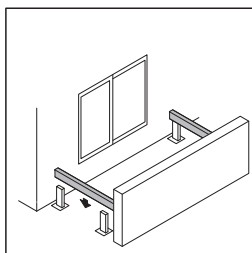
1. 側面ベース材とベース材束柱の取付け

※ベース納まりの場合の作業です。

※ガーデンルームタイプの場合の作業です。

タイプ	腰壁	土間	地域
GR		ベース	

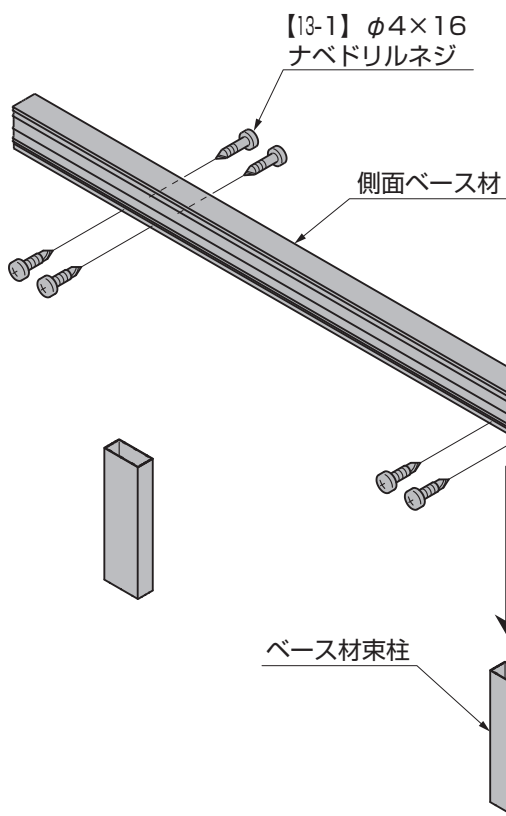
1-1 ベース材束柱の取付け



ポイント

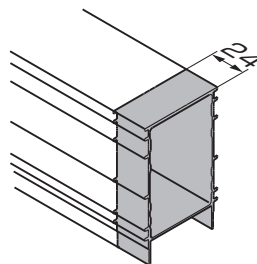
- 側面ベース材とベース材束柱は施工する設定により設置箇所が異なります。

ガーデンルームタイプ	
前面腰壁	L字腰壁



ポイント

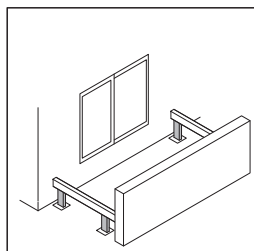
- 正面側を24mm切詰めてください。



①側面ベース材をベース材束柱に【13-1】で取付けてください。ベース材束柱を基礎石の上に建込んでください。

1. (つづき)

1-2 側面ベース材の取付け



ポイント

- 側面ベース材は躯体に接して取付けてください。

側面ベース材

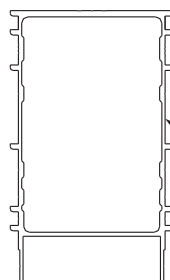
躯体

ポイント

- 側面ベース材は上面をF.L.面に合わせて取付けてください。

F.L. 上面合わせ

側面ベース材



ポイント

【固定の前に】

- 水準器などで水平を確認してください。

水準器

側面ベース材

【13-2】φ5×35
セルフタッパアンカー

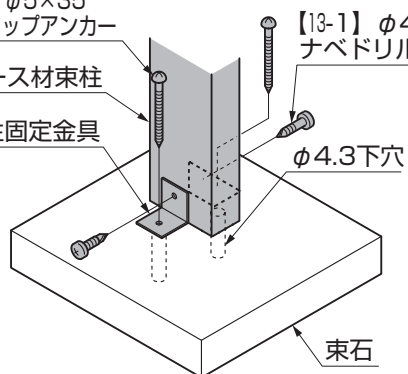
ベース材束柱

束柱固定金具

【13-1】φ4×16
ナベドリルネジ

φ4.3下穴

束石



①束柱固定金具を取付ける箇所にφ4.3の下穴をあけてください。

②ベース材束柱を土間もしくは束石の上に束柱固定金具と【13-1】、【13-2】で取付けてください。

2. 躯体方立の取付け

※ガーデンルームタイプ、サイドスルータイプのL字腰壁、サイドスルータイプに妻梁上部FIXがある場合に必要な作業です。

タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

2-1 部材の加工 ※サイドスルータイプの場合の作業です。

補足

●加工する前の躯体方立で垂木掛けの位置出しをすることができます。

(1) 妻梁上部FIXがある場合

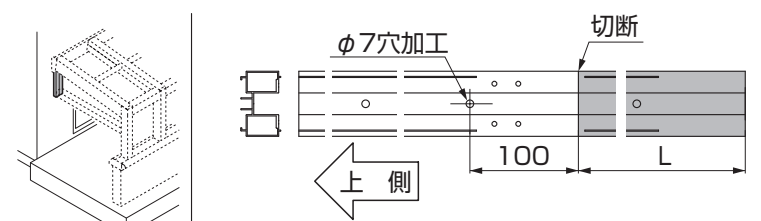
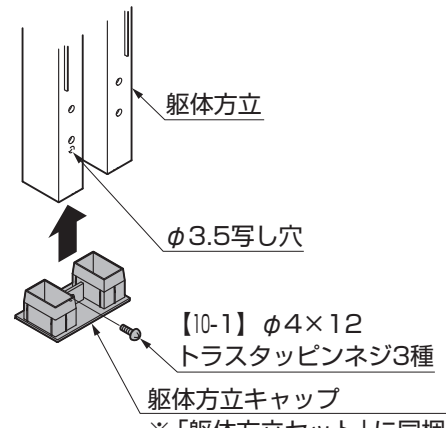


表2-1

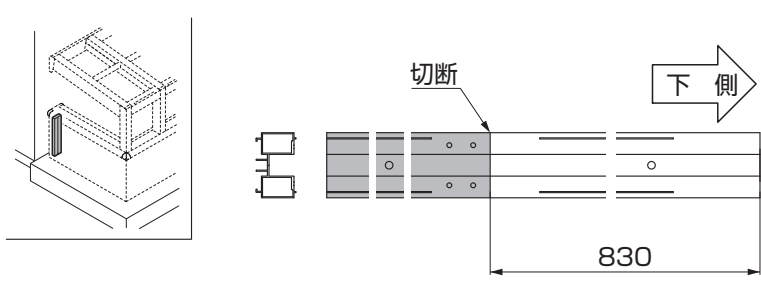
	切断寸法L		切断寸法L
H20	2002	H24	2402
H22	2202	ロング	3102



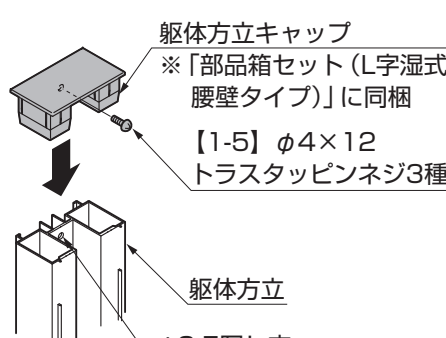
躯体方立
φ3.5写し穴
【10-1】φ4×12
トラスタッピンネジ3種
躯体方立キャップ
※「躯体方立セット」に同梱

- ①躯体方立を下側から切断してください。
- ②切断側の端部から100mmの位置にφ7の穴をあけてください。
- ③躯体方立の下側に躯体方立キャップをはめ込んでください。
- ④躯体方立キャップの穴をガイドにφ3.5の穴をあけて【10-1】で取付けてください。

(2) L字腰壁の場合



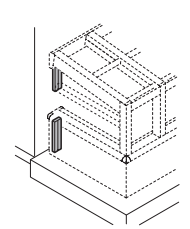
切断
830
下側



躯体方立キャップ
※「部品箱セット（L字湿式腰壁タイプ）」に同梱
【1-5】φ4×12
トラスタッピンネジ3種
躯体方立
φ3.5写し穴

- ①躯体方立を下側から830mmで切断してください。
- ②躯体方立の上側に躯体方立キャップをはめ込んでください。
- ③躯体方立キャップの穴をガイドにφ3.5の穴をあけて【1-5】で取付けてください。

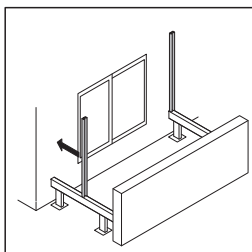
(3) L字腰壁で妻梁上部FIXがある場合



①L字腰壁で妻梁上部FIXがある場合、(1)・(2)の両方の手順を行なってください。

2. (つづき)

2-2 前面腰壁の場合

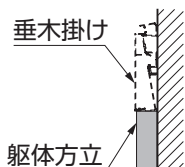


ポイント

- 躯体方立は必ず躯体構造材に取付けてください。
- 躯体取付面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付面の止水性を確保してください。
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをししないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

ポイント

- 垂木掛けの位置に影響しますので、躯体方立が垂直になるようにしてください。



〔ガーデンルームタイプの場合〕

〔サイドスルータイプで
妻梁上部FIXがある場合〕

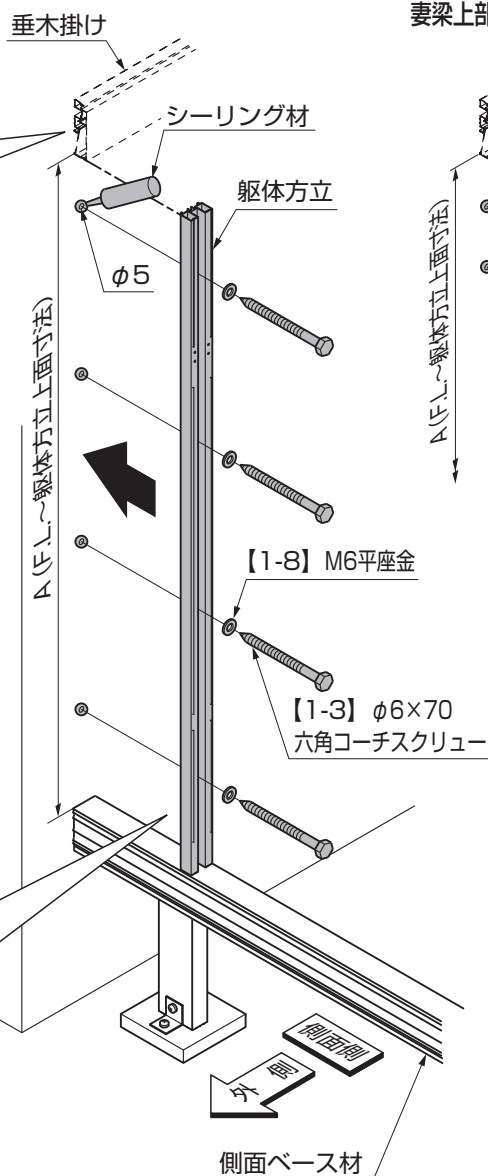
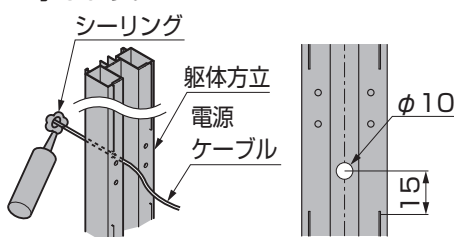


表2-2

高さ呼称	出幅	A
H20	4R	2391
	6R	2497
	8R	2603
	10R	2708
H22	4R	2591
	6R	2697
	8R	2803
	10R	2908
H24	4R	2791
	6R	2897
	8R	3003
	10R	3108

【プラズマクラスター オプション を
取付ける場合】

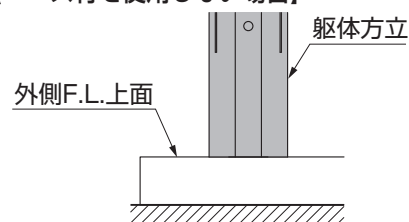
※図は躯体に穴をあけて配線する場合を示します。



ポイント

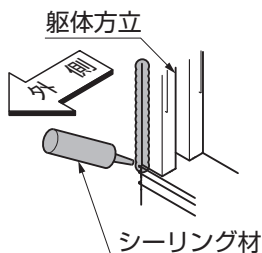
- 躯体にあけた穴はシーリングなどで必ず防水処理を行なってください。

【ベース材を使用しない場合】



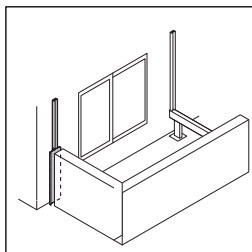
ポイント

- 躯体方立と躯体の間をシーリングしてください。



- ① 躯体に躯体方立取付け用の穴をけがいて、φ5の穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた穴にシーリングを充填してください。
- ③ 躯体方立を躯体に【1-3】、【1-8】で取付けてください。

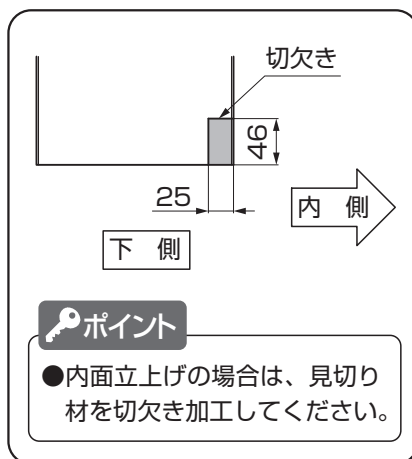
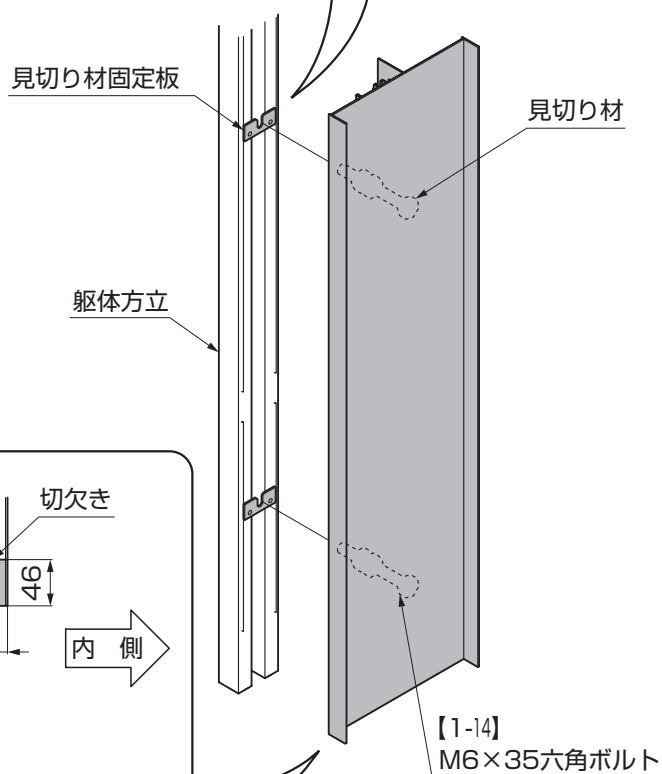
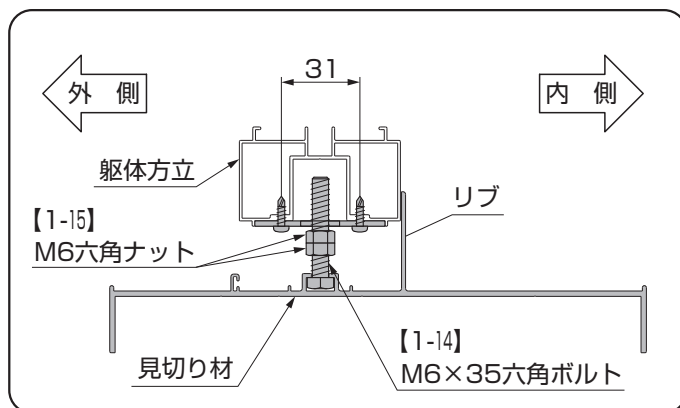
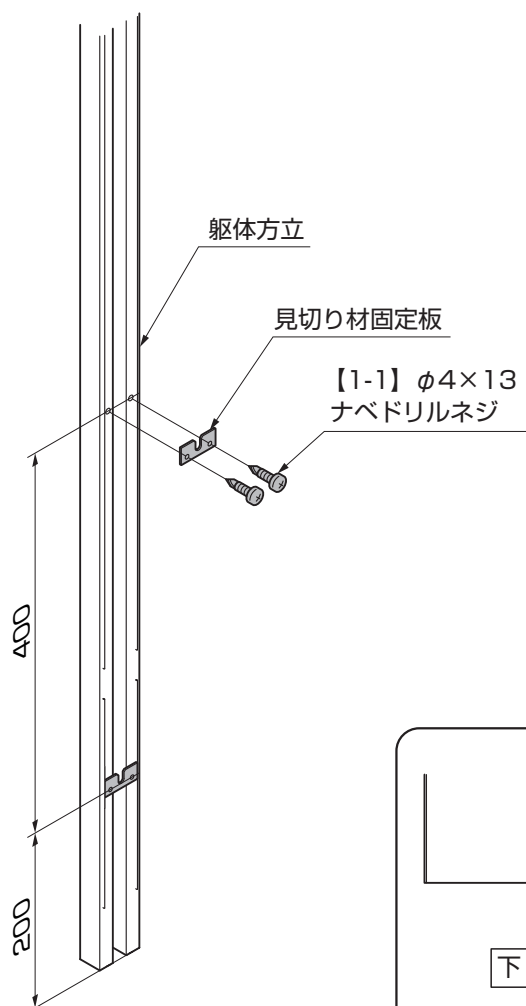
2-3 L字腰壁の場合 ※側面腰壁側にはプラズマクラスター オプション の取付けはできません。



ポイント

●見切り材は、L字腰壁部のみに取付けてください。

(1) 見切り材の取付け



ポイント

●内面立上げの場合は、見切り材を切欠き加工してください。

①躯体方立に見切り材固定板を【1-1】で取付けてください。

②見切り材の溝部に【1-14】を挿入し、【1-14】、【1-15】を見切り固定板の上に乗せてください。

2. (つづき)

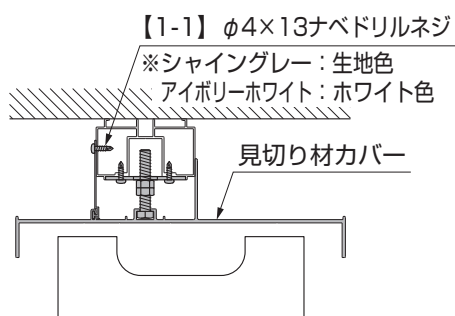
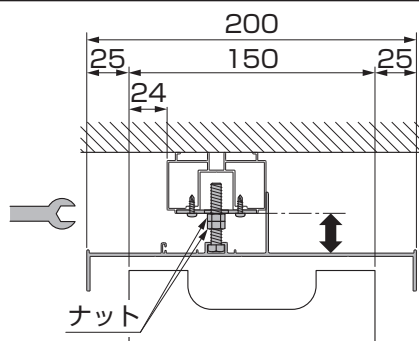
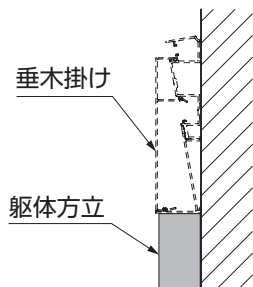
2-3 つづき

(2) 躯体方立の取付け

〔ガーデンルームタイプの場合〕

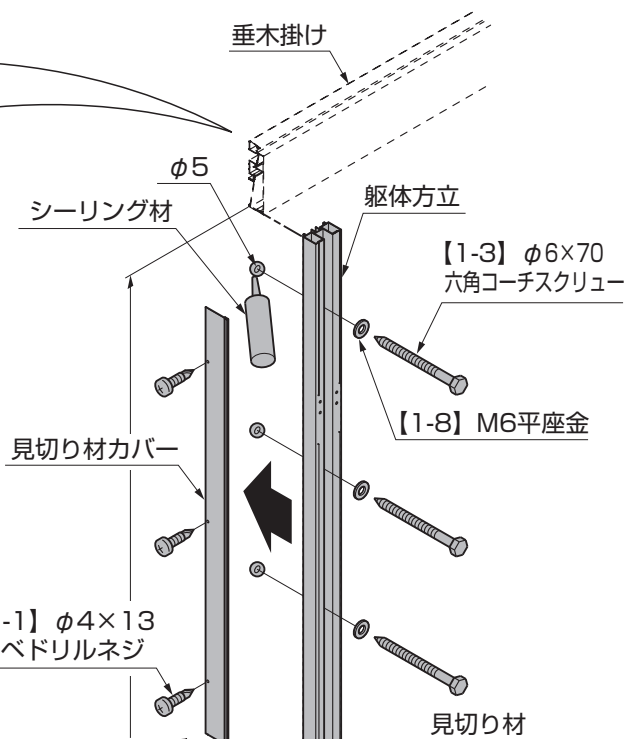
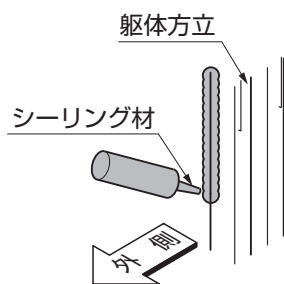
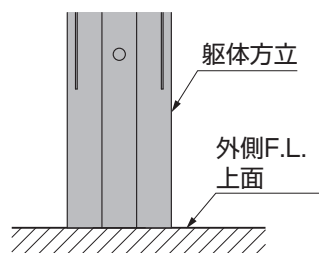
ポイント

- 垂木掛けの位置に影響しますので、躯体方立が垂直になるようにしてください。



ポイント

- 躯体方立の下端は外側F.L.上面に合わせてください。
- 躯体方立と躯体の間をシーリングしてください。

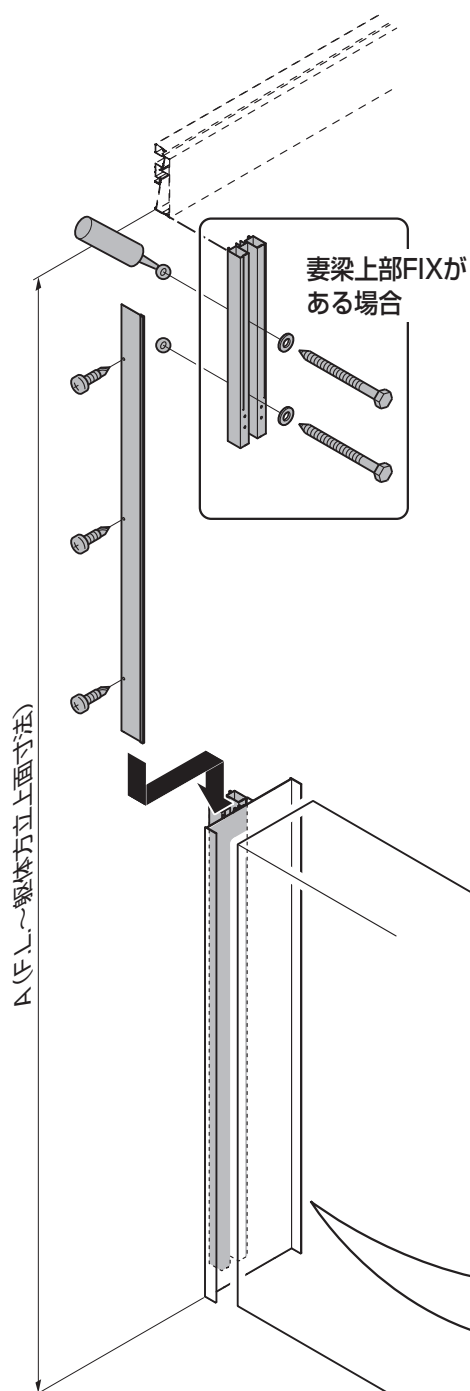


A(F.L.~躯体方立上面方法)

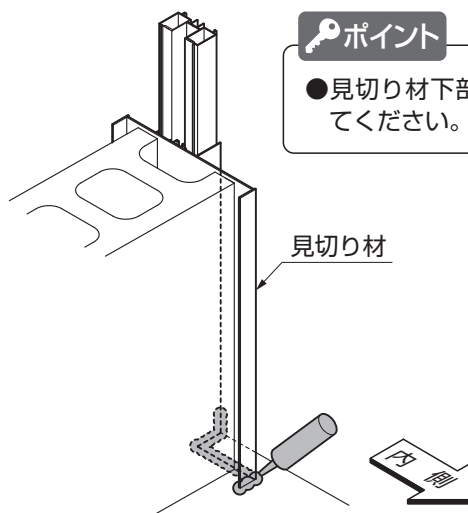
表2-3

高さ呼称	出幅	A
H20	4R	2391
	6R	2497
	8R	2603
	10R	2708
H22	4R	2591
	6R	2697
	8R	2803
	10R	2908
H24	4R	2791
	6R	2897
	8R	3003
	10R	3108

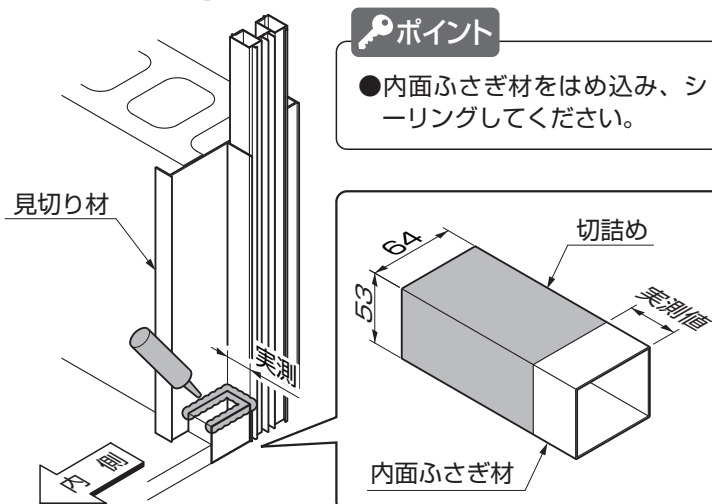
【サイドスルータイプの場合】



【フラット施工の場合】



【内面立上げの場合】

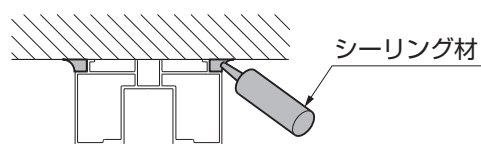


補足



【サイドスルータイプの場合】

- 躯体方立の両側をシーリングしてください。



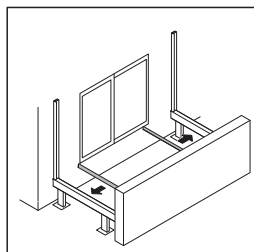
- ①躯体に躯体方立取付け用の穴をけがいて、φ5の穴をあけてください。
- ②躯体にあけた穴にシーリングを充て込んでください。
- ③躯体方立と見切り材を、腰壁ブロックと躯体の間に差込み、腰壁より上の部分を躯体に【1-3】、【1-8】で取付けてください。
- ④ナット位置を調整し、躯体方立を躯体に押し付けてください。
- ⑤見切り材カバーを見切り材にスライド挿入して【1-1】で取付けてください。

3. 土間見切り材の取付け

※ガーデンルームタイプでベース納まりの場合の作業です。

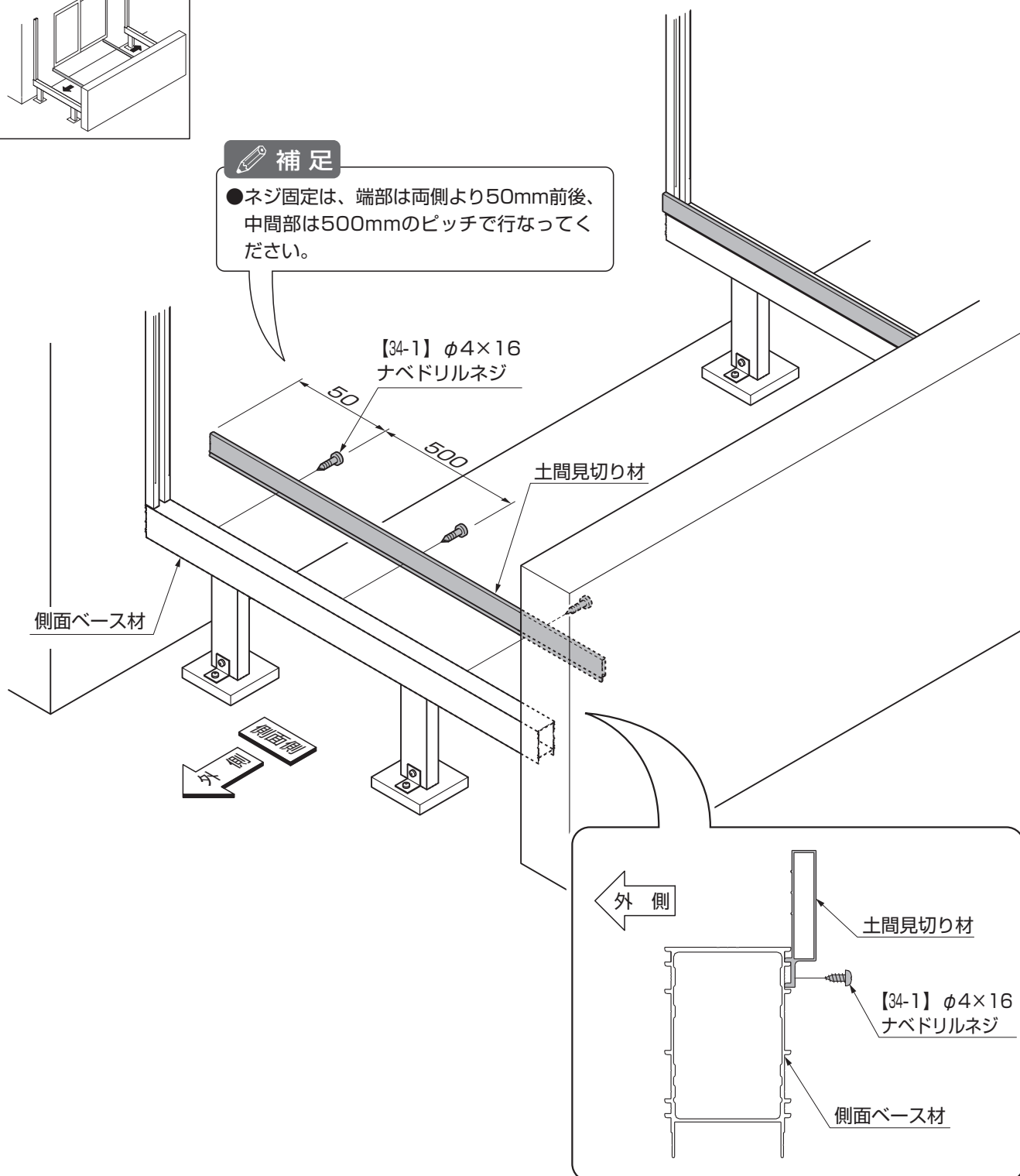
タイプ	腰壁	土間	地域
GR		ベース	

3-1 「折戸」「FIX」「カスタムウォール」の土間見切り材の取付け



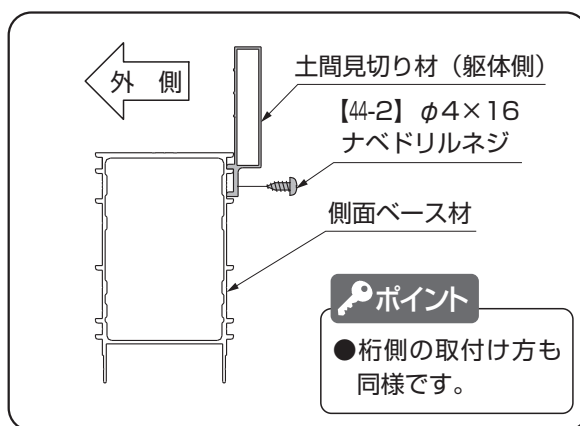
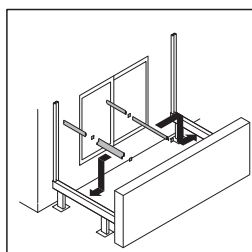
補足

- ネジ固定は、端部は両側より50mm前後、中間部は500mmのピッチで行なってください。



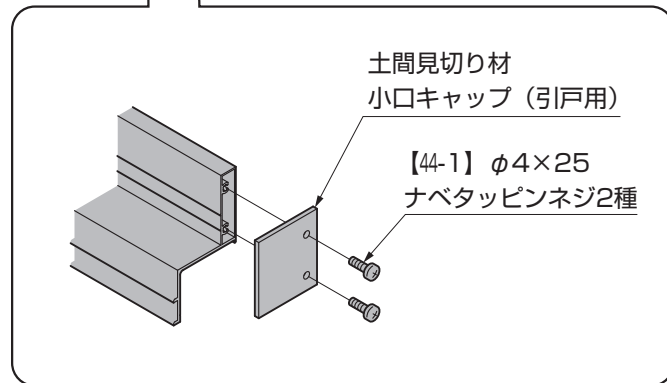
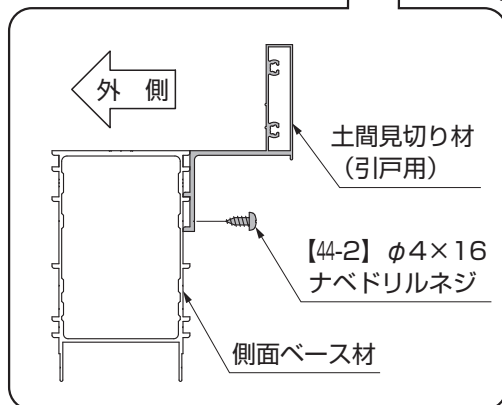
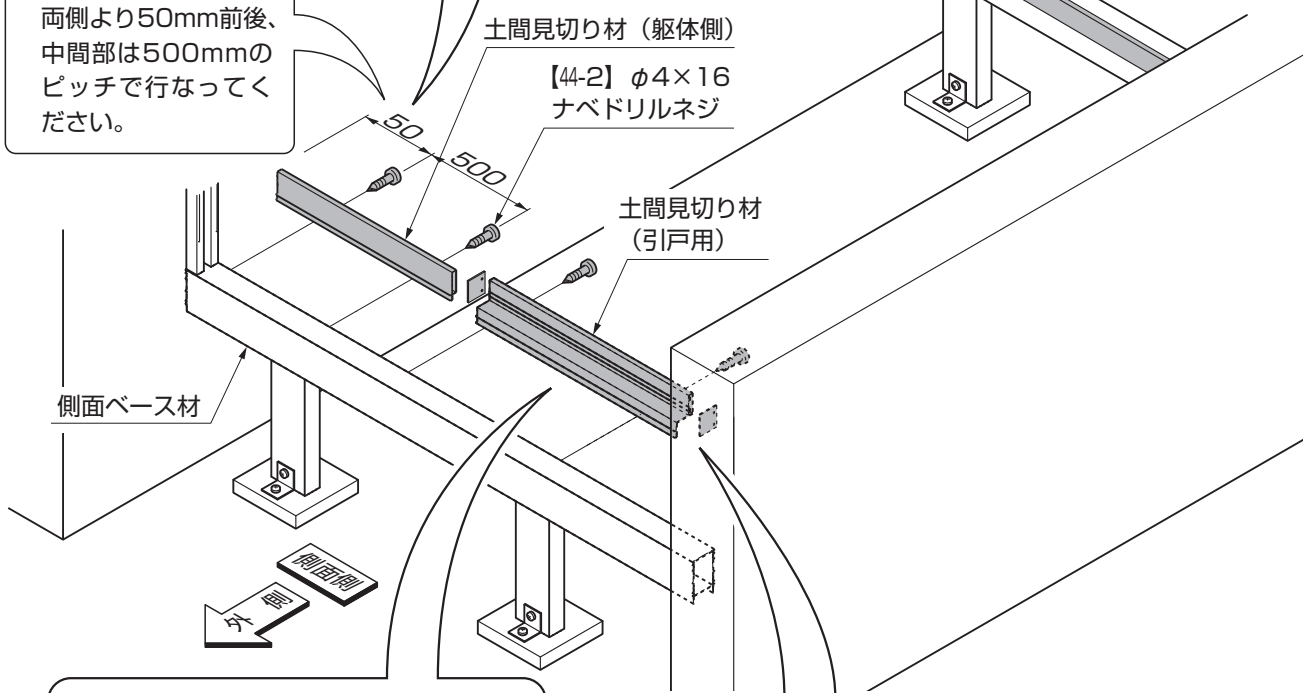
①土間見切り材を側面ベース材に【34-1】で取付けてください。

3-2 「引戸」の土間見切り材の取付け



補足 (Supplement)

●ネジ固定は、端部は両側より50mm前後、中間部は500mmのピッチで行なってください。



- ①土間見切り材小口キャップ (引戸用) を土間見切り材 (引戸用) の両端に 【44-1】 で取付けてください。
- ②土間見切り材 (躯体側) を側面ベース材に 【44-2】 で取付けてください。

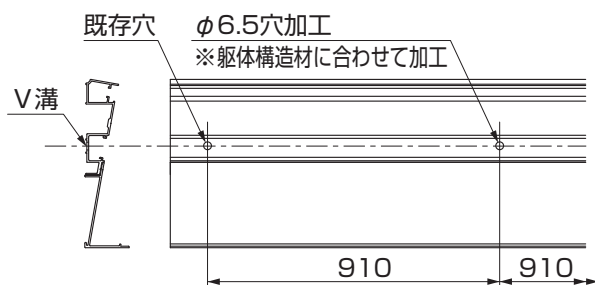
12 部材の組立て

1. 垂木掛けの組立て

タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

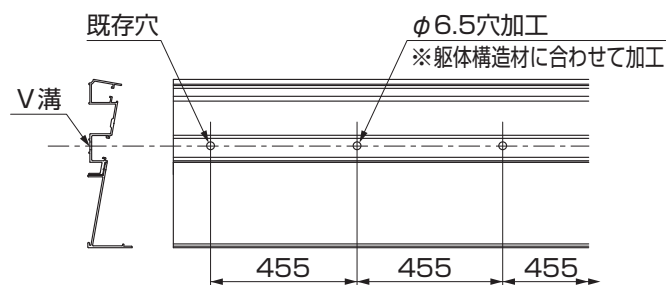
1-1 垂木掛けの加工

(1) 一般地域の場合



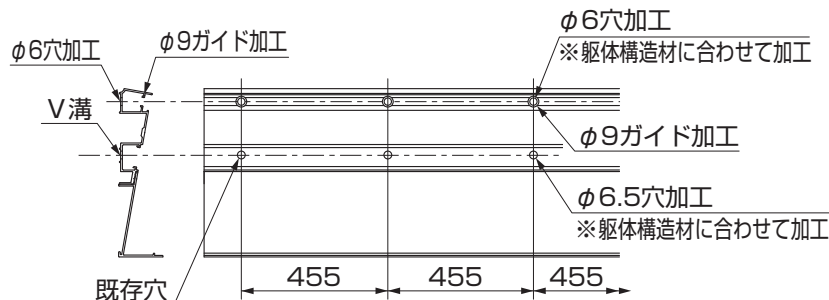
①垂木掛けに穴加工をしてください。

(2) 積雪地域（積雪地域1500N（50cm相当）の場合）



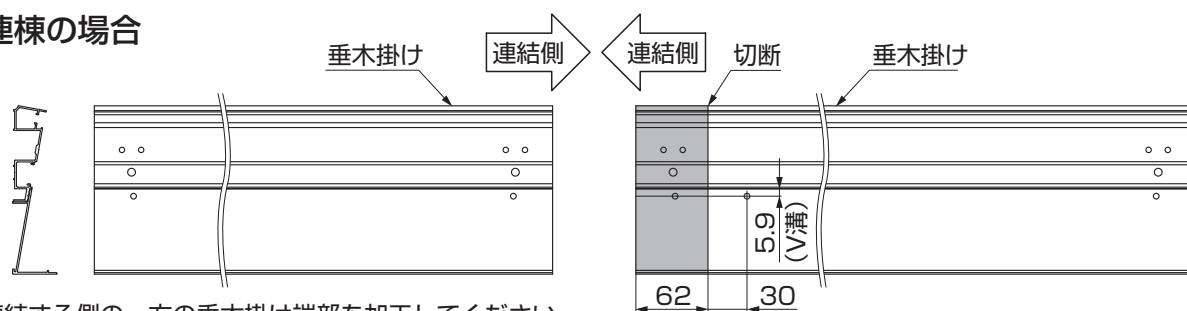
①垂木掛けに穴加工をしてください。

(3) 積雪地域（積雪地域3000N（100cm相当）の場合）



①垂木掛けに穴加工をしてください。

(4) 連棟の場合

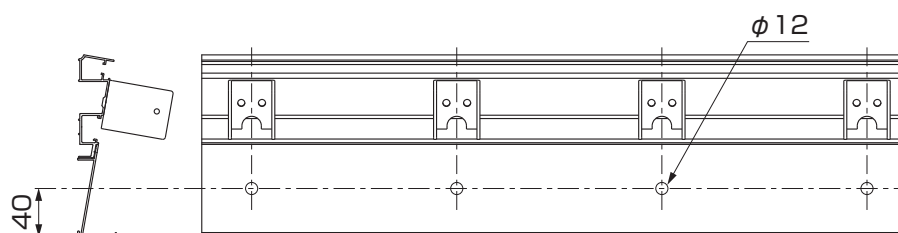


①連結する側の一方の垂木掛け端部を加工してください。

ポイント

●記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

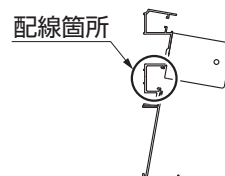
(5) 垂木LED照明 **オプション** を取付ける場合 ※配線の都合により垂木掛けに穴をあける作業です。



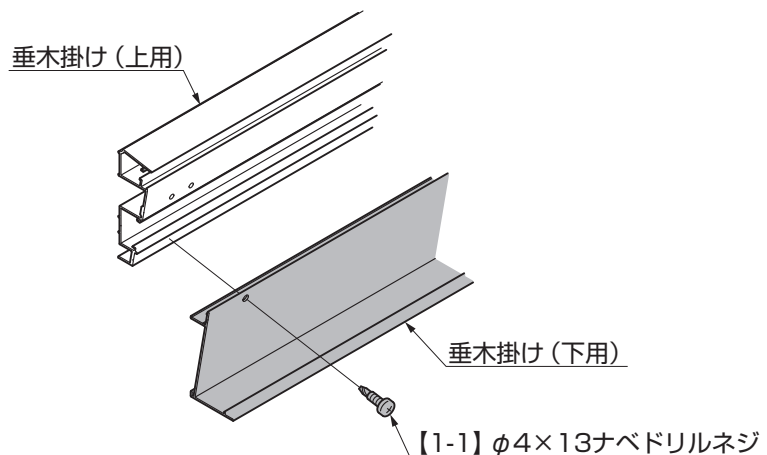
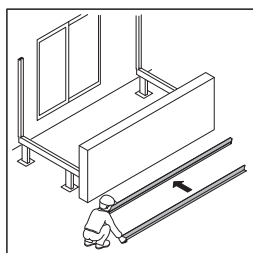
①垂木掛けに穴加工をしてください。

補足

●配線は垂木掛けの溝を使うこともできます。

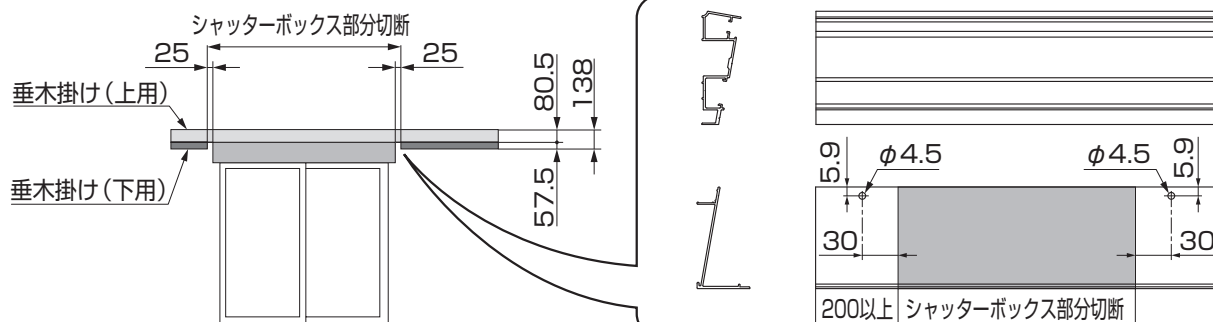


1-2 垂木掛けの組立て



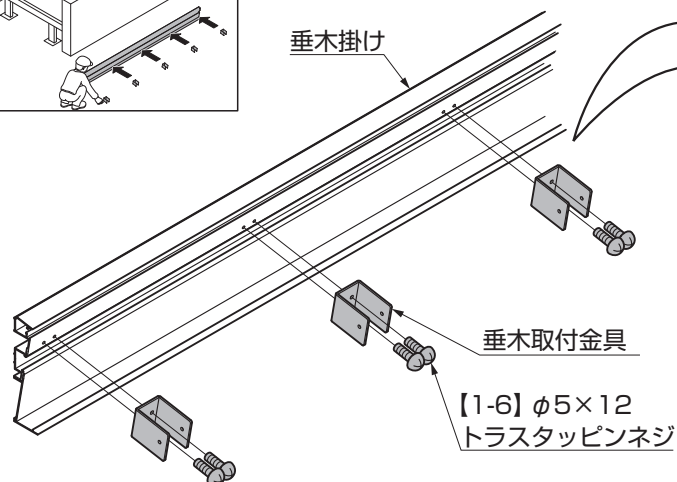
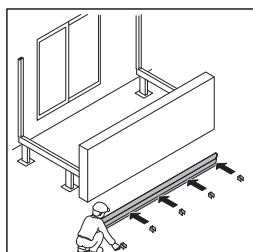
ポイント

- 垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の障害物がある場合は、障害物部分の垂木掛け(下用)は取付け不要です。ただし、両端部には最低200mmの垂木掛け(下用)が必要です。

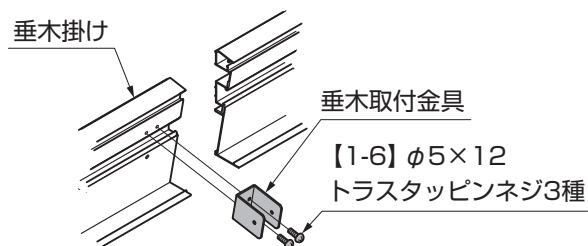


- ①垂木掛け(下用)を垂木掛け(上用)に【1-1】で取付けてください。

1-3 垂木取付金具の取付け



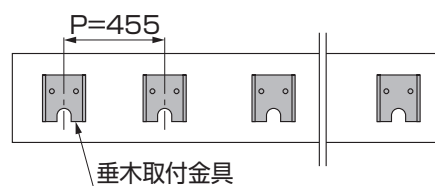
【連棟の場合】



ポイント

【積雪地域】 (積雪地域3000N (100cm相当) 仕様の場合)

- 垂木取付金具を455mmピッチで取付けてください。

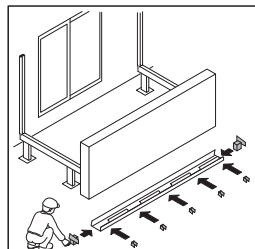


- ①垂木取付金具を垂木掛けに【1-6】で取付けてください。

2. 桁の組立て

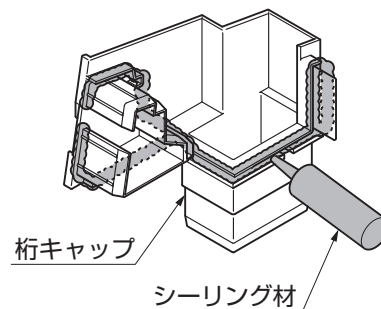
タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

2-1 桁の組立て



ポイント

- 図は右側を示します。左側も同様に取付けてください。
- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。



桁キャップ

【1-6】 $\phi 5 \times 12$
トラスタッピンネジ3種

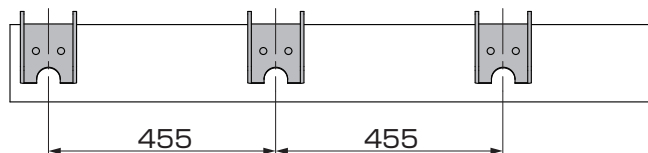
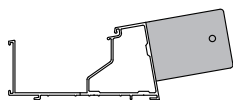
垂木取付金具

【1-2】 $\phi 4 \times 12$
トラスタッピンネジ1種

ポイント

【積雪地域】（積雪地域3000N（100cm相当）仕様の場合）

- 垂木取付金具を455mmピッチで取付けてください。



- ①垂木取付金具を桁に【1-6】で取付けてください。
- ②桁キャップをシーリングしてください。

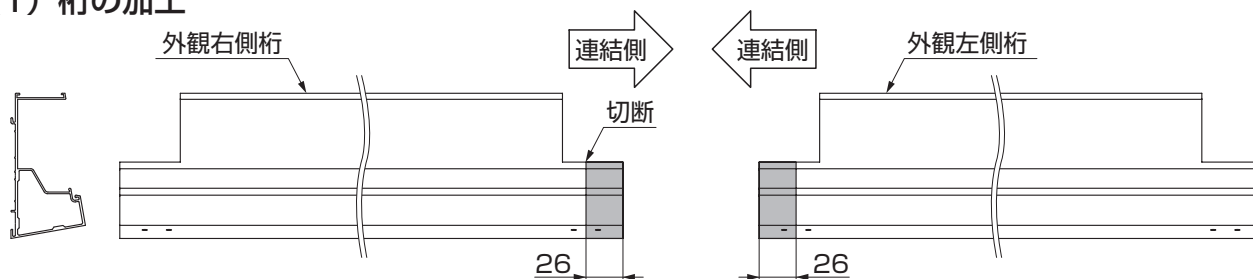
ポイント

- 桁キャップと桁を組付けた後にシーリングが桁と桁キャップの両方に十分塗布されていることを確認してください。組付けによってシーリングが切れるなど塗布が不十分な場合は追加してください。

- ③桁キャップを桁に【1-2】で取付けてください。

2-2 連棟の場合

(1) 桁の加工



①左右の桁を均等に切断してください。

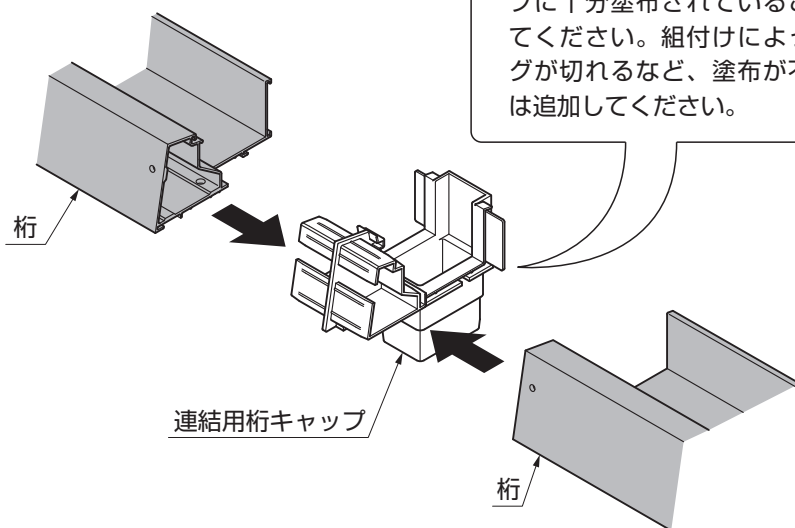
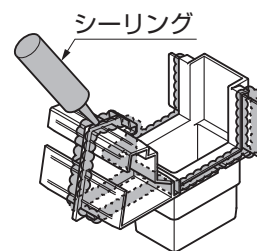
ポイント

●記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。

(2) 桁の連結

ポイント

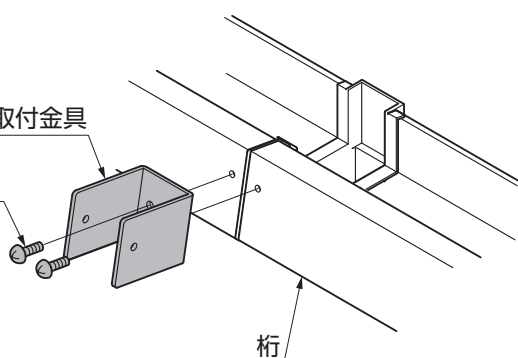
- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。
- 組付け後はシーリングが桁と桁キャップに十分塗布されていることを確認してください。組付けによってシーリングが切れるなど、塗布が不十分な場合は追加してください。



①連結用桁キャップにシーリングしてください。

②左右の桁を連結用桁キャップにはめ込んでください。

垂木取付金具
【1-6】φ5×12
トラスタッピンネジ3種



③垂木取付金具を、連結した桁に【1-6】で取付けてください。

13 腰壁部の施工

1. 部材の加工

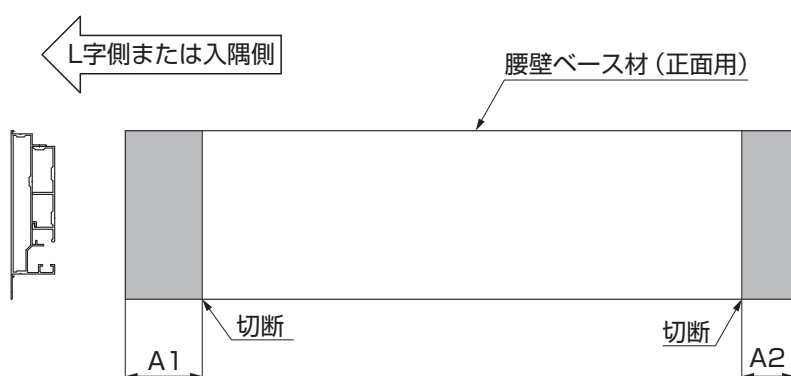
タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

1-1 部材単体（連結なし）の場合

ポイント

- 本図は外観左にL字腰壁または入隅腰壁とした場合の加工を示します。
外観右にL字腰壁または入隅腰壁とする場合は左右対象加工となります。
- 腰壁間口延長（+1.0間）の場合は、本項（部材単体）の加工をした部材に、間口延長用の部材を継ぎ足して連結してください。※間口延長用側の部材は切詰め加工不要です

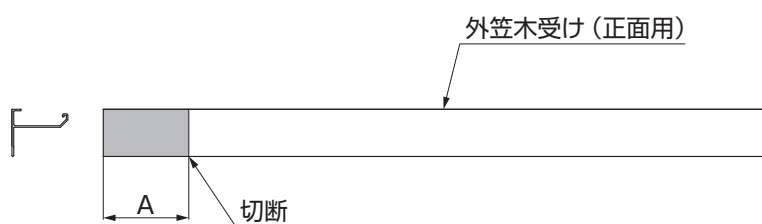
(1) 腰壁ベース材（正面用）の加工



①部材を加工してください。

納まり	間口	切詰め寸法	
		A1	A2
前面腰壁	—	切詰めなし	
L字腰壁	1.0間	226.5	163.5
	1.5間	171.5	18.5
	2.0間	116.5	73.5
	2.5間	61.5	28.5
	3.0間	206.5	83.5
入隅腰壁	1.0間	226.5	145
	1.5間	171.5	0
	2.0間	116.5	55
	2.5間	61.5	10
	3.0間	206.5	65

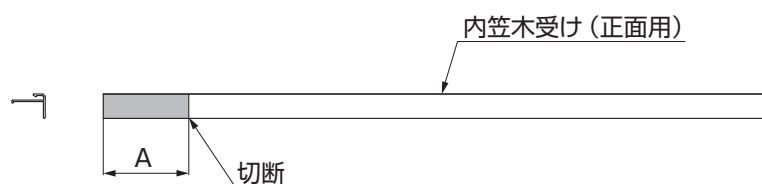
(2) 外笠木受け（正面用）の加工



①部材を加工してください。

納まり	間口	切詰め寸法 A
前面腰壁	—	切詰めなし
L字腰壁	1.0間	380
	1.5間	180
	2.0間	180
	2.5間	80
	3.0間	280
入隅腰壁	1.0間	357
	1.5間	157
	2.0間	157
	2.5間	57
	3.0間	257

(3) 内笠木受け（正面用）の加工



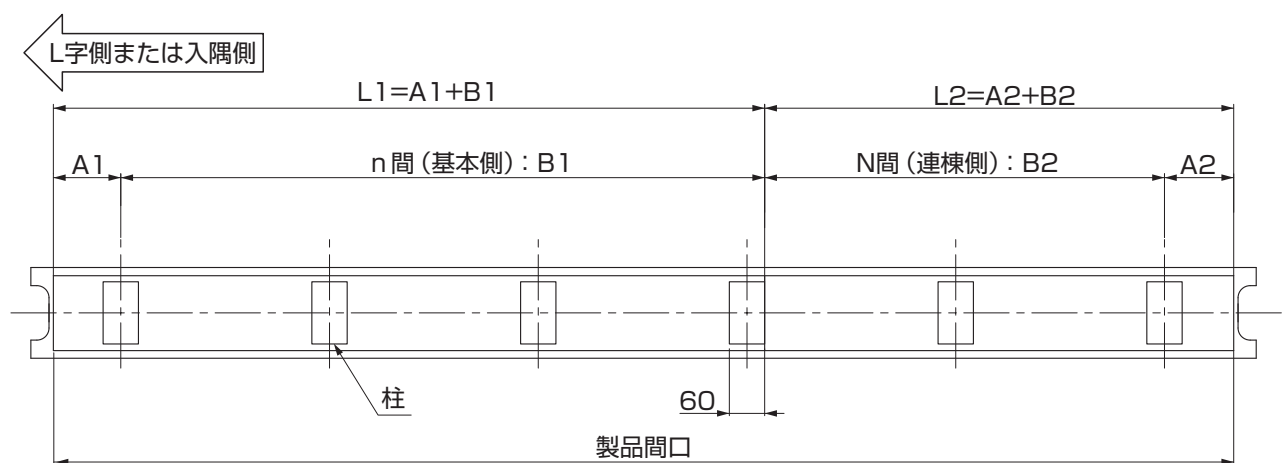
①部材を加工してください。

納まり	間口	切詰め寸法 A
前面腰壁	—	切詰めなし
L字腰壁	1.0間	555
	1.5間	355
	2.0間	355
	2.5間	255
	3.0間	455
入隅腰壁	1.0間	357
	1.5間	157
	2.0間	157
	2.5間	57
	3.0間	257

1-2 部材連結（連棟、ガーデンルームプラス）の場合

ポイント

- 本図は外観左を基本側、外観右を連棟側とした場合の加工を示します。
外観右を基本側とする場合は左右対象加工となります。
- 本図は外観左にL字腰壁または入隅腰壁とした場合の加工を示します。
外観右にL字腰壁または入隅腰壁とする場合は外観右を基本側として、左右対象加工となります。



間口	はね出し寸（基本側） A1			はね出し寸（連棟側） A2		
	前面腰壁	L字腰壁	入隅腰壁	前面腰壁	L字腰壁	入隅腰壁
1.5間	201.5	30	30	201.5	183	201.5
2.0間	146.5			146.5	73	91.5
2.5間	91.5			91.5	63	81.5
3.0間	236.5			236.5	153	171.5
3.5間	81.5			81.5	118	136.5
4.0間	91.5			161.5	108	126.5
4.5間	236.5			106.5	98	116.5
5.0間	146.5			86.5	88	106.5
5.5間	236.5			86.5	78	96.5
6.0間	236.5			176.5	168	186.5

n間	B1
0.5間	940
1.0間	1850
1.5間	2760
2.0間	3670
2.5間	4580
3.0間	5490

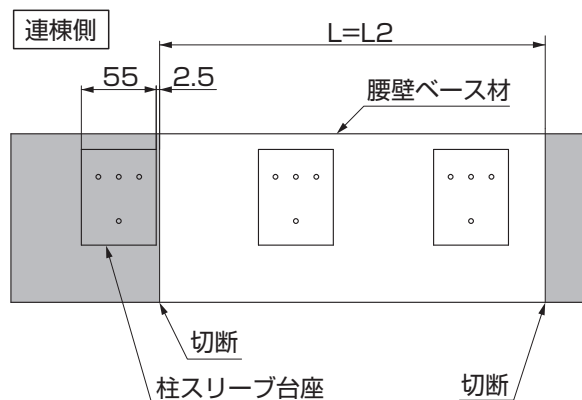
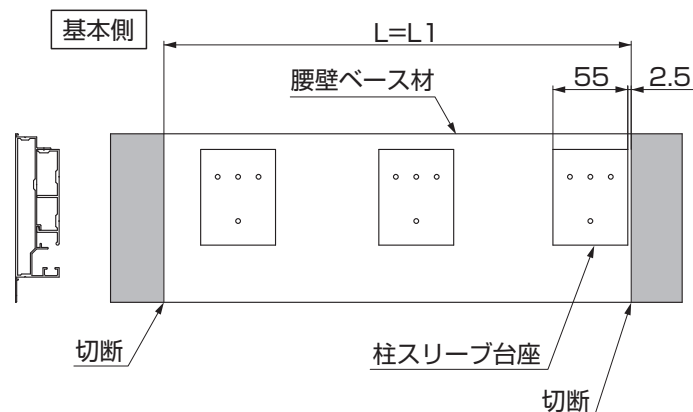
N間	B2
0.5間	880
1.0間	1790
1.5間	2700
2.0間	3610
2.5間	4520
3.0間	5430

1. (つづき)

1-2 つづき

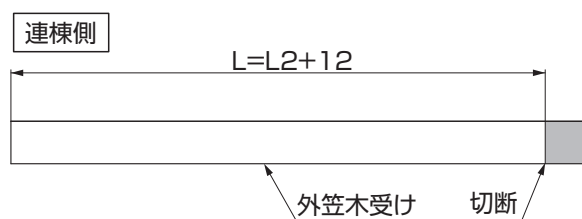
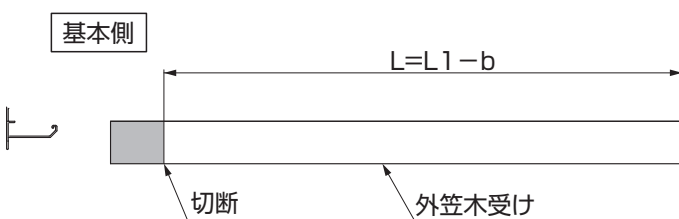
(1) 腰壁ベース材（正面用）の加工

← L字側または入隅側



①部材を加工してください。

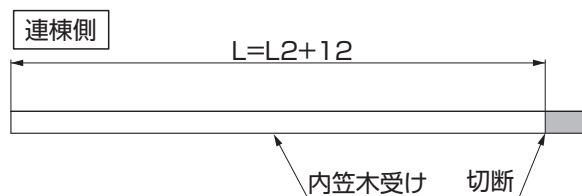
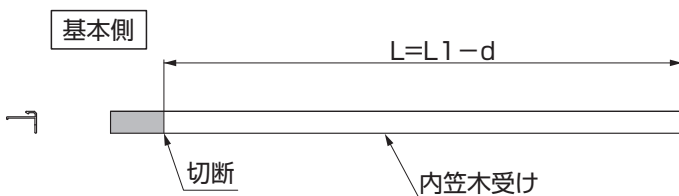
(2) 外笠木受け（正面用）の加工



納まり	b
前面腰壁	48
L字腰壁	37
入隅腰壁	32

①部材を加工してください。

(3) 内笠木受け（正面用）の加工

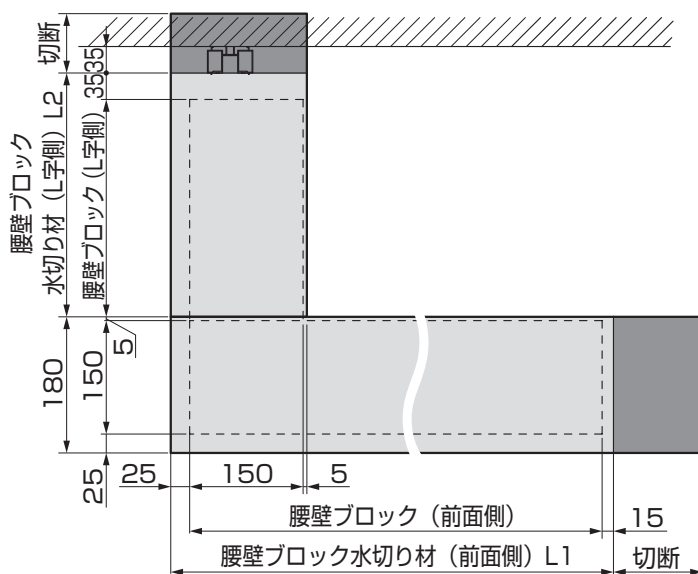


納まり	d
前面腰壁	48
L字腰壁	212
入隅腰壁	32

①部材を加工してください。

2. 腰壁ブロック水切り材の取付け

2-1 腰壁ブロック水切り材の加工



- ①腰壁ブロック水切り材の取付け位置と長さを確認してください。
- ②腰壁ブロック水切り材を腰壁ブロックに合わせて切断してください。

サイズ	前面腰壁		L字腰壁		入隅腰壁	
間口	L1	切断寸法	L1	切断寸法	出幅	L2
1.0間	2430	450	2040	840	2015	865
1.5間	3230	250	3040	440	3015	465
2.0間	4030	50	3840	240	3815	265
2.5間	4830	390	4740	480	4715	505
3.0間	6030	390	5740	680	5715	705
3.5間(連棟)	6630	930	6640	920	6615	945
4.0間(連棟)	7630	1070	7540	1160	7515	1185
4.5間(連棟)	8630	1270	8440	1460	8415	1485
5.0間(連棟)	9430	1070	9340	1160	9315	1185
5.5間(連棟)	10430	1210	10240	1400	10215	1425
6.0間(連棟)	11430	1410	11240	1600	11215	1625
間口延長	+1600	680	+1600	680	+1600	680
出幅	L2	切断寸法	L2	切断寸法	L2	切断寸法
4尺			1140	0		
6尺			1740	0		
8尺			2340	0		
10尺			2940	540		

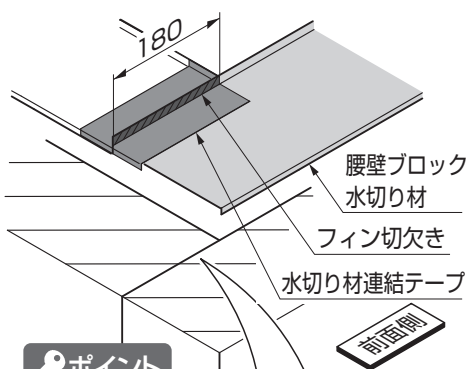
※数値は目安寸法です。現場状況(施工状況)に合わせて切断寸法を確認してください。

2-2 腰壁ブロック水切り材の取付け

【L字腰壁の場合】

ポイント

- 前面側の腰壁ブロック水切り材のフィン切欠き加工してください。
- L字側の腰壁ブロック水切り材を前面側に突き当て、水切り連結テープを貼付けてください。



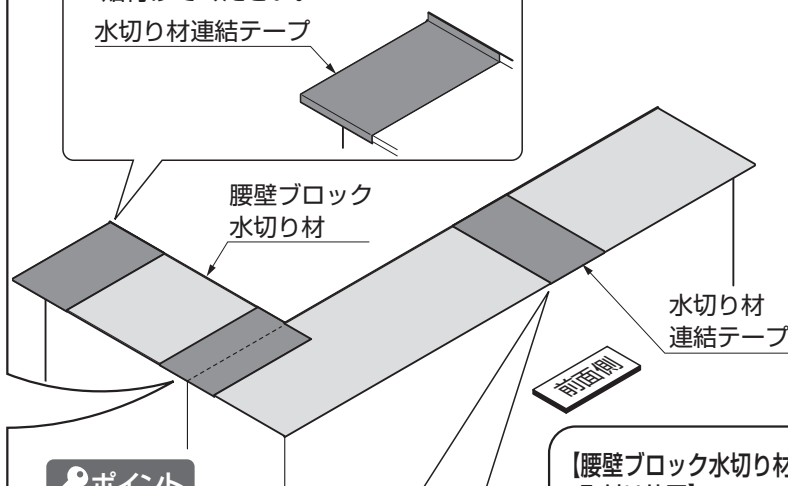
ポイント

- 腰壁ブロック天面は前面側とL字側に段差がないよう平滑に仕上げてください。

ポイント

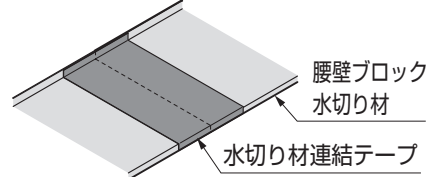
- 水切り材連結テープを躯体側端部に貼付けてください。

水切り材連結テープ

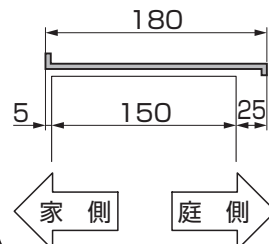


ポイント

- 腰壁ブロック水切り材を突き当て、水切り材連結テープを貼付けてください。



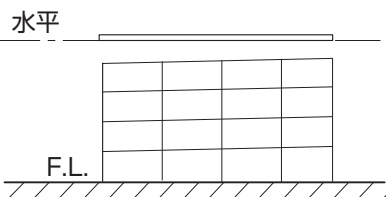
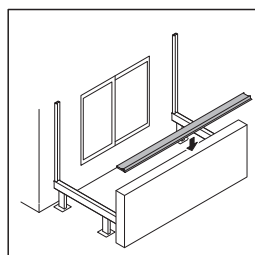
【腰壁ブロック水切り材取付け位置】



- ①腰壁ブロック水切り材を腰壁ブロックに取付けてください。
- ②水切り材連結テープを腰壁ブロック水切り材に貼付けてください。

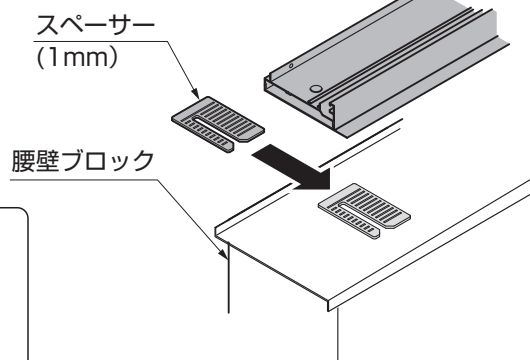
タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

3. 腰壁ベース材の取付け



ポイント

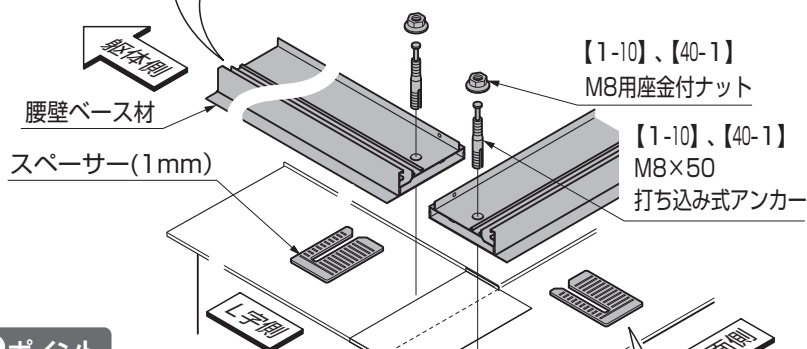
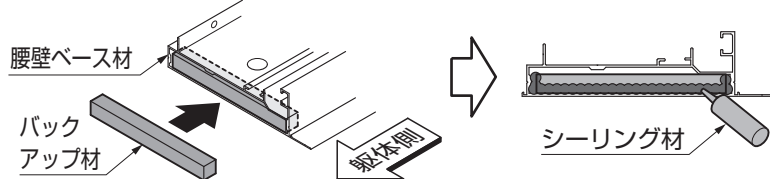
- 腰壁ブロックが水平でない場合は、腰壁ベース材が水平になるようにスペーサーを腰壁ブロック水切り材との間にはさみ、水平になるように調整してください。



【L字腰壁の場合】

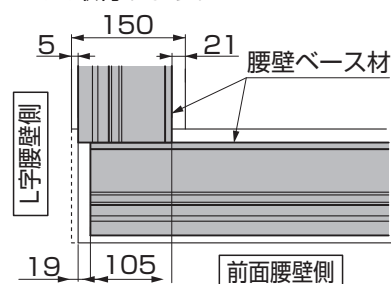
ポイント

- 指定の箇所には必ずシーリングしてください。



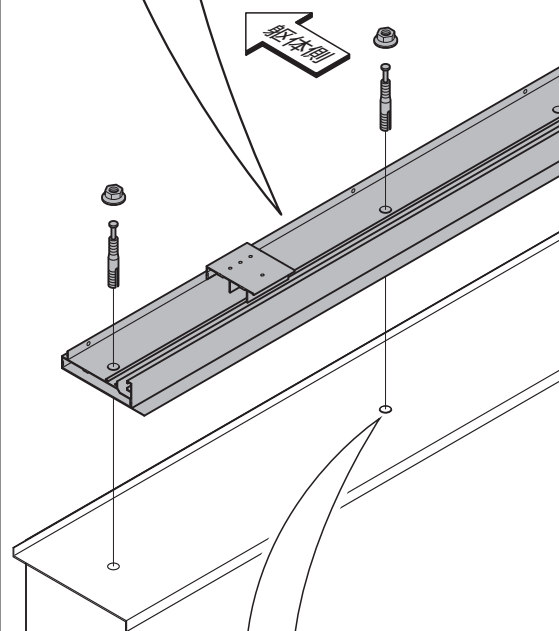
ポイント

- L字腰壁側を前面腰壁側に突き当てて取付けます。



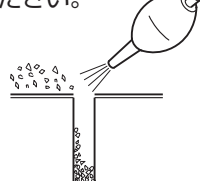
ポイント

- 前面側と側面側の腰壁ベース材に段差が生じる場合は、スペーサーをはさみ、高さを合わせるように調整してください。

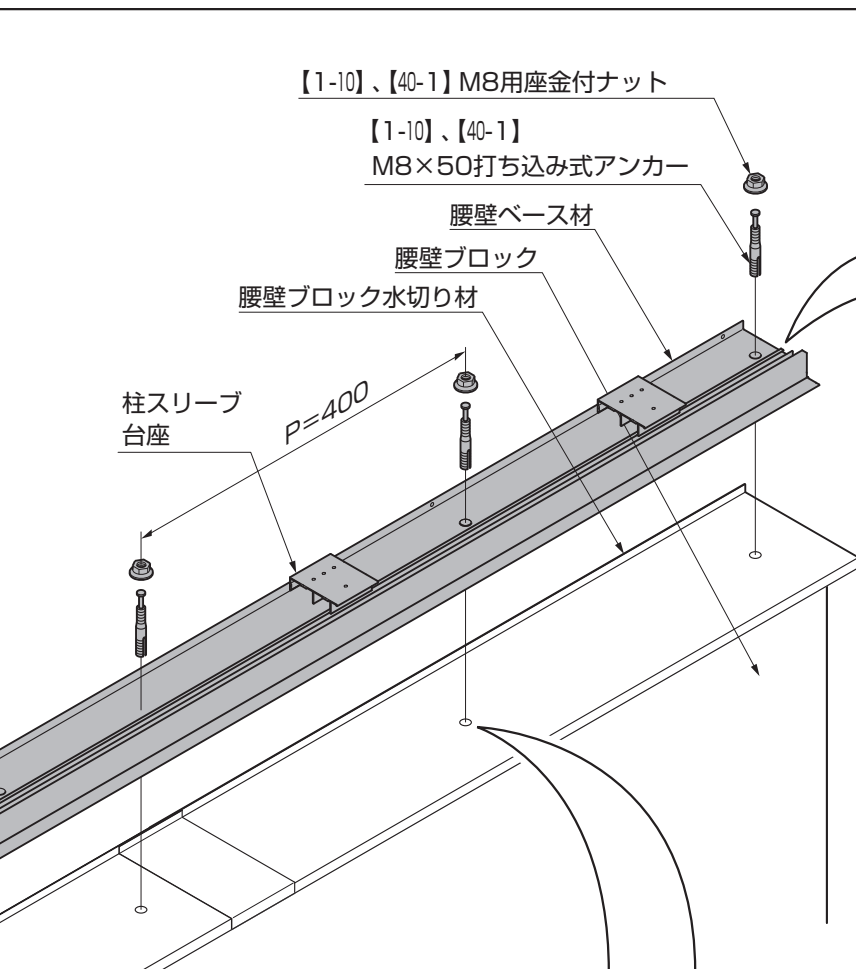


ポイント

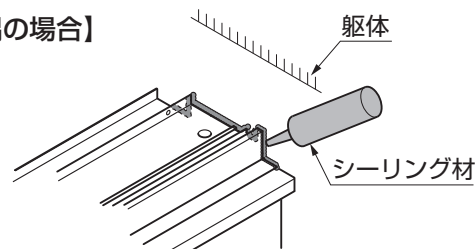
- 腰壁ブロックに穴をあけた後、穴にたまっている粉を吹き出してください。



- ①腰壁ベース材の躯体側面～躯体間をD寸法で位置決めしてください。（図2-1参照）
- ②腰壁ブロックにφ8.5、深さ35の穴をあけてください。
- ③バックアップ材を腰壁ベース材の躯体側に取付け、シーリングしてください。
- ④腰壁ベース材を腰壁ブロックに【1-10】、【40-1】で取付けてください。
- ⑤取付けた【1-10】、【40-1】の周りをシーリングしてください。



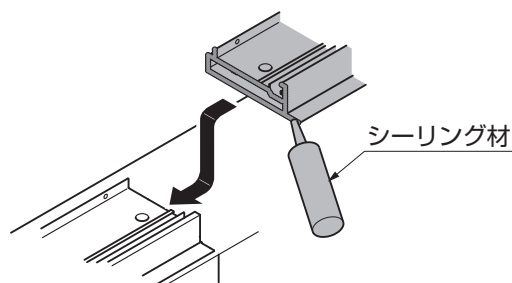
【入隅の場合】



ポイント

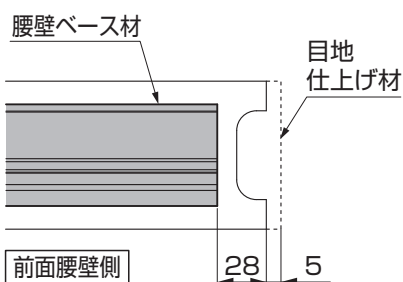
- 腰壁ベース材を躯体の取合せ部にシーリングしてください。

【連棟、ガーデンルームプラスの場合】



ポイント

- 腰壁ベース材にシーリングして取付けてください。



ポイント

- 腰壁ベース材の端部は腰壁ブロック端部から28mmの位置で取付けてください。
- アンカー穴まわりには、必ず雨水侵入防止のため、十分なシーリングをしてください。
- 打ち込み後の穴、アンカーボルト周囲に十分にシーリングをしてください。
- 柱台座スリーブとアンカー固定穴が重なる場合は、柱スリーブ台座を外してアンカー固定後、柱スリーブ台座を付け直してください。

【腰壁ベース材取付位置】

- 【1-10】、【40-1】
M8用座金付ナット
【1-10】、【40-1】
M8×50打ち込み式アンカー

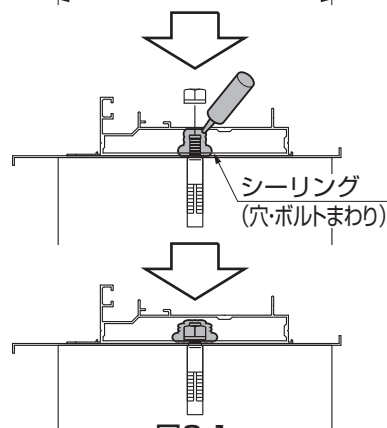
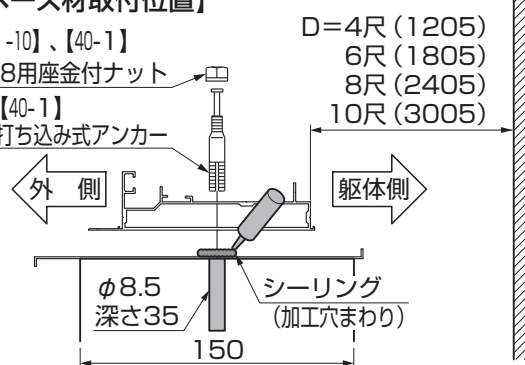


図2-1

14 フレーム部の施工

1. ガーデンルームプラスタイプの柱の取付け

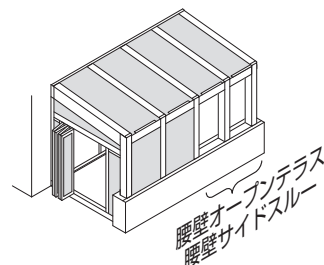
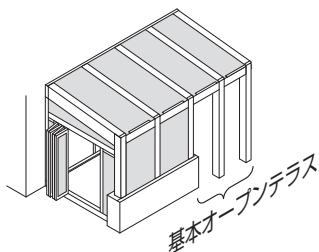
※ガーデンルームプラスタイプで基本オープンテラスを接続する場合の作業です。

タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

ポイント

●ガーデンルームプラスタイプで基本オープンテラスを接続する場合は、柱の取付けが腰壁部と異なりますので、本手順も併せてご覧ください。

※腰壁オープンテラスと腰壁サイドスルーを接続する場合、柱の取付手順は通常と同じになります。

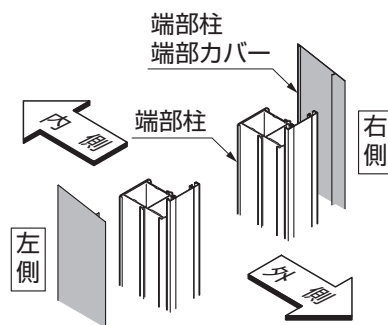
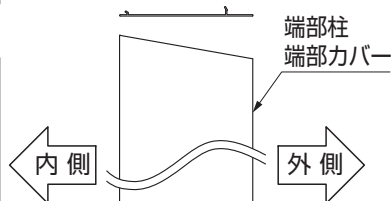
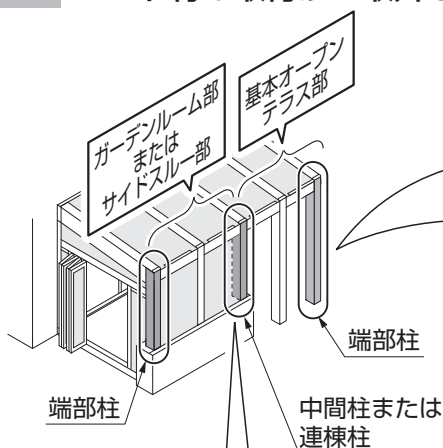


1-1 ビード材の取付け・取外し

ポイント

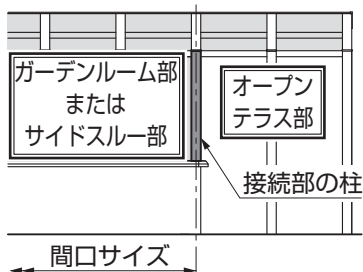
【プラス用の端部柱（1本入）を使用する場合】

●基本オープンテラス側の端部柱端部カバーは取付けする側に合わせて向きを確認してください。

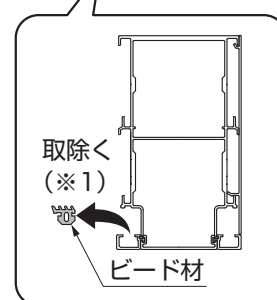
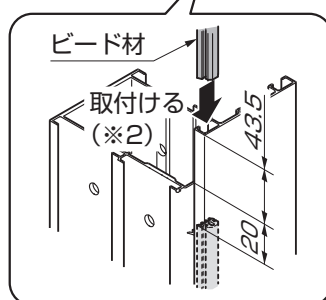
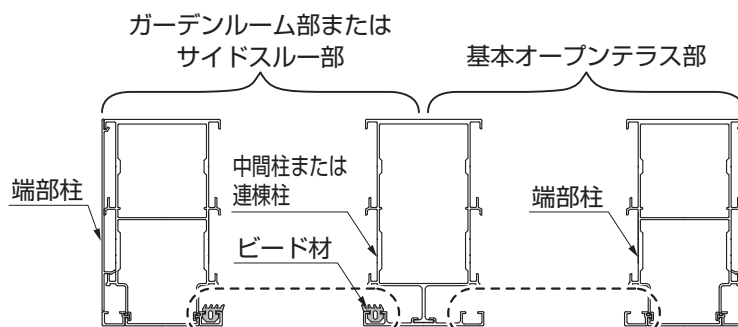


ポイント

●ガーデンルーム・サイドスルーとオープンテラスの接続部に中間柱または連棟柱が必要です。



間口サイズ	接続部の柱
3.0間以下	中間柱
3.5間以上	連棟柱



- ①オープンテラス側の柱からビード材を取除いてください。（※1）
- ②ガーデンルーム側またはサイドスルー側の柱にビード材を、市販の瞬間接着剤で取付けてください。（※2）

補足

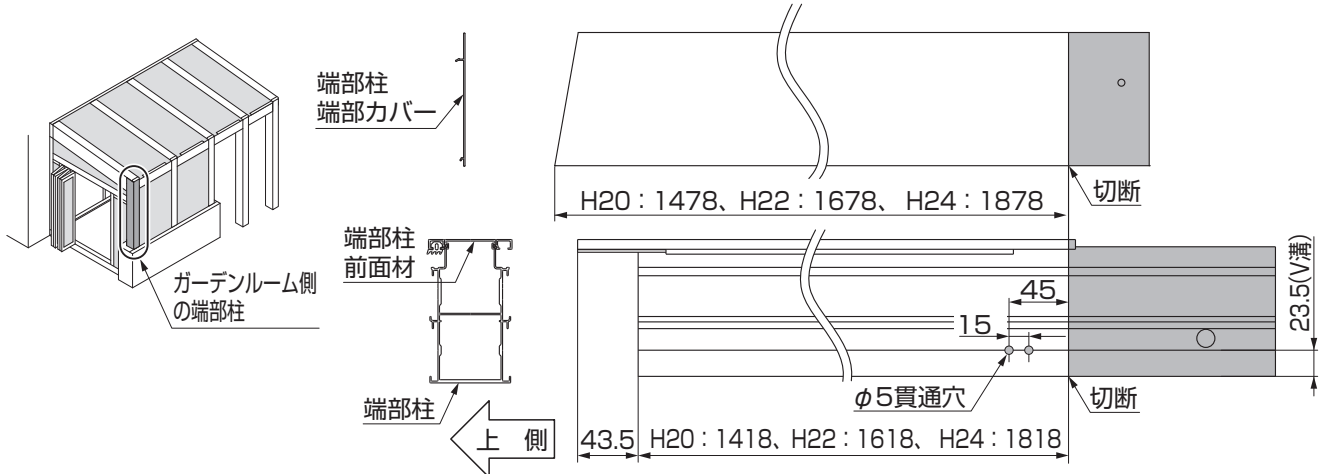
- ビード材がない場合は不要です。（※1）
- ビード材がある場合は不要です。（※2）

1-2 ガーデンルーム側の端部柱の加工

※基本タイプの端部柱を使用する場合の作業です。
※腰壁用の端部柱を使用する場合は不要です。

ポイント

- 柱前面の部材はスライドします。切断の際は位置を合わせ、テープ等で仮固定した上で切断してください。
- 記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。
- 角樋を端部柱から引き抜いて切断してください。



- ①角樋を端部柱から引き抜いてください。
- ②端部柱、端部柱端部カバーを加工してください。
- ③角樋を端部柱に差し込んでください。

ポイント

- 現場状況（施工状況）に合わせて切断寸法を計算してください。

メモ

1. (つづき)

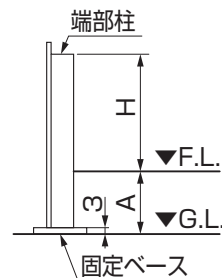
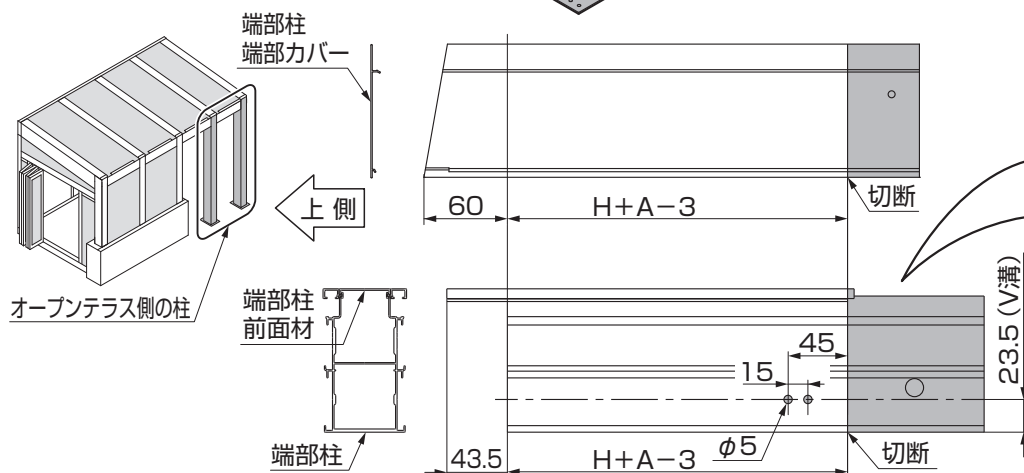
1-3 オープンテラス側の柱の取付け

ポイント

- 柱前面の部材はスライドします。切断の際は位置を合わせ、テープ等で仮固定した上で切断してください。
- 記載の寸法は想定寸法です。切断加工前に必ず、現場実寸法を確認してください。
- 角樋を端部柱から引き抜いて切断してください。

(1) 柱の加工

【柱を埋め込まない場合（柱固定ベース：  を使用）】



※H：F.L.～上部分柱寸法
※A：F.L.～G.L.寸法

サイズ	H
H20	2250
H22	2450
H24	2650

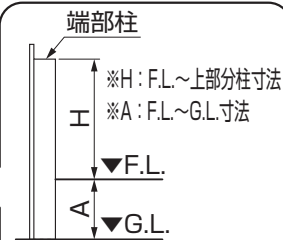
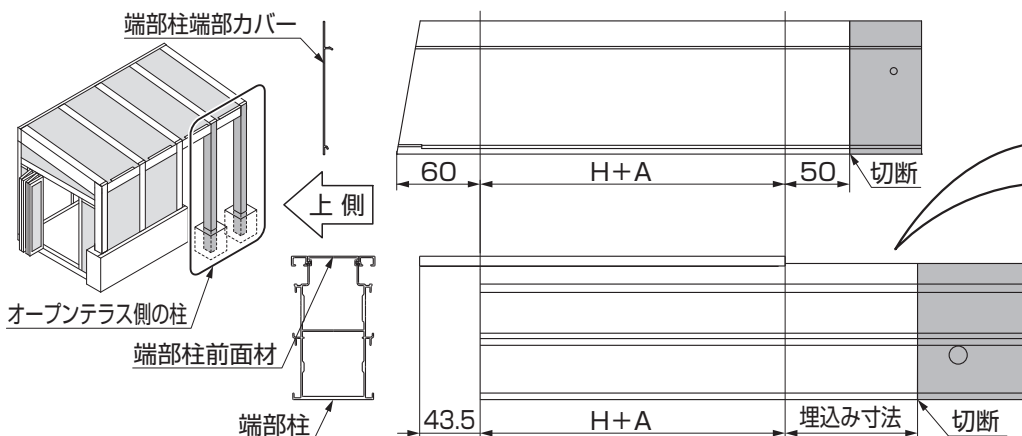
※柱前面材～柱上部
43.5mmは除く

- ①角樋を端部柱から引き抜いてください。
- ②端部柱、端部柱端部カバーを加工してください。
- ③角樋を端部柱に差し込んでください。

ポイント

- 現場状況（施工状況）に合わせて切断寸法を計算してください。

【柱を埋め込む場合】

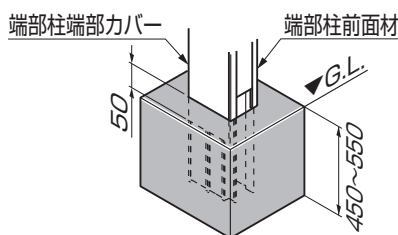


サイズ	H
H20	2250
H22	2450
H24	2650

※柱前面材～柱上部
43.5mmは除く

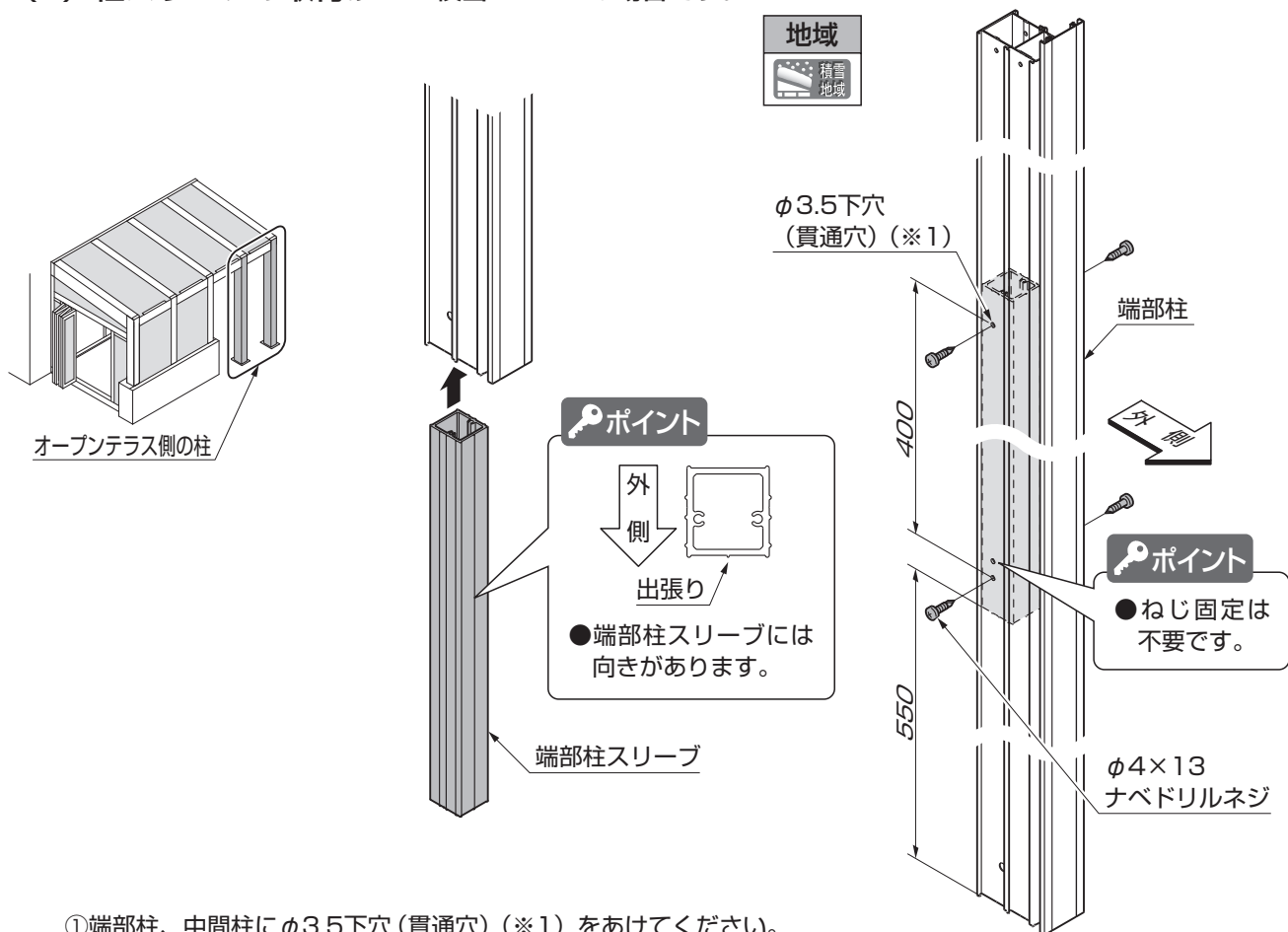
ポイント

- 端部柱端部カバーは50mm埋込むため、埋込みラインより50mm下になるように切断してください。
- 現場状況（施工状況）に合わせて切断寸法を計算してください。
- 端部柱前面材はG.L.まで、柱端部端部カバーは50mm埋込みとなります。
- 端部柱端部カバーはここでは取付けないでください。



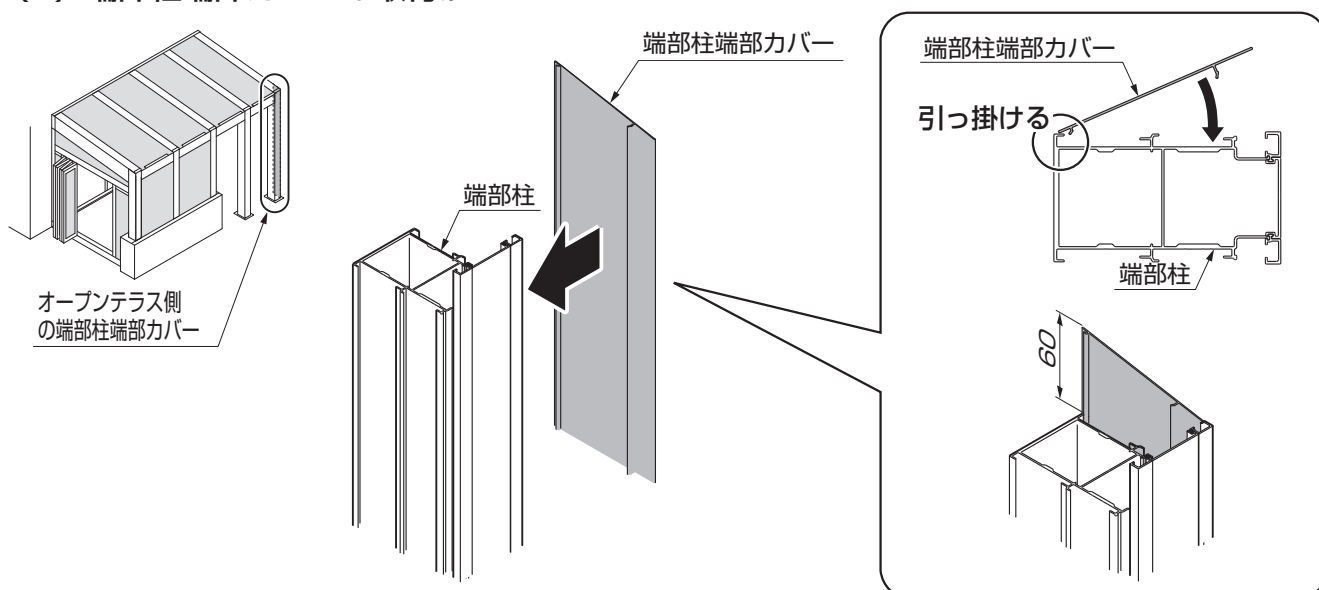
- ①角樋を端部柱から引抜いてください。
- ②端部柱、端部柱端部カバーを加工してください。
- ③角樋を端部柱に差し込んでください。

(2) 柱スリーブの取付け ※積雪3000Nの場合です。



- ①端部柱、中間柱にφ3.5下穴(貫通穴)(※1)をあけてください。
- ②端部柱に端部柱スリーブを差込み、「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。
- ③中間柱に中間柱スリーブを差込み、「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。

(3) 端部柱端部カバーの取付け

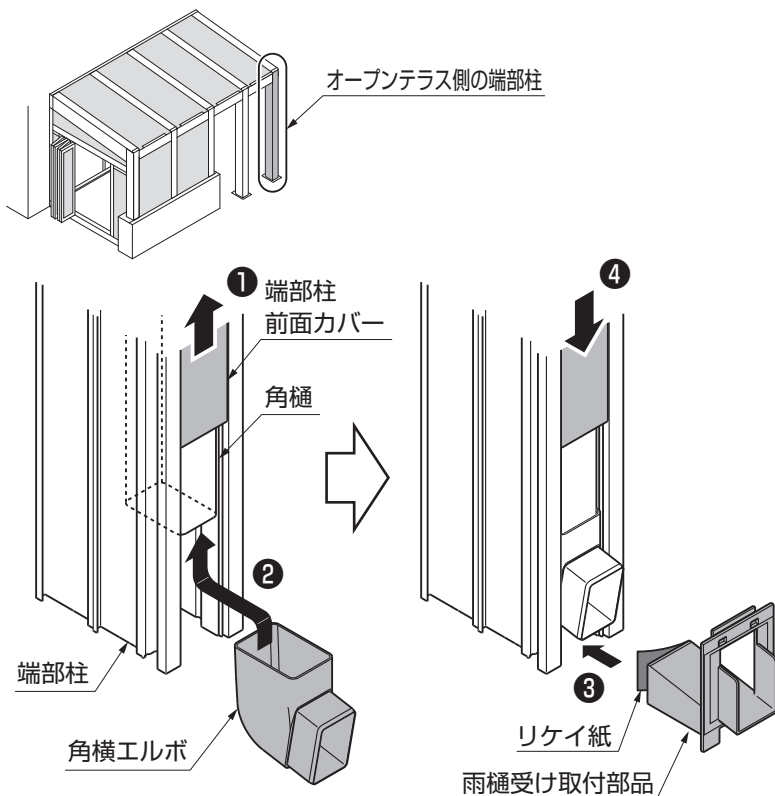


- ①端部柱端部カバーを端部柱に取付けてください。

1. (つづき)

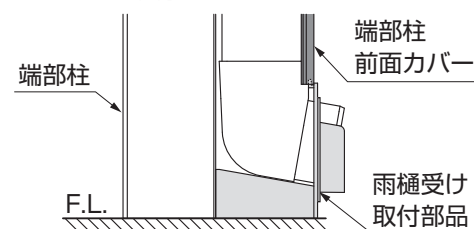
1-3 つづき

(4) 雨樋の取付け

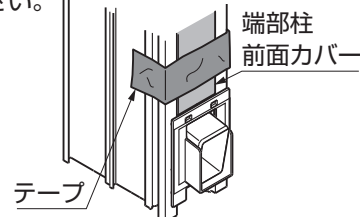


ポイント

- 雨樋受け取付部品の上に前面カバーを乗せてください。
- 雨樋受け取付部品下端がF.L.ラインになるように取付けてください。

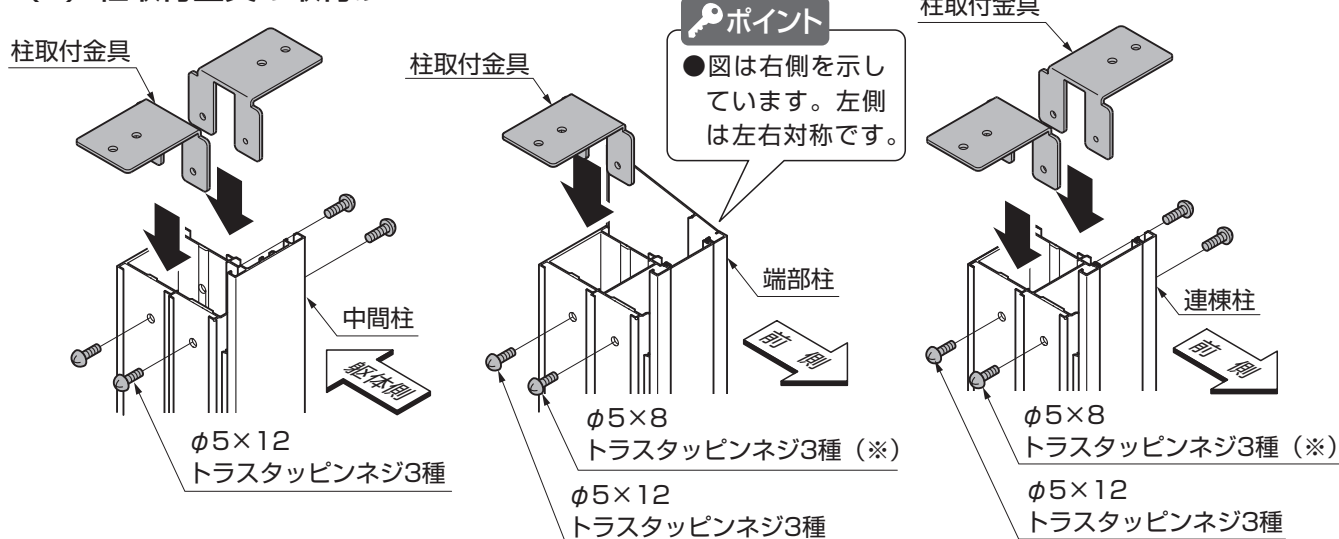


- 建込みまでの間、端部柱前面カバーがズレないようにテープなどで仮固定してください。



- ①端部柱前面カバーを持ち上げ、角樋の下端に角横エルボを取付けてください。
- ②雨樋受け取付部品のリケイ紙をはがし、端部柱に取付けてください。
- ③端部柱前面カバーを下ろし、雨樋受け取付部品に乗せてください。

(5) 柱取付金具の取付け



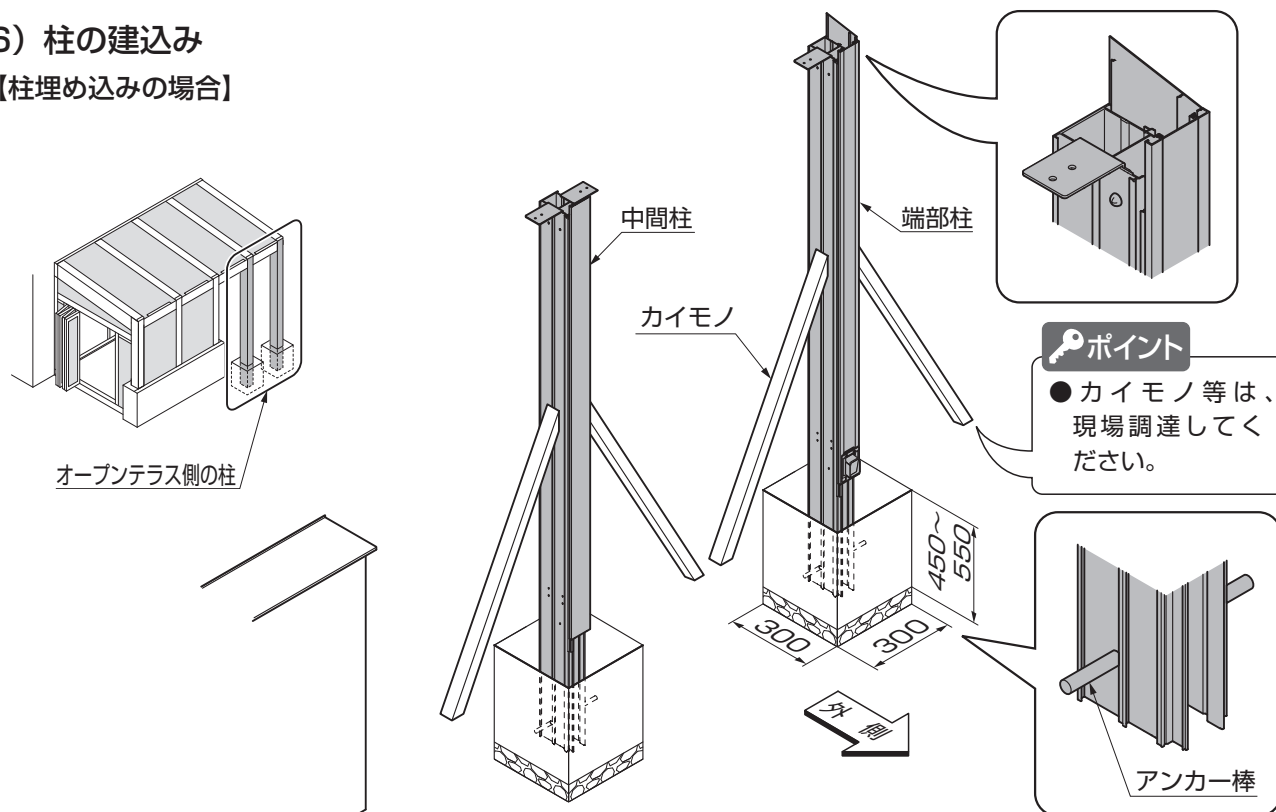
- ①柱取付金具を柱に「φ5×12トラスタッピンネジ3種」と「φ5×8トラスタッピンネジ3種」で取付けてください。

ポイント

- 端部柱と連棟柱の前側は、雨樋と干渉しないよう「φ5×8トラスタッピンネジ3種」を使用してください。(※)

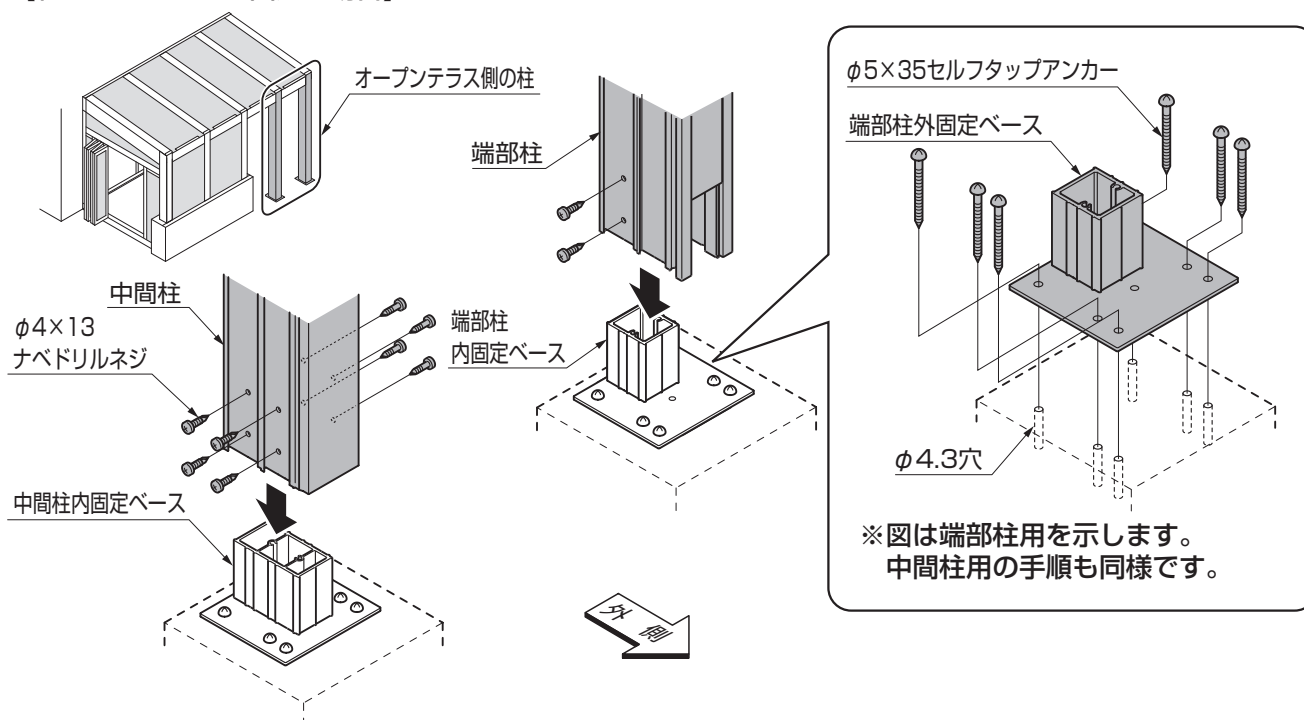
(6) 柱の建込み

【柱埋め込みの場合】



- ①端部柱にアンカー棒を差込み、「**8 柱の位置出し**」を参照して建込んでください。
- ②端部柱が倒れないように、カイモノ等で仮固定してください。

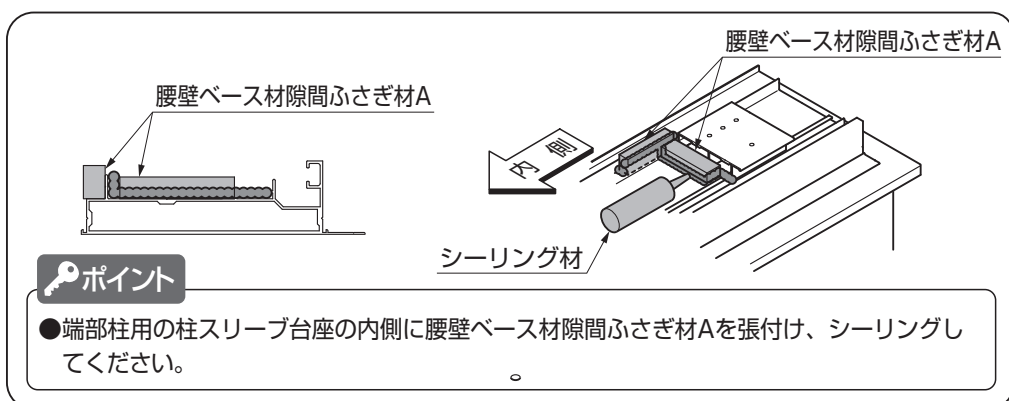
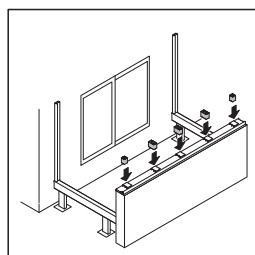
【柱ベースプレート固定の場合】



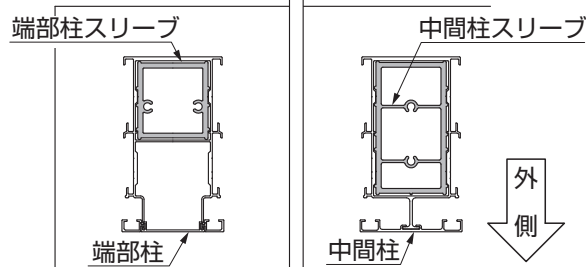
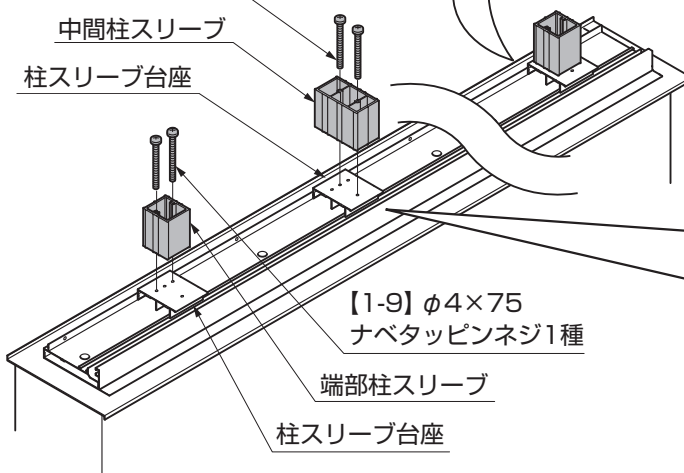
- ①柱固定ベースを取付ける箇所にφ4.3の穴をあけてください。
- ②柱固定ベースを「φ5×35セルフタップアンカー」で取付けてください。
- ③柱を柱固定ベースに「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。

2. 柱スリーブの取付け

タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			



【1-9】φ4×75
ナベタッピンネジ1種



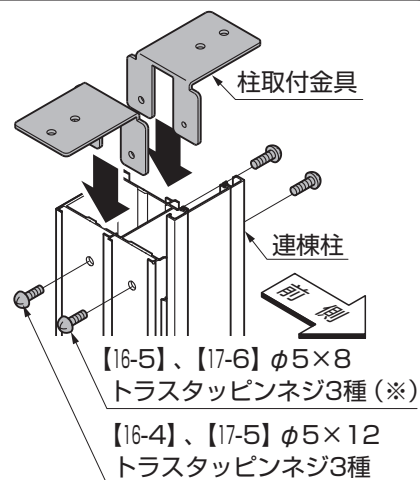
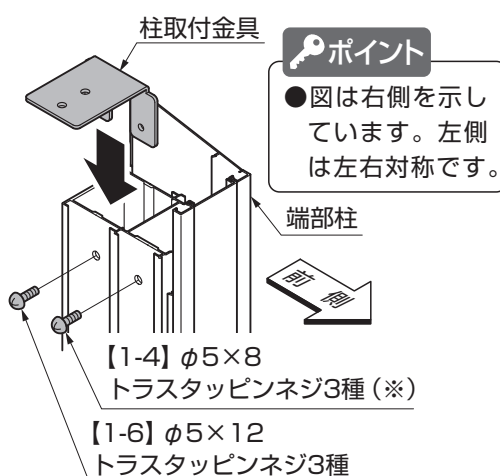
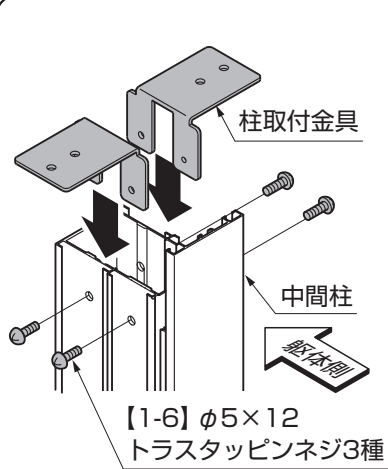
ポイント

●柱スリーブには取付けの向きがあります。

①中間柱スリーブ、端部柱スリーブを柱スリーブ台座に【1-9】で取付けてください。

3. 柱の組立て

タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			



①柱取付金具を柱に【1-4】、【1-6】、【16-4】、【16-5】、【17-5】、【17-6】で取付けてください。

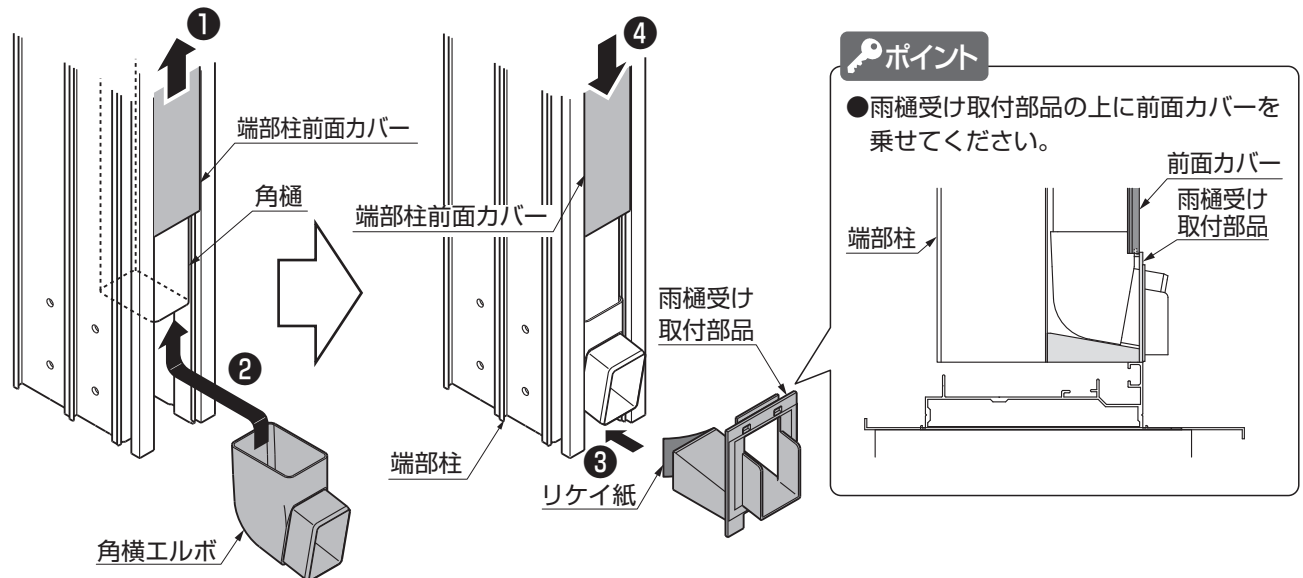
ポイント

●端部柱、連棟柱の前側は雨樋と干渉しないよう「φ5×8トラスタッピンネジ3種」を使用してください。（※）

タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

4. 雨樋の取付け

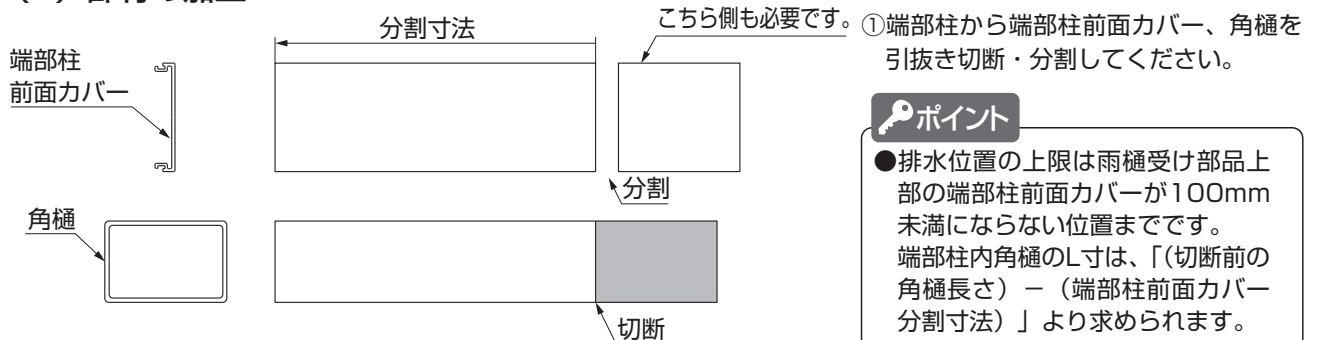
4-1 通常排水の場合



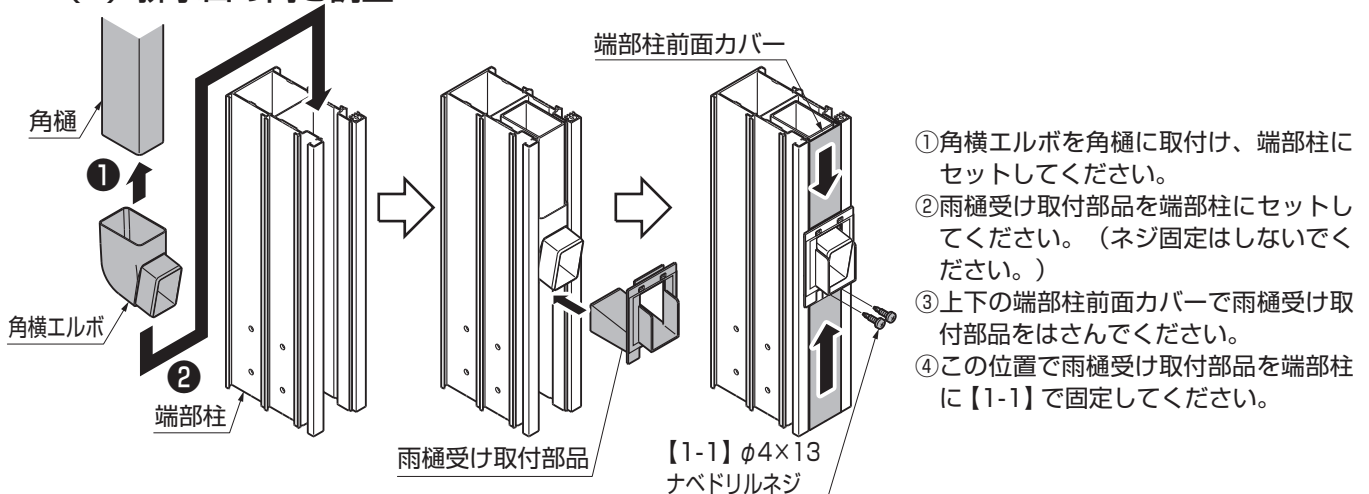
- ①端部柱前面カバーを持ち上げ、角樋の下端に角横エルボを取付けてください。
- ②雨樋受け取付部品のリケイ紙をはがし、端部柱に取付けてください。
- ③端部柱前面カバーを下ろし、雨樋受け取付部品に乗せてください。

4-2 下排水の場合 ※積雪対応や障害物を避けるため排水位置を上方に変更する方法です。

(1) 部材の加工

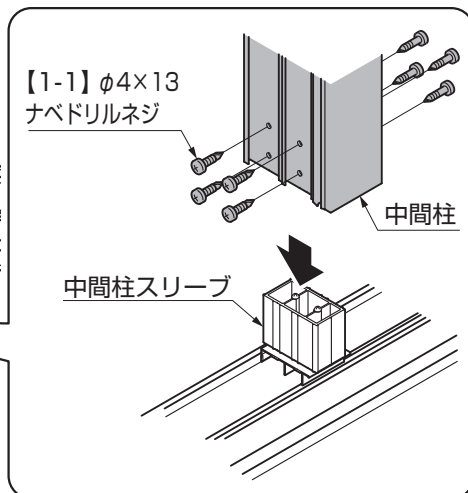
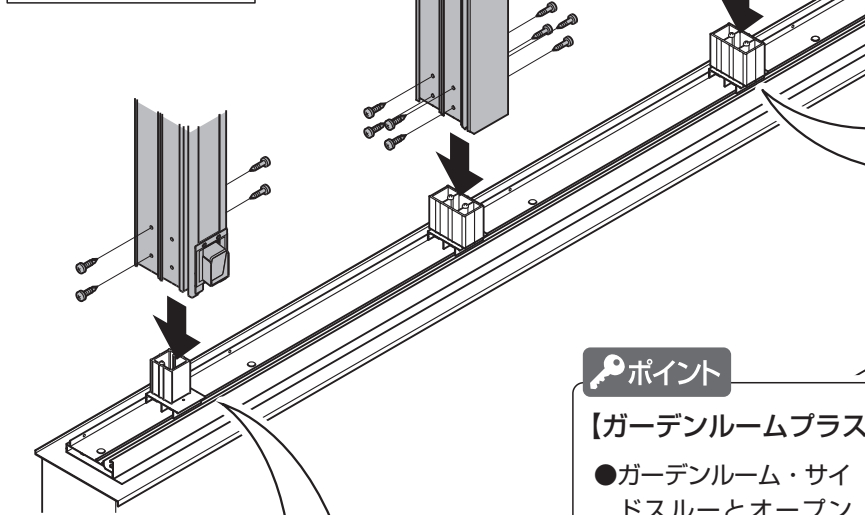
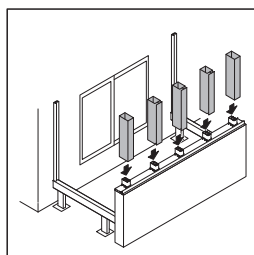


(2) 排水口の高さ調整



5. 柱の建込み

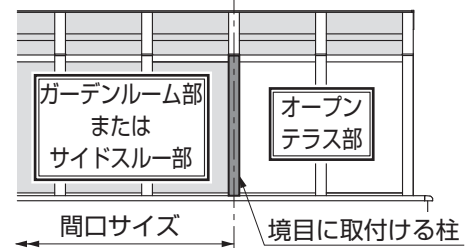
タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			



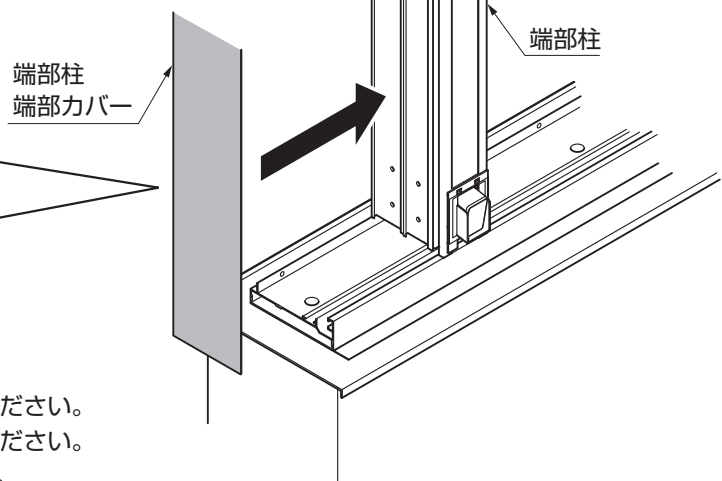
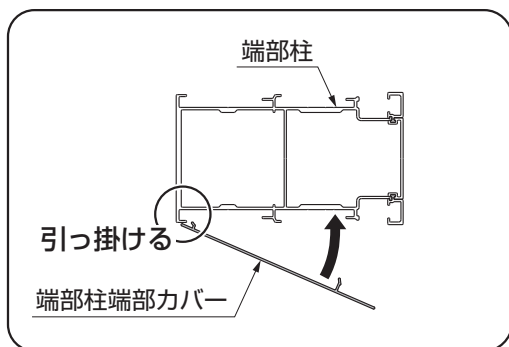
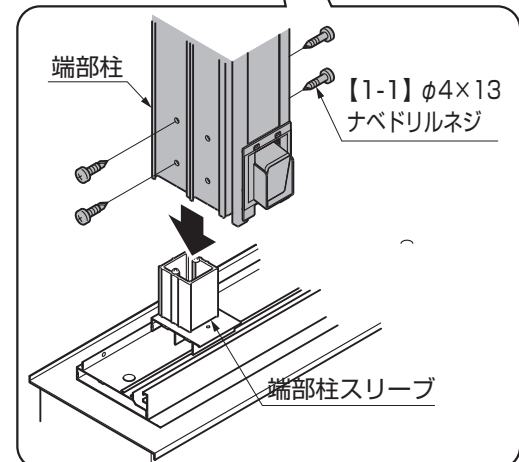
ポイント

【ガーデンルームプラスタイプの柱について】

- ガーデンルーム・サイドスルーとオープンテラスの境目に取付ける柱は、ガーデンルーム部の間口サイズにより変わります。



間口サイズ	境目に取付ける柱
3.0間以下	中間柱
3.5間以上	連棟柱



- ① 中間柱を中間柱スリーブに【1-1】で取付けてください。
- ② 端部柱を端部柱スリーブに【1-1】で取付けてください。
- ③ 端部柱端部カバーを端部柱に取付けてください。

6. 入隅の場合

※図は右入隅の場合を示します。
左入隅の場合は対象です。

タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

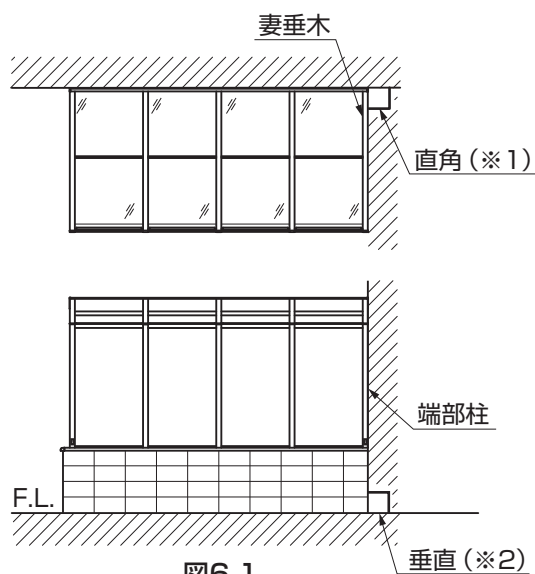


図6-1

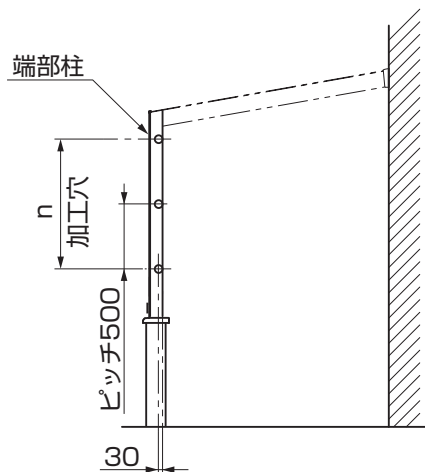


図6-2

表6-1

	加工穴n
H20	3
H22	3
H24	4

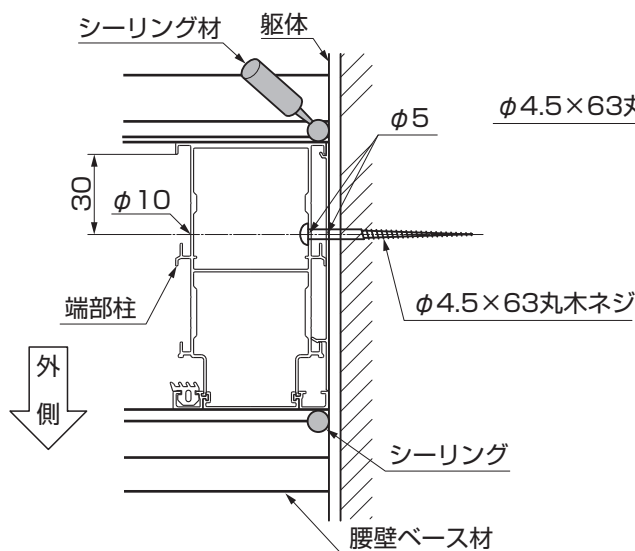


図6-3

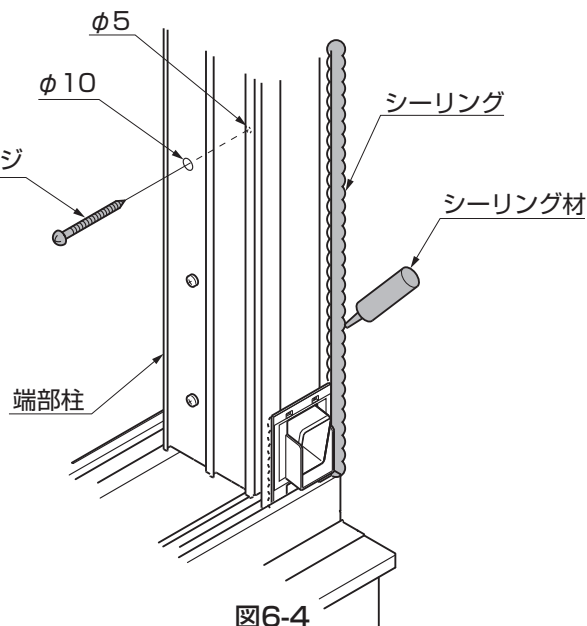


図6-4

ポイント

●躯体外壁の直角度(※1)、垂直度(※2)に狂いが生じている場合は、取付けることができませんので、修正してください。修正時の部材については、現場で手配してください。(図6-1参照)

①入隅側の端部柱に、φ10、φ5の穴をあけてください。(図6-1、図6-2、表6-1参照)

②端部柱と躯体を、「φ4.5×63丸木ネジ」で取付けてください。(図6-3、図6-4参照)

ポイント

●「φ4.5×63丸木ネジ」は、現場で手配してください。

③端部柱と躯体の取合せ部にシーリングをしてください。(図6-3参照)

ポイント

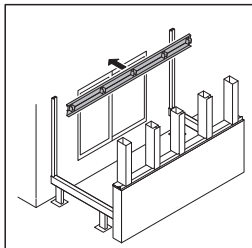
●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

●躯体取付面の凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付面の止水性を確保してください。

7. 垂木掛けの取付け

タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

7-1 垂木掛けの取付け



補足

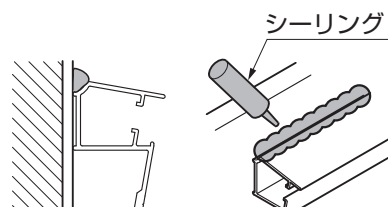
- 躯体方立を取付けている場合は垂木掛けを躯体方立に乗せて取付けてください。
- 垂木掛けの取付け位置は「5 基本寸法」を参照してください。

ポイント

- 垂木掛けの躯体取付け面に凹凸が大きい場合は、バックアップ材などを現場手配して取付け面の止水性を確保してください。
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

ポイント

- 指定の箇所には、雨水浸入防止の為、必ずシーリングをしてください。



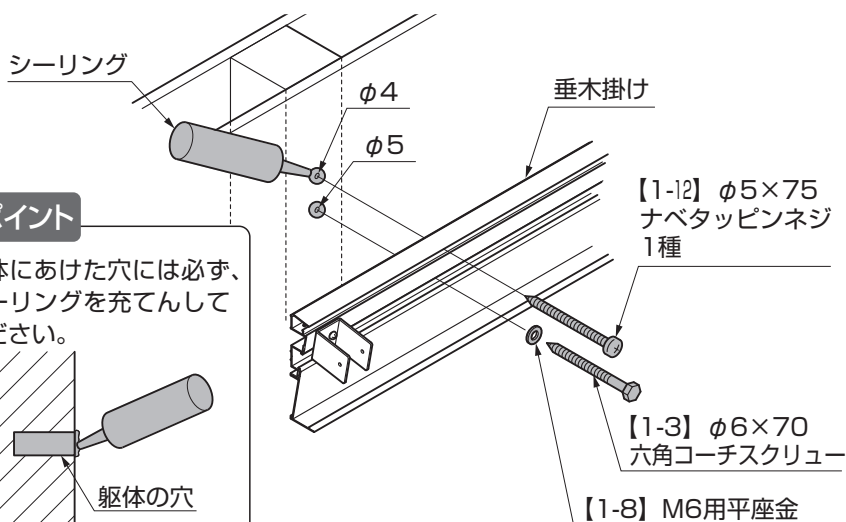
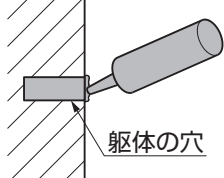
【積雪地域】



(積雪地域3000N(100cm相当)仕様の場合)

ポイント

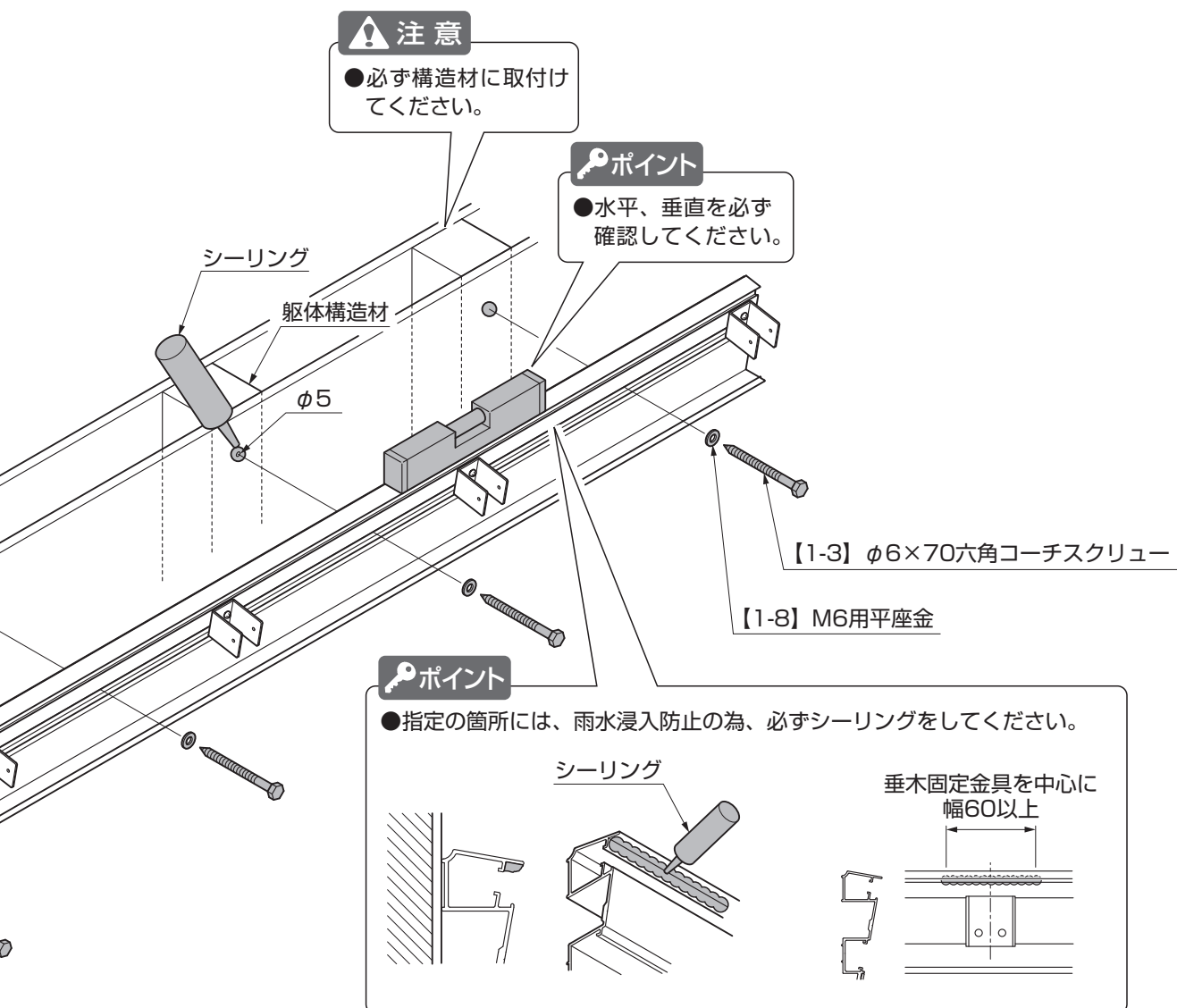
- 躯体にあけた穴には必ず、シーリングを充て込んでください。



【一般地域】



- ① 躯体に垂木掛け取付け用の穴をけがいてφ5の穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
- ③ 垂木掛けを躯体の構造材に【1-3】、【1-8】で取付けてください。



【積雪地域】 (積雪地域1500N (50cm相当)仕様の場合)

- ① 躯体に垂木掛け取付け用の穴をけがいてφ5の穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
- ③ 垂木掛けを躯体の構造材に【1-3】、【1-8】で取付けてください。

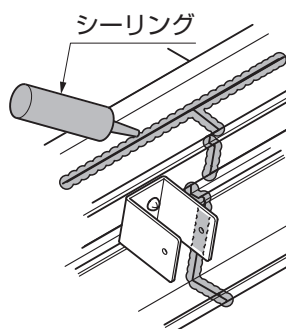
【積雪地域】 (積雪地域3000N (100cm相当)仕様の場合)

- ① 躯体に垂木取付け用の穴をけがいてφ4とφ5の穴をあけてください。
- ② 躯体にあけた穴にシーリングをしてください。
- ③ 垂木掛けを躯体の構造材に【1-3】、【1-8】と【1-12】で取付けてください。

7. (つづき)

7-2 連棟、垂木LED照明 **オプション**、入隅仕様の場合

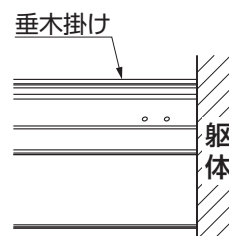
(1) 連棟の場合



ポイント

- 指定の箇所には、雨水浸入防止の為、必ずシーリングをしてください。

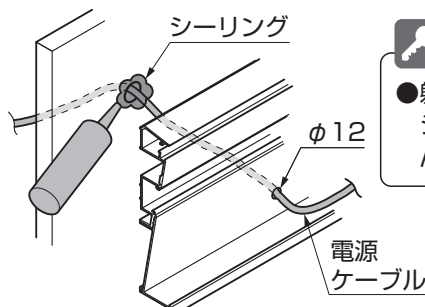
(3) 入隅仕様の場合



ポイント

- 垂木掛け側面を躯体に突き当てて取付けてください。

(2) 垂木LED照明 **オプション**



ポイント

- 躯体にあけた穴にシーリングを充填してください。

図7-1 躯体に穴をあけて配線する場合

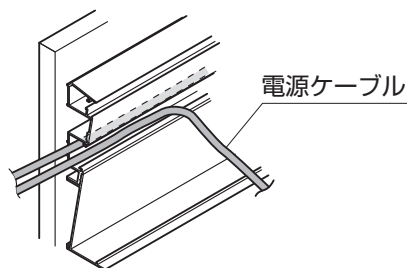


図7-2 垂木掛けの溝を利用する場合

(1) 連棟の場合

- ① 垂木掛けの連結箇所にシーリングをしてください。

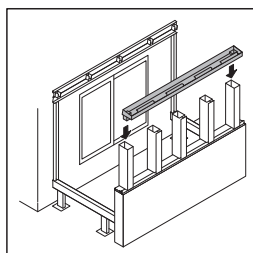
(2) 垂木LED照明 **オプション**

- ① 躯体に穴をあけて配線する場合は、「9 施工前の準備 2.配線工事」を参照して電源ケーブルを通す位置の垂木掛けにφ12の穴をあけ、躯体から配線してください。

(3) 入隅仕様の場合

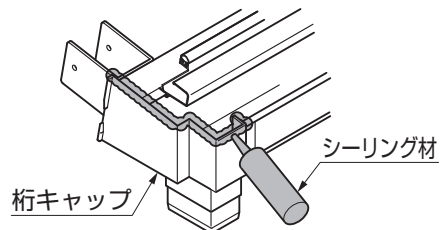
- ① 垂木掛けを躯体にあてがい取付けてください。

8. 桁の取付け



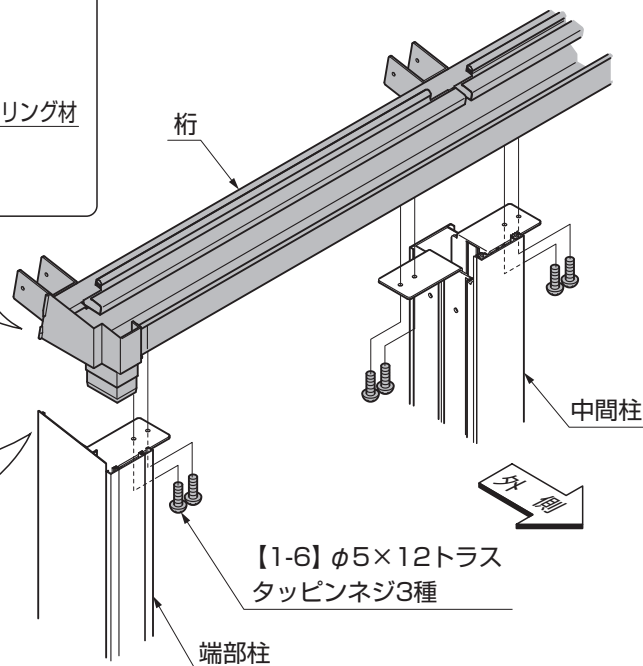
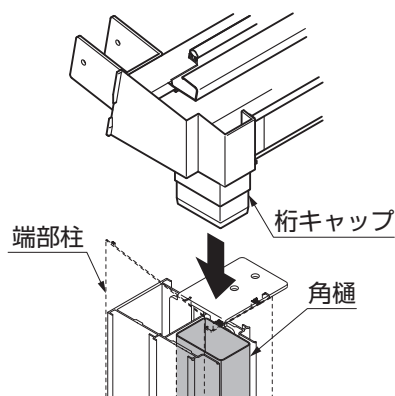
ポイント

- 指定の箇所には、雨水侵入防止のため、必ずシーリングをしてください。

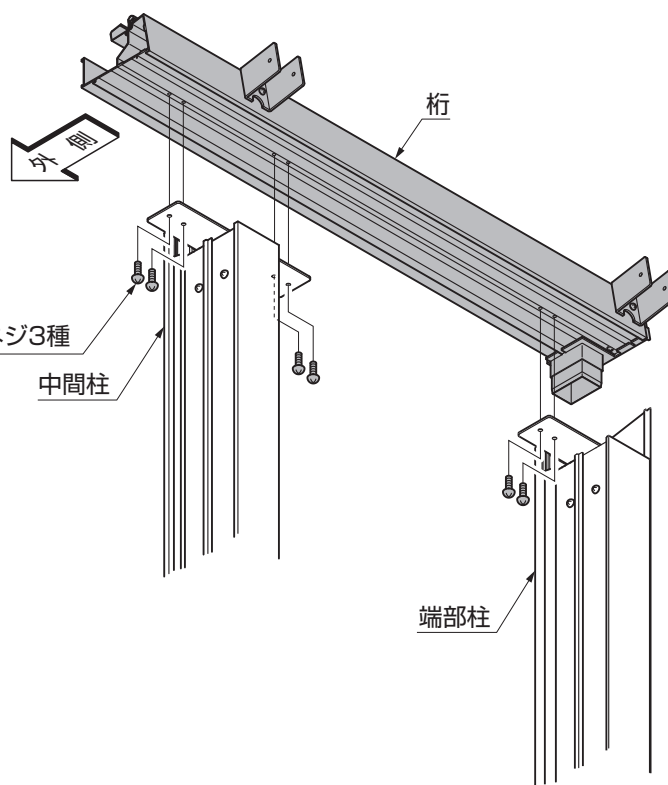


ポイント

- 桁キャップを角樋に挿入してください。



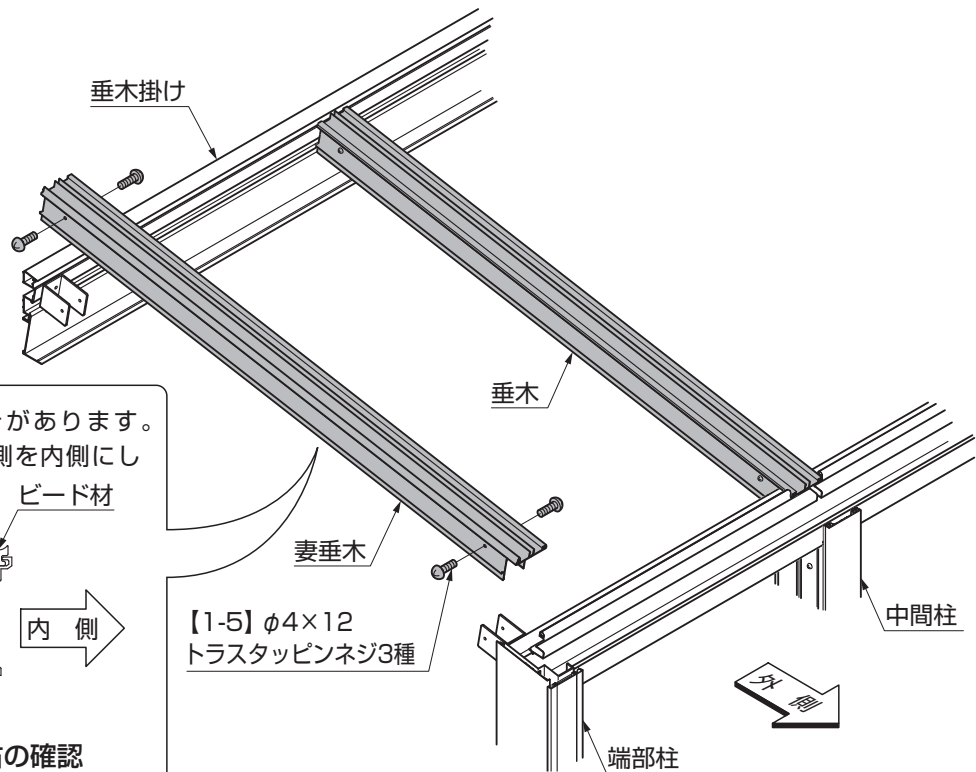
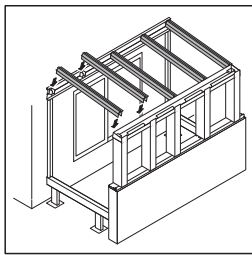
【1-6】φ5×12トラスタッピンネジ3種



- ①桁キャップをシーリングしてください。
- ②桁を端部柱、中間柱に【1-6】で取付けてください。

タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

9. 妻垂木・垂木の取付け



ポイント

- 妻垂木には左右の向きがあります。ビード材が付いている側を内側にして取付けてください。

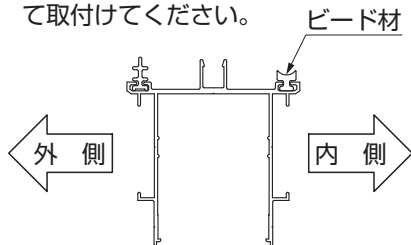
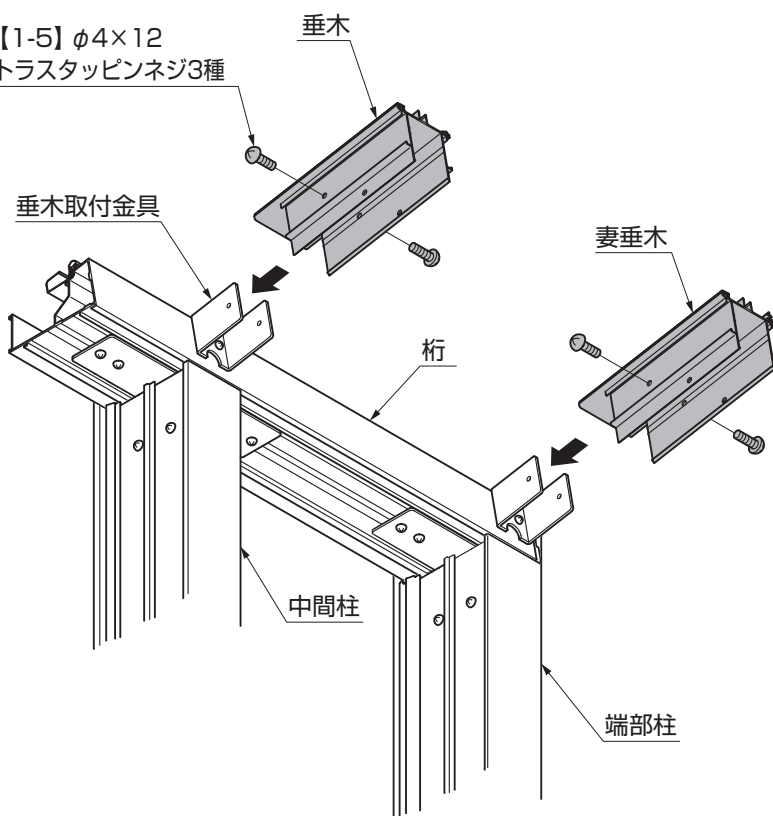


図9-1 妻垂木左右の確認

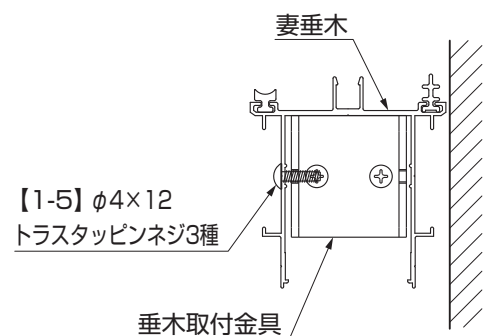
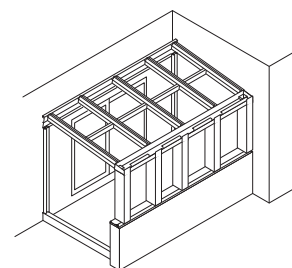
【1-5】φ4×12
トラスタッピンネジ3種



ポイント

【入隅仕様の場合】

- 【1-5】を片側だけ取付けてください。



①妻垂木、垂木を垂木取付金具に【1-5】で取付けてください。

10. 中骨の取付け

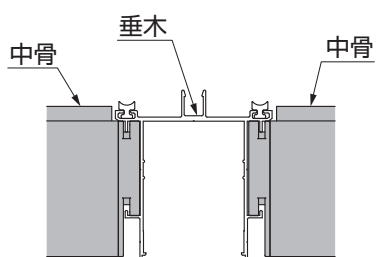
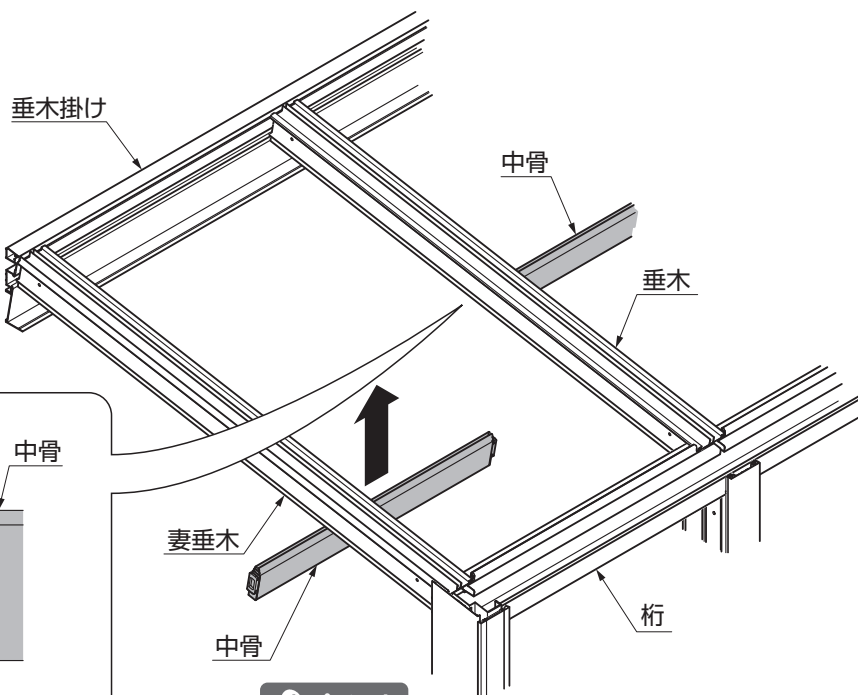
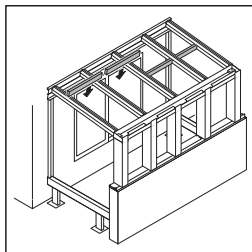


図10-1 中骨取付け位置

ポイント

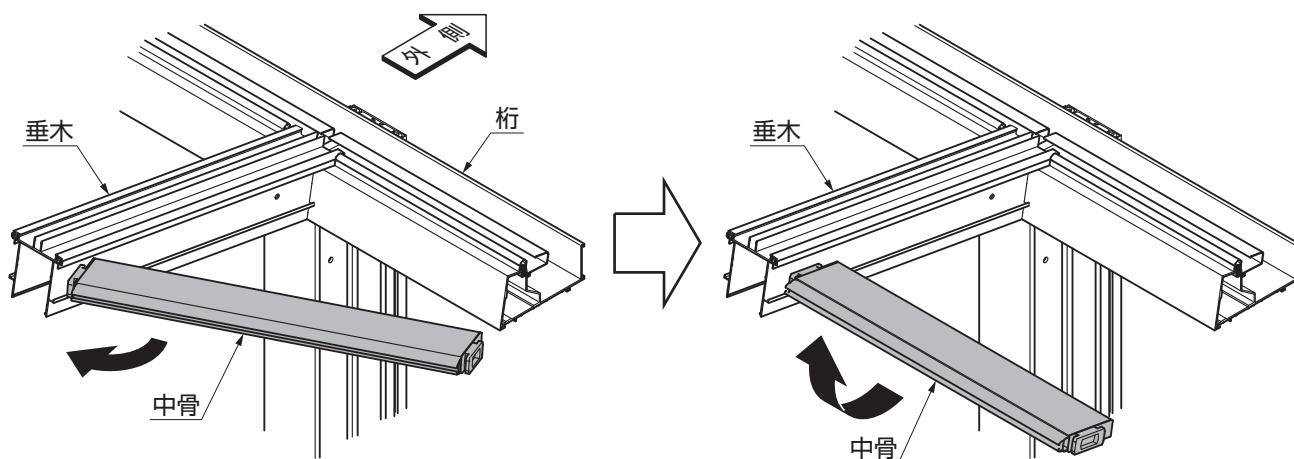
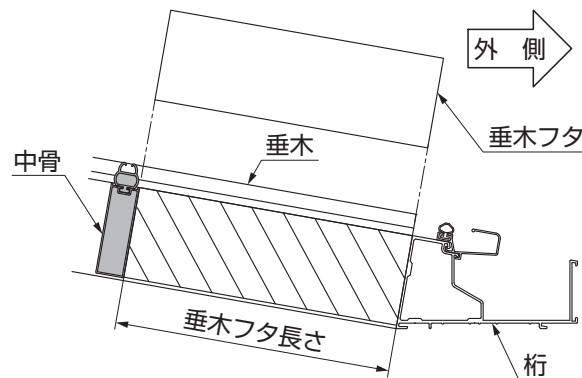
- 仕様によって中骨の本数が異なります。

表10-1 1スパン当りの中骨本数

	4尺	6尺	8尺	10尺
600N	—	1	1	2
1500N・3000N	1	2	3	—

ポイント

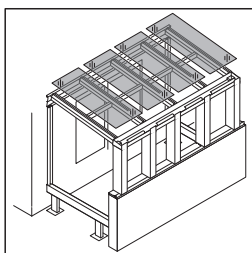
- 垂木フタの長さを目安に中骨のおおよその位置を決めてください。中骨は後で動かすことができます。



- ①中骨を垂木間に回転しながら、はめ込んでください。

タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

11. 屋根材の取付け



ポイント

- 左右どちらかの妻垂木より、1スパンごとに取付けてください。
- 垂木掛けにしっかり差し込んでください。
- 屋根材には耐候面（裏表）があります。ラベルの貼付け面を確認の上、取付け間違いのないように注意してください。

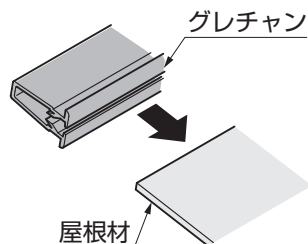
ポイント

- グレチャンからの屋根材のはみ出し幅が左右均等になるようにしてください。

グレチャン

垂木掛け

屋根材



ポイント

- 屋根材はグレチャンの奥に突き当ててください。

図11-1 グレチャンの取付け

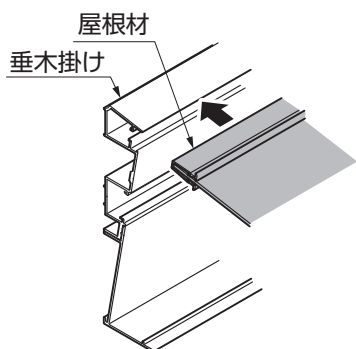


図11-2 屋根材の取付け

ポイント

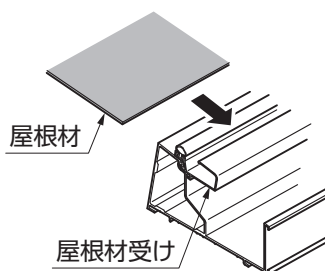
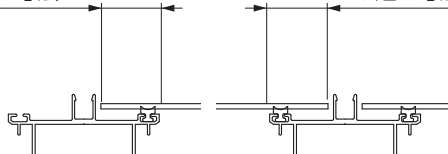
- 屋根材ののみ込みが左右均等になるようにしてください。

屋根材

のみ込み寸法：A

屋根材

のみ込み寸法：A



ポイント

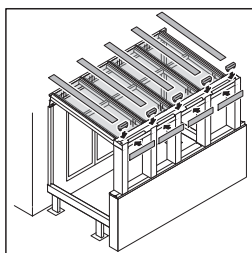
- 屋根材のはみ出しが左右均等になるように屋根材受けをスライドしてください。

図11-3 屋根材の取付け

- ①グレチャンを屋根材に取付けてください。
- ②屋根材を垂木掛けに差し込んでください。（図11-1参照）
- ③屋根材を屋根材受けに、差し込んでください。（図11-2、図11-3参照）

タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

12. 垂木カバーの取付け

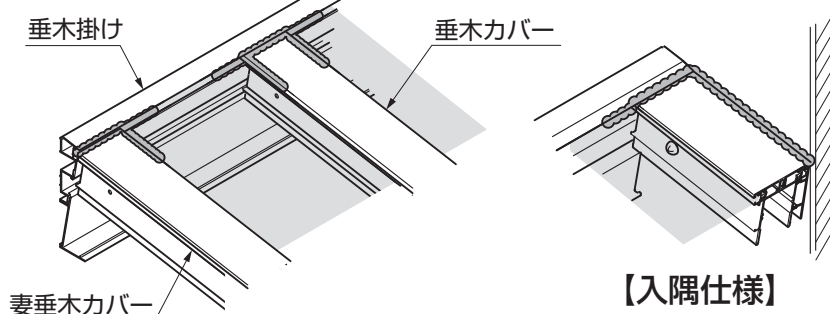


12-1 シーリング箇所一覧

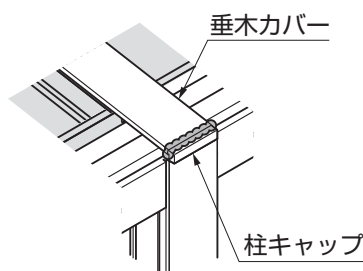
ポイント

●指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。

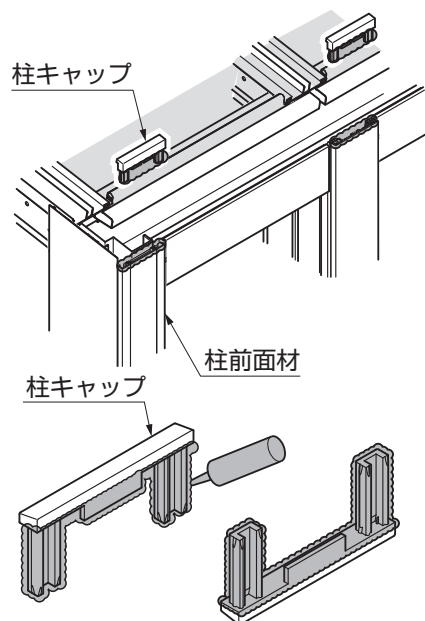
12-5 垂木カバーの取付け…(P.97)



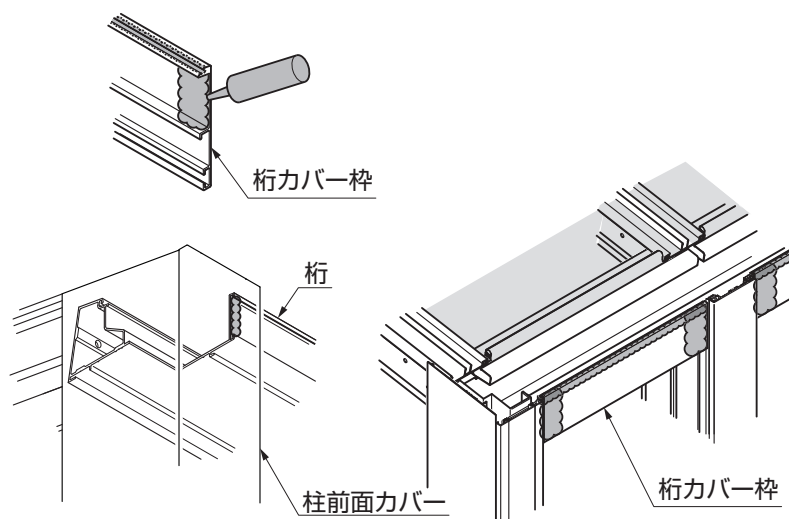
12-5 垂木カバーの取付け…(P.97)



12-3 柱キャップの取付け…(P.95)



12-2 桁カバー枠の取付け…(P.94)

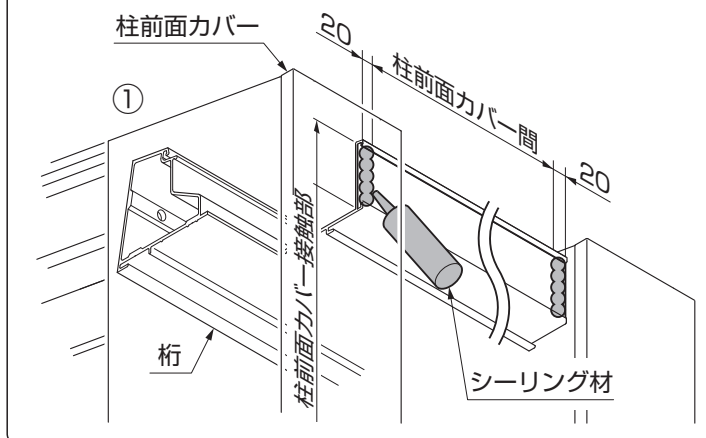


12. (つづき)

12-2 桁カバー枠の取付け

ポイント

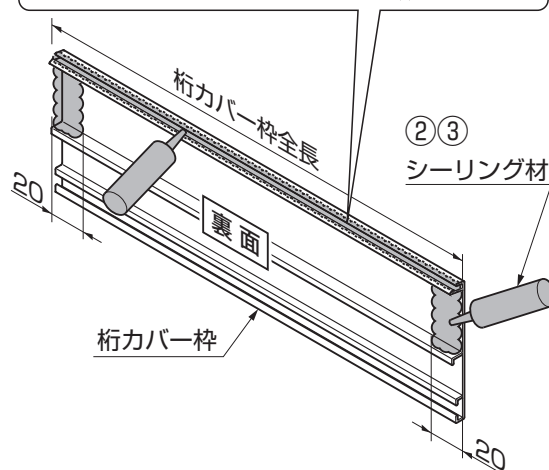
- 指定の箇所に必ずシーリングをしてください。



【桁カバー枠裏側シーリング箇所】

ポイント

- 上図の箇所については桁カバー枠全長にシーリングを行ってください。

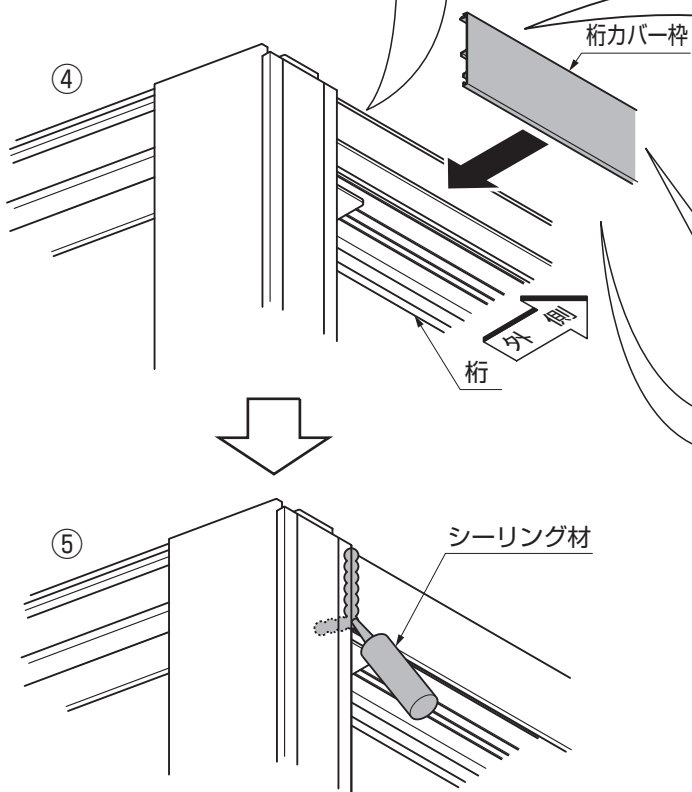
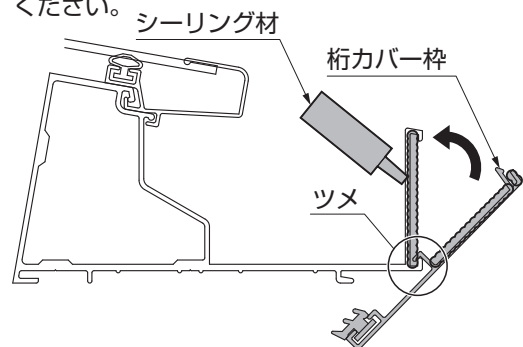


ポイント

- ガーデンルームプラスタイプのオープンテラス部分には、オープンテラス用桁カバー枠（先付ビード材無し）を取付けてください。

ポイント

- 桁カバー枠を桁のツメに引っ掛けてはめ込んでください。



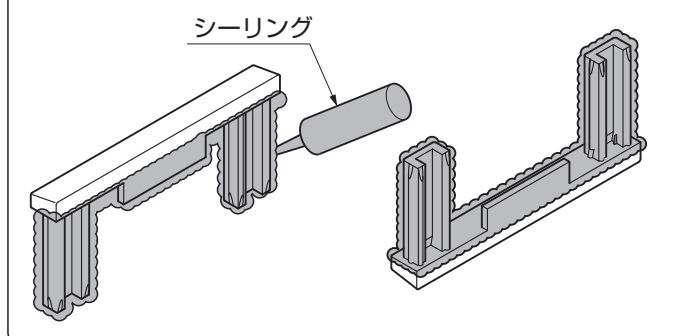
- ①桁の柱前面カバー接触部に幅20mm程度の幅でシーリングをしてください。
- ②桁カバー枠の裏側にシーリングをしてください。(参照【桁カバー枠裏側シーリング箇所】)
- ③桁カバー枠の上側溝部に横通しでシーリングをしてください。
- ④桁カバー枠を桁にはめこんでください。
- ⑤桁カバー枠の両端部にシーリング材をしてください。

ポイント

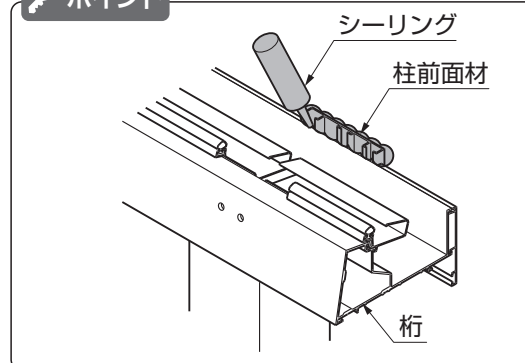
- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。

12-3 柱キャップの取付け

ポイント

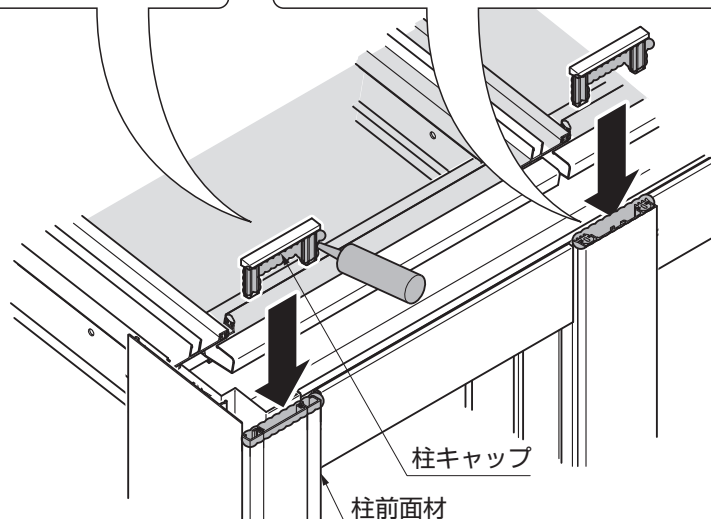


ポイント



ポイント

- 指定の箇所には、必ずシーリングをしてください。雨漏りの原因になります。
- 指定以外の箇所には、シーリングをしないでください。室内側へ雨水を誘引する原因になります。



- ①柱前面材と桁の間のすき間をふさぐように、シーリングをしてください。
- ②柱キャップにシーリングをしてください。
- ③柱キャップを端部柱前面材、柱キャップを前面材にはめ込んでください。

12-4 垂木カバー端部キャップの取付け

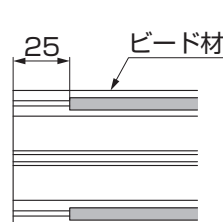
※積雪地域3000N仕様の作業です。

地域



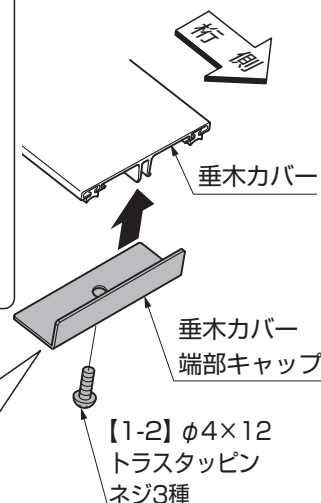
ポイント

- 垂木カバーのビード材が25mm短い方を桁側にしてください。

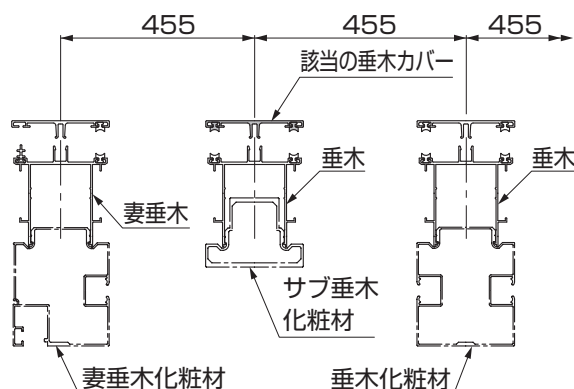


ポイント

- 垂木カバー端部キャップは垂木カバーを垂木に取付ける前に行ってください。



【1-2】φ4×12
トラスタッピン
ネジ3種



- ①サブ垂木に取付ける垂木カバーの桁側に垂木カバー端部キャップを【1-2】で取付けてください。

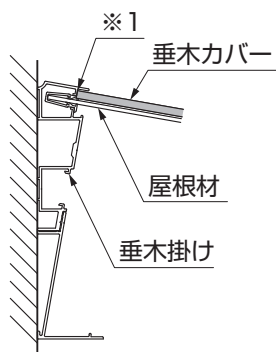
12. (つづき)

12-5 垂木カバーの取付け

(1) 垂木カバーのはめ込み

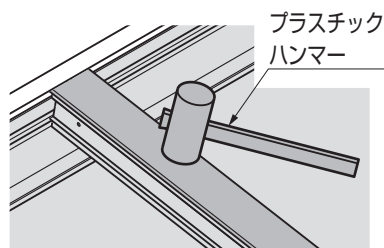
ポイント

- 垂木カバー、妻垂木カバーは、垂木掛けに突当てて、(※1)取付けてください。



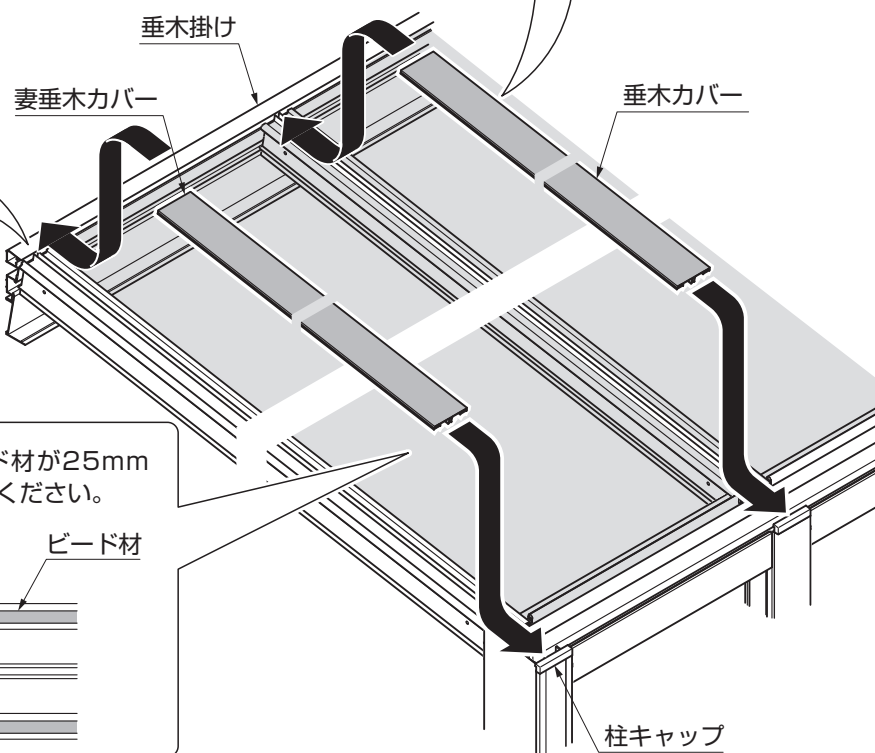
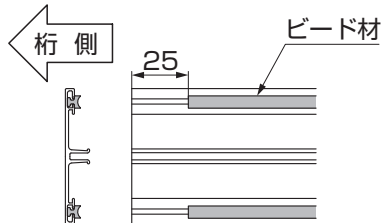
ポイント

- 部材が凹まないように注意しながら、プラスチックハンマー等で押込んでください。



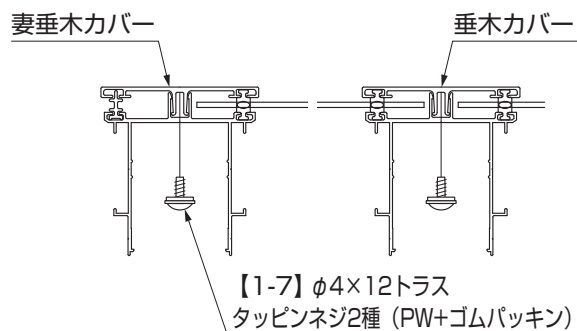
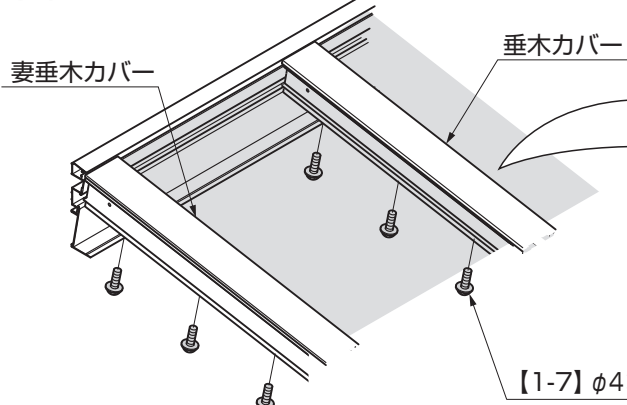
ポイント

- 垂木カバーのビード材が25mm短い方を桁側にしてください。



- ①垂木カバー、妻垂木カバーを垂木掛けに差込んでください。妻垂木カバーは両端の妻垂木に、垂木カバーは中間の垂木に取付けてください。

(2) 垂木カバーの固定



【1-7】φ4×12トラス タッピンネジ2種 (PW+ゴムパッキン)

- ①妻垂木カバーを妻垂木に、【1-7】で固定してください。
- ②垂木カバーを垂木に、【1-7】で固定してください。

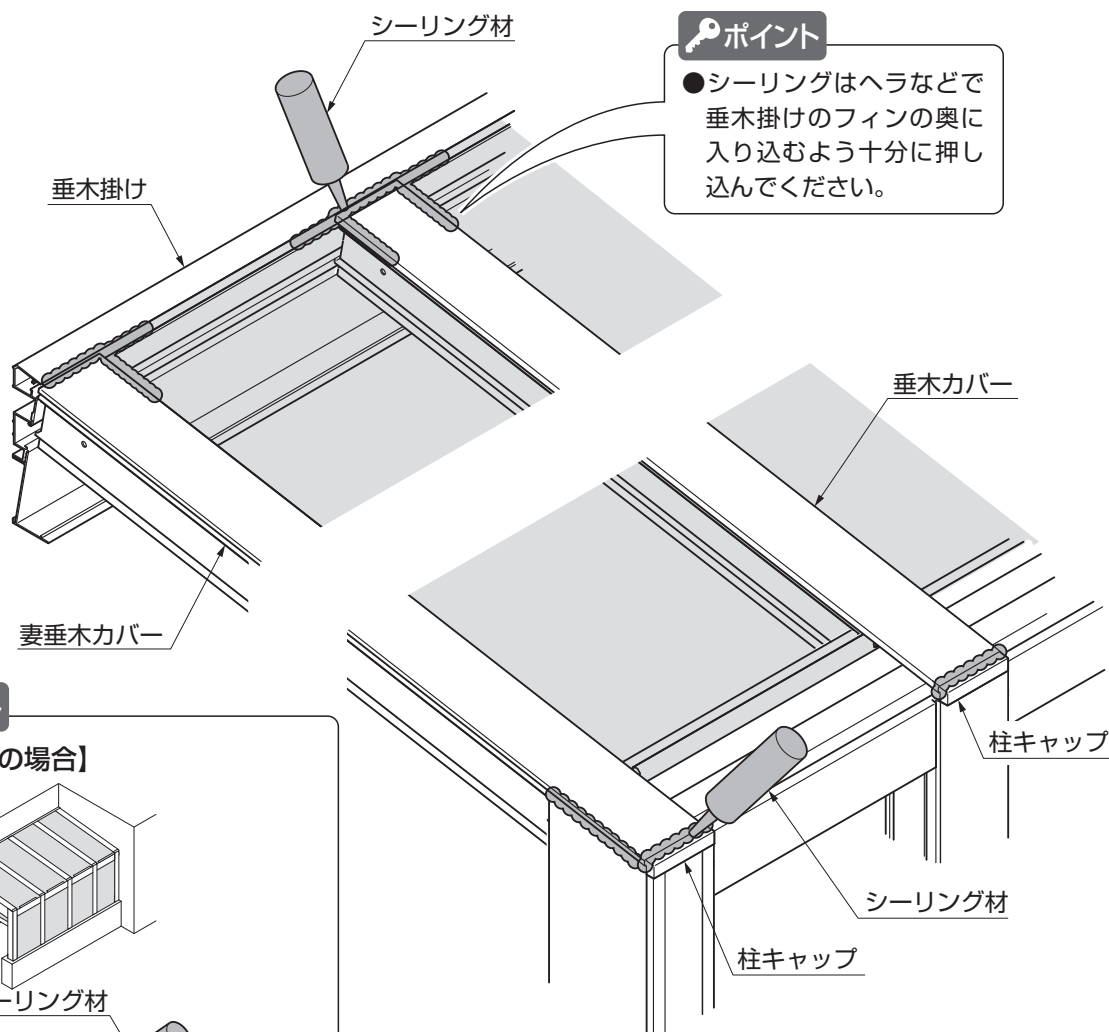
(3) 垂木カバーのシーリング

ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。
- ポリカーボネート板へシーリングする場合は、当社指定の脱アルコール系シーリング材を使用してください。それ以外のシーリング材では、ポリカーボネート板のひび割れ等のおそれがあります。

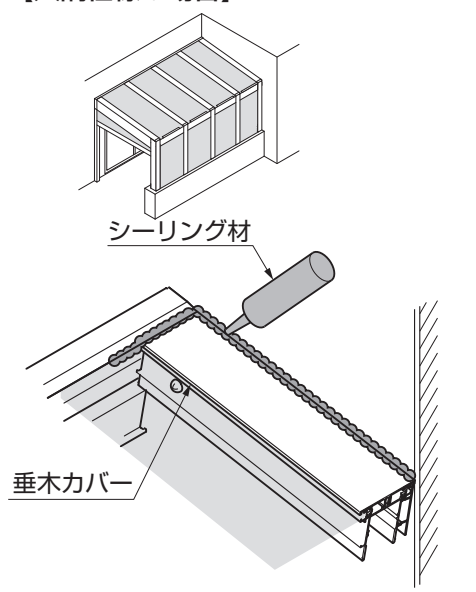
表12-1

シーリングメーカー	品名および品番
信越化学工業(株)	シーラント72
モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン(合)	トスシール380
東レ・ダウコーニング(株)	SE960



ポイント

【入隅仕様の場合】



①妻垂木カバー・垂木カバーに、シーリングをしてください。

13. 垂木化粧材の取付け

タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

13-1 垂木LED照明の取付け

※垂木LED照明を取付ける場合の作業です。

※以下の（※）印は、トランス電源ユニット35W 屋外用での配線の場合には不要です。

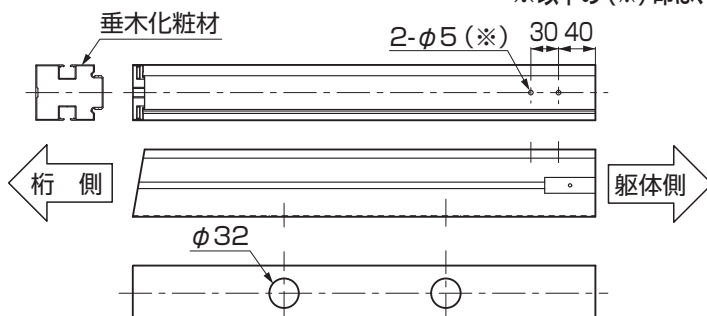


図13-1 LED照明2ヶ使いの場合

警告

- 電線の接続には電気工事士の資格が必要です。（コネクタ配線を除く）
- 取付けの際は安全のため、電源を切ってください。通電状態で行うと感電の原因になります。
- 電源線と口出し線はスリーブなどで確実に接続し、自己融着テープ、絶縁テープで確実に絶縁・防水処理を施してください。（内線規定1335-7～9に準ずる）不備があると火災・感電の原因になります。

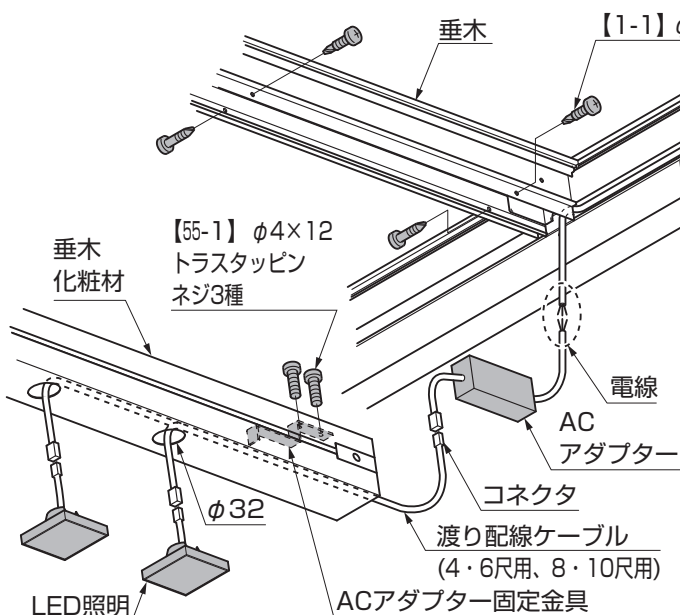


図13-2 ACアダプターで配線する場合

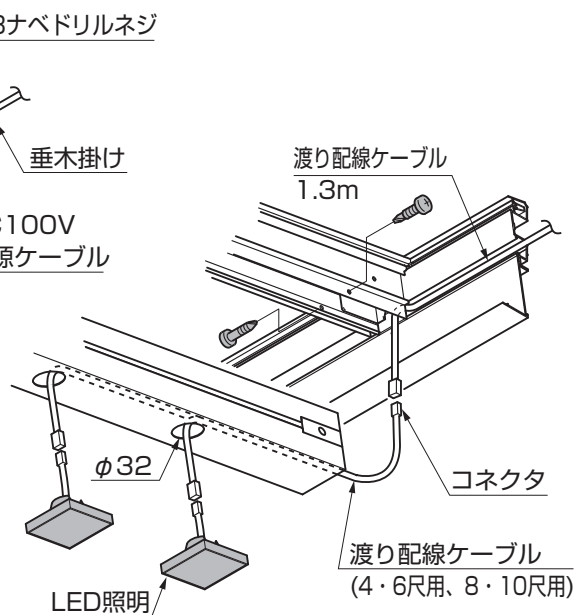
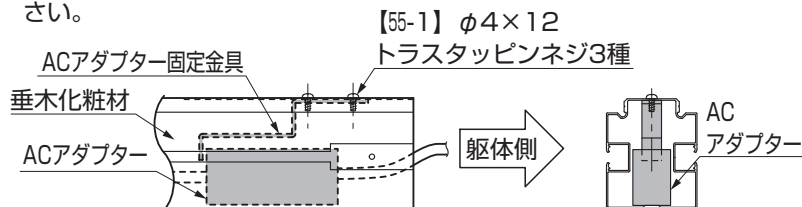


図13-3 トランス電源ユニットで配線する場合

ポイント

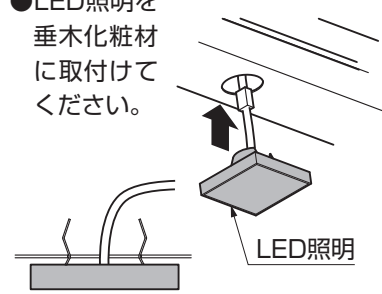
【ACアダプターで配線する場合】

- ACアダプターを下図の位置に収納してください。
- ACアダプター固定金具はACアダプターのズレ防止のため必ず取付けてください。



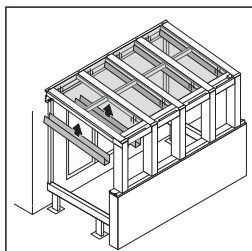
ポイント

- LED照明を垂木化粧材に取付けてください。



- ①垂木化粧材にφ5穴加工をしてください。（※）
- ②ACアダプター固定金具を垂木化粧材に【55-1】で取付けてください。（※）
- ③渡り配線ケーブル（4・6尺用または8・10尺用）を垂木化粧材に配置してください。
- ④ACアダプターと渡り配線ケーブル（4・6尺用または8・10尺用）をコネクタ接続しながら、垂木化粧材を垂木に【1-1】で取付けてください。（※）
- ⑤渡り配線ケーブル（4・6尺用または8・10尺用）と渡り配線ケーブル1.3mを接続してください。
- ⑥渡り配線とLED照明をコネクタ接続してください。
- ⑦LED照明を垂木化粧材に取付けてください。

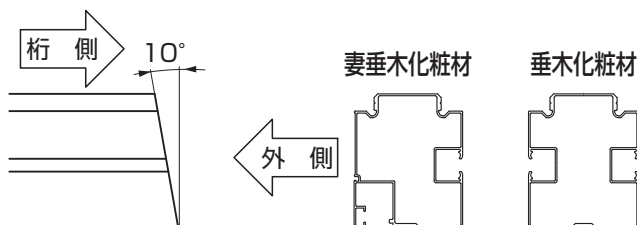
13-2 垂木化粧材の取付け



ポイント

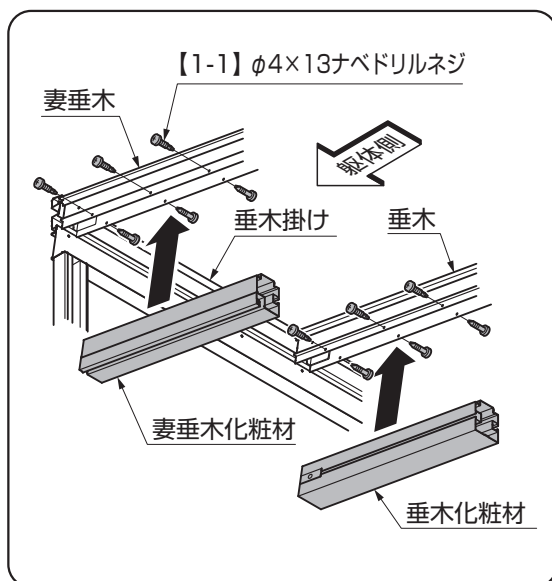
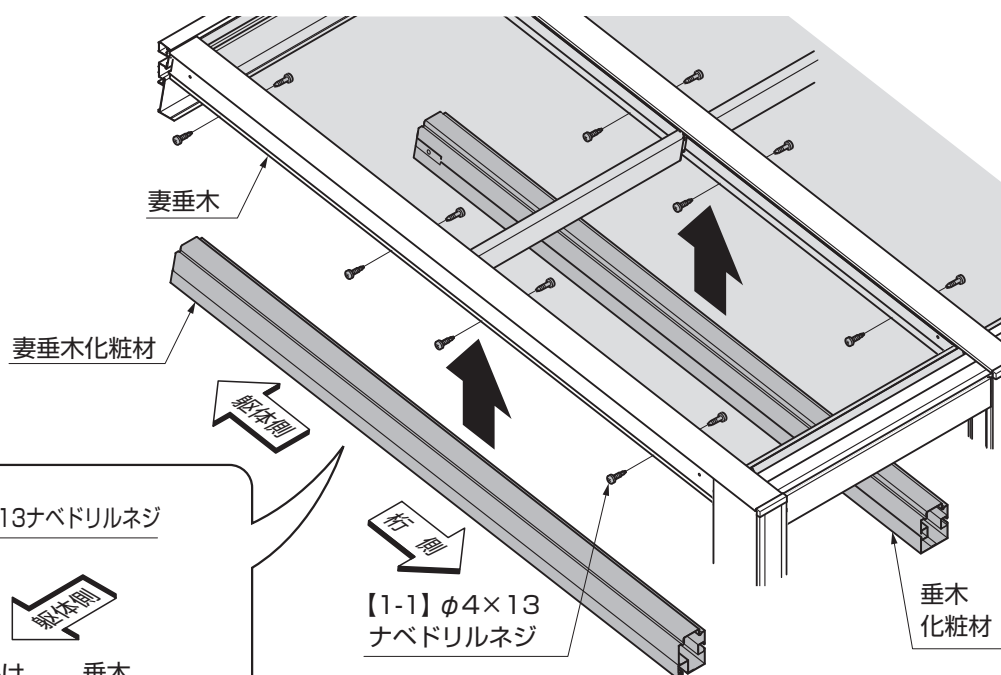
【垂木化粧材の向き】

- 垂木化粧材の端が10°切欠いている側を桁側にしてください。



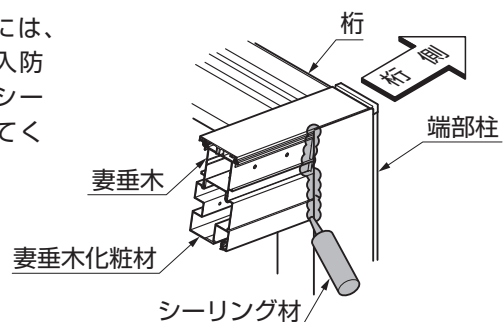
【積雪地域】 (積雪地域3000N (100cm相当) 仕様の場合)

- 「13-3 サブ垂木化粧材の取付け」もあわせてご確認ください。



ポイント

- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



- ① 垂木化粧材キャップを垂木化粧材から取外してください。
- ② 垂木化粧材、妻垂木化粧材を垂木、妻垂木に【1-1】で取付けてください。
- ③ 妻垂木、妻垂木化粧材と端部柱の接合部を、シーリングしてください。

13. (つづき)

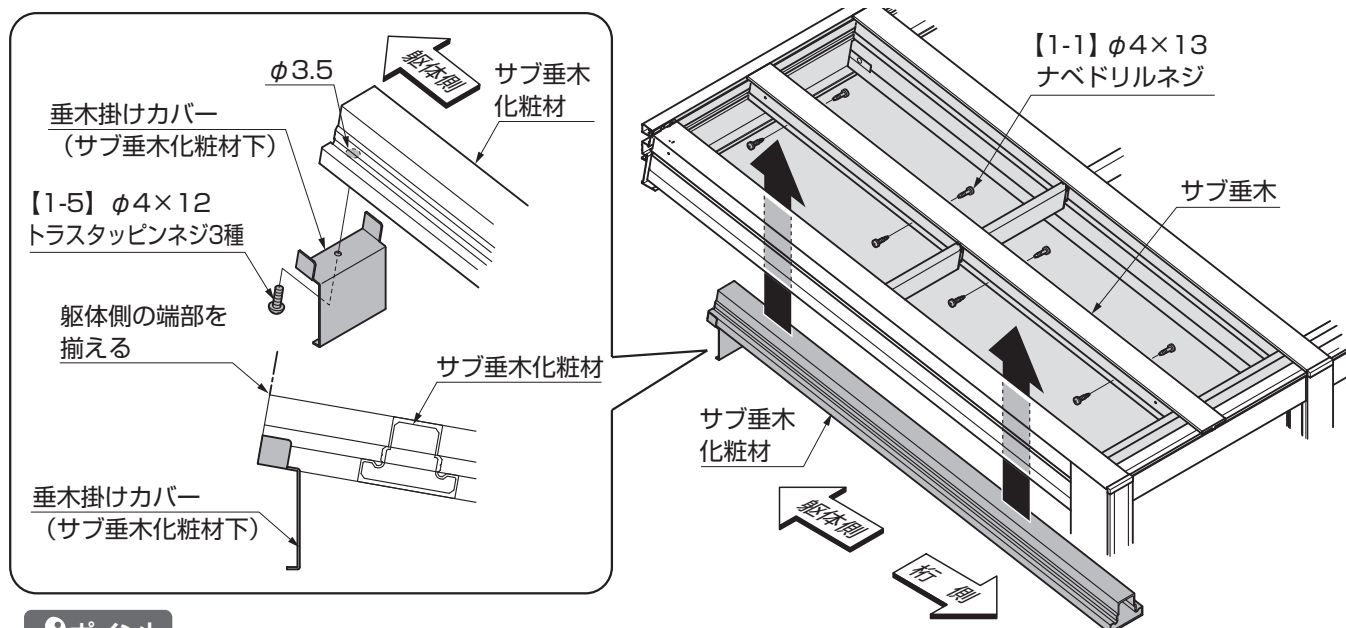
13-3 サブ垂木化粧材の取付け ※積雪地域3000N（100cm相当）仕様の場合の作業です。

地域



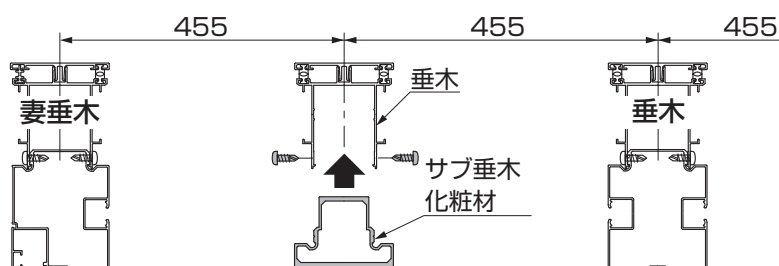
ポイント

- 前面に上げ下げ窓を取付ける場合は、サブ垂木化粧材の取付けは 16 前面開口の施工 2-6 上げ下げ窓の固定を参照し、上げ下げ窓の取付け後に行なってください。



ポイント

- サブ垂木化粧材は妻垂木化粧材および垂木化粧材の間のように取付けてください。



- ①サブ垂木化粧材の躯体側に垂木掛けカバー（サブ垂木化粧材下）を合わせてφ3.5の穴をあけてください。
- ②垂木掛けカバー（サブ垂木化粧材下）をサブ垂木化粧材に【1-5】で取付けてください。
- ③サブ垂木化粧材をサブ垂木に【1-1】で取付けてください。

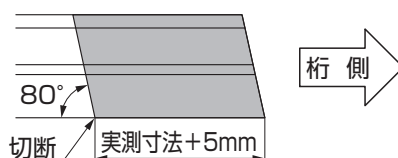
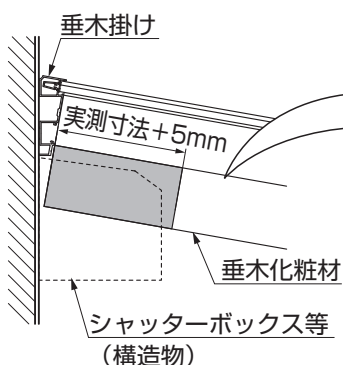
13-4 垂木化粧材が躯体側の障害物に干渉する場合

※躯体側の障害物を避けるため、垂木掛け下部を使用しない場合の内容を示します。

(1) 部材の加工

ポイント

- 垂木掛けを取付ける箇所にシャッターボックス等の構造物がある場合は、構造物を避けるように垂木化粧材の加工を行なってください。



- ①垂木化粧材が干渉する寸法を採寸し、加工してください。

(2) キャップの取付け

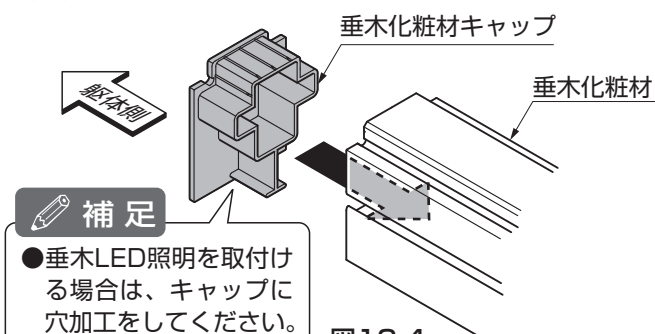


図13-4
垂木化粧材への取付け

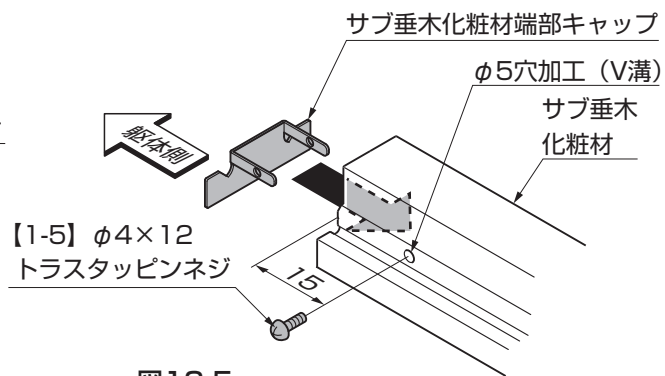


図13-5
サブ垂木化粧材への取付け

【垂木の場合】

- ①垂木化粧材キャップを垂木化粧材に取付けてください。

【サブ垂木の場合】

- ①サブ垂木化粧材にφ5の穴加工をしてください。
- ②サブ垂木化粧材端部キャップをサブ垂木化粧材に【1-5】で取付けてください。

補足

- 垂木掛けカバー（サブ垂木化粧材下）の取付けは不要です。

13-5 ガーデンルームプラスタイプの場合

表13-1 ガーデンルームプラスLタイプの場合

使用箇所	妻垂木 左	折戸パネルを取付ける垂木	妻垂木 右
タイプ	サイドスルータイプ・オープンテラスタイプ		
使用する垂木化粧材	垂木化粧材 L テラス用（※1）	仕切り部垂木化粧材 L ガーデンルーム用（※1）	垂木化粧材 R ガーデンルーム用（※1）
納まり図			

表13-2 ガーデンルームプラスRタイプの場合

使用箇所	妻垂木 左	折戸パネルを取付ける垂木	妻垂木 右
タイプ	ガーデンルームタイプ		サイドスルータイプ・オープンテラスタイプ
使用する垂木化粧材	垂木化粧材 L ガーデンルーム用（※1）	仕切り部垂木化粧材 R ガーデンルーム用（※1）	垂木化粧材 R テラス用（※1）
納まり図			

- ①表13-1、表13-2参照して、垂木化粧材を取付けてください。

ポイント

- 各タイプの垂木化粧材（※1）は、「【31】、【32】 妻垂木化粧材セット（右入または左入）」に梱包しています。

13. (つづき)

13-6 入隅の場合

(1) 妻垂木の加工

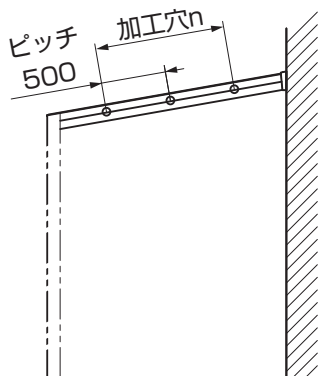
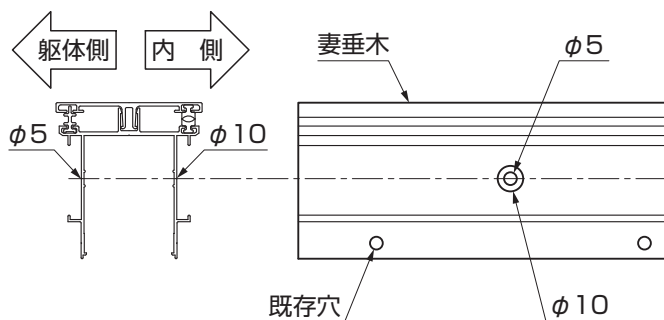


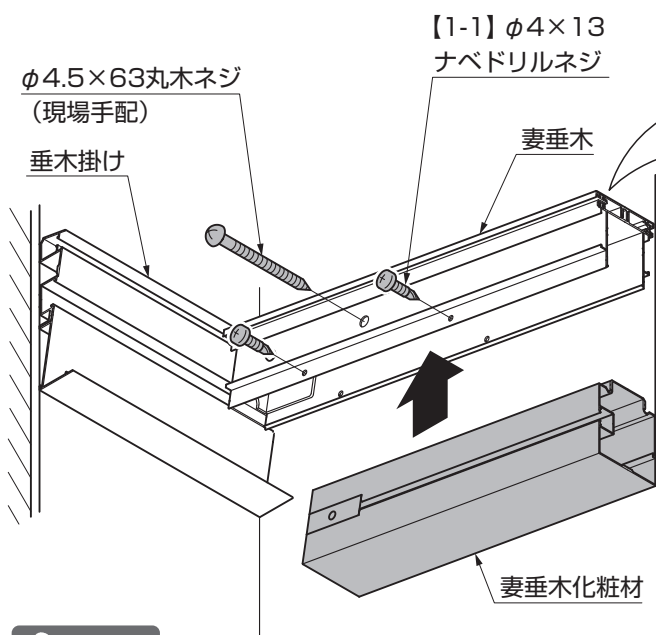
表13-3

	加工穴n
4尺	2
6尺	3
8尺	4
10尺	5



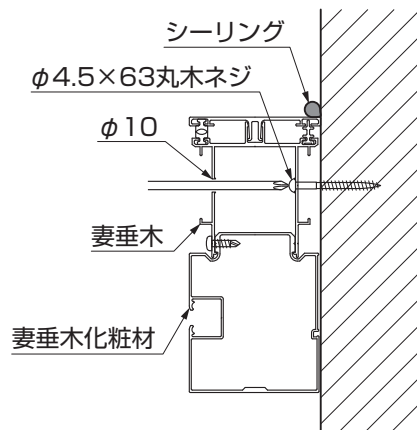
①妻垂木にφ10、φ5の穴をあけてください。

(2) 妻垂木化粧材の取付け



ポイント

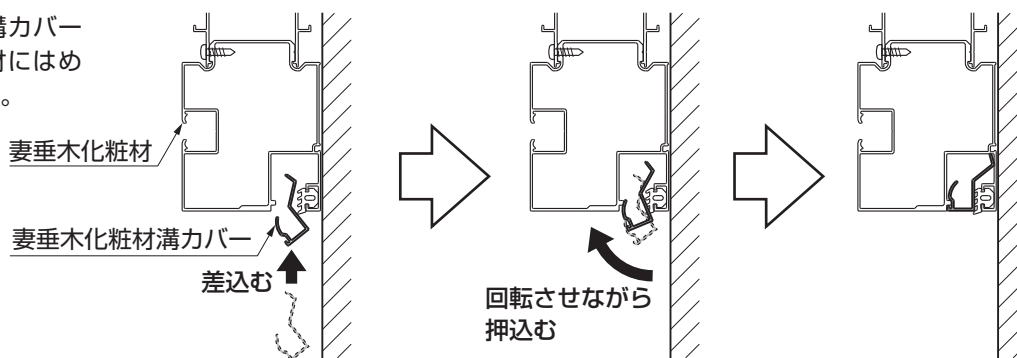
- 「φ4.5×63丸木ネジ」は現場で手配してください。
- 妻垂木を躯体に固定する際は、φ10の穴から「φ4.5×63丸木ネジ」を差し込み、φ5の穴から躯体に取付けてください。
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



ポイント

【妻梁上部FIXがある場合】

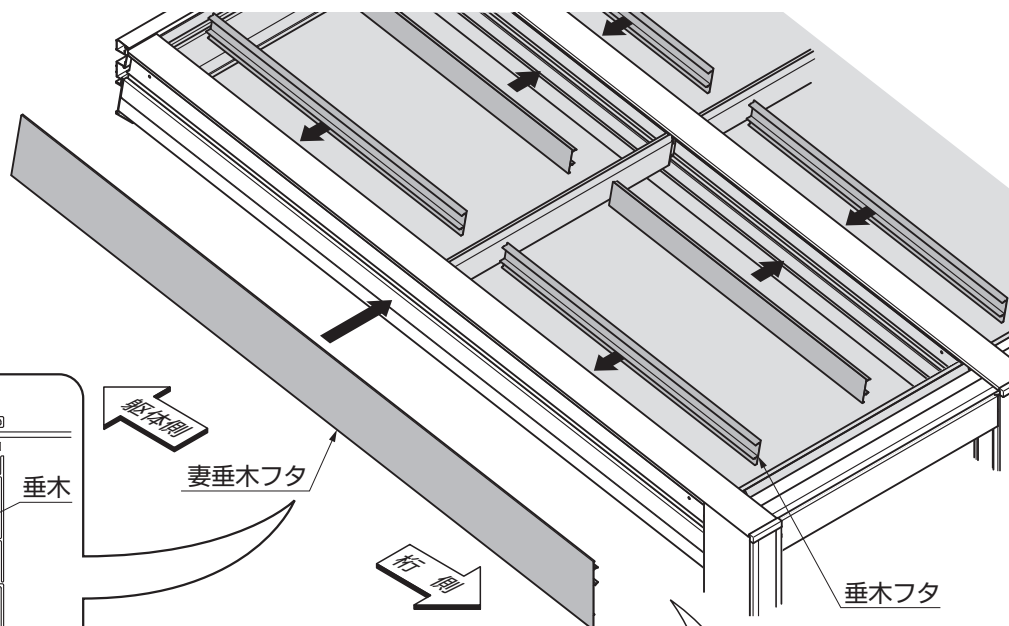
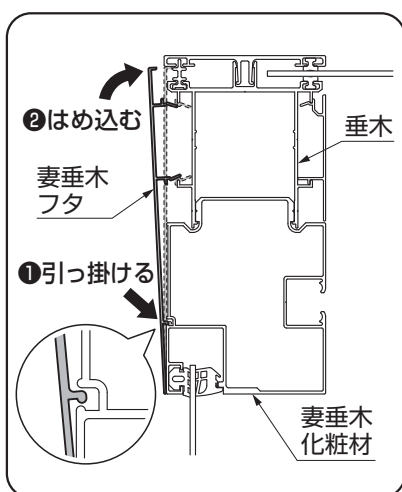
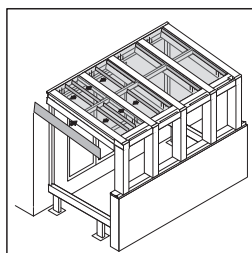
- 妻垂木化粧材溝カバーを妻垂木化粧材にはめ込んでください。



- ①妻垂木化粧材を妻垂木の既存穴に、【1-1】で取付けてください。
- ②妻垂木を躯体に「φ4.5×63丸木ネジ」で取付けてください。

タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

14. 垂木フタの取付け

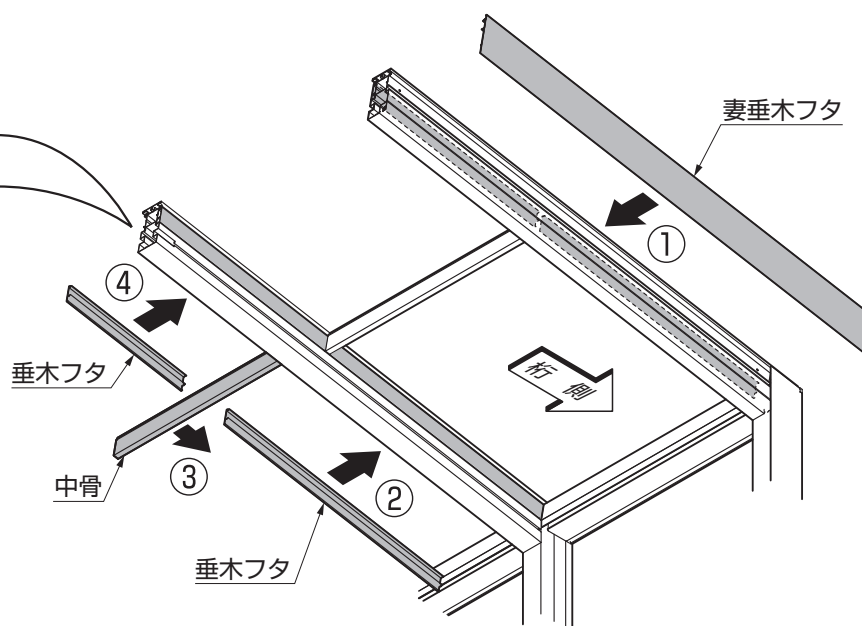
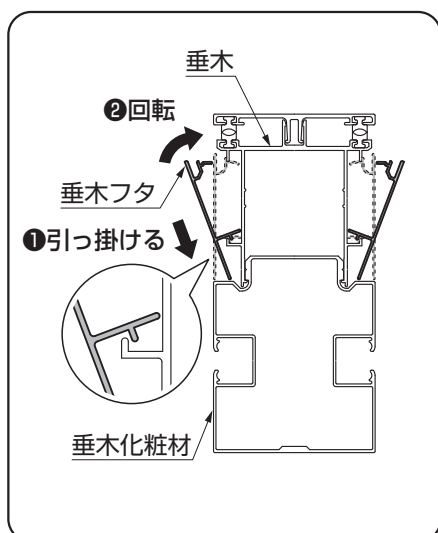


ポイント

- 妻垂木フタは端部柱端部力バーに突きあててはめ込んでください。
- はめ込みは端部から行なってください。

【ロールスクリーン、ローマンシェードを取付ける場合】

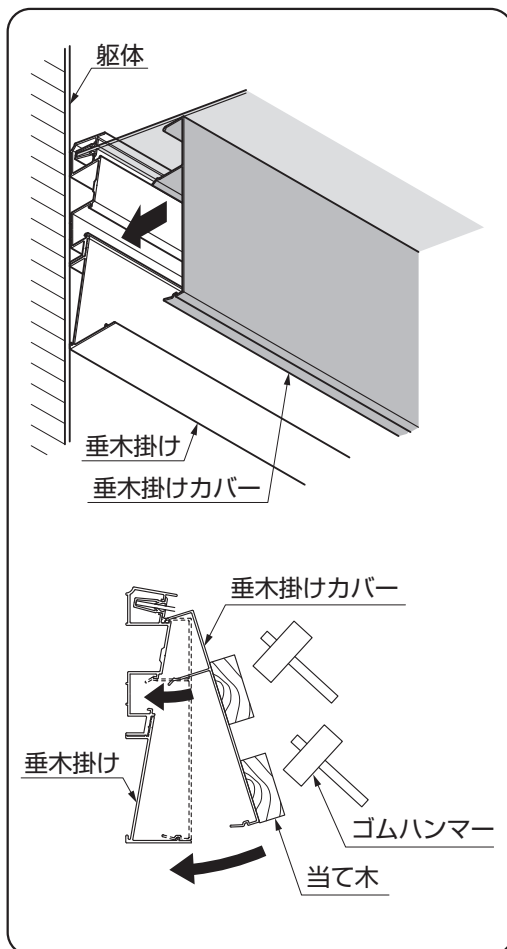
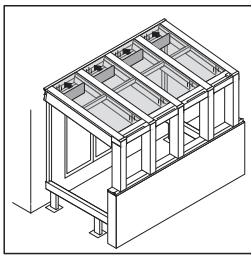
「E377 ロールスクリーン取付説明書」「E376 ローマンシェード取付説明書」も併せて確認し、取付けてください。



- ①妻垂木フタを、妻垂木にはめ込んでください。
- ②桁側の垂木フタを、桁に突きあてて垂木にはめ込んでください。
- ③中骨を、取付けた垂木フタ側に寄せてください。
- ④垂木掛け側の垂木フタを、中骨に突きあてて、垂木にはめ込んでください。

タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

15. 垂木掛けカバーの取付け

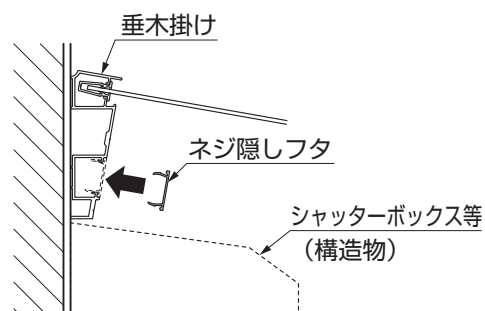


垂木掛け

垂木掛けカバー

ポイント

- 躯体側の構造物を回避した納まりの場合は、ネジ隠しフタを使用してください。



ポイント

【内部日除けを取付ける場合】

- 内部日除けを先に取付けてください。



・内部日除けの取付け
(E269 内部日除け取付説明書 参照)



15. 垂木掛けカバーの取付け（本手順）

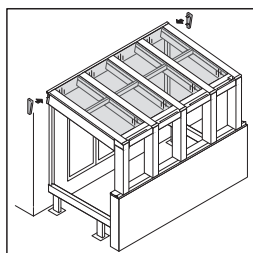
- ① 垂木掛けカバーを、垂木掛けにはめ込んでください。

ポイント

- 確実にはめ込むように、当て木とゴムハンマーなどで叩いてはめ込んでください。
- 垂木掛けカバーを取付ける際に、端部で化粧部をキズつけないようにしてください。

タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

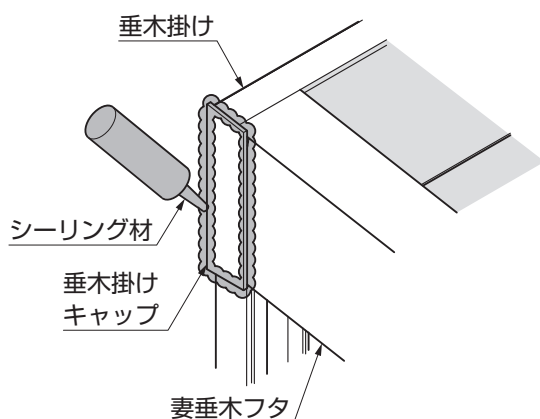
16. 垂木掛けキャップの取付け



垂木掛けキャップ

ポイント

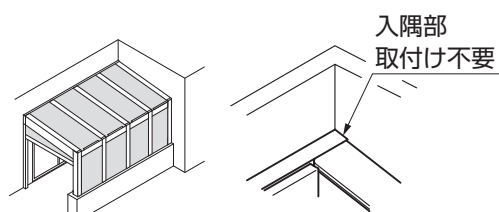
- 指定の箇所には、必ず雨水侵入防止のため、シーリングをしてください。



ポイント

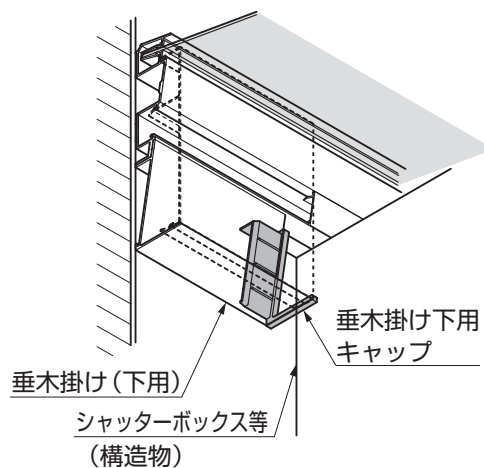
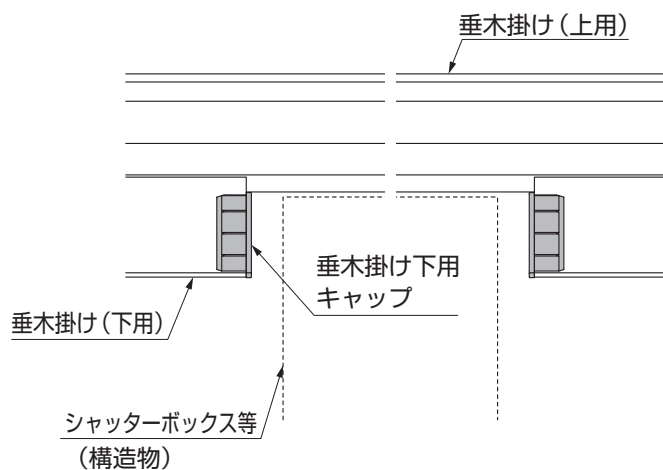
【入隅仕様の場合】

- 入隅側の垂木掛けキャップは取付けません。



ポイント

- 躯体側の構造物を回避した納まりの場合は、垂木掛け（下用）に垂木掛け下用キャップを取付けてください。



- ①垂木掛けキャップを、垂木掛けに取付けてください。
- ②垂木掛けキャップのまわりに、シーリングをしてください。

17. 妻梁上部FIXの取付け

※サイドスルータイプで妻梁上部FIXを取付ける場合の作業です。

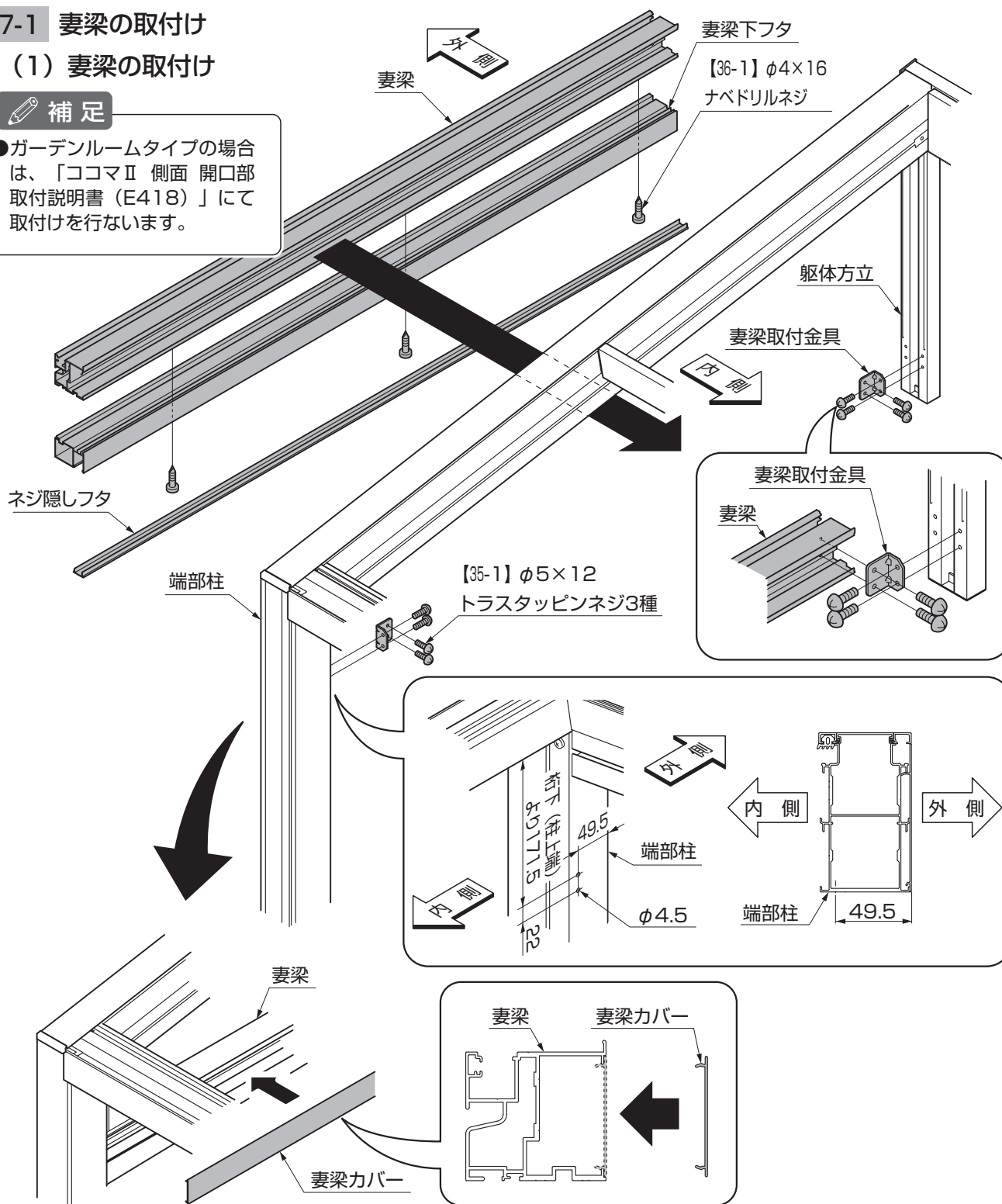
タイプ	腰壁	土間	地域
 ST			

17-1 妻梁の取付け

(1) 妻梁の取付け

 補足

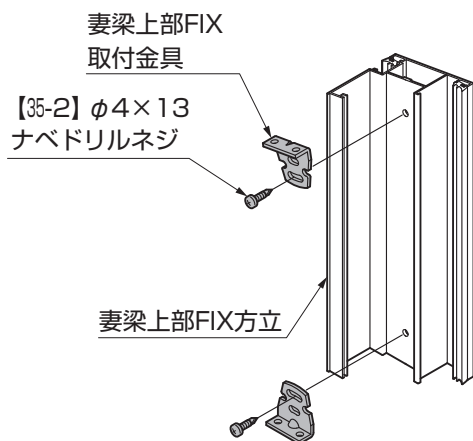
● ガーデンルームタイプの場合は、「ココマII 側面 開口部 取付説明書 (E418)」にて取付けを行ないます。



- ①端部柱にφ4.5の穴加工を行なってください。
- ②妻梁取付金具を端部柱、躯体方に【35-1】で取付けてください。
- ③妻梁を妻梁取付金具に【35-1】で取付けてください。
- ④妻梁下フタを妻梁に【36-1】で取付けてください。
- ⑤ネジ隠しフタを妻梁下フタに取付けてください。
- ⑥妻梁カバーを妻梁に取付けてください。

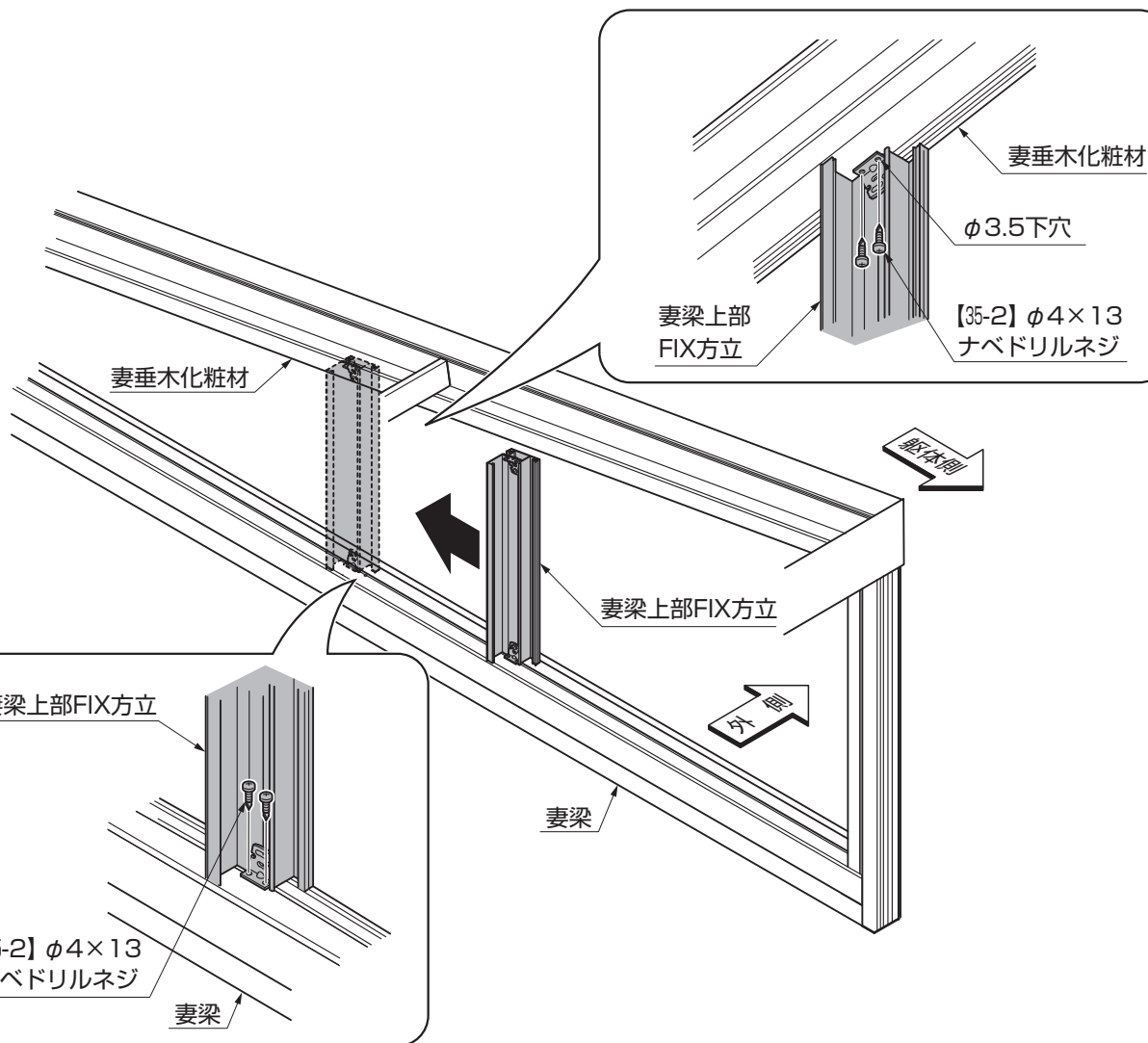
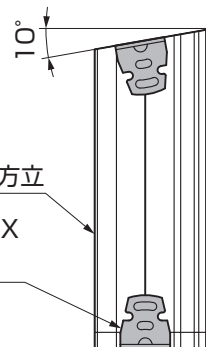
(2) 妻梁上部FIX方立の取付け

※出幅10尺の場合の作業になります。



ポイント

- 妻梁上部FIX取付金具は妻梁上部FIX方立の切断角度に合わせて取付けてください。



妻梁上部FIX方立

【35-2】φ4×13
ナベドリルネジ

妻梁

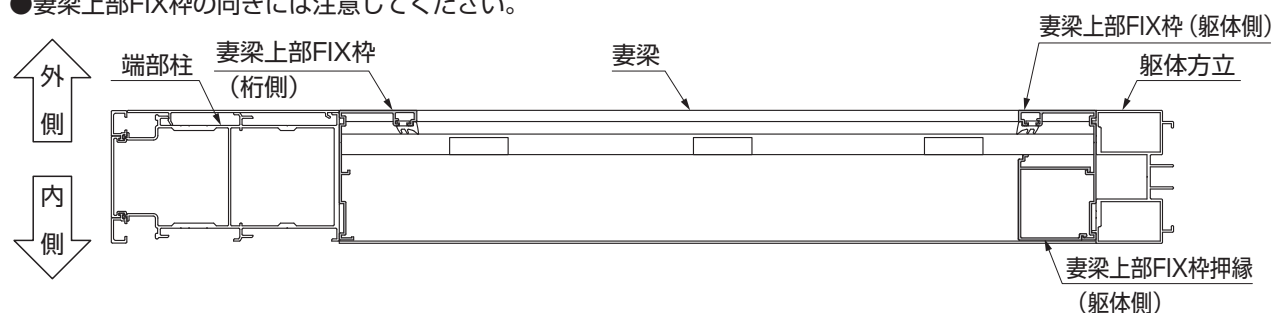
- ①妻梁上部FIX取付金具を妻梁上部FIX方立上下に【35-2】で取付けてください。
- ②躯体側から妻梁上部FIX方立を挿入し、下部の妻梁上部FIX取付金具を妻梁に【35-2】で取付けてください。
- ③上部の妻梁上部FIX取付金具を妻垂木化粧材にφ3.5の穴加工を行って【35-2】で取付けてください。

17. (つづき)

17-2 妻梁上部FIX枠の取付け

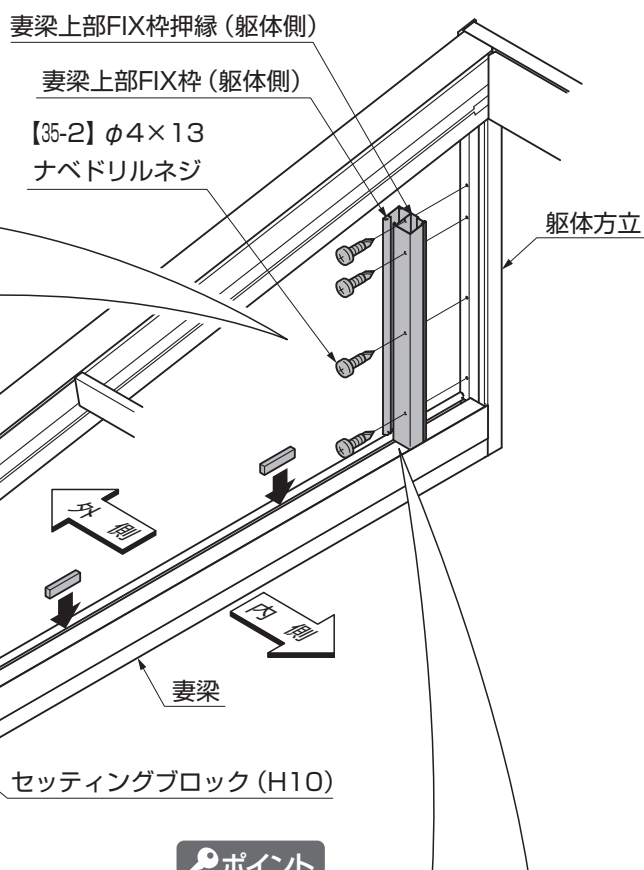
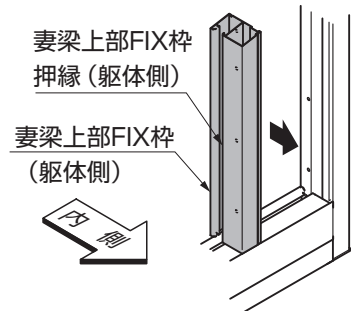
ポイント

- 妻梁上部FIX枠の向きには注意してください。



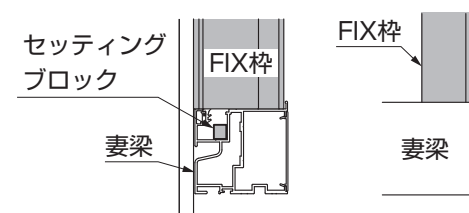
ポイント

- 躯体側の妻梁上部FIX枠は妻梁上部FIX枠押縁と一緒にスライド挿入の上、取付けてください。



ポイント

- 妻梁に乗せるようにして取付けてください。

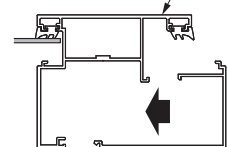


- ①妻梁上部FIX枠 (桁側、躯体側ともに)、妻梁上部FIX枠押縁 (躯体側) を端部柱、躯体方立に 【35-2】 で取付けてください。
- ②妻梁にセッティングブロック (H10) を取付けてください。

17-3 妻梁上部FIXパネルの取付け

【出幅10尺の場合】

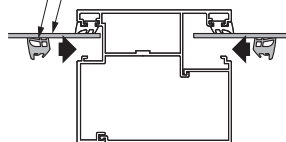
妻梁上部FIX方立



妻梁上部FIX
方立カバー

後付ビード材

妻梁上部FIXパネル



端部柱

妻梁上部FIX枠
押縁（桁側）

妻梁上部FIX枠押縁（躯体側）

躯体方立

妻梁上部FIXパネル

後付けビード材

外側 内側

妻垂木
化粧材

妻梁上部
FIXパネル

後付け
ビード材

セッティング
ブロック

妻梁

端部柱

躯体方立

妻梁上部FIXパネル

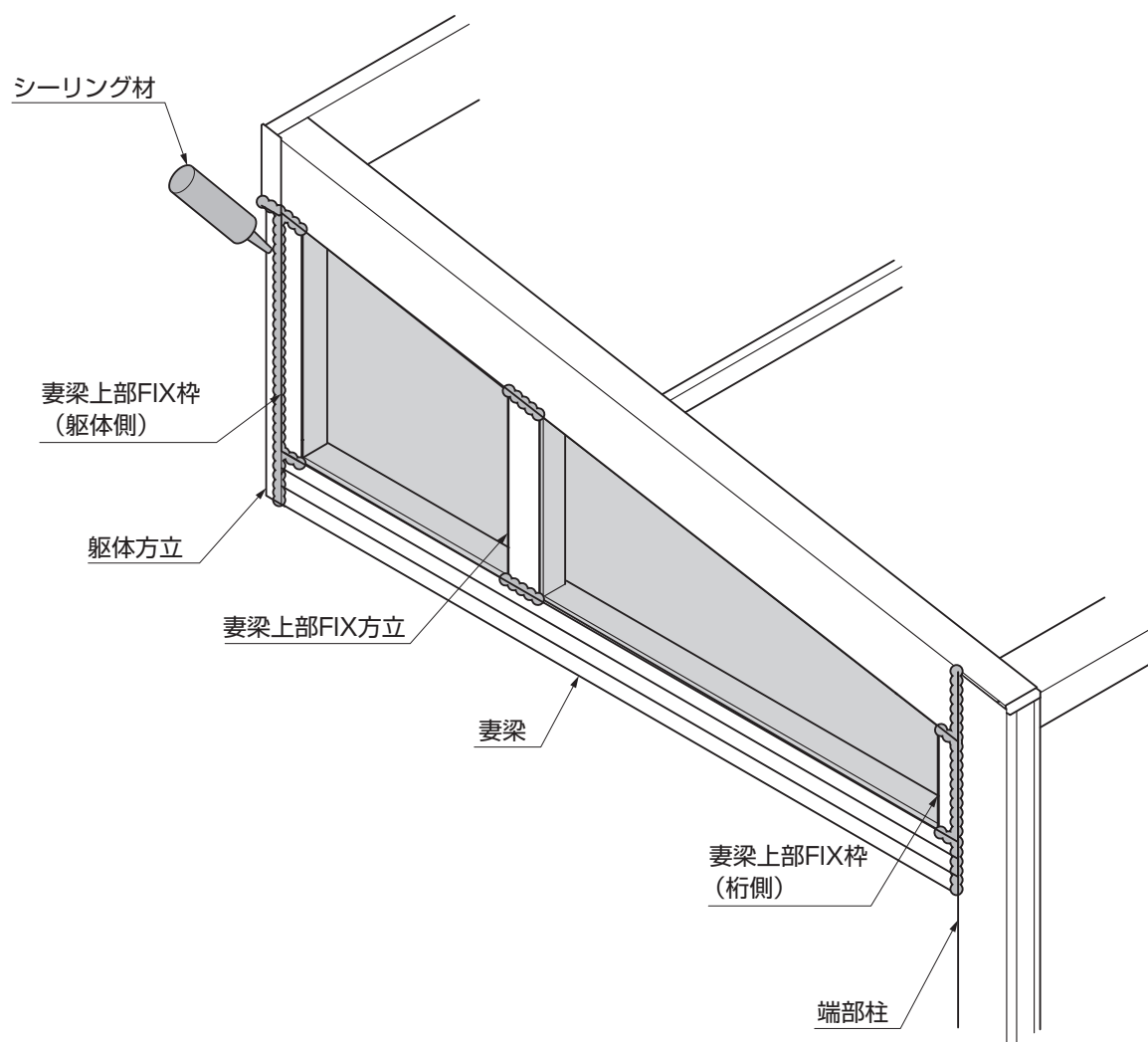
妻梁上部FIX枠押縁（桁側）

後付けビード材

- ①妻梁上部FIXパネルをけんどんし妻垂木化粧材と妻梁の溝部に入れ、桁側、躯体側の妻梁上部FIX枠に均等に掛かるようパネル位置を調整してください。
- ②妻梁上部FIX枠押縁を妻梁上部FIX枠に取付けてください。
- ③後付けビード材をはめ込んでください。

17. (つづき)

17-4 シーリング処理



① 指定の箇所にシーリングをしてください。

1.調整縦枠の取付け

タイプ	腰壁	土間	地域
 GR			

【48-3】 $\phi 4 \times 16$ ナベドリルネジ

- 調整縦枠受けの部分の腰壁ブロック
水切り材を切欠き加工してください。
- 調整縦枠連結部品にシーリングして
取付けてください。

調整縦枠受けA

調整縦枠連結部

腰壁ブロック

水切り材

切欠き

65

【48-3】 $\phi 4 \times 16$ ナベドリルネジ

調整縦杵受けA

調整縱杵

端部

調整縱杵



調整縦杵
浦結部口



【48-2】 $\phi 4.1 \times 45$
丸木ネジ

【48-2】 $\phi 4.1 \times 45$
丸木ネジ

調整縦枠スパーサー

【48-1】 S6フィッシャープラグ

【51-3】 $\phi 4 \times 16$
ナベドリルネジ

【51-6】 $\phi 4.1 \times 45$
丸木ネジ

折戸用縦枠B

図1-1 折戸の場合



調整縦棒スペーサー (5mm) 調整縦棒スペーサー (1mm)

調整縦枠の取付け方を示す図。調整縦枠の両端に調整縦枠受けAと調整縦枠受けBが取り付けられ、調整縦枠スプーサーが調整縦枠の中央部に設置されている。

ポイント

●調整縦枠受けAと調整縦枠受けBの段差がフラットになる様に調整縦枠スペーサーを組合わせて貼付けて下さい。

図1-3 笠木上部納まり

- ①調整縦枠連結部品を調整縦枠受けAに取付けてください。
- ②調整縦枠受けAを端部柱に【48-3】で取付けてください。
- ③調整縦枠受けBを腰壁ブロックに【48-1】、【48-2】で取付けてください。
- ④調整縦枠を調整縦枠受けAに【48-3】で、調整縦枠受けBに【48-1】、【48-2】で取付けてください。

1. (つづき)

1-2 L字腰壁の場合

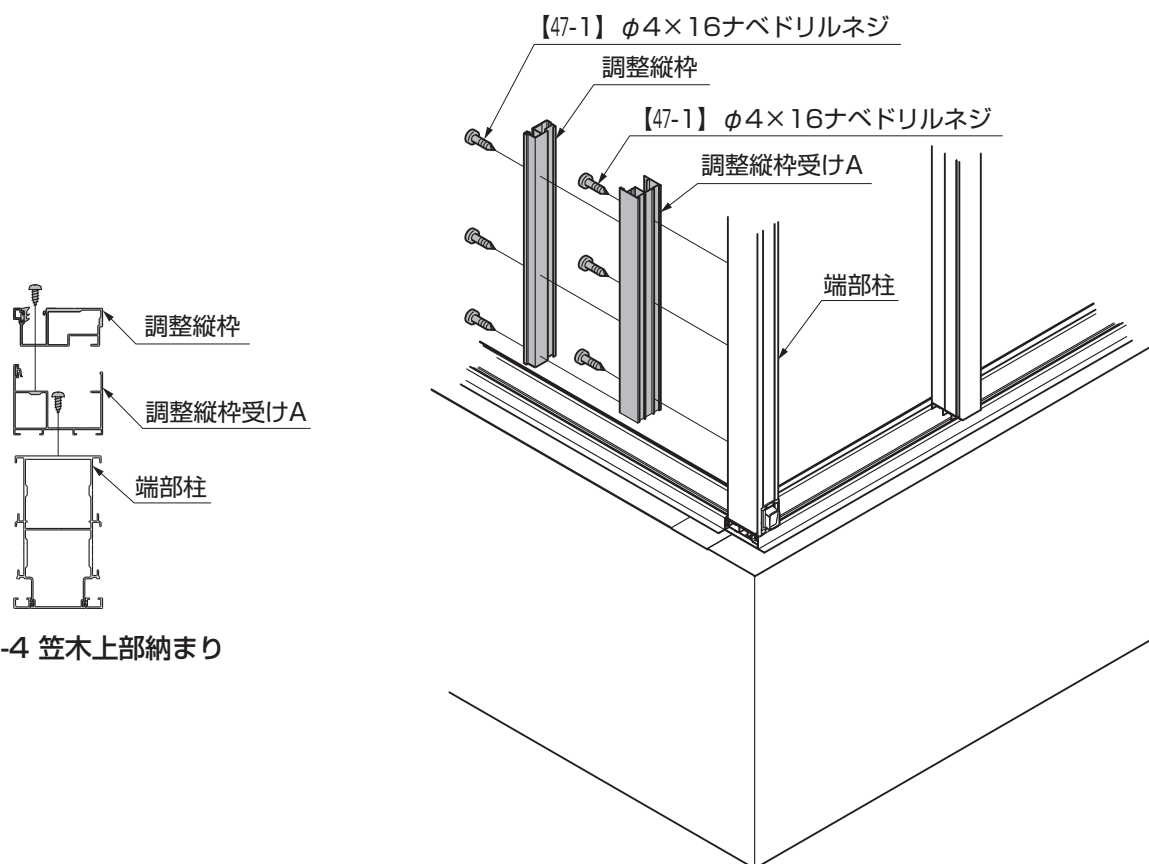


図1-4 笠木上部納まり

- ①調整縦枠受けAを端部柱に【47-1】で取付けてください。
- ②調整縦枠を調整縦枠受けAに【47-1】で取付けてください。

ポイント

●以降、笠木部の取付けについては設置するタイプによって以下説明ページを参照してください。

2. 前面腰壁の場合

P.113

3. L字腰壁の場合

P.116

4. 雨樋受け部品の取付け

P.124

タイプ	腰壁	土間	地域
			

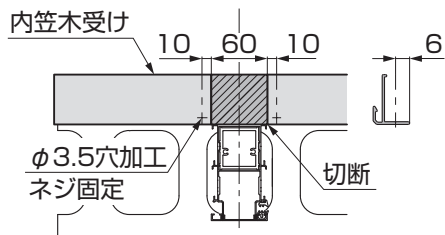
2. 前面腰壁の場合

2-1 笠木受けの取付け

※部材を加工の際は、本ページの切断寸法を目安に各該当部を実測の上、実測値に合わせて切断加工してください。

ポイント

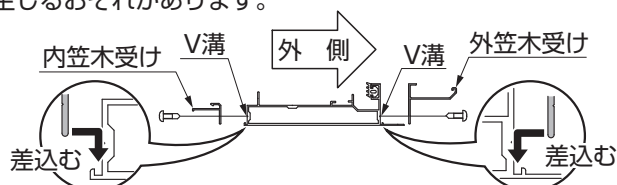
【内笠木受けの加工（ガーデンルームタイプの場合のみ）】



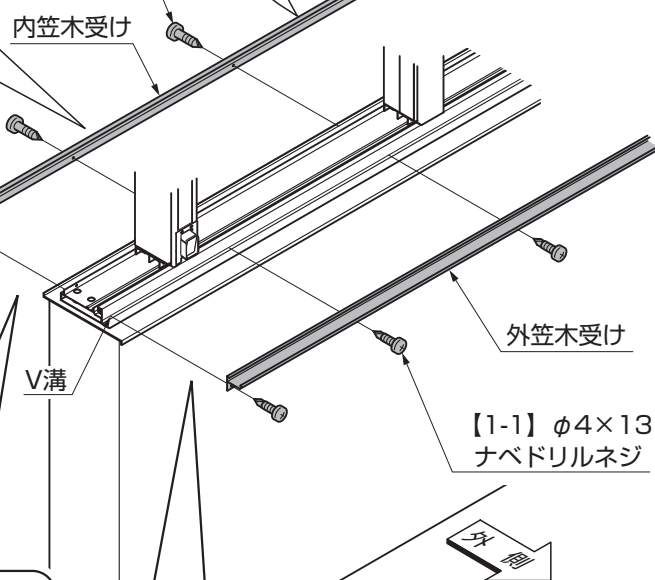
- 側面の開口が入る60mm分のすき間をあけて切断、穴加工し、調整縦枠を避けてネジ固定します。

ポイント

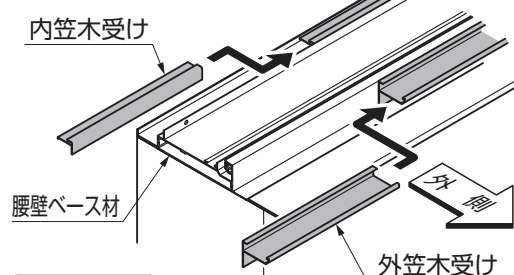
- 笠木受けは内外で部材が異なります。
- 笠木受けは腰壁ベース材のV溝に合わせて取付けてください。笠木受けが浮き上がった状態だと笠木を取付けた際に段差が生じるおそれがあります。



【1-1】φ4×13
ナベドリルネジ

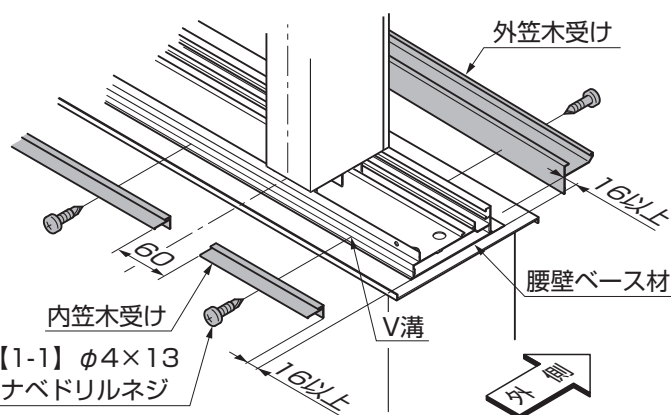


【連棟の場合】



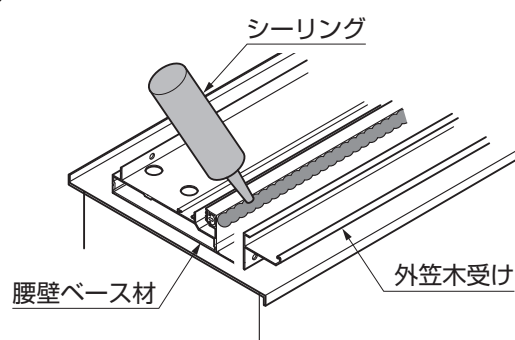
ポイント

- 部材を突き当ててネジ固定してください。



ポイント

- 笠木受けの端部は、腰壁ベース材の端部より16mm以上内側に取付くことを確認してください。



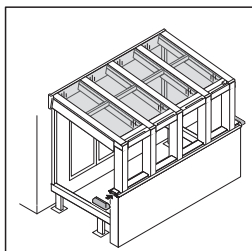
ポイント

- 腰壁ベース材と外笠木受けの間にシーリングしてください。

①笠木受けを腰壁ベース材に【1-1】で取付けてください。

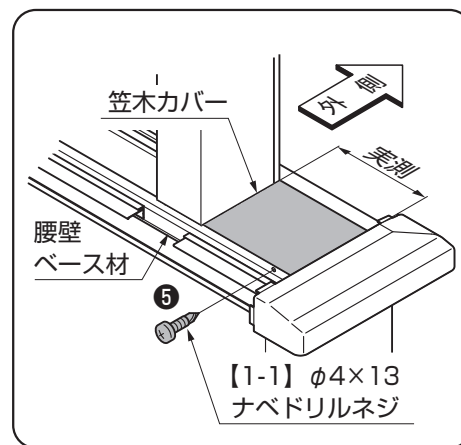
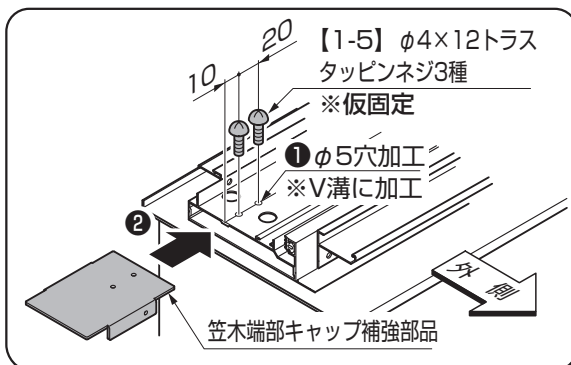
2. (つづき)

2-2 笠木端部キャップの取付け



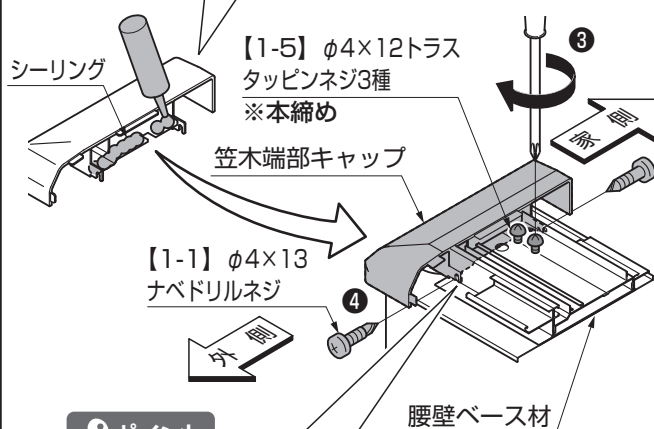
ポイント

- ネジの締めすぎに注意してください。



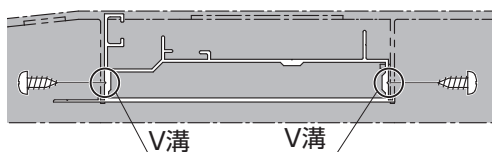
ポイント

- 笠木端部キャップにシーリングをして、腰壁ベース材につき当てて取付けてください。また、取付け後シーリングはヘラで平らにならしてください。



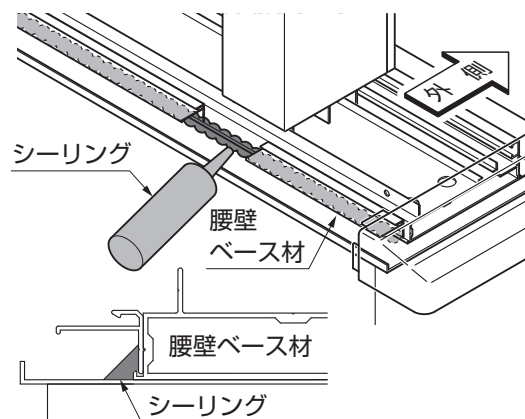
ポイント

- 笠木端部キャップは浮き上がりのないようにV溝にネジ固定してください。笠木端部キャップが浮き上がった状態だと笠木を取付けた際に笠木端部キャップと段差が生じるおそれがあります。



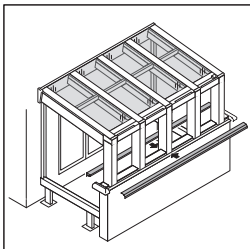
ポイント

- キャップ取付け後、指定の箇所には必ず雨水侵入防止のためのシーリングをしてください。



- ①腰壁ベース材にφ5の穴加工をしてください。
- ②笠木端部キャップ補強部品を腰壁ベース材に挿入し、【1-5】で仮固定してください。
- ③笠木端部キャップを腰壁ベース材に差込み、【1-5】を本締めしてください。
- ④笠木端部キャップを腰壁ベース材に【1-1】で固定してください。
- ⑤笠木カバーを腰壁ベース材に【1-1】で取付けてください。

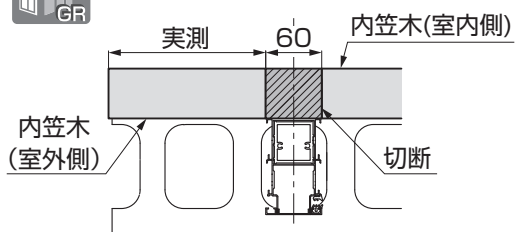
2-3 内笠木の加工と外笠木の取付け



※内笠木の加工はガーデンルームタイプの場合に必要な作業です。

ポイント

【内笠木の加工 (ガーデンルームタイプの場合のみ)】

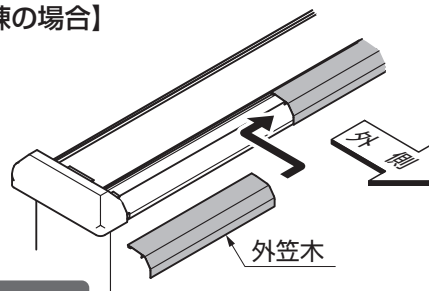


- 側面の開口が入る60mm分を切断して、室外側の内笠木を取付けます。
- 寸法を実測の上、実測値に合わせて切断加工してください。また、内笠木(室外側)は、ガタツキ防止のため内笠木受けにシーリング後、取付けてください。

ポイント

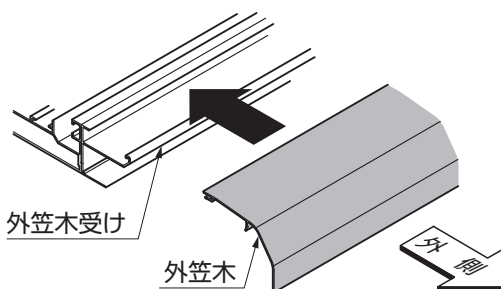
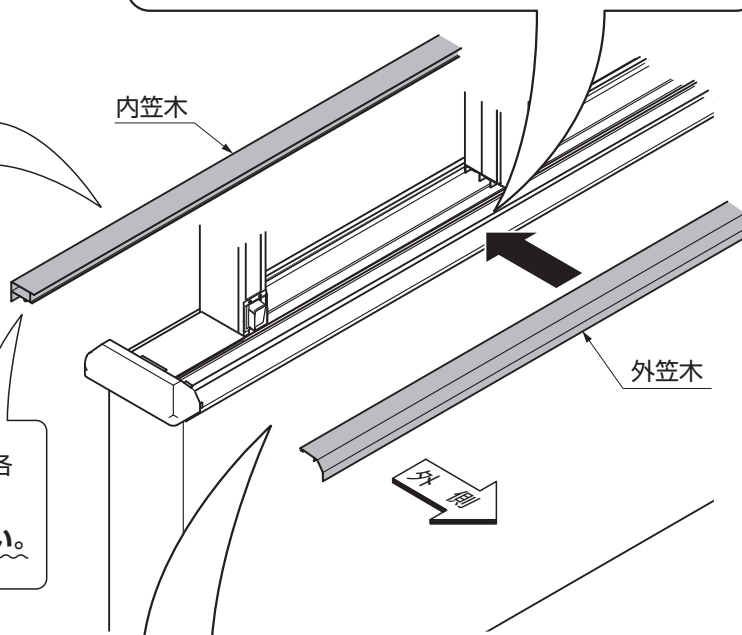
- 内笠木は「16 前面開口の施工」の各パネル施工の際に取付けを行ないます。
本手順では、加工のみ行なってください。

【連棟の場合】



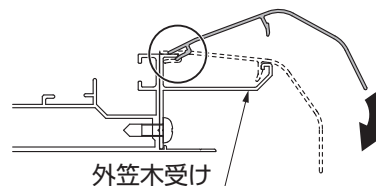
ポイント

- 部材をつき当てて固定してください。
- 笠木端部キャップ内々寸法を実測の上、実測値に合わせて切断加工・取付けをしてください。



ポイント

- 外笠木受けに引っ掛けて、回転させるように取付けてください。

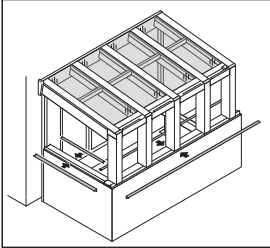


- ①内笠木を加工してください。
- ②外笠木を外笠木受けに取付けてください。

タイプ	腰壁	土間	地域
			

3. L字腰壁の場合

3-1 笠木受けの取付け



ポイント

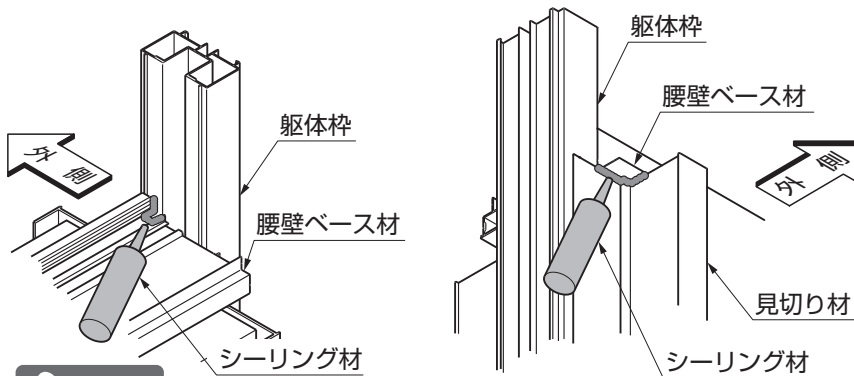
- L字腰壁の取付け手順は、左側にL字腰壁を施工する図を記載しています。
- 右側にL字腰壁を施工する場合は左右対称になります。
- 取付説明書の図記号は下記の内容を示します。

L字部 = 「L字腰壁側」の内容

前面部 = 「前面腰壁側」の内容

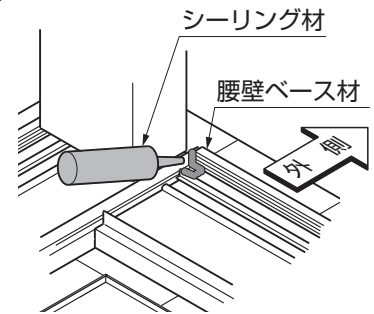
コーナー部 = 「コーナー部」の内容

共通 = 「L字側腰壁」「前面腰壁側」共通の内容



ポイント

- 腰壁ベース材と躯体方立の取合せ部にシーリングしてください。

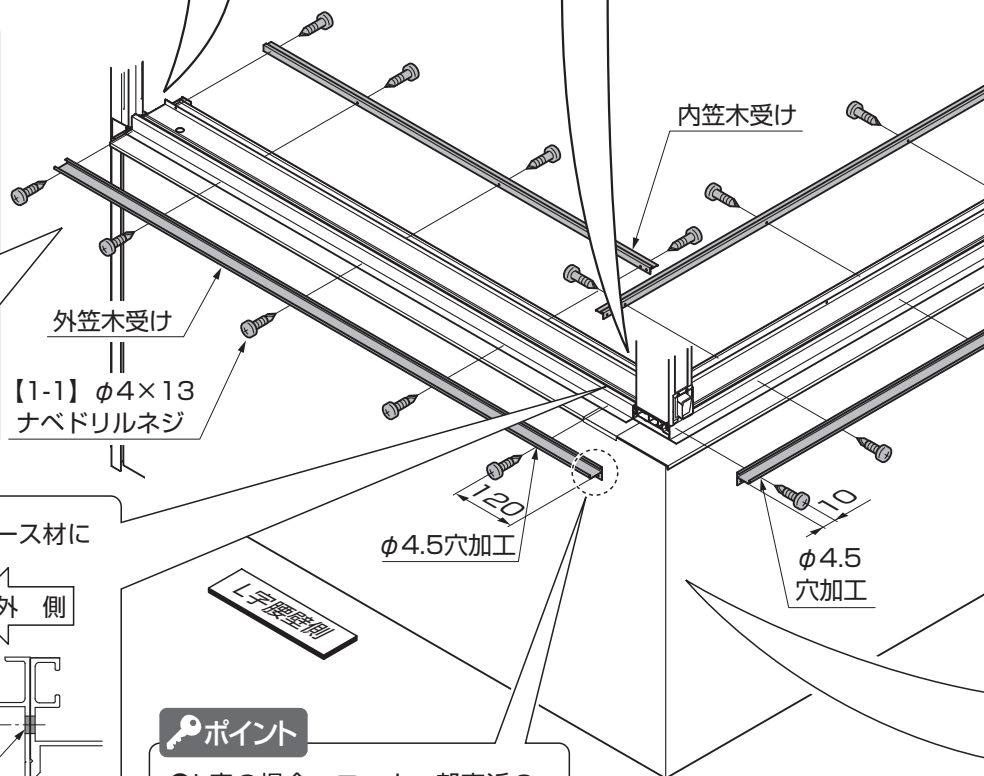
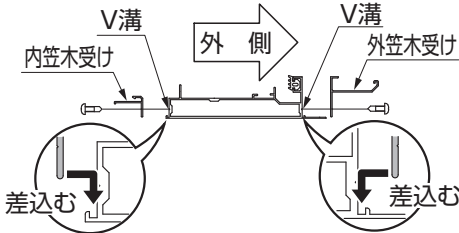


ポイント

- 腰壁ベース材と端部柱の取合せ部にシーリングしてください。

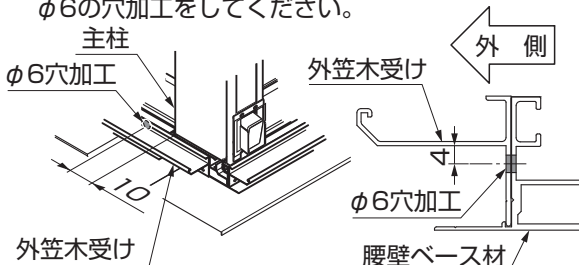
ポイント

- 笠木受けは内外で部材が異なります。
- 笠木受けは腰壁ベース材のV溝に合わせて取付けてください。笠木受けが浮き上がった状態だと笠木を取付けた際に段差が生じるおそれがあります。



ポイント

- 笠木受け取付け後、外笠木受けと腰壁ベース材にφ6の穴加工をしてください。

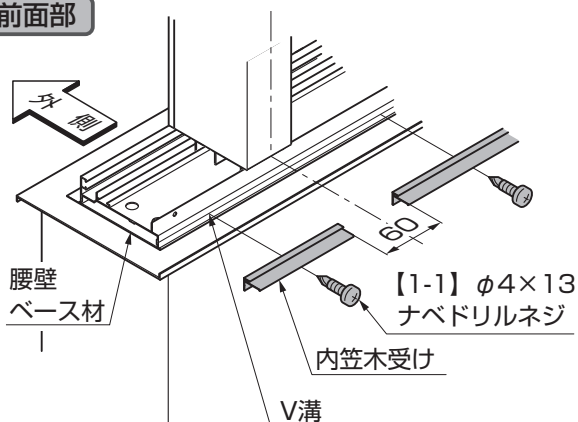


ポイント

- L字の場合、コーナー部直近のネジは、固定しないでください。

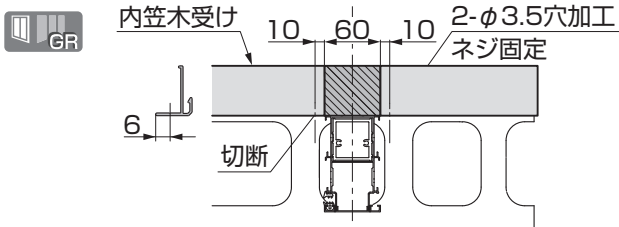
① 笠木受けを腰壁ベース材に【1-1】で取付けてください。

前面部



ポイント

【内笠木の加工（ガーデンルームタイプの場合のみ）】



●側面の開口が入る60mm分をすき間をあけて切断、穴加工し、調整縦枠を避けて取付けます。

【1-1】 $\phi 4 \times 13$
ナベドリルネジ

内笠木受け

【1-1】 $\phi 4 \times 13$
ナベドリルネジ

外笠木受け

【連棟の場合】

内笠木受け

外笠木受け

ポイント

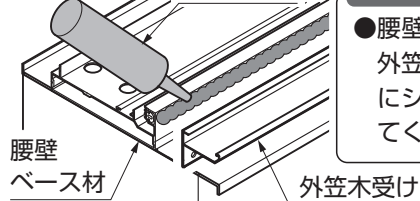
●部材を突き当ててネジで固定してください。

共通

シーリング

ポイント

●腰壁ベース材と外笠木受けの間にシーリングしてください。

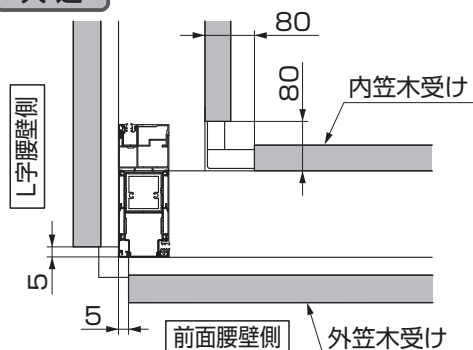


ポイント

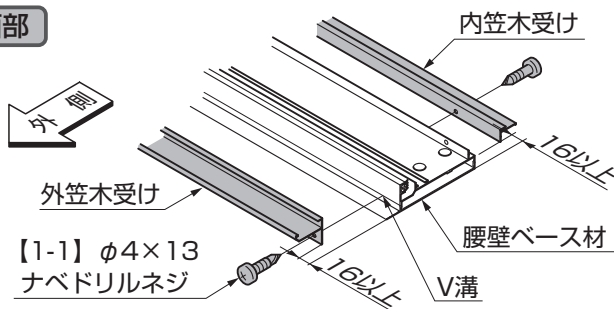
コーナー部

●コーナー部は、下記のように取付けます。

共通



前面部



ポイント

●笠木受けの端部は、腰壁ベース材の端部より16mm以上内側に取付くことを確認してください。

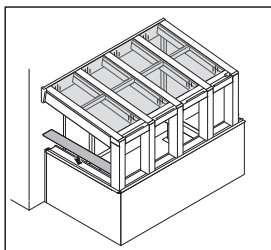
15

腰壁部の取付け

3. (つづき)

3-2 笠木カバーの取付け

※サイドスルータイプの場合の作業です。



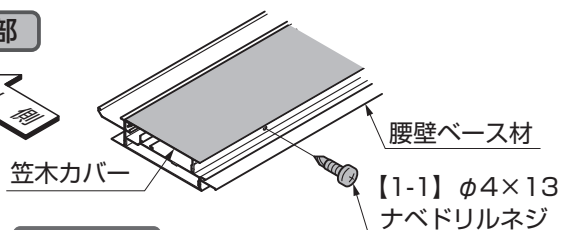
ポイント

【ガーデンルームタイプの場合】



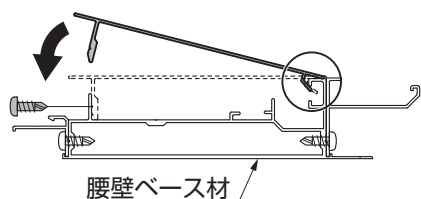
- 笠木カバーの取付けは「ココマII 側面 開口部 取付説明書 (E418)」にて行ないます。本手順では取付けを行なわないでください。

L字部



ポイント

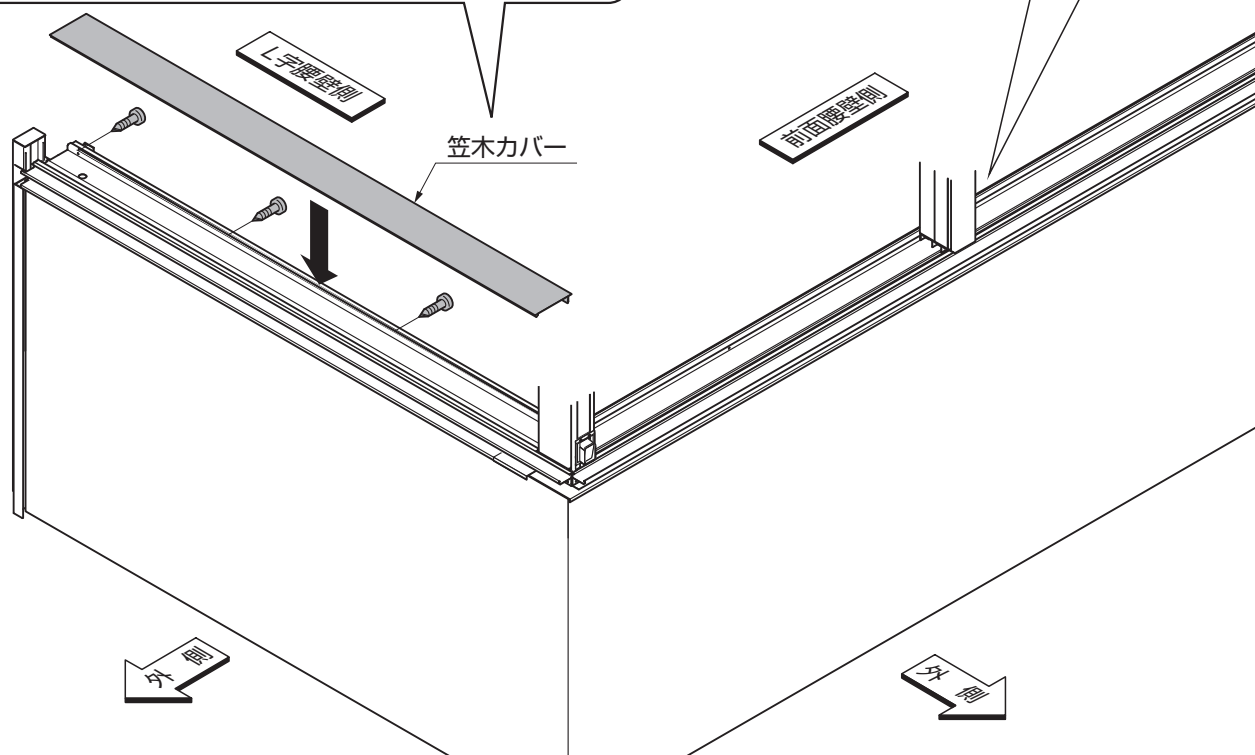
- 腰壁ベース材に引っ掛けて、回転させるように取付けてください。



補足

前面部

- 前面部の笠木カバーの取付けは「16 前面開口の施工」の各パネル施工の際に行ないます。



①笠木カバーを腰壁ベース材に【1-1】で取付けてください。

メモページ

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

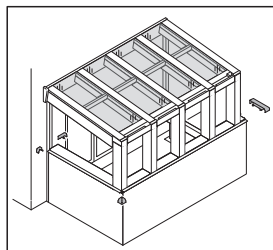
.....

.....

.....

3. (つづき)

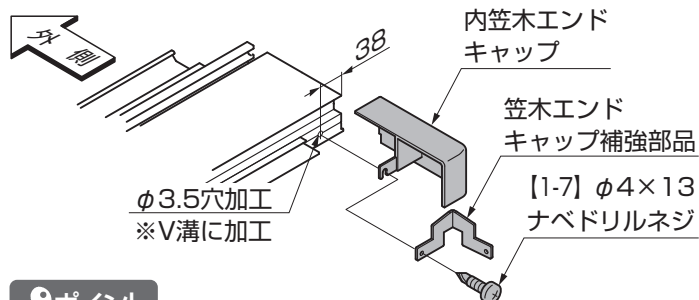
3-3 キャップ類の取付け



ポイント

- ネジの締めすぎに注意してください。

L字部 【サイドスルータイプの場合のみ】

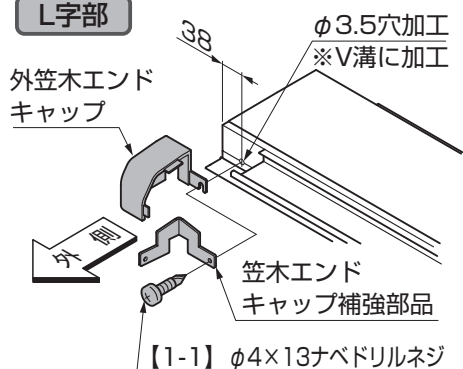


ポイント

【ガーデンルームタイプの場合】

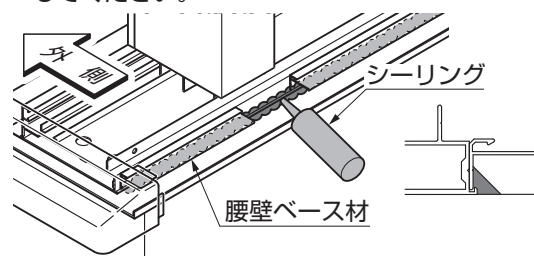
- 内笠木エンドキャップは、開口部取付け後の作業になります。

L字部

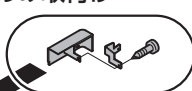


ポイント

- キャップ取付け後、指定の箇所には必ず雨水侵入防止のためのシーリングをしてください。
※L字腰壁側、コーナー部分も同様にシーリングしてください。



※サイドスルータイプのみ取付け



【笠木エンドキャップの取付け】

- ①腰壁ベース材にφ3.5の穴加工をし、笠木エンドキャップと笠木エンドキャップ補強材を【1-1】で取付けてください。

【笠木コーナーキャップの取付け】

- ①外笠木コーナーキャップを外笠木受けに当てがい、φ5の写し穴加工をしてください。
- ②外笠木コーナーキャップと笠木コーナーキャップ補強部品を外笠木受けに【1-5】で取付けてください。

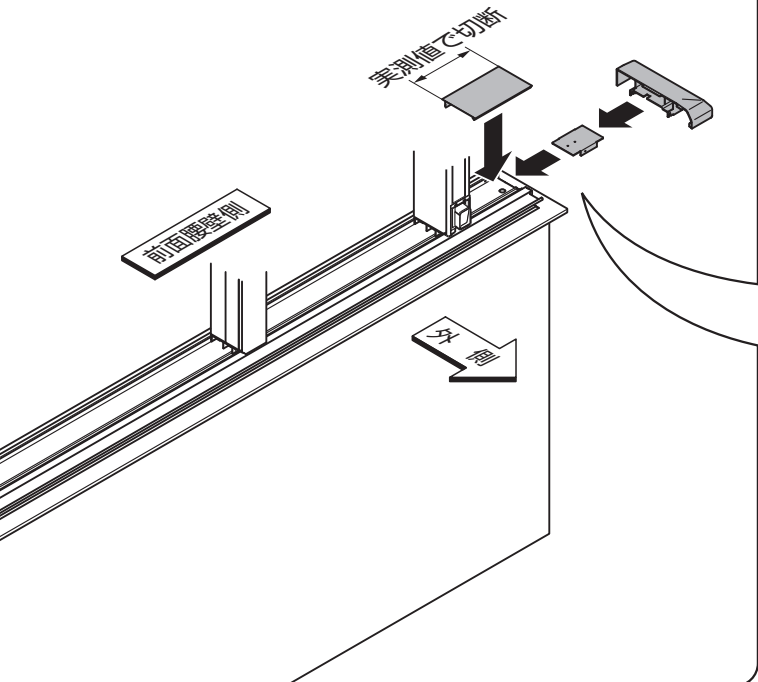
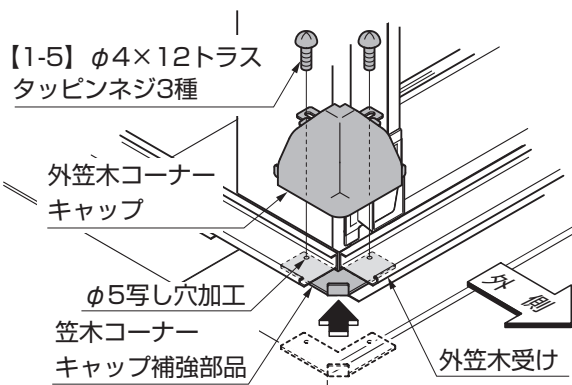
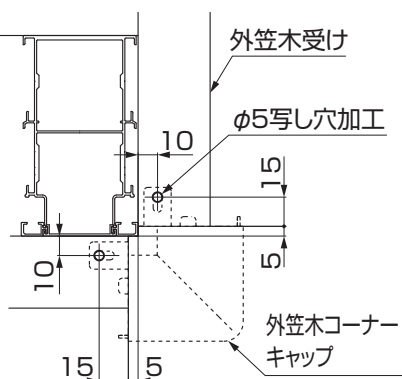
【笠木端部キャップの取付け】

- ①腰壁ベース材にφ5の穴加工をしてください。
- ②笠木端部キャップ補強部品を腰壁ベース材に挿入し、【1-5】で仮固定してください。
- ③笠木端部キャップを腰壁ベース材に差込み、【1-5】を本締めしてください。
- ④笠木端部キャップを腰壁ベース材に【1-1】で固定してください。
- ⑤笠木カバーを腰壁ベース材に【1-1】で取付けてください。

コーナー部

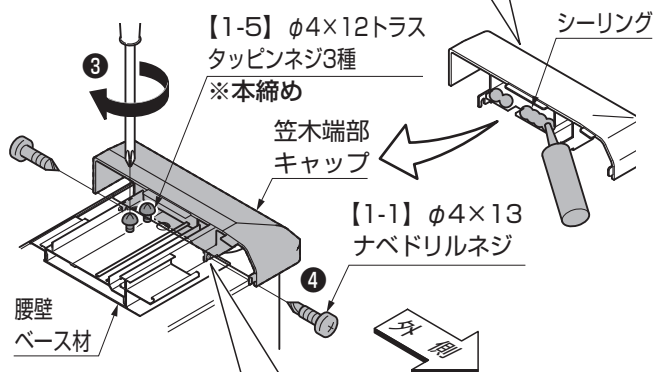
ポイント

- 外笠木コーナーキャップを当てて、穴加工位置を出してください。



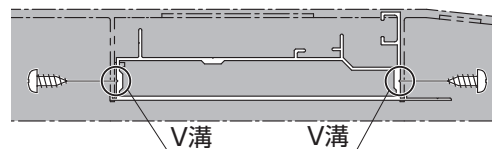
ポイント

- 笠木端部キャップにシーリングをして、腰壁ベース材につき当てて取付けてください。また、取付け後シーリングはヘラで平らにならしてください。



ポイント

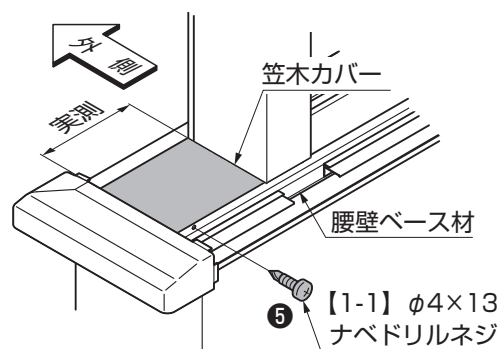
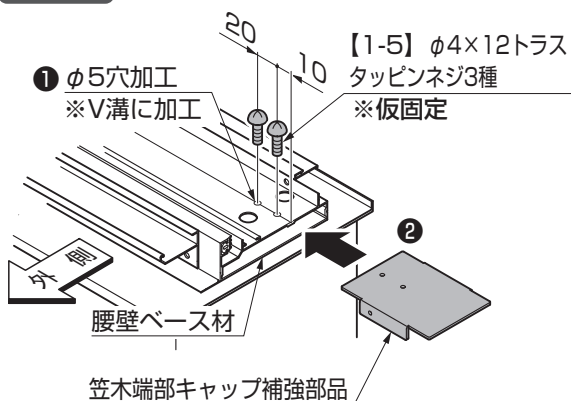
- 笠木端部キャップは浮き上がりのないようV溝にネジ固定してください。笠木端部キャップが浮き上がった状態だと笠木を取付けた際に笠木端部キャップと段差が生じるおそれがあります。



前面部

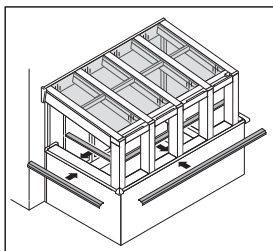
- 1 φ5穴加工
※V溝に加工

- [1-5] φ4×12トラス
タッピンネジ3種
※仮固定



3. (つづき)

3-4 笠木の取付け

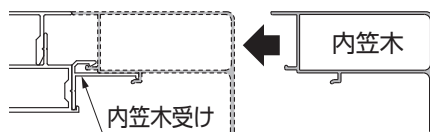


ポイント

L字部

【サイドスルータイプの場合】  ST

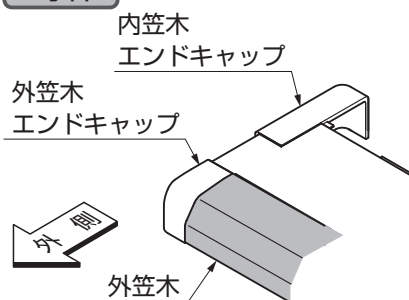
- 内笠木受けに差し込むようにして取付けてください。



【ガーデンルームタイプの場合】  GR

- 内笠木の取付けは「ココマⅡ 側面開口部 取付説明書 (E418)」にて行ないます。本手順では取付けを行なわないでください。

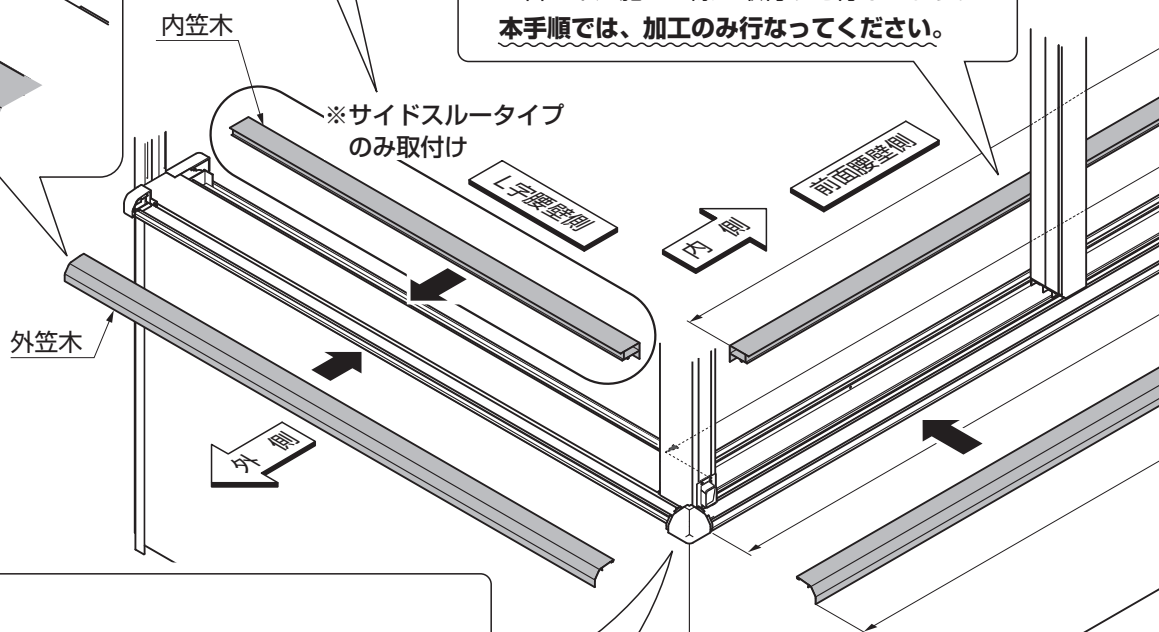
L字部



ポイント

前面部

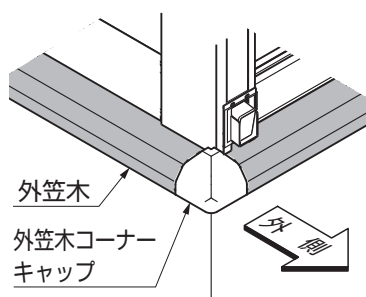
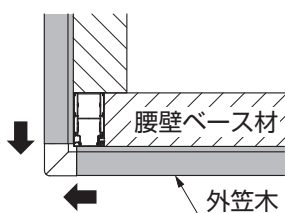
- 前面部の内笠木は「16 前面開口の施工」の各パネル施工の際に取付けを行ないます。
本手順では、加工のみ行なってください。



ポイント

コーナー部

- 笠木はコーナー部に寄せて固定してください。

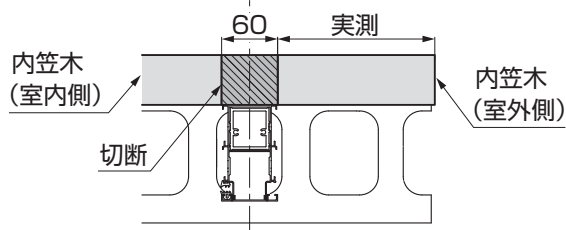


① 笠木を笠木受けに取付けてください。

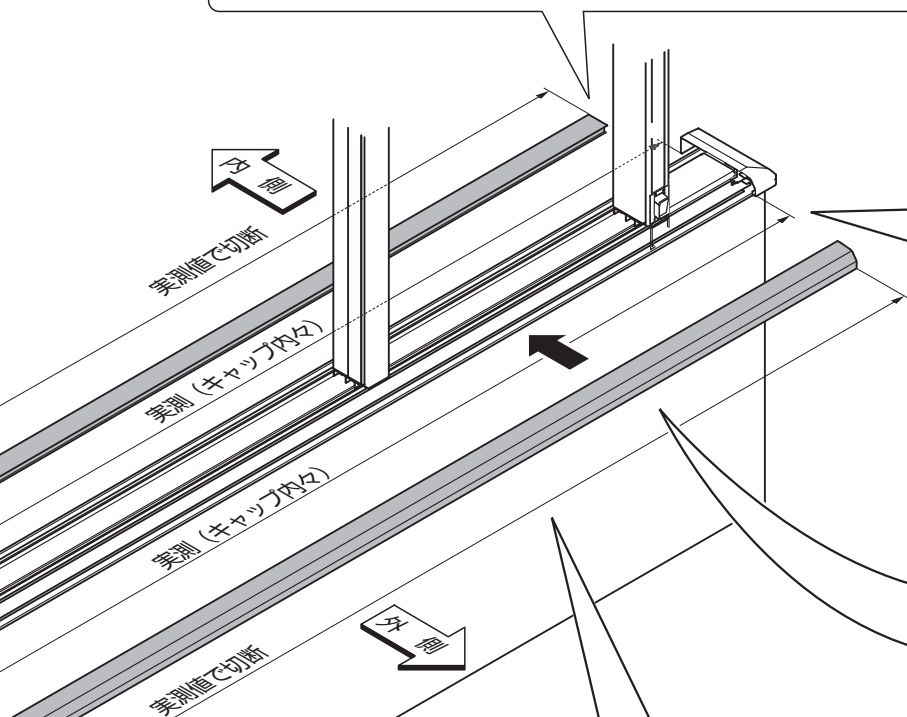
ポイント

前面部

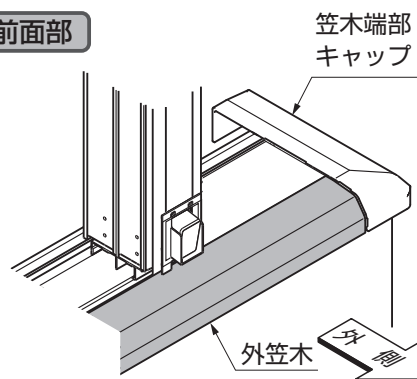
【内笠木の加工（ガーデンルームタイプの場合のみ）】



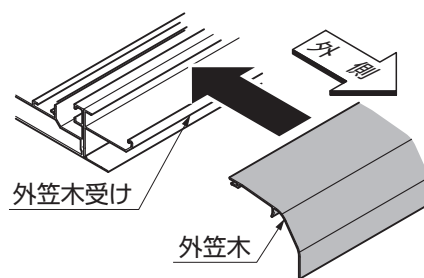
- 側面の開口が入る60mm分を切断して、室外側の内笠木を取付けます。
- 寸法を実測の上、実測値に合わせて切断加工してください。また、端部の内笠木は、ガタツキ防止のため内笠木受けにシーリング後、取付けてください。



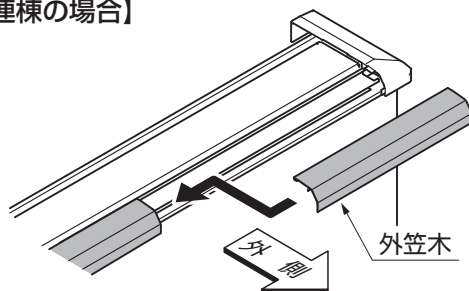
前面部



共通



【連棟の場合】

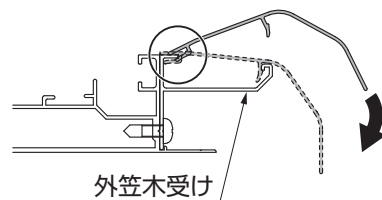


ポイント

- 部材を突き当てて固定してください。

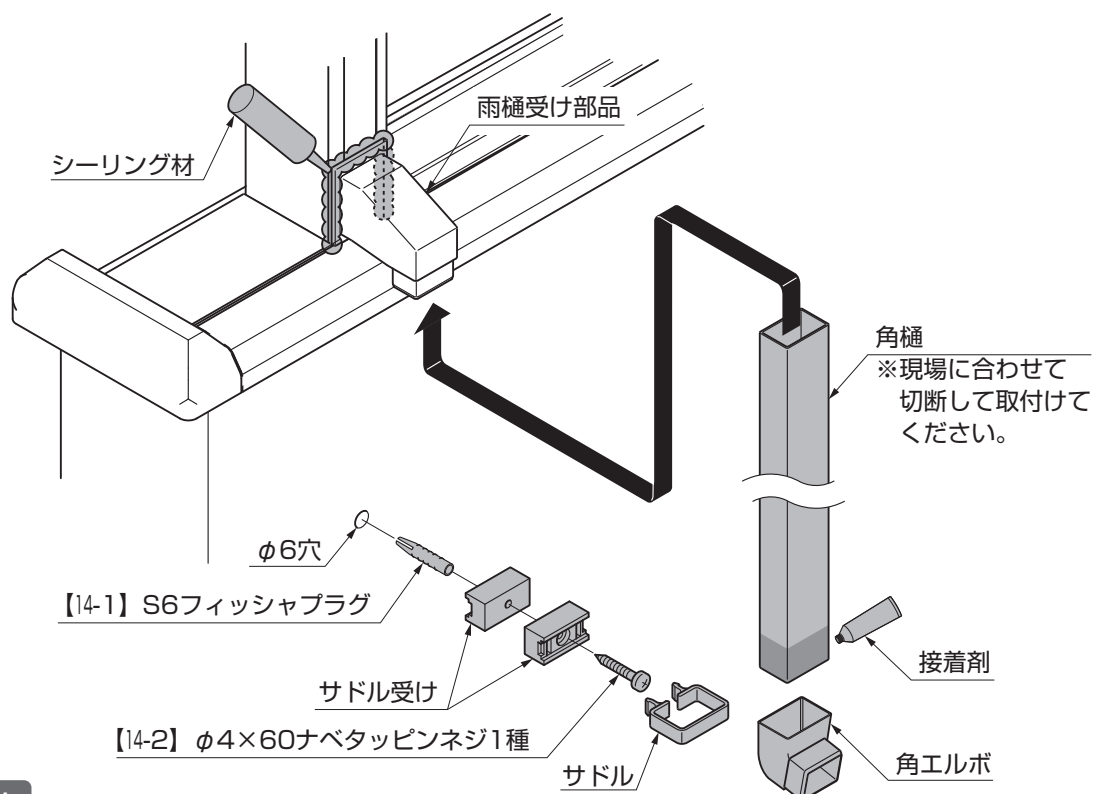
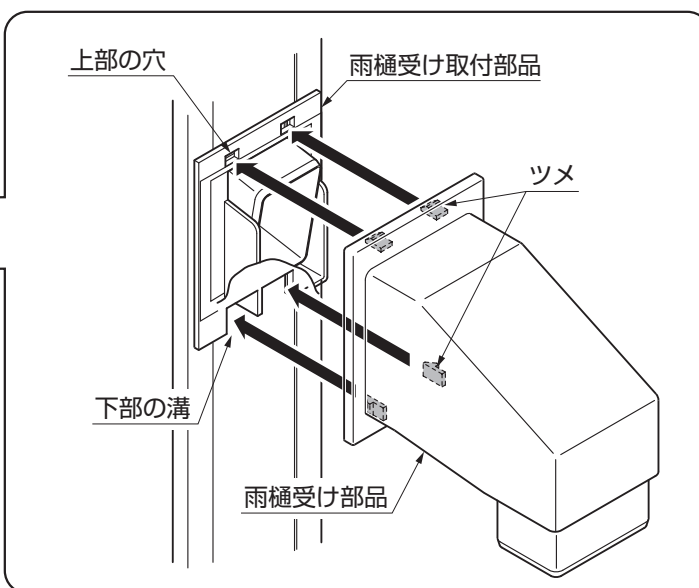
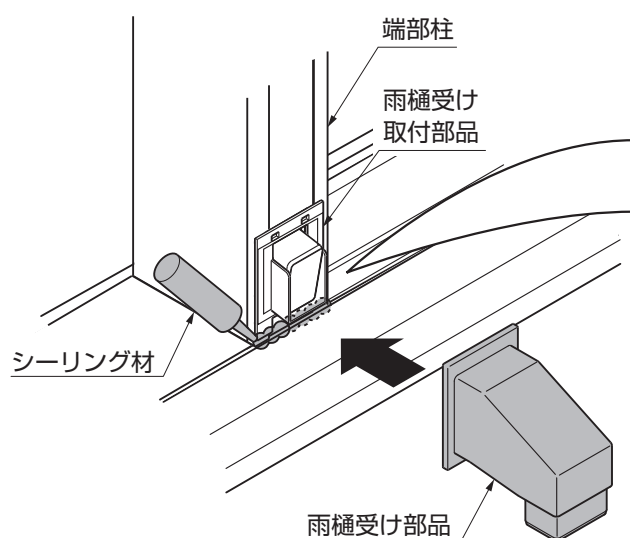
ポイント

- 外笠木受けに引っ掛けて、回転させるように取付けてください。



4. 雨樋受け部品の取付け

タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			



ポイント

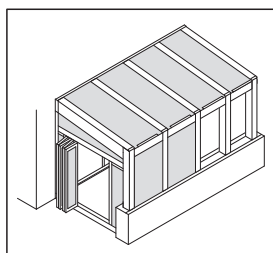
- 「φ4×60ナベタッピンネジ1種」を固定する際は、腰壁の強度を確認してください。
- 清掃時に取外す必要があるので雨樋受け部品の下側は接着しないでください。
- 壁面を仕上げた後に雨樋部品を取付ける場合、仕上げの厚さにより、必要に応じてスペーサーなどを現場手配し、サドル受けと共締めしてください。

- ①雨樋受け部品のツメを雨樋受け取付部品の上部の穴、下部の溝に入れて取付けてください。
- ②腰壁にφ6の下穴をあけてください。
- ③サドル、サドル受けを腰壁に【14-1】 【14-2】で取付けてください。
- ④角エルボを角樋に接着剤で取付け、雨樋受け部品に取付けてください。
- ⑤指定の箇所にシーリングをしてください。

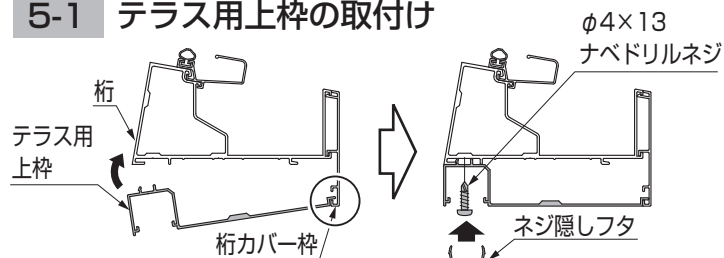
5. テラス用上枠、柱カバー、笠木カバーの取付け

※ガーデンルームプラスタイプでオープンテラスを接続する場合、オープンテラス部分のスパンを施工する手順です。

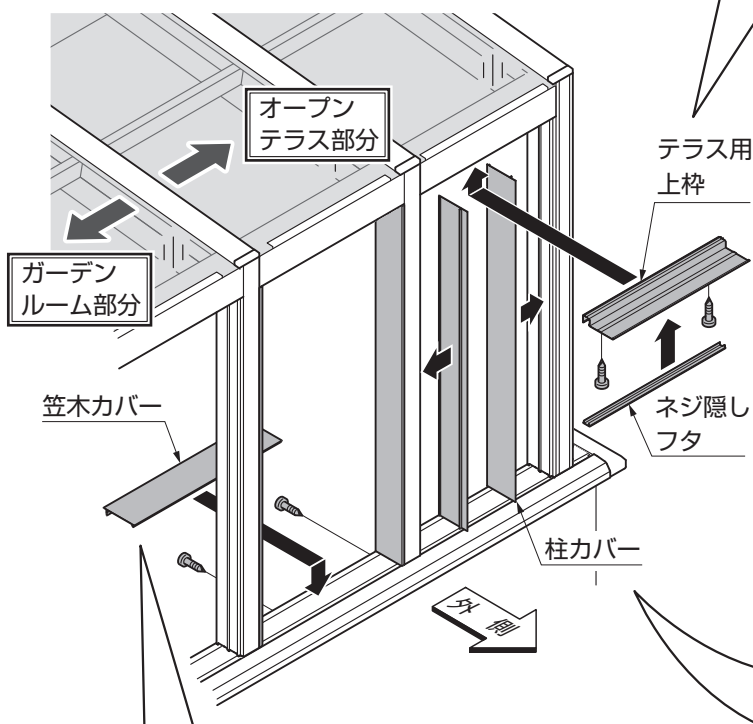
タイプ	腰壁	土間	地域
GR			



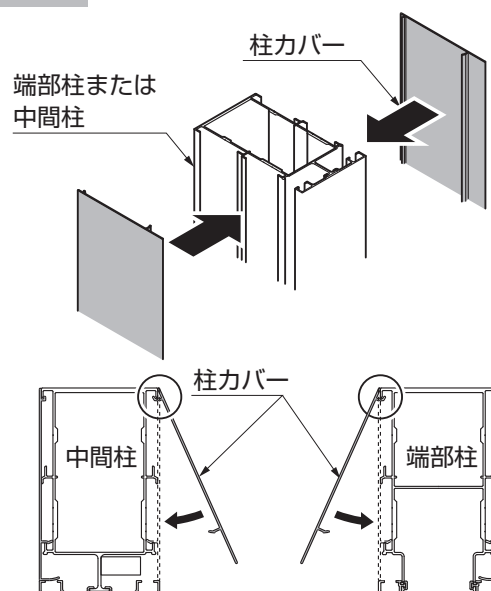
5-1 テラス用上枠の取付け



- ① テラス用上枠を桁に「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。
- ② ネジ隠しフタをテラス用上枠にはめ込んでください。



5-2 柱カバーの取付け

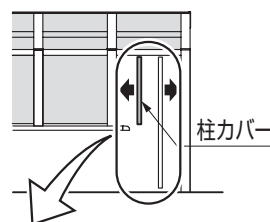


- ① 柱に柱カバーをはめ込んでください。

ポイント

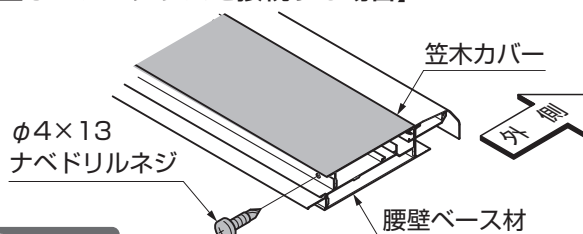
【基本オープンテラスを接続する場合】

- 図の位置の柱カバーは必要に応じて切断の上、取付けてください。



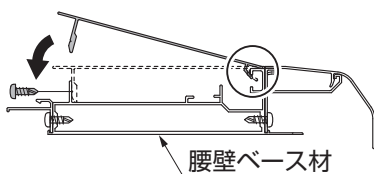
5-3 笠木カバーの取付け

【腰壁オープンテラスを接続する場合】



ポイント

- 腰壁ベース材に引っ掛けて、回転させるように取付けてください。

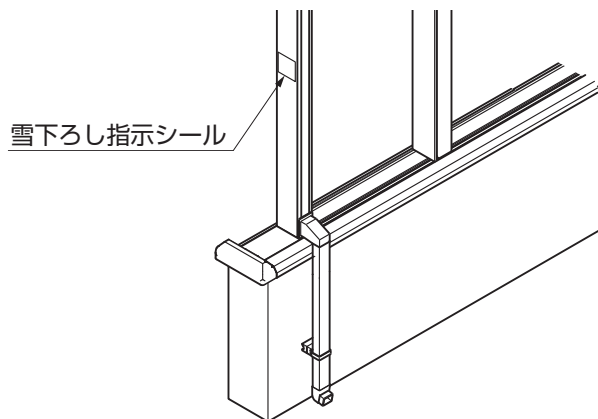


- ① 笠木カバーを腰壁ベース材に「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。

【腰壁側】	H20 : 1396、H22 : 1596、H24 : 1796
【テラス側】	H20 : 2279、H22 : 2479、H24 (標準) : 2679、H35 (ロング) : 3379

6. 雪下ろし指示シールの貼付け

タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			

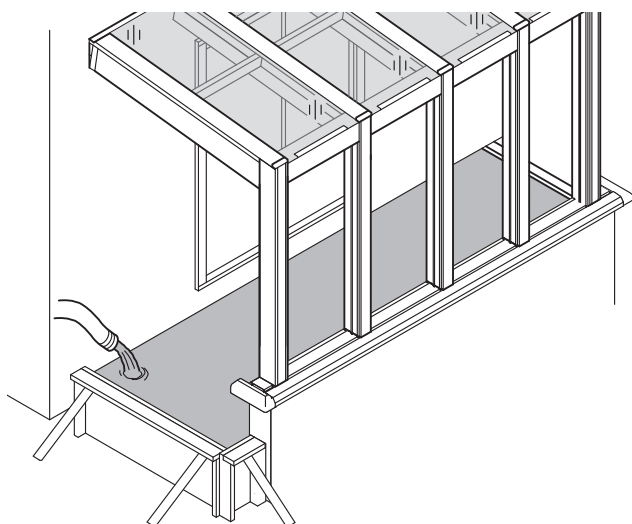


- ①端部柱の側面（目線高さ位置）に雪下ろし指示シールを貼付けてください。

7. コンクリートの流し込み

※ベース材仕様の作業です。

タイプ	腰壁	土間	地域
		ベース	

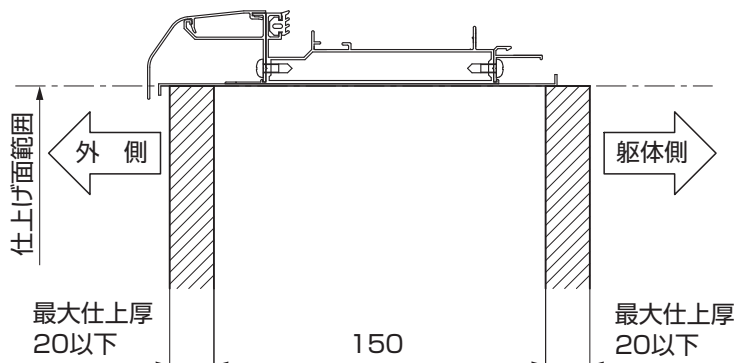


- ①土間を打設してください。

8. 腰壁ブロックの表面仕上げ

※本体施工完了後でも仕上げ可能です。

タイプ	腰壁	土間	地域
※全タイプ（仕様）で行なう作業です。			



ポイント

- 腰壁は、ブロックのままの仕上げ、塗り仕上げ、タイル仕上げなどの仕上げ方法に関わらず全面に適切な防水処理を行なってください。
- タイル等の仕上げは仕上げ面範囲より上にしないでください。腰壁ブロック天面に水が溜まり、ルーム内に浸水するおそれがあります。
- 表面仕上げについては「湿式腰壁ブロック施工のポイント〈E421〉」も併せて参照ください。

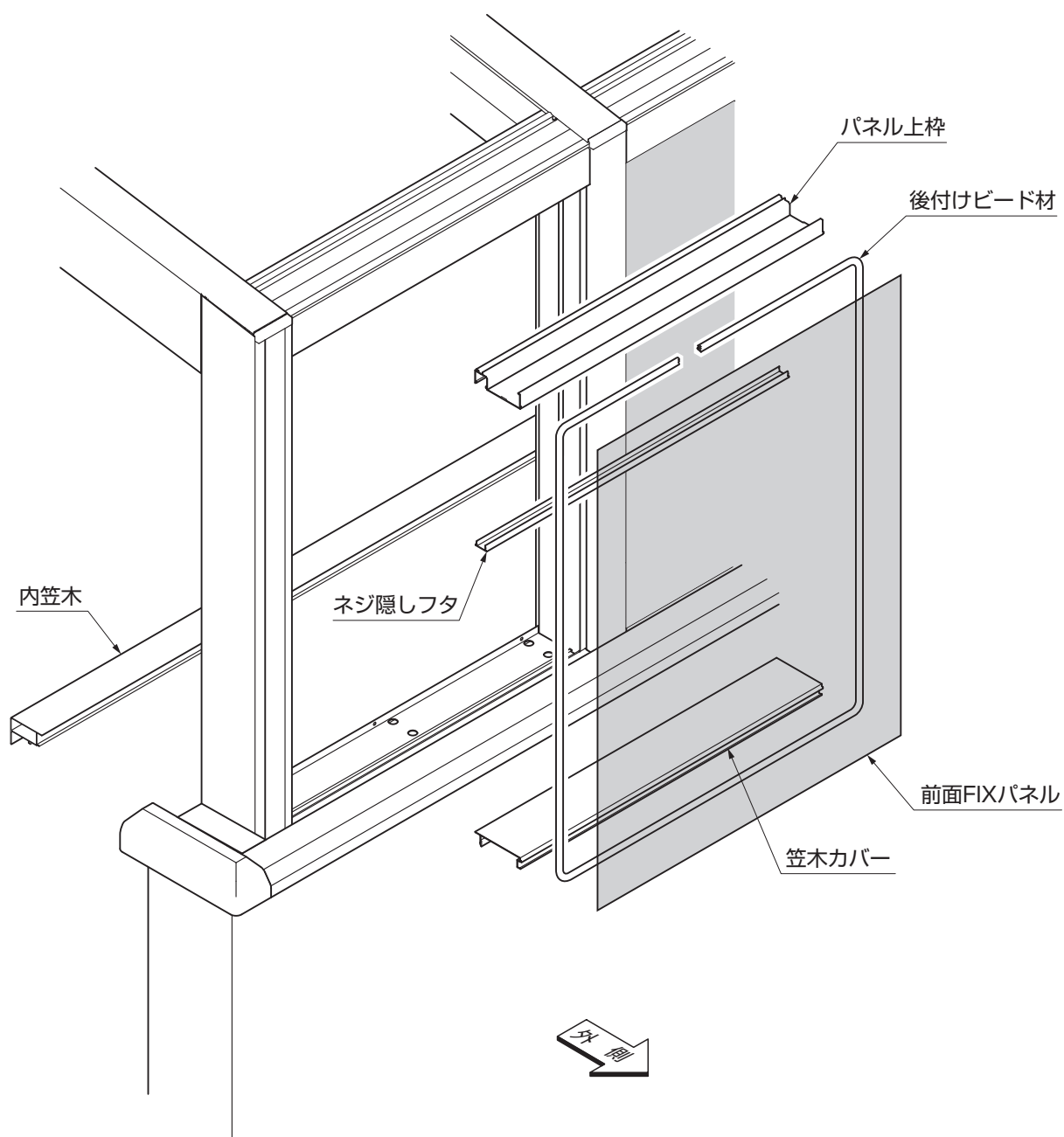
【カウンターテーブルを取付ける場合】

「E378 カウンターテーブル取付説明書」も併せて確認し、取付けてください。

16 前面開口の施工

1. 腰壁FIXパネルの取付け

1-1 各部の名称



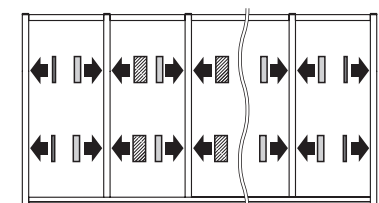
1. (つづき)

1-2 セッティングブロックの取付け

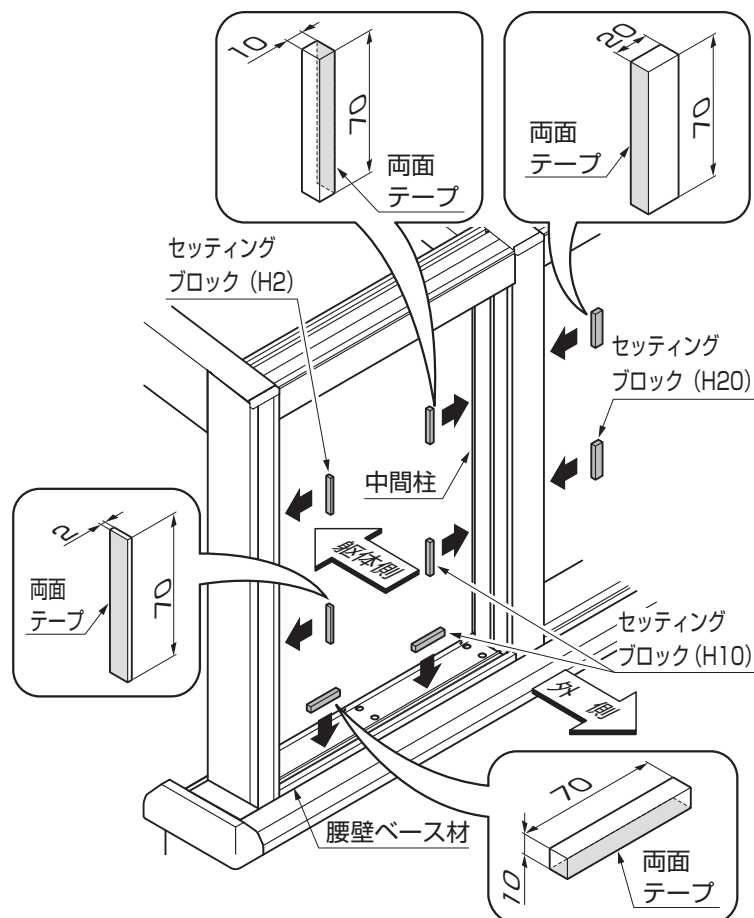
- ①セッティングブロック (H10) を腰壁ベース材及び中間柱に取付けてください。
- ②セッティングブロック (H20) を中間柱に取付けてください。
- ③セッティングブロック (H2) を端部柱に取付けてください。

ポイント

- 柱に取付けるセッティングブロックは、下図のようにしてください。

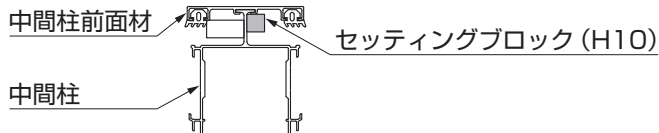


- : セッティングブロック (H2)
- ▨ : セッティングブロック (H10)
- : セッティングブロック (H20)

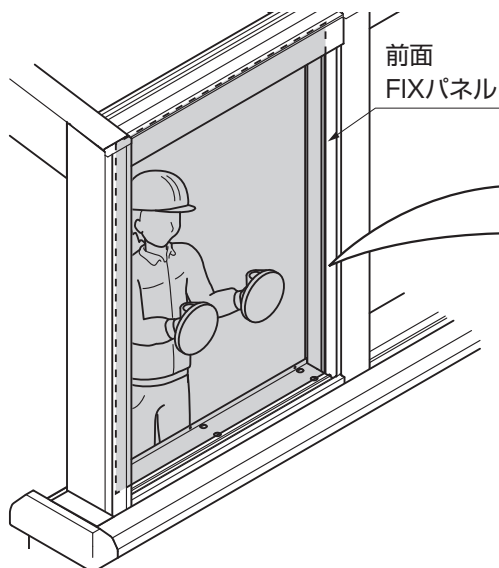


ポイント

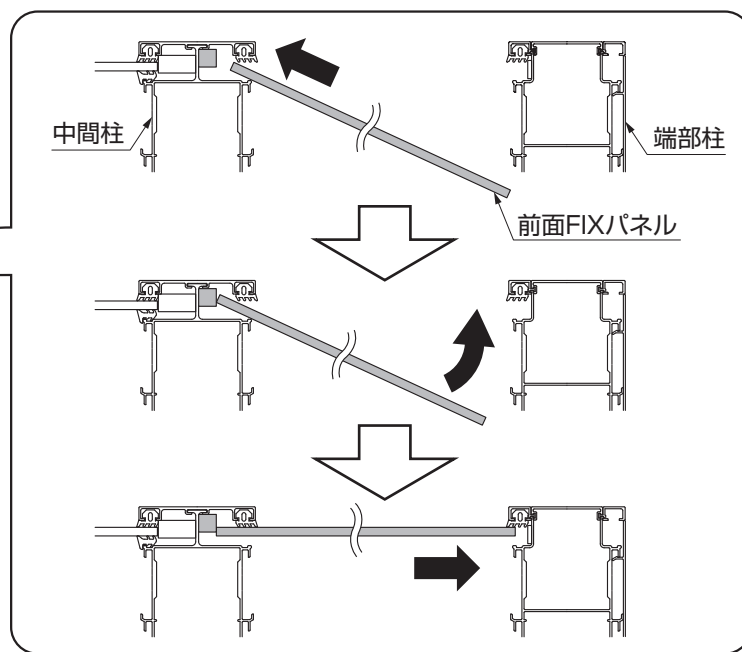
- セッティングブロック (H10) は中間柱前面材側にに取り付けて下さい。
中間柱前面材側にに取り付けていない場合は前面FIXパネルが取り付け出来ない恐れがあります。



1-3 前面FIXパネルの取付け

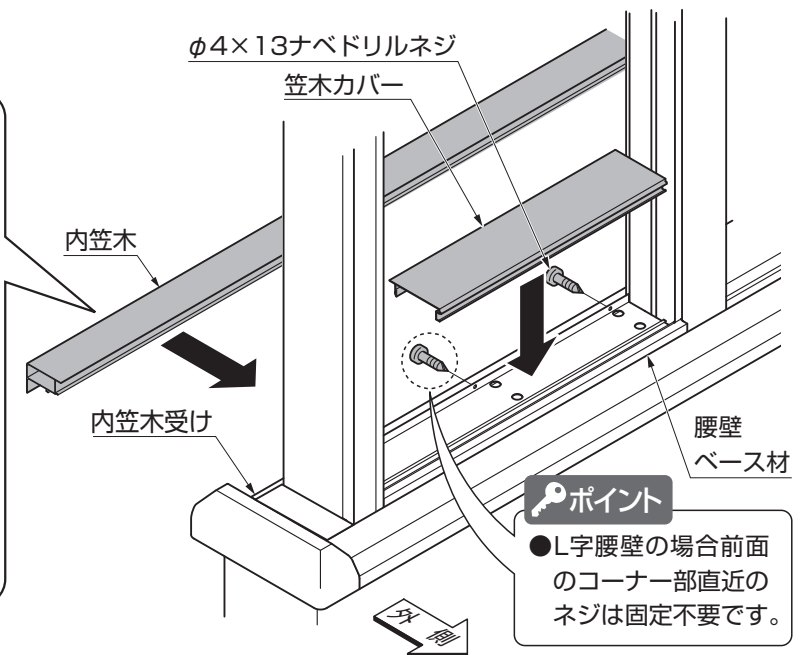
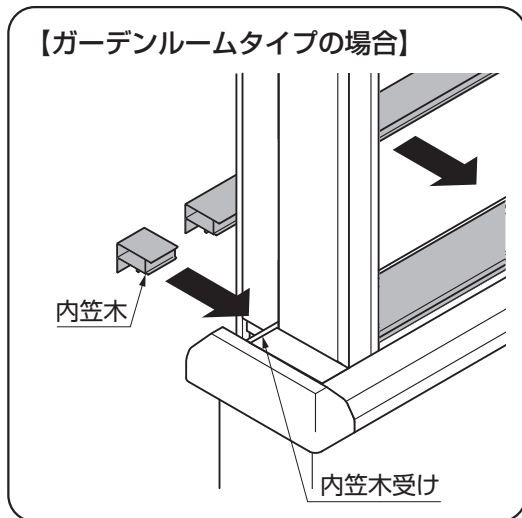


- ①前面FIXパネルをはめ込んでください。



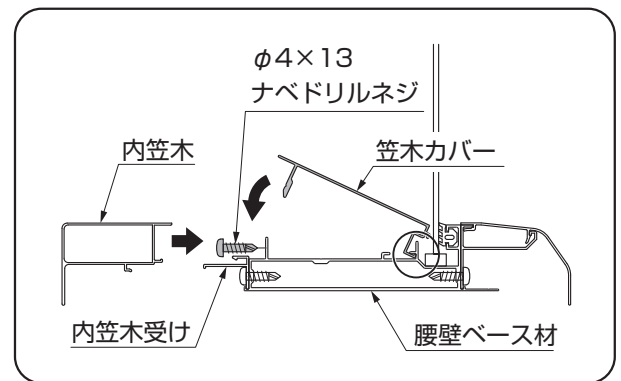
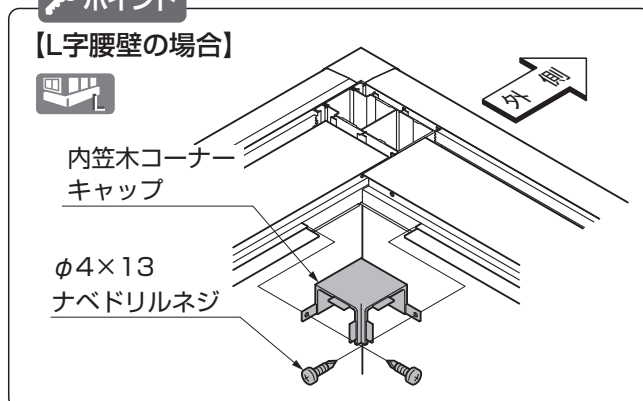
1-4 笠木カバー、内笠木の取付け

【ガーデンルームタイプの場合】



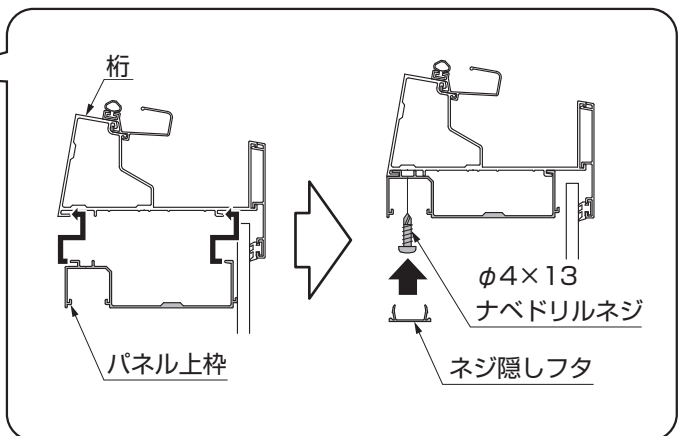
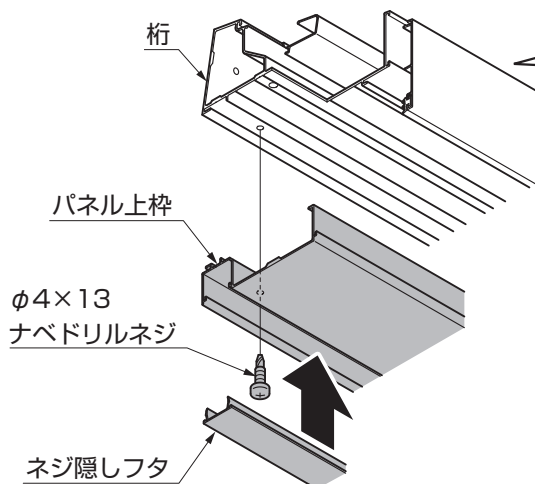
ポイント

【L字腰壁の場合】



- ①笠木カバーを腰壁ベース材に「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。
- ②内笠木を内笠木受けにはめ込んでください。

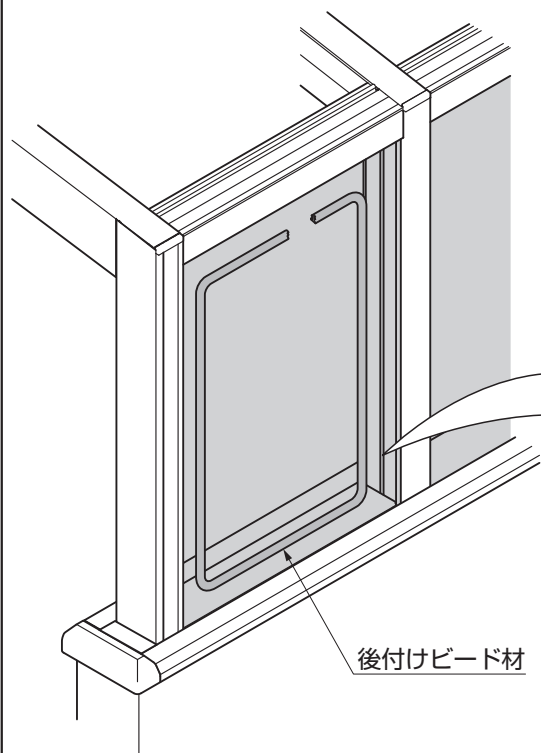
1-5 パネル上枠の取付け



- ①パネル上枠を桁に「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。
- ②ネジ隠しフタをパネル上枠にはめ込んでください。

1. (つづき)

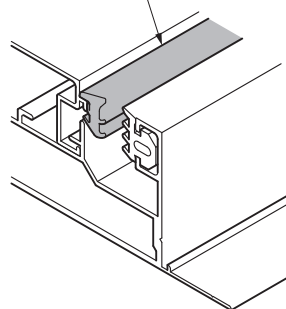
1-6 後付けビード材の取付け



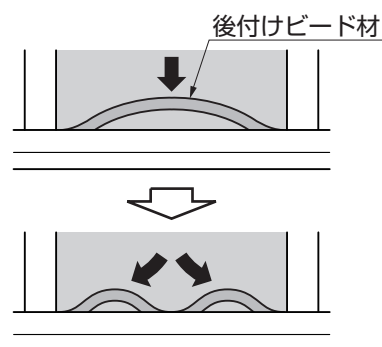
ポイント

●後付けビード材には、取付ける向きがあります。

後付けビード材

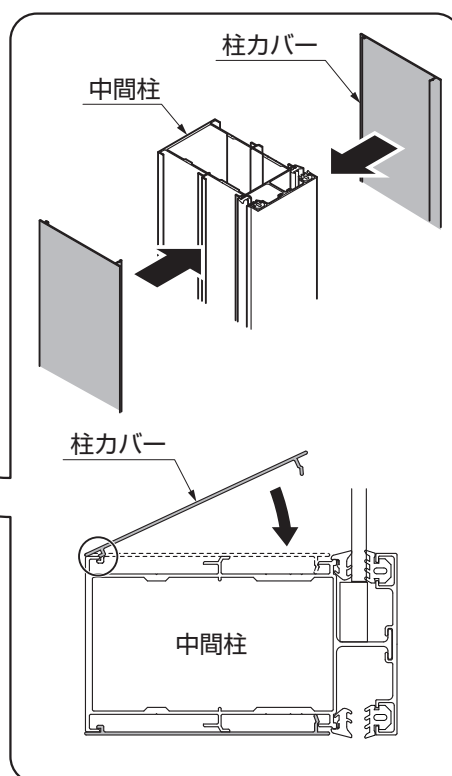
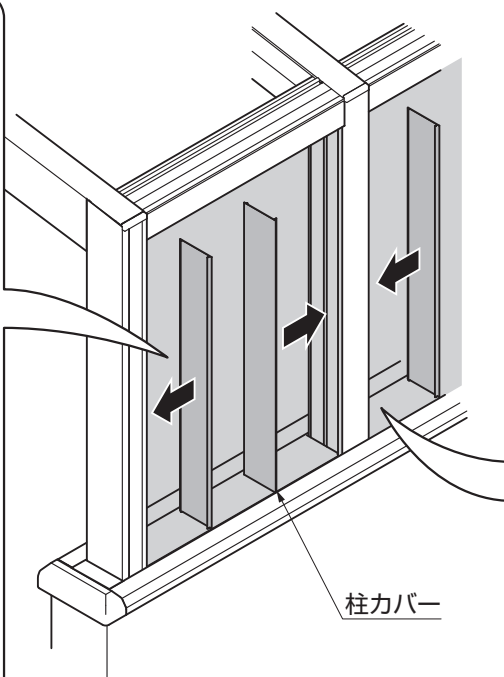
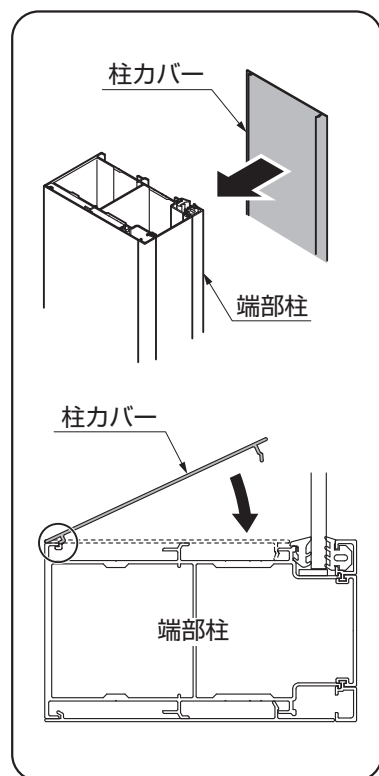


●中心部分をたるませた状態で両端部分および中間の1～2箇所を先に押込み、たるみ部分の中心から広げるように押込んでください。



①後付けビード材を押込んでください。

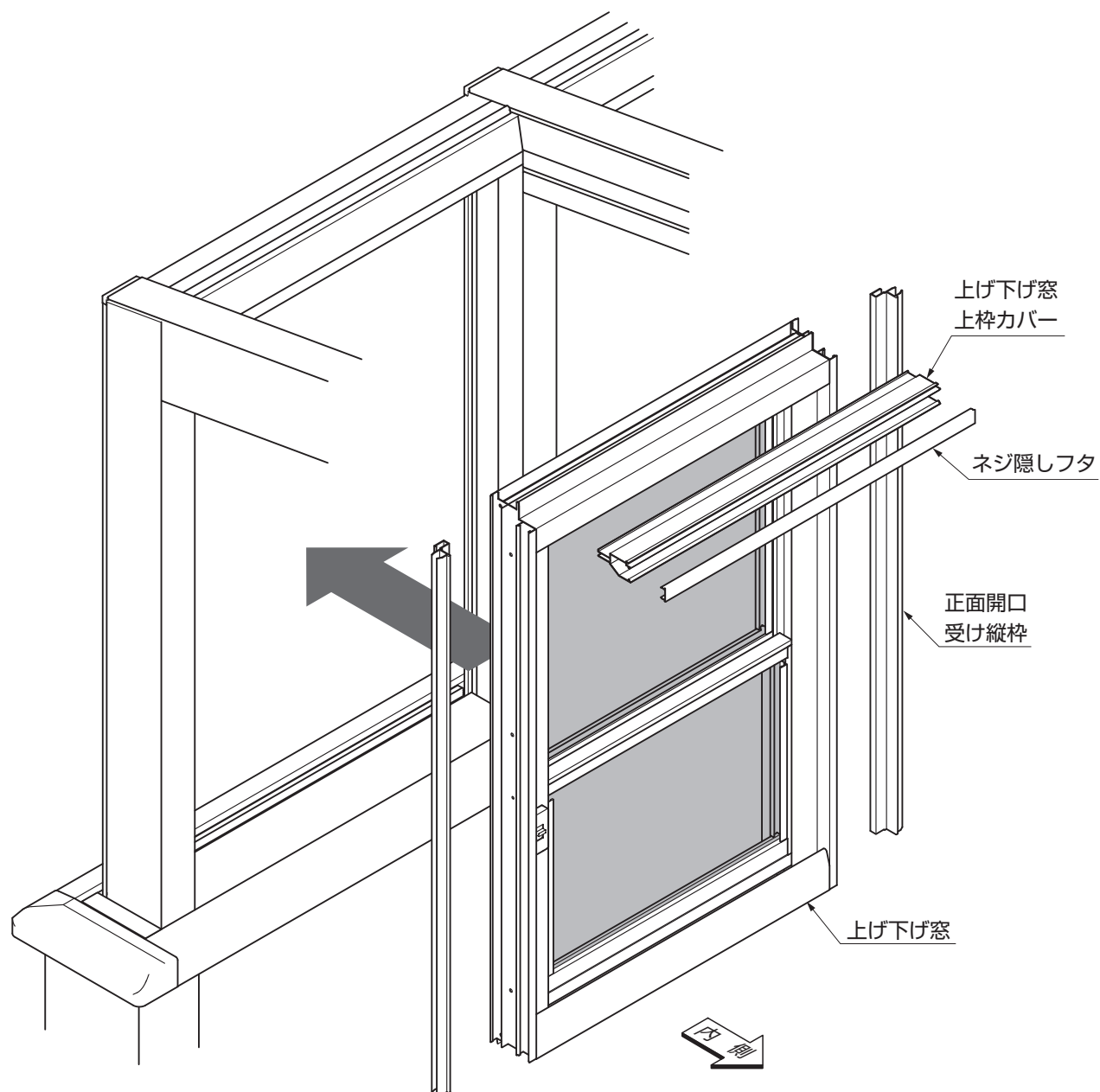
1-7 柱カバーの取付け



①柱に柱カバーをはめ込んでください。

2. 上げ下げ窓の取付け

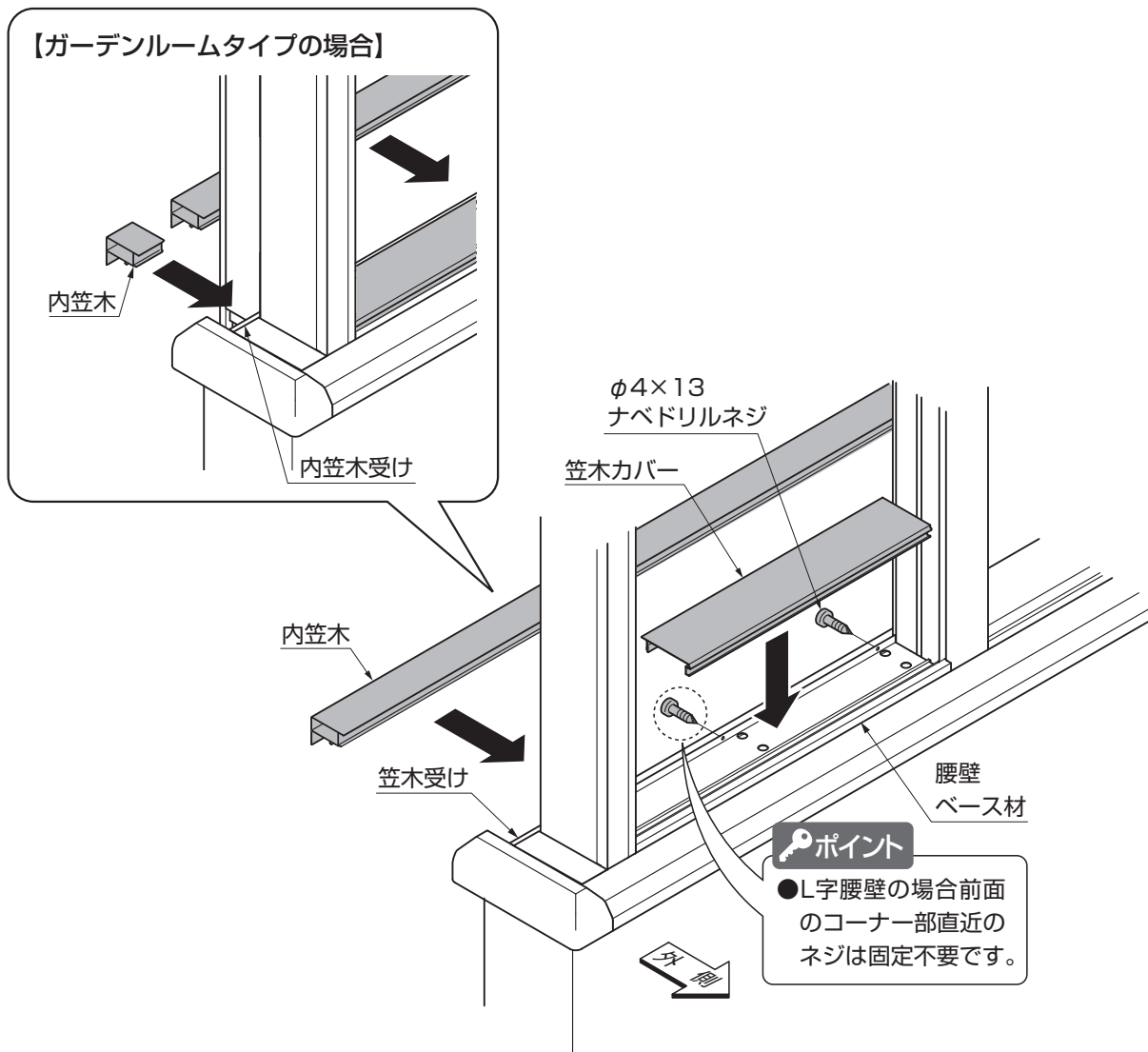
2-1 各部の名称



2. (つづき)

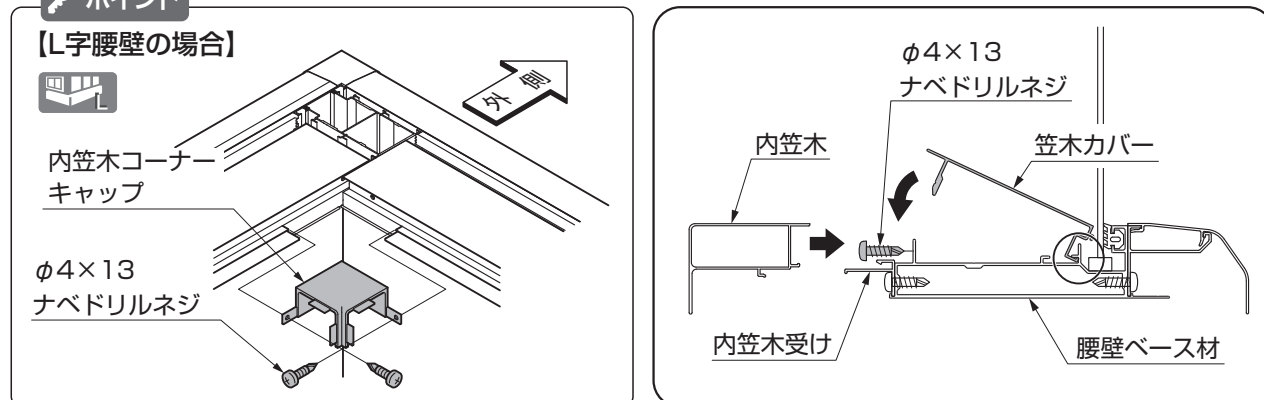
2-2 笠木カバーの取付け

【ガーデンルームタイプの場合】



ポイント

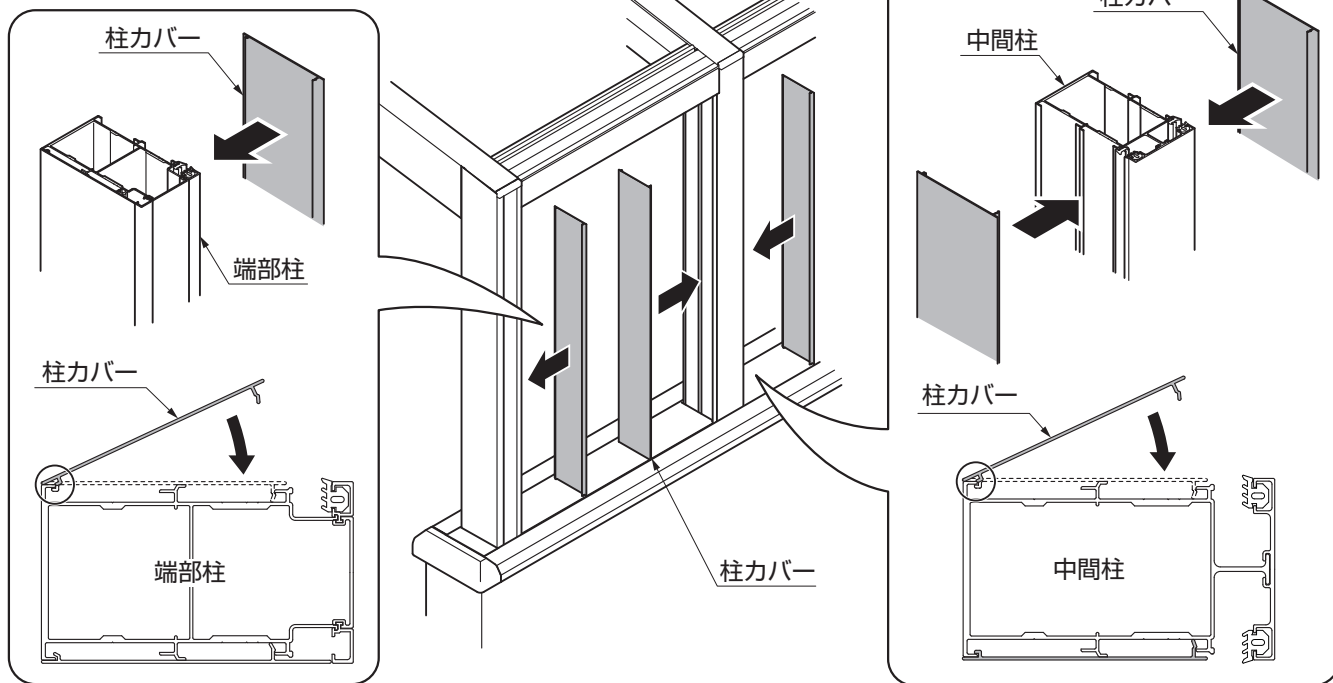
【L字腰壁の場合】



①笠木カバーを腰壁ベース材に「φ4×13ナベドリルネジ」で取付けてください。

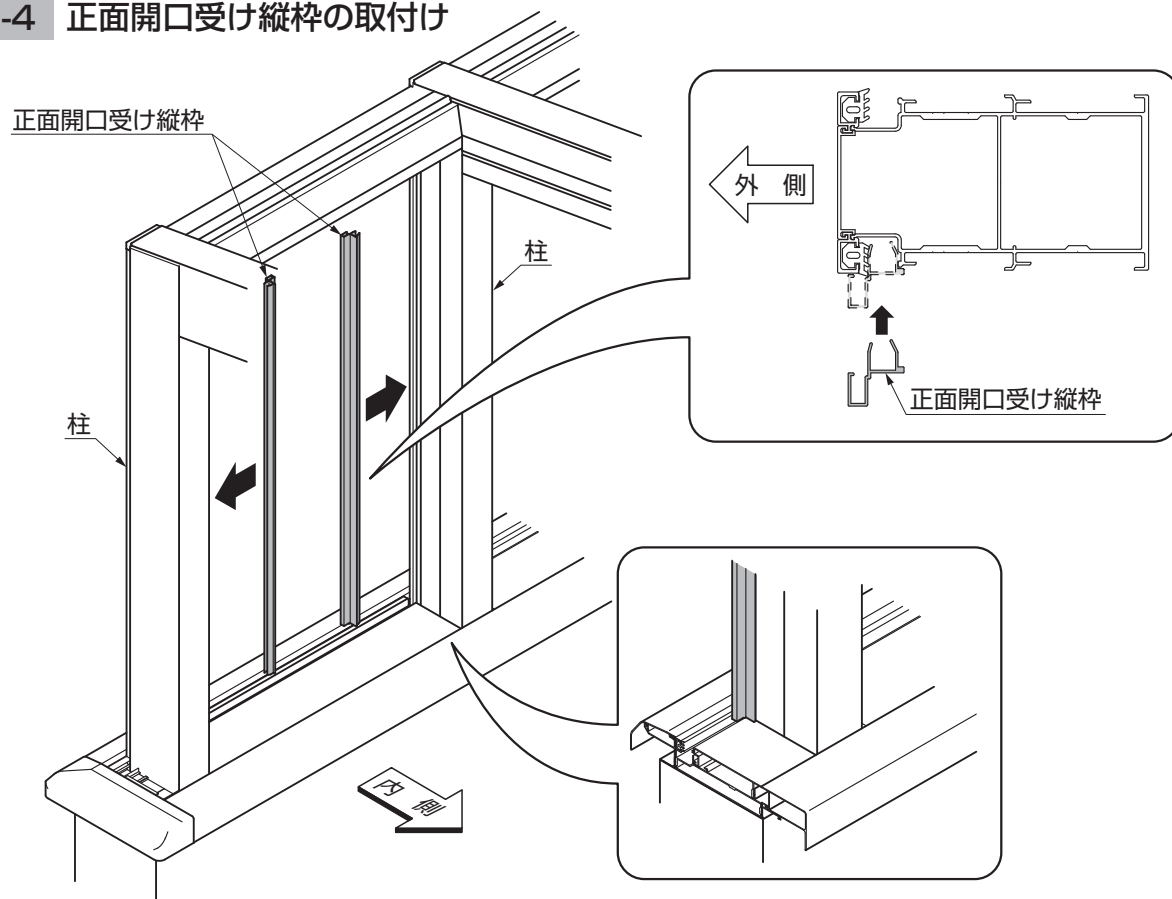
②内笠木を内笠木受けにはめ込んでください。

2-3 柱カバーの取付け



①柱に柱カバーをはめ込んでください。

2-4 正面開口受け縦枠の取付け



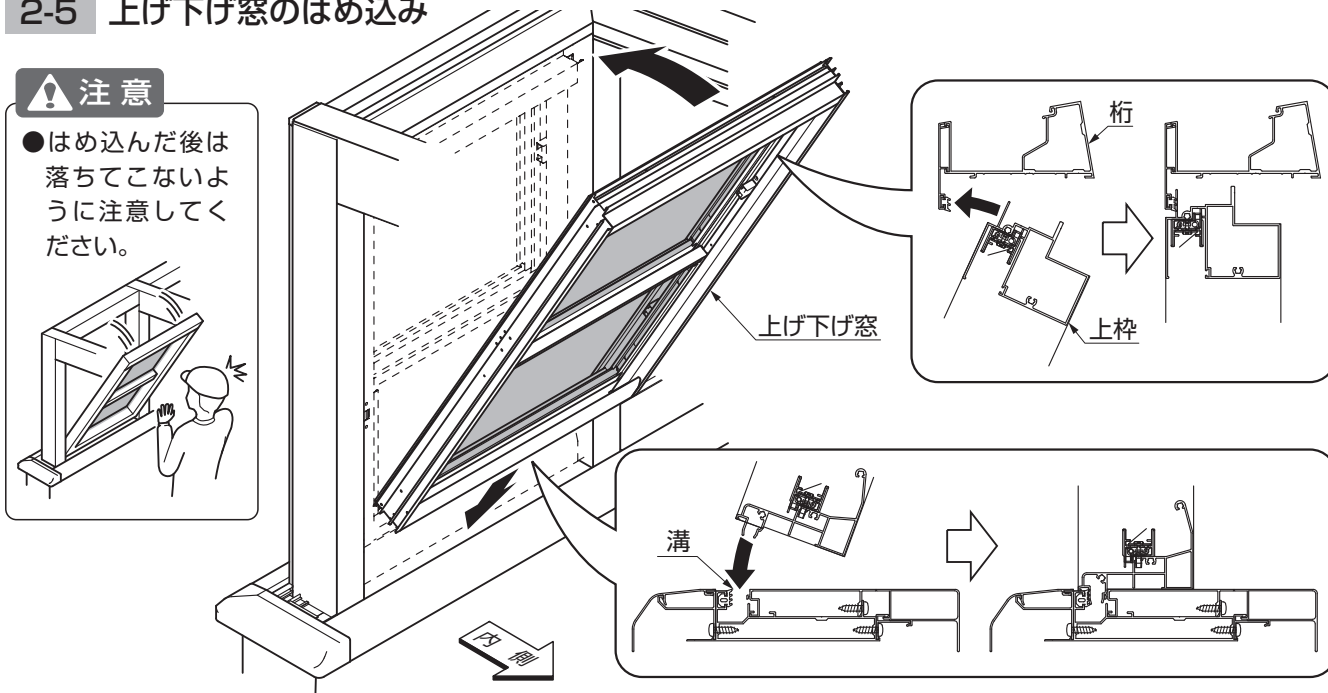
①正面開口受け縦枠を柱にはめ込んでください。

2. (つづき)

2-5 上げ下げ窓のはめ込み

⚠ 注意

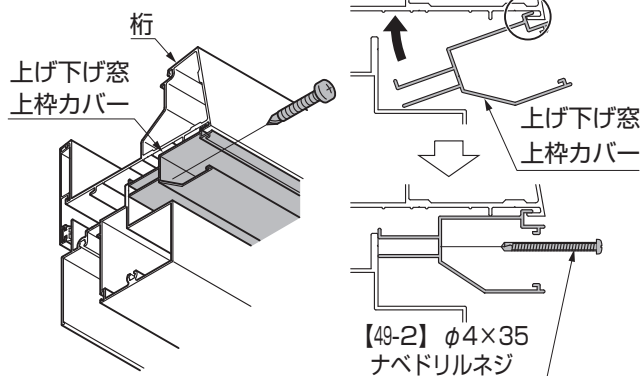
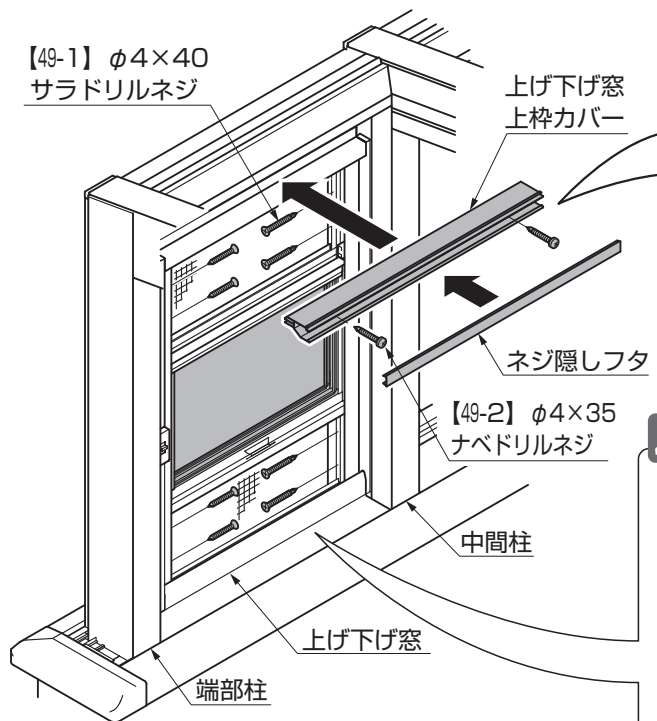
- はめ込んだ後は落ちてこないように注意してください。



①上げ下げ窓の下枠をベース溝に差込みながらはめ込んでください。

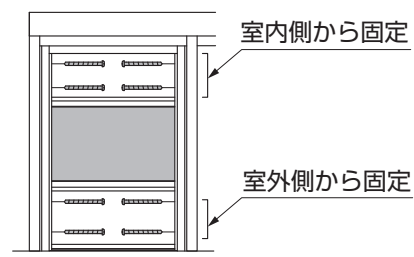
2-6 上げ下げ窓の固定

【49-1】φ4×40
サラドリルネジ



🔑 ポイント

- 上げ下げ窓の固定は上げ下げ窓を開けた状態で一体の網をさけて【49-1】を取付けてください。



- ①上げ下げ窓を【49-1】で柱に取付けてください。
- ②上げ下げ窓上枠カバーを桁に引っ掛けて、上げ下げ窓に【49-2】で取付けてください。
- ③ネジ隠しフタを上げ下げ窓上枠カバーに取付けてください。

🔑 ポイント

- 積雪地3000N（100cm相当）仕様の場合、手順③の後にサブ垂木を取付けてください。（詳細は本取説

14 フレーム部の施工 13-3 サブ垂木化粧材の取付を参照してください。）

3.シーリング処理

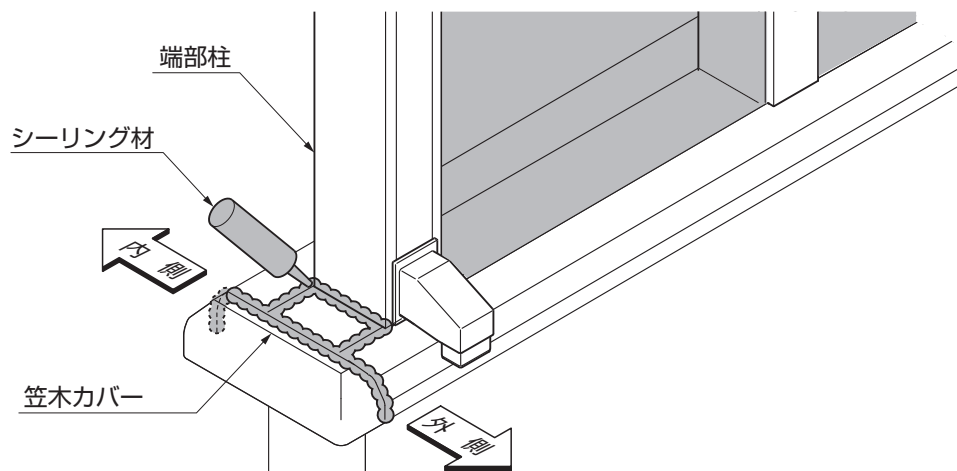


図3-1 シーリング箇所（腰壁FIXパネル、上げ下げ窓共通）

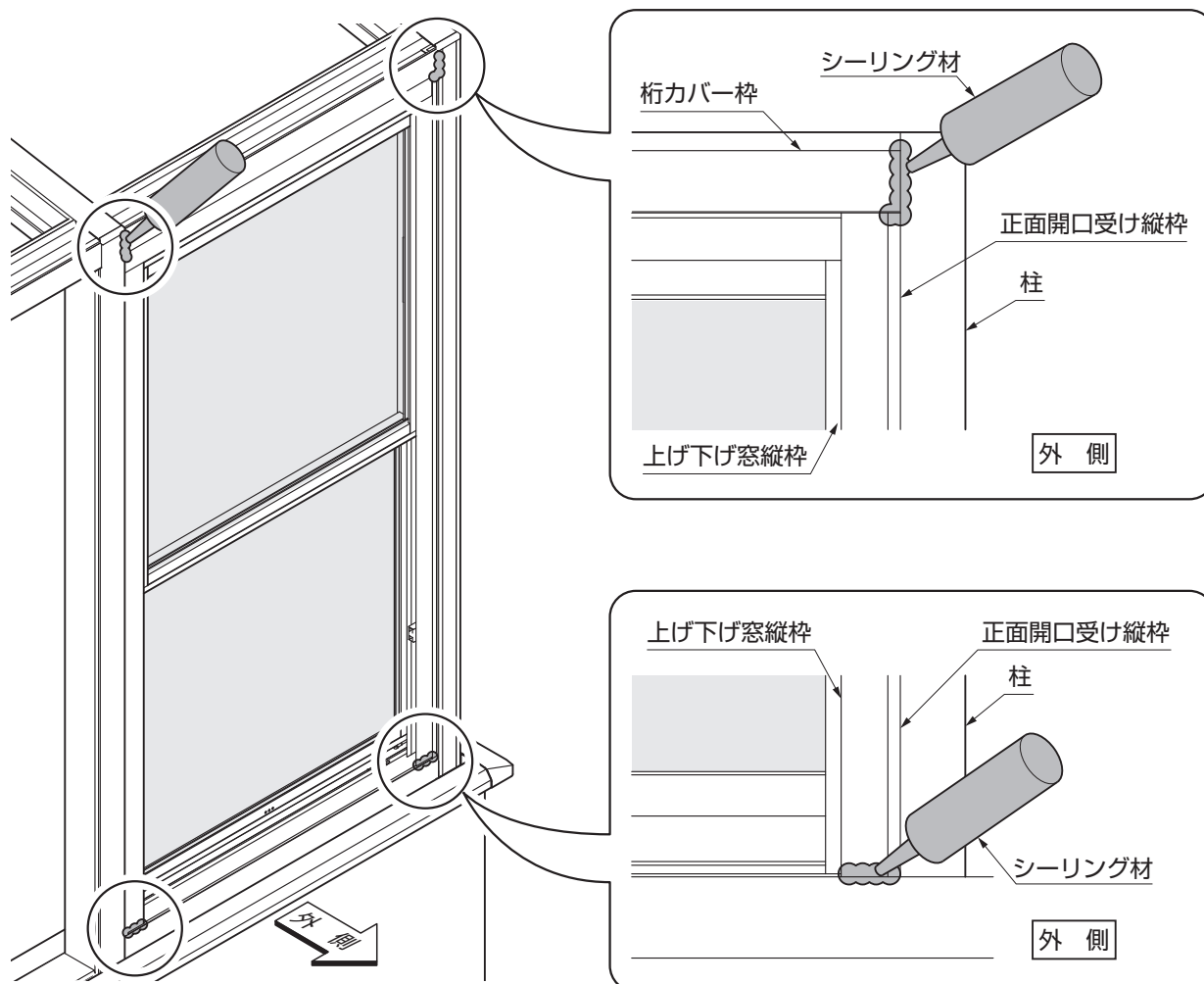


図3-2 シーリング箇所（上げ下げ窓の場合のみ）

①指定の箇所にシーリングをしてください。

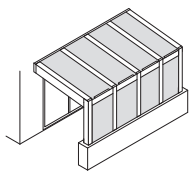
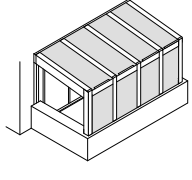
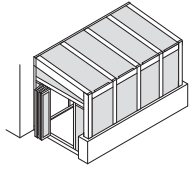
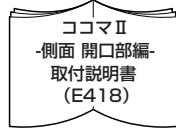
ポイント

●シーリングを塗布する際はマスキングテープを使用し、平滑になるようヘラなどを使用して仕上げてください。

4. 施工の後に

ポイント

●本取付説明書での施工が完了したら、次の工程を確認して、参照する取付説明書の施工を行ってください。

タイプ		略 図	参照取付説明書
サイドスルータイプ 	前面腰壁タイプ 		【施工終了】 本ページにて施工は終了になります。
	L字腰壁タイプ 		
ガーデンルームタイプ 	前面腰壁タイプ 		 ココマⅡ -側面 開口部編- 取付説明書 (E418) ●引き続き「側面 開口部」の施工を行ってください。 【施工終了】
	L字腰壁タイプ 	